NEC

Color MultiWriter 9250C

カラーレーザープリンター

オンラインマニュアル

プリンターの設定と技術情報

893-810004-002-A
初版

商標について

NEC、NECロゴ、FontAvenueは日本電気株式会社の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
NetWare、IntranetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。
AdobeおよびAcrobatはAdobe Systems Incorporated社（アドビシステムズ社）の商標です。
MULTIWRITER、PrintAgent、MOPYING、NMPS、DocuWorksは富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows MeはMicrosoft Windows Millennium Edition operating systemの略です。Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。Windows XPはMicrosoft Windows XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の一部はアドビシステムズ社で著作権を所有しており、その許可の下に転載されています。
3. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
4. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
5. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
6. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
7. 運用した結果の影響については5項および6項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用いかんにかかわらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律

刑法　第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法　第1条、第2条
等

893-810004-002-A　初版

本書について

このマニュアルは、Color MultiWriter 9250Cの設定に関する情報や技術情報が記載されています。
操作パネルで設定する内容、印刷を行うためのソフトウエア「プリンタードライバー」の詳細、および印刷を効率的に行う機能「PrintAgent」について説明しています。
また、ユーザーズマニュアルには載っていない「制御コード」や「技術情報」についても説明しています。必要に応じて、それぞれのページをご覧ください。

本文中で使用の記号について

このマニュアルでは、3種類の記号を使用しています。それぞれの記号の意味を次に示します。

記　号	内　容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターを含むコンピューターシステムに影響を与える障害が発生するおそれがあることを示しています。
チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しない可能性があることを示しています。
ヒント	プリンターを使用する際に知っておくと便利なことや参考になることを記載しています。

目次

本書について 3
本文中で使用の記号について 3
オンラインマニュアルの使い方 8

1　メニューモード 13

メニューモードでの設定変更のしかた 13
メニューツリー 14
メニューの詳細 21
1.　テストメニュー 21
2.　印刷設定メニュー 21
3.　用紙メニュー 22
4.　印字位置設定メニュー 23
5.　両面印刷メニュー 24
6.　運用メニュー 26
7.　フォントメニュー 26
8.　NPDL設定メニュー 27
9.　セントロ設定メニュー 28
10.　LAN設定メニュー 28
11.　設定初期化メニュー 28
12.　メモリースイッチメニュー 31
メモリースイッチの内容 33

2　プリンタードライバー 39

印刷の手順 40
印刷をする 40
[通常使うプリンタ]として設定する 41
プロパティダイアログボックス 43
Windows Me/98/95の場合 43
プロパティダイアログボックスを開く 43
設定の概要 47
Windows XP場合 55
ダイアログボックスの開き方 56
設定の概要（プリンタのプロパティ） 60
設定の概要（印刷設定） 63
Windows 2000場合 70
ダイアログボックスの開き方 71
設定の概要（プリンタのプロパティ） 74
設定の概要（印刷設定） 77
Windows NT 4.0の場合 84
ダイアログボックスの開き方 85
設定の概要（プリンタのプロパティ） 89
設定の概要（ドキュメントプロパティ） 92
カラー印刷の調整 99

カラー印刷の基礎知識 99
色の表現方法 99
カラーマッチングについて 100
UCR/BGについて 101
ハーフトーンについて 101
きれいに印刷するためのこつ 102
印刷モードについて 103
カラー調整 104
ドライバ補正 104
写真画像自動補正 111
ICMによる補正 112
sRGBによる補正 112
ハーフトーン指定 113
オプション 114
プリセットメニューの設定内容 115
片方向用プリンタードライバーについて 117
インストール方法 118
Windows XP 日本語版 118
Windows 2000 日本語版 120
Windows NT 4.0 日本語版 122

3 PrintAgent 125

ソフトウエアの起動 126
「PrintAgent」ツールバー 128
再印刷ボタン 128
設定ボタン 129
状態ボタン 129
ツールバー設定ボタン 129
PrintAgent リプリント2 131
スプールドキュメントシート 132
ディスプレイパネル 133
[オプション] 134
プリンタステータスウィンドウ 135
メニュー＆ツールバー 136
ドキュメントを制御する 136
リプリント機能を使う 137
プリンターの構成情報を見る 138
通知形式を変更する 139
ウォームアップを行う 141
プリンターの電源をONする 141
最新のステータスに更新する 143
ヘルプを見る 144
ステータス情報エリア 145
プリンタステータスウィンドウ（PSW）の通知一覧 146
システムメニュー 150
PSWのプロパティ 150
PrintAgentのプロパティ 151
プリンタ管理ユーティリティ 156

ツールバー 157
メニュー 158
[プリンタ]メニュー 158
[表示]メニュー 159
[ツール]メニュー 160
[ヘルプ]メニュー 160

4 制御コード 161

制御コード一覧 162
テキストモード 162
図形モード 164
機能拡張制御コード 166
文字スタイル制御コード 167
行桁制御印刷コード 170
文字ロード 171
バーコードの印刷 173
面制御コード 176
ページ制御コード 177
領域指定イメージ 180
座標指定単位設定 181
文字セット制御コード 182
カスタマーバーコードの印刷 183
カスタマーバーコードの仕様と注意点 187
漢字コード表切り替えのための制御コード 192
図形の描画コード 193
プリンター単位指定 196
塗りつぶしに関する設定 197
楕円弧描画 198
弓形描画 199
扇形描画 200
角丸矩形描画 201

5 技術情報 203

使用できるコンピューターとプリンターケーブル 203
印刷範囲 205
定形用紙 205
印刷範囲 206
印刷保証領域 209
定形外用紙 210
プリンターの設定について 210
余白について 210
印刷位置について 211
NPDLの初期状態 214
インターフェース 216
インターフェース信号の機能 216
タイムチャート 217
コネクターピン配置 219

電気的特性 220
文字の種類 221
内蔵文字の種類 221
1バイト系文字 221
2バイト系文字 221
文字間隔 221
文字構成 222
1バイト系文字 222
2バイト系文字、グラフィック 222
テスト印刷のプリント結果 223
連続印刷 223
ステータス印刷 226
コンフィグレーションページ 227
文字コード表 228
1バイト系コード表 228
カタカナモード 228
ひらがなモード 228
国別相違点 229
2バイト系コード表 229
半角文字 229
全角文字 229
ディスプレイ表示一覧 230

索引 233

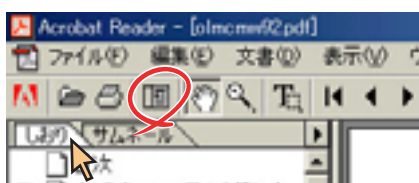
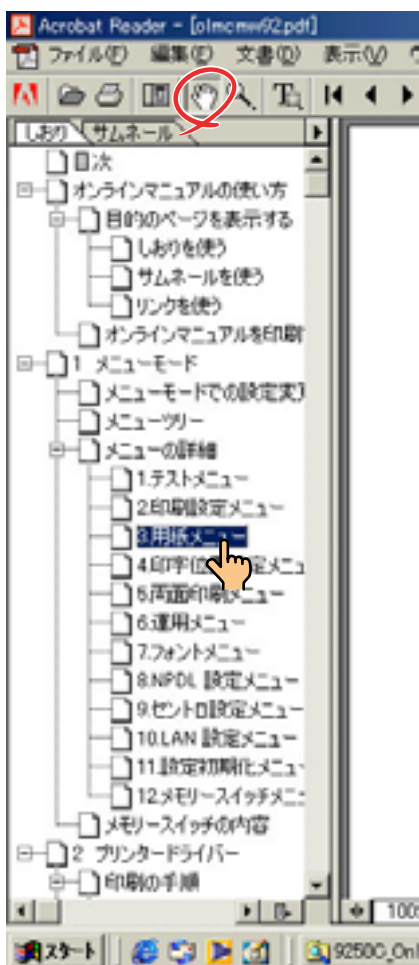
オンラインマニュアルの使い方

このオンラインマニュアルは、目的のページを検索しやすいように、しおりやサムネール、リンクが設定してあります。ここではしおりやサムネール、リンクの使い方、印刷方法などをAcrobat Reader 4.05Jを使用して簡単に説明します。Acrobat Readerの詳しい説明についてはヘルプメニューの[Readerオンラインガイド]をご覧ください。

目的のページを表示する

[しおり]、[サムネール]のナビゲーション機能やリンク機能を使って目的のページを表示します。

しおりを使う

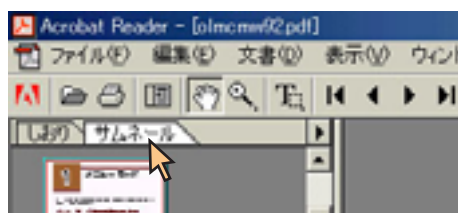
しおりは目次のようなものです。しおりを表示させると全体の内容が一覧でき、そこから見たいページを選ぶこともできます。

1. [パレット表示]ボタンをクリックし、パレットを表示する。
2. [しおり]タブをクリックし、しおりパレットを一番上に表示する。

3. [手のひら]ツールをクリックする。
4. 表示させたいしおりを選びクリックする。

しおりの上へ[手のひら]ツールを移動すると「指さし」の形に変わるので、その場所をクリックしてください。

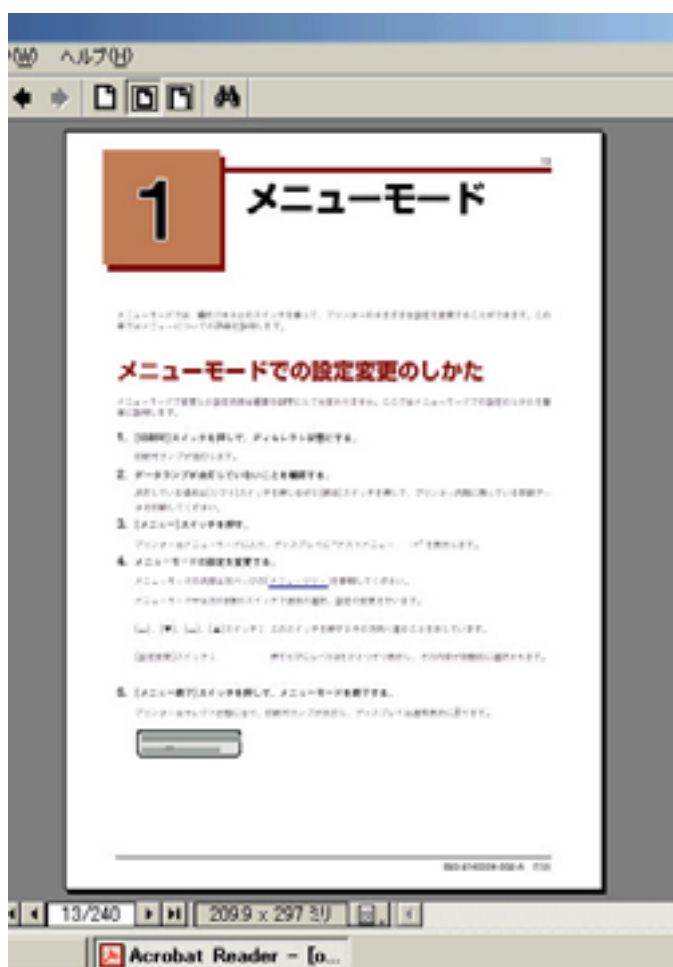
選んだしおりのページが表示されます。

階層化された項目は、項目名の左側に[+]、[—]の記号が表示されます。その下の階層は[+]を押すと表示し、[—]を押すと非表示になります。

サムネールを使う

サムネールはそのページの全体のイメージを小さく表示したものです。表示したいページを見つけ、クリックすることで目的のページを表示することができます。

1. [パレット表示]ボタンをクリックし、パレットを表示する。
2. [サムネール]タブをクリックし、サムネールパレットを一番上に表示する。

3. [手のひら]ツールをクリックする。
4. 表示させたいページのサムネールを選びダブルクリックする。

   サムネールの上へ[手のひら]ツールを移動すると「矢印」の形に変わるので、その場所をダブルクリックしてください。選んだページが表示されます。

リンクを使う

リンクはクリックすると、目的のページへジャンプする機能です。本マニュアルでは、目次ページや文章内の青の下線文字にリンクの設定がしてあります。[手のひら]ツールを使ってリンクの設定先にジャンプすることができます。

1. [手のひら]ツールをクリックする。

2. リンクのある場所をクリックする。

リンクのある場所へ[手のひら]ツールを移動すると「指さし」の形に変わるので、その場所をクリックしてください。

1 メニューモード 21

メニューの詳細

1. テストメニュー

次のテスト印刷を実行します。

- ステータス印刷
- サンプル印刷
- 連続印刷(テスト印刷)
- 16進ダンプ印刷
- ネットワーク1印刷(コンフィグレーションページを印刷)
- ネットワーク2印刷(ログ印刷)

連続印刷(テスト印刷)は自動的に印刷を終了しません。[ストップ]スイッチを押したあと、[シフト]スイッチを押しながら[リセット]スイッチを2回押してください。
プリント結果については「テスト印刷のプリント結果」をご覧ください。

2. 印刷設定メニュー

5 技術情報 223

テスト印刷のプリント結果

次にテスト印刷とステータス印刷のプリント結果例を示します。プリント結果はA4サイズの用紙に印刷したものを33%に縮小しました。

連続印刷

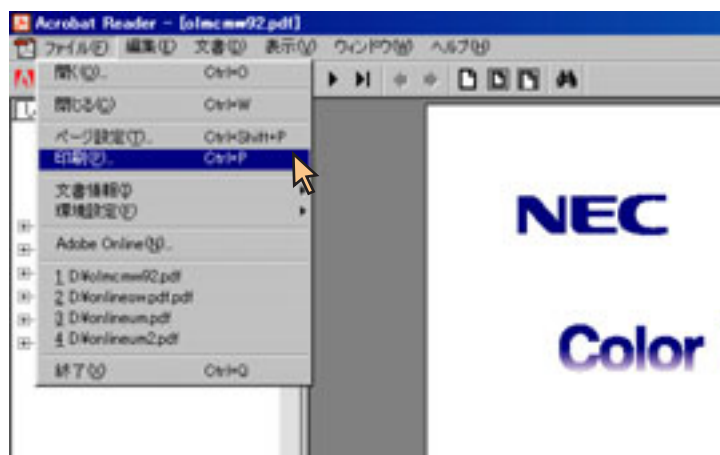
連続印刷(テスト印刷)では、1バイト系標準、イタリック、クーリエ、ゴシックの4フォントと、各フォントのパイカ文字、エリート文字、コンデンス文字、プロポーショナル文字、2バイト系明朝体の7ポイントの第一水準漢字のすべて、アウトラインフォントの第二水準漢字の一部分と2バイト系明朝体の10.5ポイントの第一水準漢字のすべて、アウトラインフォントの第二水準漢字の一部分を順次印刷します。

オンラインマニュアルを印刷する

このオンラインマニュアルはA4の大きさで作成されています。ここではWindows Meの環境でColor MultiWriter 9250Cを使ってオンラインマニュアルを両面で印刷する手順を説明します。

両面印刷ユニットを取り付けていない場合は、両面印刷できません。手順4は読み飛ばしてください。

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスが開きます。

2. [プロパティ]をクリックする。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

3. [用紙]タブをクリックする。

[用紙]シートが表示されます。

4. [両面]をクリックする。

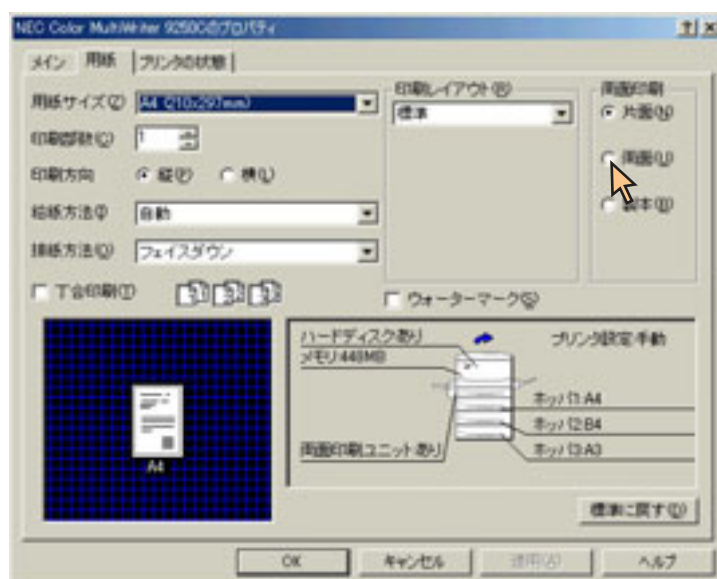
5. [用紙サイズ]から[A4]を選択する。

6. 印刷部数を設定して[OK]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスに戻ります。

7. 印刷範囲を設定して[OK]をクリックする。

印刷を開始します。

ユーザーズマニュアルのように両面でオンラインマニュアルが仕上がります。両面印刷ユニットを搭載していない場合は、片面で印刷してください。

メニューモード

メニューモードでは、操作パネル上のスイッチを使って、プリンターのさまざまな設定を変更することができます。この章ではメニューについての詳細を説明します。

メニューモードでの設定変更のしかた

メニューモードで変更した設定内容は電源をOFFにしても変わりません。ここではメニューモードでの設定のしかたを簡単に説明します。

1. [印刷可]スイッチを押して、ディセレクト状態にする。

印刷可ランプが消灯します。

2. データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

3. [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　→”を表示します。

4. メニューモードの設定を変更する。

メニューモードの内容は次ページの「メニューツリー」を参照してください。

メニューモード中は次の5個のスイッチで項目の選択、設定の変更を行います。

[◀]、[▼]、[▶]、[▲]スイッチ：	このスイッチを押すとその方向へ進むことを示しています。
[設定変更]スイッチ：	押すたびにレベル3をひとつずつ表示し、その内容が自動的に選択されます。

5. [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了する。

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示に戻ります。

```
ﾎｯﾊﾟ          A4 ﾎﾟｰﾄ
ﾌﾂｳｼ
```

メニューツリー

メニューモードを図式的に表したメニューツリーを示します。青の網かけ部分は出荷時の設定値です。「注」で示す補足的な説明は20ページにあります。

A
B
C
D
ヨウシメニュー
←トレー　ヨウシシュベツ　→
トレー　ヨウシシュベツ
←　フツウシ*
トレー　ヨウシシュベツ
←　サイセイシ*
トレー　ヨウシシュベツ
←　アツガミ*
トレー　ヨウシシュベツ
←　アツガミウラ*
トレー　ヨウシシュベツ
←　ハガキ*
トレー　ヨウシシュベツ
←　ハガキウラ*
トレー　ヨウシシュベツ
←　ラベル*
トレー　ヨウシシュベツ
←　OHP*
トレー　ヨウシシュベツ
←　フウトウ*
トレー　ヨウシシュベツ
←　コートシ*
注7
ヨウシメニュー
←トレー　コウタクセッテイ→
トレー　コウタクセッテイ
←　OFF*
トレー　コウタクセッテイ
←　ON *
ヨウシメニュー
←トレー　テイケイガイヨウシ→
トレー　テイケイガイヨウシ
←　OFF*
トレー　テイケイガイヨウシ
←　ON *
ヨウシメニュー
←リレーキュウシ　セッテイ　→
リレーキュウシ　セッテイ
←ホッパ　リレー　OFF*
リレーキュウシ　セッテイ
←ホッパ　リレー　ON *
注3
リレーキュウシ　セッテイ
←ホッパ1　リレー　OFF*
リレーキュウシ　セッテイ
←ホッパ1　リレー　ON *
注4
リレーキュウシ　セッテイ
←ホッパ2　リレー　OFF*
リレーキュウシ　セッテイ
←ホッパ2　リレー　ON *
注5
リレーキュウシ　セッテイ
←ホッパ3　リレー　OFF*
リレーキュウシ　セッテイ
←ホッパ3　リレー　ON *
注6
リレーキュウシ　セッテイ
←トレー　リレー　OFF*
リレーキュウシ　セッテイ
←トレー　リレー　ON *
ヨウシメニュー
←ハイシホウホウ　→
ハイシホウホウ
←　フェイスアップ*
ハイシホウホウ
←　フェイスダウン*
注3
インジイチセッテイメニュー→
インジイチセッテイメニュー
←ホッパ　ビチョウセイ→
ホッパ　ビチョウセイ
←TM　+3.9ミリ*
ホッパ　ビチョウセイ
←TM　0ミリ*
ホッパ　ビチョウセイ
←TM　−3.9ミリ*
ホッパ　ビチョウセイ
←LM　+3.9ミリ*
ホッパ　ビチョウセイ
←LM　0ミリ*
ホッパ　ビチョウセイ
←LM　−3.9ミリ*
E
F
G
H

E
F
G
H
注4
ｲﾝｼﾞ ｲﾁｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←ﾎｯﾊﾟ 1　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ→
ﾎｯﾊﾟ 1　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　+3．9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 1　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　0ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 1　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　−3．9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 1　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　+3．9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 1　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　0ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 1　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　−3．9ﾐﾘ*
注5
ｲﾝｼﾞ ｲﾁｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←ﾎｯﾊﾟ 2　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ→
ﾎｯﾊﾟ 2　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　+3．9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 2　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　0ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 2　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　−3．9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 2　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　+3．9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 2　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　0ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 2　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　−3．9ﾐﾘ*
注6
ｲﾝｼﾞ ｲﾁｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←ﾎｯﾊﾟ 3　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ→
ﾎｯﾊﾟ 3　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　+3．9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 3　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　0ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 3　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　−3．9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 3　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　+3．9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 3　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　0ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 3　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　−3．9ﾐﾘ*
ｲﾝｼﾞ ｲﾁｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←ﾄﾚｰ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ→
ﾄﾚｰ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　+3．9ﾐﾘ*
ﾄﾚｰ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　0ﾐﾘ*
ﾄﾚｰ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　−3．9ﾐﾘ*
ﾄﾚｰ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　+3．9ﾐﾘ*
ﾄﾚｰ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　0ﾐﾘ*
ﾄﾚｰ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　−3．9ﾐﾘ*
I
J
K
L

I
J
K
L
注8
ｲﾝｼﾞ ｲﾁｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←ｵﾓﾃﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ→
ｵﾓﾃﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　+3．9ﾐﾘ*
ｵﾓﾃﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　0ﾐﾘ*
ｵﾓﾃﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　−3．9ﾐﾘ*
ｵﾓﾃﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　+3．9ﾐﾘ*
ｵﾓﾃﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　0ﾐﾘ*
ｵﾓﾃﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　−3．9ﾐﾘ*
注8
ｲﾝｼﾞ ｲﾁｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←ｳﾗﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ→
ｳﾗﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　+3．9ﾐﾘ*
ｳﾗﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　0ﾐﾘ*
ｳﾗﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　−3．9ﾐﾘ*
ｳﾗﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　+3．9ﾐﾘ*
ｳﾗﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　0ﾐﾘ*
ｳﾗﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　−3．9ﾐﾘ*
注8
ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂﾒﾆｭｰ　→
ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂﾒﾆｭｰ
←ｼｮｷｾｯﾃｲ　OFF*
ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂﾒﾆｭｰ
←ｼｮｷｾｯﾃｲ　ON *
ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂﾒﾆｭｰ
←ﾄｼﾞ ｼﾛ　ﾛﾝｸﾞ 1*
ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂﾒﾆｭｰ
←ﾄｼﾞ ｼﾛ　ｼｮｰﾄ1*
ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂﾒﾆｭｰ
←ﾄｼﾞ ｼﾛ　ﾛﾝｸﾞ 2*
ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂﾒﾆｭｰ
←ﾄｼﾞ ｼﾛ　ｼｮｰﾄ2*
ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂﾒﾆｭｰ
←ﾖﾊｸ　0ﾐﾘ*
ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂﾒﾆｭｰ
←ﾖﾊｸ　20ﾐﾘ*
ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂﾒﾆｭｰ
←ｸﾘｯﾌﾟ　ON *
ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂﾒﾆｭｰ
←ｸﾘｯﾌﾟ　OFF*
ｳﾝﾖｳﾒﾆｭｰ　→
ｳﾝﾖｳﾒﾆｭｰ
←ｾﾂﾃﾞ ﾝｷﾉｳ　→
ｾﾂﾃﾞ ﾝｷﾉｳ1
←　ﾕｳｺｳ*
ｾﾂﾃﾞ ﾝｷﾉｳ1
←　ﾑｺｳ*
ｾﾂﾃﾞ ﾝｷﾉｳ1ｼﾞｶﾝ
←　5ﾌﾝ*
ｾﾂﾃﾞ ﾝｷﾉｳ1ｼﾞｶﾝ
←　10ﾌﾝ*
ｾﾂﾃﾞ ﾝｷﾉｳ1ｼﾞｶﾝ
←　30ﾌﾝ*
ｾﾂﾃﾞ ﾝｷﾉｳ1ｼﾞｶﾝ
←　60ﾌﾝ*
M
N
O
P
Q

M
N
O
P
Q
セツデンキノウ2 ← ユウコウ*
セツデンキノウ2 ← ムコウ*
セツデンキノウ2ジカン ← 5フン*
セツデンキノウ2ジカン ← 10フン*
セツデンキノウ2ジカン ← 30フン*
セツデンキノウ2ジカン ← 60フン*
ウンヨウメニュー ←ジドウ ハイシュツ →
ジドウ ハイシュツ ← ムコウ*
ジドウ ハイシュツ ← 5ビョウ*
ジドウ ハイシュツ ← 15ビョウ*
ジドウ ハイシュツ ← 30ビョウ*
フォントメニュー →
フォントメニュー ←1バイトケイ ゼロ 0*
フォントメニュー ←1バイトケイ ゼロ Ø*
フォントメニュー ←2バイトケイ ゼロ 0*
フォントメニュー ←2バイトケイ ゼロ Ø*
フォントメニュー ←ANK ヒョウジュン*
フォントメニュー ←ANK イタリック*
フォントメニュー ←ANK クーリエ*
フォントメニュー ←ANK ゴシック*
フォントメニュー ←カンジ ミンチョウ*
フォントメニュー ←カンジ ゴシック*
フォントメニュー ←モジセット JIS1978*
フォントメニュー ←モジセット JIS1983*
フォントメニュー ←モジセット JIS1990*
フォントメニュー ←クニベツ ニッポン*
フォントメニュー ←クニベツ アメリカ*
フォントメニュー ←クニベツ イギリス*
フォントメニュー ←クニベツ ドイツ*
フォントメニュー ←クニベツ スウェーデン*
NPDLセッテイメニュー →
NPDLセッテイメニュー ←A4ポートレート ケタスウ→
A4ポートレート ケタスウ ← 78ケタ*
A4ポートレート ケタスウ ← 80ケタ*
NPDLセッテイメニュー ←エミュレーション →
エミュレーション ← 201 エミュレーション*
エミュレーション ←ページプリンタモード*
NPDLセッテイメニュー ←136ケタモード セッテイ→
136ケタモード セッテイ ← ユウコウ*
136ケタモード セッテイ ← ムコウ*
注9
R
S
T

R
S
T
136ケタモード セッテイ
←ヨウシイチ ヒダリ*
136ケタモード セッテイ
←ヨウシイチ チュウオウ*
136ケタモード セッテイ
←ビチョウセイ 0*
136ケタモード セッテイ
←ビチョウセイ ヒダリ 1*
136ケタモード セッテイ
←ビチョウセイ ヒダリ15*
136ケタモード セッテイ
←ビチョウセイ 0*
136ケタモード セッテイ
←ビチョウセイ ミギ 1*
136ケタモード セッテイ
←ビチョウセイ ミギ 15*
注10
セントロセッテイメニュー →
セントロセッテイメニュー
←ドウサ ソウホウコウ →
ドウサ ソウホウコウ
← ニブル*
ドウサ ソウホウコウ
← ECP*
ドウサ ソウホウコウ
← ナシ*
LANセッテイメニュー →
LANセッテイメニュー
←ヒョウジュン セッテイ →
IPアドレス
000.000.000.000*
サブネットマスク
000.000.000.000*
注11
LANセッテイメニュー
←オプション セッテイ →
IPアドレス
000.000.000.000*
サブネットマスク
000.000.000.000*
セッテイショキカメニュー →
セッテイショキカメニュー
←ショキカ ジッコウ→
初期化実行
セッテイショキカメニュー
←LANショキカ ジッコウ→
LAN初期化実行
セッテイショキカメニュー
←ショキカオール ジッコウ→
初期化オール実行
セッテイショキカメニュー
←ヨビダシ ジッコウ→
呼び出し実行
セッテイショキカメニュー
←キオク ジッコウ→
記憶実行
メモリスイッチメニュー →
12345678
←MSW1 00000000*
12345678
←MSW2 00000001*
12345678
←MSW3 00000000*
12345678
←MSW4 00000000*
12345678
←MSW5 00000000*
12345678
←MSW6 00000000*
12345678
←MSW7 00011000*
12345678
←MSW8 00000000*
12345678
←MSW9 00000000*
12345678
←MSW10 00000000*

注1　現在の用紙サイズがA4のときのみ表示されます。

注2　装着されているホッパーのみ表示されます。ホッパーが増設されていなければホッパー1を「ホッパ」と表示します。

注3　ホッパーが1段のときのみ表示されます。

注4　ホッパーが2段以上のときのみ表示されます。

注5　ホッパー2が装着されているときのみ表示されます。

注6　ホッパー3が装着されているときのみ表示されます。

注7　普通紙/再生紙以外が選択されている場合は、排紙方向の設定に関わらずフェイスアップで排紙されます。

注8　両面印刷装置が装着されているときのみ表示されます。

注9　201エミュレーションモード時のみ表示されます。

注10　136ケタモードが有効のときのみ表示されます。

注11　オプションのLANアダプター（PR-NP-03TR2、PR-WL-01）を接続しているときのみ表示されます。この他のLANアダプターを接続しても表示されません。

メニューの詳細

1. テストメニュー

次のテスト印刷を実行します。

- ステータス印刷
- サンプル印刷
- 連続印刷（テスト印刷）
- 16進ダンプ印刷
- ネットワーク1印刷（コンフィグレーションページを印刷）
- ネットワーク2印刷（ログ印刷）

連続印刷（テスト印刷）は自動的に印刷を終了しません。[ストップ]スイッチを押したあと、[シフト]スイッチを押しながら[リセット]スイッチを2回押してください。
プリント結果については「テスト印刷のプリント結果」をご覧ください。

2. 印刷設定メニュー

1. コピー枚数
   コピー枚数は“01”から“20”まで設定できます。
   プリンターをリセットしたり、電源スイッチをOFFにしたりすると、設定はクリアされ“01”になります。アプリケーションによっては、ソフトウエアからコピー枚数を設定するものがあります。この場合、ソフトウエアで設定したコピー枚数を優先します。

2. 黒トナー節約
   黒トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。（NPDLモード用）

トナー節約機能を使用するため、「クロトナーセツヤク」をONに設定すると、トナーの使用を節約することができますが、細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。また、OCRフォントやバーコード印刷を行った場合には正常に読み取れない場合があります。本機能は試し印刷する場合などにご使用ください。

3. SET
   SET（Sharp Edge Technology）を使用するか、しないかを選択します。SETとは印刷画像のエッジ部分を滑らかにする技術です。

3. 用紙メニュー

1. ホッパ初期設定

電源投入時およびリセット時に指定されるホッパーまたはトレーを選択します。
ホッパー2、3は増設ホッパー(オプション)が取り付けられている時のみ表示されます。

- ホッパー1
- ホッパー2
- ホッパー3
- トレー

2. ホッパ1用紙種別

ホッパー1で使用する用紙の種類を設定します。
「普通紙」か「再生紙」を選択できます。

3. ホッパ2用紙種別

ホッパー2で使用する用紙の種類を設定します。
「普通紙」か「再生紙」を選択できます。

4. ホッパ3用紙種別

ホッパー3で使用する用紙の種類を設定します。
「普通紙」か「再生紙」を選択できます。

5. トレー用紙種別

トレーで使用する用紙の種類を設定します。

- 普通紙
- 再生紙
- 厚紙
- 厚紙(裏)
- はがき
- はがき(裏)
- ラベル
- OHP
- 封筒
- コート紙

6. 光沢設定

トレーに設定した用紙に対して光沢モードを設定します。ただし、光沢モードが有効になるのは「厚紙」、「ハガキ」、「コート紙」だけです。

7. トレー定形外用紙

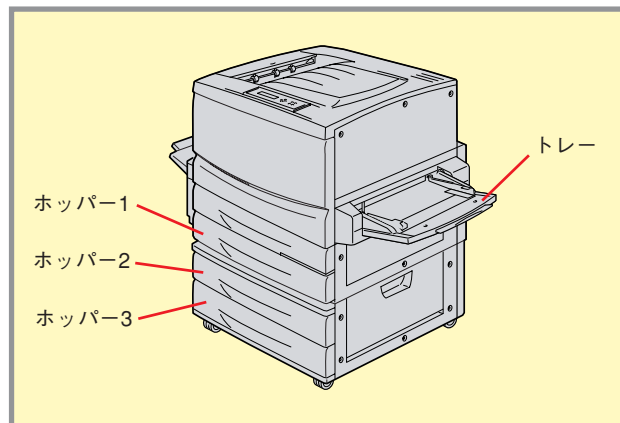
トレーでの定形外用紙の使用を有効、または無効にします。添付されているWindowsドライバーを利用して印刷する場合は、設定する必要はありません。

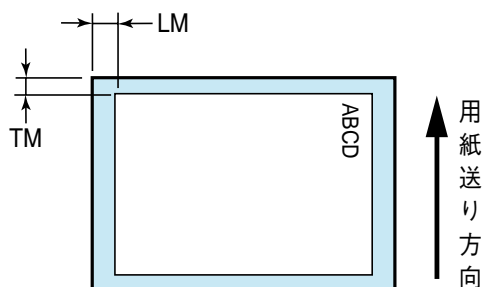
8. リレー給紙設定

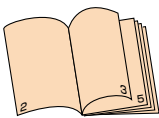
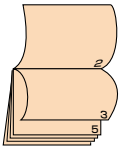
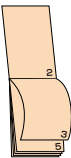
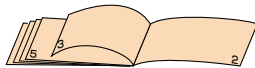
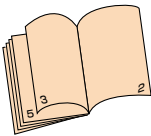
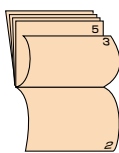
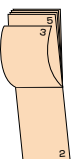
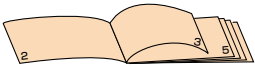
リレー給紙機能を使用するかどうかを選択します。
指定している給紙先に用紙がなくなった場合に、他のホッパーかトレーに同じサイズ(「A4」など)の用紙があれば、自動的に給紙先を切り替えて印刷を行う機能です。
リレー給紙が有効となるのは以下の条件をすべて満たしている場合です。

- 指定しているホッパーやトレーがリレー給紙機能を使用する設定になっている。
- 2つ以上のホッパーやトレーがリレー給紙機能を使用する設定になっている。
- リレー給紙機能を使用するホッパーやトレーの内、2つ以上に同じサイズの用紙をセットしている。

9. 排紙方法設定

印刷面を下にして排紙(フェイスダウン)するか、印刷面を上にして排紙(フェイスアップ)するかを設定します。フェイスダウンにした場合、用紙はスタッカーに、フェイスアップにした場合、用紙はフェイスアップトレイに排紙されます。

4. 印字位置設定メニュー

ホッパー、トレー、両面印刷時の表面、裏面の印刷位置を調整します。
メニューモードの「テスト印刷」で出力した「ステータス印刷」の結果を使い、外周の四角い罫線のトップマージン（TM）とレフトマージン（LM）を測定して調整します。
調整できる範囲は、「-3.9ミリ」〜「+3.9ミリ」で、0.3ミリ単位で設定できます。
設定変更スイッチを押すと、0.3ミリずつ減り、「-3.9ミリ」を越えると「+3.9ミリ」になります。

この設定は、プリンターやオプションの状態、使用する用紙の種類によって発生する印刷位置の誤差を補正するための機能です。この調整が正しく行われないとアプリケーションで余白の値が正確に指定できなくなったり、用紙端に近い部分の印刷が正常に行われなくなったりします。
この機能は、用紙送り方向に対する位置を調整するもので、用紙の向きや印刷方向を設定するものではありません。
また、用紙送り方向に対し、印刷領域が用紙をはみ出して設定するような設定はできません。用紙をはみ出すような設定をした場合は、用紙端に印刷領域が入るところまでしか移動しません。

5. 両面印刷メニュー

このメニューは両面印刷に関する設定を行うもので、オプションの両面印刷ユニットが装着されているときのみ表示されます。NPDLを使用したモノクロ印刷のみで有効です。添付されているWindowsドライバーを利用して印刷する場合はWindowsドライバーの設定が有効になります。

1. 初期設定

電源投入時およびリセット時の印刷モードを両面印刷にするかしないかを選択します。

2. 綴じ代

綴じ代を付加する位置を設定します。

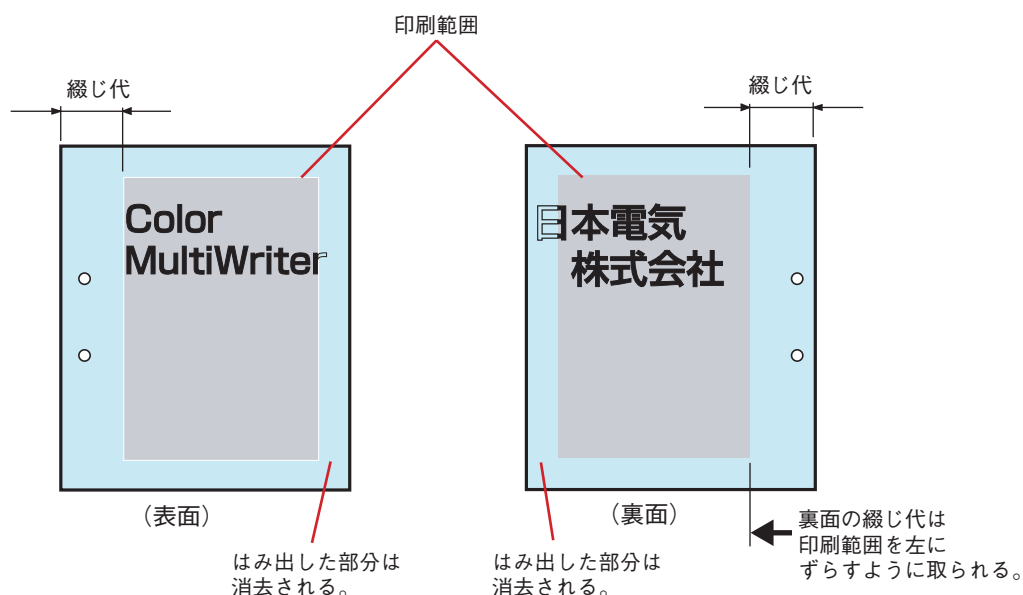
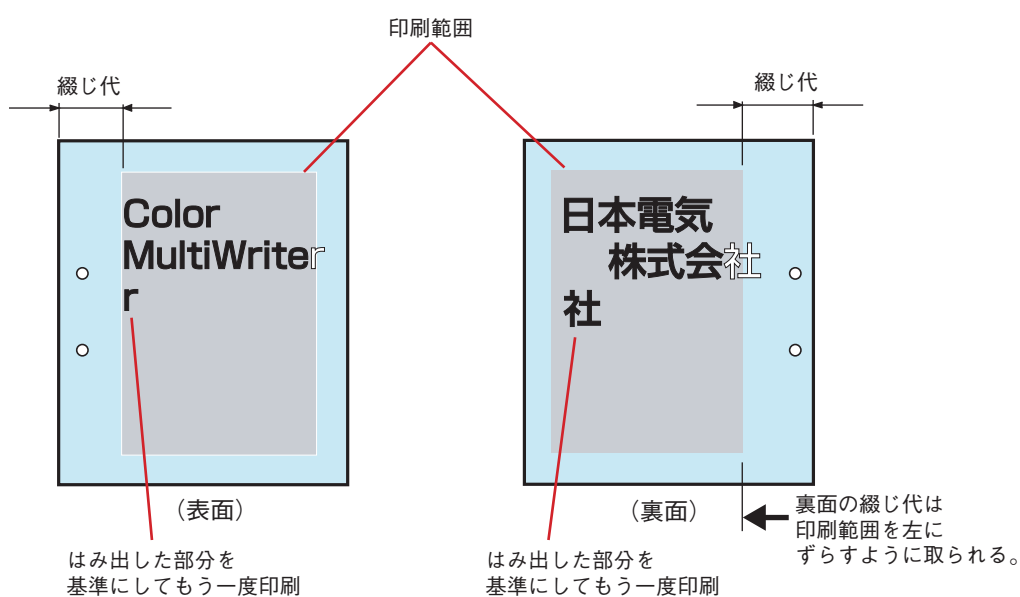
綴じ代	印刷方向	
	ポートレート	ランドスケープ
ロング1	左綴じ	上綴じ
ショート1	上綴じ	右綴じ
ロング2	右綴じ	下綴じ
ショート2	下綴じ	左綴じ

3. 余白

綴じ代を付加する量を設定します。設定範囲は0～20mmで、1mm単位で設定できます。

4. クリップ

余白(とじしろ)を多く取りすぎると印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。この場合、印刷範囲からはみ出したデータを次の行、または次のページに印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま残りのページを印刷するかを選択します。本機能は両面印刷時のみ有効です。「クリップ」をOFF にすると、はみ出した印刷データを次のページに引き続いて印刷します。それ以降の印刷データは1 ページずつずれることになります。(アプリケーションによってははみ出したデータを消去するものもあります)。「クリップ」をON にすると、はみ出した印刷データを消去して印刷を続けます。

● クリップON

● クリップOFF

6. 運用メニュー

1. 節電機能

節電機能を使用するかしないか、節電機能に入るまでの時間を選択します。

プリンターの電源をONにしたまま一定時間、印刷を行わないとき、自動的に消費電力を30W以下の状態に節約できる機能です。節電機能を使用しているときは、プリンターは印刷を開始する前にウォームアップを行うことがあります。この場合、通常より印刷が始まるまでに時間がかかることがあります。
本プリンターでは、節電機能1と節電機能2の2つのモードがあります。節電機能2が有効になった場合に上記のようになります。節電機能1は節電機能2と比較するとウォームアップに必要な時間が短くてすみますが、消費電力は大きくなります。

2. 自動排紙

自動排紙の有効／無効、および設定時間を選択します。
データを送り終わったのに印刷を開始しない状態が多く発生するソフトウエアを使用している場合は、このメニューで設定時間を選択することをお勧めします。

7. フォントメニュー

フォントに関する設定は、プリンターが持っている文字に対してのみ有効です。詳細については「文字の種類」をご覧ください。NPDLを使用したモノクロ印刷のみで有効です。添付されているWindowsドライバーを利用して印刷する場合、本設定は印刷結果に反映されません。

1. 1バイト系ゼロ

1バイトコード系の数字ゼロの字体（0または0̸）を選択します。
メモリースイッチ2-1でも選択できます。

2. 2バイト系ゼロ

2バイトコード系の数字ゼロの字体（0または0̸）を選択します。

3. ANK

ANK文字（アルファベット、数字、カタカナ）のフォントを選択します。

- 標準
- イタリック
- クーリエ
- ゴシック

4. 漢字

標準フォント（2バイト系文字）の書体を明朝体/ゴシック体から選択します。

5. 文字セット

2バイト系の文字セットを選択します。

- JIS1978
- JIS1983
- JIS1990

6. 国別

各国文字セットを選択します。
メモリースイッチ1-1～1-3でも選択できます。

- 日本
- アメリカ
- イギリス
- ドイツ
- スウェーデン

8. NPDL設定メニュー

1. A4ポートレート桁数

用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数をパイカ文字で78桁にするか80桁にするかを設定します。
メモリースイッチ2-7でも選択できます。

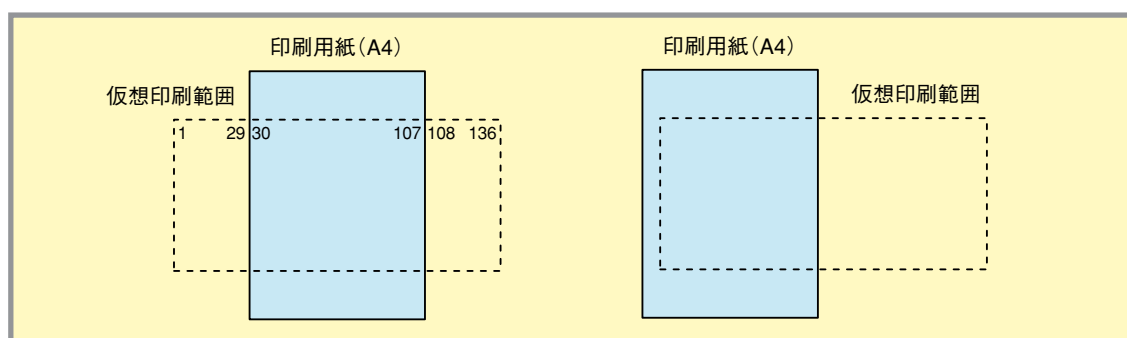
2. エミュレーション

ページプリンタモードか201PLエミュレーションモードかを選択します。
メモリースイッチ2-2でも選択できます。

3. 136桁モード設定

- 136桁モード
  136桁モードの有効・無効を選択します。
  メモリースイッチ3-7でも選択できます。
- 用紙位置
  136桁モードが有効のとき、用紙位置を中央合わせにするか、左合わせにするかを選択します。メモリースイッチ3-6でも選択できます。

  ◇ 用紙位置中央合わせでは、A4サイズの用紙を使用した場合、136桁の仮想印刷範囲の30桁目から107桁目までが印刷されます。

  ◇ 用紙位置左端合わせでは、136桁の仮想印刷範囲と印刷用紙の左端を合わせます。また、用紙位置調整によって、下の図のように仮想印刷範囲を超えて用紙位置を設定することもできます。

- 微調整
  136桁モードが有効のとき、用紙位置微調整の方向と量を1/10インチ単位で選択します。
  メモリースイッチ3-1～3-5の組み合わせで選択することもできます。

9. セントロ設定メニュー

セントロニクスインターフェースの通信モードを設定します。本メニューでの通信モード名とパソコン側で一般的に呼ばれているモード名は以下のように対応しています。コンピューターの設定と異なる場合、正しく印刷できない場合があります。

通信モード名	パソコン側での呼び方	
	PC98-NX（パラレルモード）	IBM PC/AT 100%互換機
ECP	ECP	Extended Capabilities Port (ECP) Mode
ニブル	双方向	Standard and Bidirectional Mode
なし（コンパチブル）	出力のみ	

通信モードを変更した場合には、電源を入れ直してください。電源再投入時に有効となります。

10. LAN設定メニュー

IPアドレス、サブネットマスクの設定ができます。
「オプション　セッテイ」は、オプションのLANアダプター（PR-NP-03TR2、PR-WL-01）を装着時のみ設定できます。

11. 設定初期化メニュー

この機能を利用するとメニューモード内の設定（コピー枚数を除く）および操作パネルで設定したトレー用紙サイズをまとめて記憶させ、必要なときに呼び出すことができます。下記項目は実行後ただちにメニューモードを終了します。

- 初期化実行
- LAN初期化実行
- 初期化オール実行
- 呼び出し実行
- 記憶実行

設定初期化を実行すると、プリンターは初期設定に戻ります。設定呼び出しを実行すると、プリンター内部の不揮発メモリーで記憶されている内容を呼び出します（初期設定に戻すこともできます）。

設定記憶を実行すると、メニューモード内の各種機能設定と[トレー]スイッチで設定した用紙サイズをまとめて記憶します。一度記憶された内容は次に設定記憶を実行するまで変化しません。

「LAN設定」メニューで設定されたIPアドレス、サブネットマスクはLANアダプターへ記憶されますので設定初期化実行しても設定された内容は初期化されません。IPアドレス、サブネットマスクを初期化する場合には、LAN初期化実行を行ってください。初期化オール実行を行うと初期化実行とLAN初期化実行を同時に行います。また、IPアドレス、サブネットマスクの情報は、記憶実行では記憶されません。

設定を記憶できるメニューモードの項目と初期設定は次のとおりです。

メニューモードの項目と初期設定(1/2)

設定記憶/呼び出し可能な項目	初期設定
印刷設定メニュー	
黒トナー節約	無効
SET	ON
用紙メニュー	
ホッパーの初期設定	ホッパ1
ホッパー1の用紙種別	普通紙
ホッパー2の用紙種別	普通紙
ホッパー3の用紙種別	普通紙
トレーの用紙種別	普通紙
光沢設定	OFF
トレーの定形外用紙設定	OFF
リレー給紙設定	無効
排出方向	フェイスダウン
印字位置設定メニュー	
ホッパー1微調整	0（TM、LM）
ホッパー2微調整	0（TM、LM）
ホッパー3微調整	0（TM、LM）
トレー微調整	0（TM、LM）
両面印刷時の表ページの微調整	0（TM、LM）
両面印刷時の裏ページの微調整	0（TM、LM）
両面印刷メニュー	
両面印刷の初期設定	無効
綴じ代	ロング1
余白	0mm
クリップ	ON
運用メニュー	
節電機能1	有効
節電機能1時間	10分
節電機能2	有効
節電機能2時間	30分
自動排出	無効
フォントメニュー	
1バイト系ゼロの書体	0
2バイト系ゼロの書体	0
ANKフォントの切り換え	標準
漢字フォントの切り換え	明朝
文字セットの切り換え	JIS1978
国別文字の切り替え	日本

メニューモードの項目と初期設定（2/2）

設定記憶/呼び出し可能な項目	初期設定
NPDL設定メニュー	
A4ポートレート桁数	78桁
ディフォルトエミュレーション	201エミュレーションモード
136桁モード設定	136桁モード：無効 用紙位置：　左 微調整：　0
セントロ設定ニュー	
動作双方向	ニブル
メモリースイッチメニュー	
次ページの一覧表を参照してください。	

12. メモリースイッチメニュー

メニューモードの中で比較的変更頻度の低いものがここにまとめられています。メモリースイッチは1（ON）か0（OFF）を選択することによって、以下の表に示されている項目を設定することができます。メモリースイッチは1-1から10-8まであります（未使用のスイッチもあります）。

メモリースイッチで設定できる機能の中には、メニューモードで設定できるものもあります。このような場合は、どちらか一方で設定を変更すれば、もう一方の設定も連動して自動的に変更されます。以下の表で＜赤文字＞は工場出荷時の設定を示しています。詳細については、「メモリースイッチの内容」をご覧ください。

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容（1/2）

番号	機　能	0（OFF）	1（ON）	メニューモードとの重複
1-1	各国文字の切り替え	3つのスイッチの1／0の組み合わせにより、5か国語の文字を切り替えます。 ＜すべて0（日本語）＞		○
1-2				
1-3				
1-4	（未使用）			－
1-5	DC1、DC3の有効／無効の切り替え	＜有効＞	無効	－
1-6	自動復帰改行の切り替え	＜復帰改行＞	復帰のみ	－
1-7	印刷指令の切り替え	＜CRのみ＞	CR＋その他	－
1-8	CR機能の切り替え	＜復帰のみ＞	復帰改行	－
2-1	1バイトコード系のゼロの字形の切り替え	＜0＞	Ø	○
2-2	エミュレーションモードの切り替え	＜201PLエミュレーション＞	ページプリンタ（NPDL）	○
2-3	グラフィックモードの切り替え	＜ネイティブモード＞	コピーモード	－
2-6	7ビット／8ビットデータの切り替え	＜8ビット＞	7ビット	－
2-7	A4ポートレート印刷桁数の切り替え	＜78桁＞	80桁	○
2-8	B4→A4縮小時の縮小率の切り替え	＜4/5倍＞	2/3倍	－
3-1	レフトマージン量の設定 または用紙位置微調整量の設定 （136桁モード）	4つのスイッチの1／0の組み合わせにより、0インチから15/10インチまでの範囲で設定します。（1/10インチ単位） ＜すべて0（0インチ）＞		○
3-2				
3-3				
3-4				
3-5	用紙位置微調整方向の設定（136桁モード）	＜左＞	右	○
3-6	用紙位置の設定（136桁モード）	＜左端合わせ＞	中央合わせ	○
3-7	136桁モードの有効／無効の切り替え	＜無効＞	有効	○
3-8	ブザー機能の有効／無効の切り替え	有効	＜無効＞	－

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容(2/2)

番号	機　能	0（OFF）	1（ON）	メニューモードとの重複
4-1 ～4-2	（未使用）			－
4-3	ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え	＜初期化する＞	初期化しない	－
4-4	FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え	＜出力する＞	出力しない	－
4-5	ランドスケープ方向の切り替え	＜反時計回り＞	時計回り	－
4-6 ～4-8	（未使用）			－
5-1	同期コード	＜無効＞	有効	－
5-2 ～5-8	（未使用）			－
6-1	SETを使用する／しないの切り替え	＜使用する＞	使用しない	－
6-2	FBオーバー時の動作	＜エラー表示して停止＞	解像度を落として印刷	－
6-3 ～6-6	（未使用）			－
6-7	節電機能1、2を使用する／しないの切り替え	＜使用する＞	使用しない	○
6-8	（未使用）			－
7-1	（未使用）			－
7-2	データストローブのデータラッチタイミング（セントロニクスインターフェース）	＜前縁ラッチ＞	後縁ラッチ	－
7-3	（未使用）			－
7-4	ホッパー2 に装着した増設ホッパーの種類*	増設ホッパ250	＜増設ホッパ500＞	－
7-5	ホッパー3に装着した増設ホッパーの種類*	増設ホッパ250	＜増設ホッパ500＞	－
7-6	（未使用）			－
7-7	FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを表示する／しないの切り替え	＜表示する＞	表示しない	－
7-8	FS fコマンドでの自動縮小をする／しないの切り替え	＜自動縮小する＞	自動縮小しない	－
8-1 ～8-4	（未使用）			－
8-5 8-6	ビジィアクノリッジ（BUSY―ACK）のタイミング（セントロニクスインターフェース）	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、BUSY―ACKのタイミングを切り替えます。 ＜タイミングA（8-5：0、8-6：0）＞		－
8-7 8-8	アクノリッジ（ACK）の幅の切り替え（セントロニクスインターフェース）	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、ACKの幅を切り替えます。 ＜1μs（8-7：0、8-8：0）＞		－
9-1	（未使用）			－
9-2	同期コードの無効／有効の切り替え（セントロニクスインターフェース）	＜無効＞	有効	
9-3 ～9-8	（未使用）			－
10-1 ～10-8	（未使用）			－

* 本装置で増設可能なホッパーは、「増設ホッパ（500）」のみです。本設定は必ず「1（ON）」を選択してください。

メモリースイッチの内容

1-1～1-3　各国文字の切り替え

3つのメモリースイッチの組み合わせにより各国文字を切り替えます。

国別文字セット	1-1	1-2	1-3
＜日本＞	＜0＞	＜0＞	＜0＞
アメリカ	0	1	0
イギリス	1	1	0
ドイツ	0	0	1
スウェーデン	1	0	1

- 表中の＜赤文字＞は工場設定を表します。
- 表以外の組み合わせは、すべてスウェーデン文字となります。国別の文字については「国別相違点」をご覧ください。

1-5　DC1、DC3の有効／無効の切り替え

DC1およびDC3を有効にするか、無効にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。

1-6　自動復帰改行の切り替え

バッファフル印刷を行うとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。

1-7　印刷指令の切り替え

印刷指令をCRのみ有効にするか、CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC bを有効にするかを切り替えます。

1-8　CR機能の切り替え

印刷指令コードCRを受信したとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。

2-1　1バイトコード系の数字ゼロの字体の切り替え

1バイト（8ビット）コード系の数字ゼロを「0」と印刷するか、「Ø」と印刷するかを切り替えます。

2-2　エミュレーションモードの切り替え

エミュレーションモードを201PLエミュレーションにするか、ページプリンター（NPDL）にするかを切り替えます。

2-3　グラフィックモードの切り替え

横ドット数をネイティブモードにするか、コピーモードにするかを切り替えます。コピーモードにすると、横ドット数がネイティブモードのときの1/2になります。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。

2-6　7ビット／8ビットデータの切り替え

インタフェースのデータが7ビット有効か、8ビット有効かを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。
ページプリンター（メモリースイッチ2-2=1）時は8ビット有効に固定されます。

2-7　A4ポートレート印刷桁数の切り替え

用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数をパイカ文字で78桁にするか80桁にするかを設定します。

2-8　B4→A4縮小の縮小率の切り替え

操作パネルの縮小スイッチまたは制御コード（FS f）を使ってB4→A4縮小モードを指定したときに、縮小率を2/3にするか、4/5にするかを切り替えます。

3-1～3-4　レフトマージン量の設定

印刷開始位置の調整を行います。
エミュレーションモードがページプリンター（メモリースイッチ2-2=1）の時には、レフトマージン量の設定になります。
レフトマージン量とは用紙の最左端印刷位置から第一印刷位置までの距離です。
レフトマージン量は4つのメモリースイッチの組み合わせにより16通りに設定できます。組み合わせについては次の表をご覧ください。

エミュレーションモードが201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）で136桁モード（メモリースイッチ3-7=1）の時には、用紙位置の調整量の設定になります。印刷位置がずれた場合の用紙位置調整に使用します。
用紙位置調整量は4つのメモリースイッチの組み合わせにより16通りに設定できます。組み合わせについては次ページの表をご覧ください。

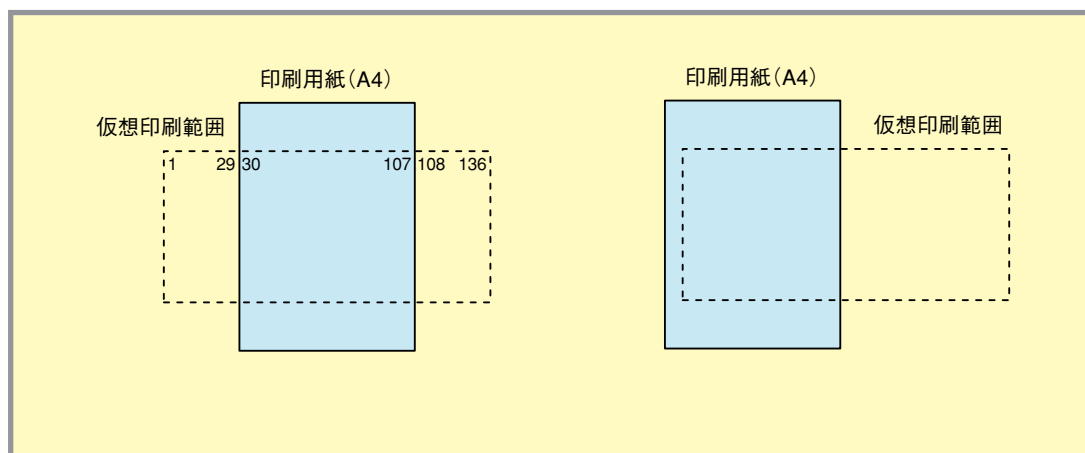
レフトマージン量/用紙位置微調整量	3-1	3-2	3-3	3-4
＜0インチ＞	＜0＞	＜0＞	＜0＞	＜0＞
1/10インチ	1	0	0	0
2/10インチ	0	1	0	0
3/10インチ	1	1	0	0
4/10インチ	0	0	1	0
5/10インチ	1	0	1	0
6/10インチ	0	1	1	0
7/10インチ	1	1	1	0
8/10インチ	0	0	0	1
9/10インチ	1	0	0	1
1インチ	0	1	0	1
11/10インチ	1	1	0	1
12/10インチ	0	0	1	1
13/10インチ	1	0	1	1
14/10インチ	0	1	1	1
15/10インチ	1	1	1	1

＜赤文字＞は工場設定を示します。

3-5　用紙位置微調整方向の設定(136桁モード)

136桁モードで用紙位置調整を右方向にするか、左方向にするかを切り替えます。
136桁モード(メモリースイッチ3-7=1)で、201PLエミュレーション(メモリースイッチ2-2=0)時に有効です。

3-6　用紙位置の設定(136桁モード)

136桁モードで用紙位置を中央合わせにするか、左端合わせにするかを切り替えます。
136桁モード(メモリースイッチ3-7=1)時に有効で、201PLエミュレーション(メモリースイッチ2-2=0)時に有効です。

3-7　136桁モードの有効／無効の切り替え

136桁モードを有効にするか、無効にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション(メモリースイッチ2-2=0)時に有効です。

3-8　ブザー機能の有効／無効の切り替え

ブザーを鳴らすか、鳴らさないかを切り替えます。

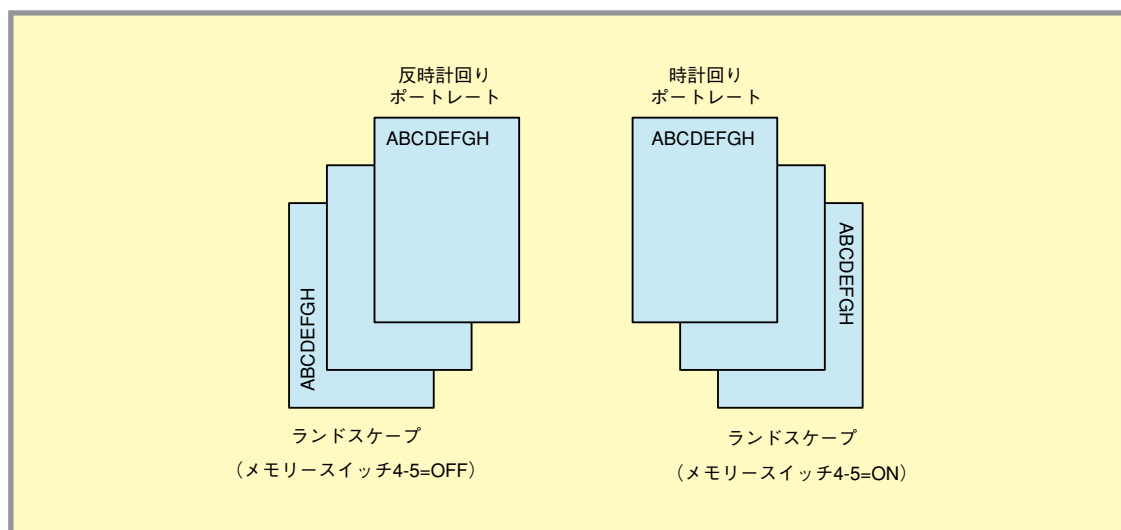
4-3　ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え

制御コードESC c1での登録データの初期化をするか、しないかを切り替えます。
ESC c1で初期化をしない(メモリースイッチ4-3=1)ときは、ESC c8と同じ機能になります。

4-4　FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え

FFコードのみで白紙を出力するか、しないかを切り替えます。
白紙を出力しない(メモリースイッチ4-4=1)ときは、ESC a、ESC bと同じ機能になります。

4-5　ランドスケープ方向の切り替え

ランドスケープ印刷とポートレート印刷を行ったときのスタッカー上での積み重なり方を切り替えます。

5-1　同期コードの有効／無効の切り替え

同期コードを有効とするか無効とするかを切り替えます。

本メモリースイッチを変更した場合は、プリンターの電源の再投入を行ってください。

本メモリースイッチが0（同期コード無効）の場合でもメモリースイッチ9-2が1（セントロニクスインターフェースに対する同期コード有効）であれば、メモリースイッチ9-2の機能が有効になります。

6-1　SETを使用する／しないの切り替え

SETを使用するか、しないかを切り替えます。

6-2　メモリーオーバー時の動作指定

メモリーオーバーが起きた場合の動作を指定します。

0（OFF）にすると、メモリーオーバーが起きたときアラームを表示して印刷を停止します。[印刷可]スイッチを押せば解像度を落として印刷を再開することができます。
1（ON）にすると、アラームを表示せずに解像度を落として印刷が継続されます。

本設定は、NPDLコマンドのみに有効です。添付のWindowsドライバーから印刷する場合には、解像度を下げて印刷することはできません。

6-7　節電機能1、2を使用する／しないの切り替え

節電機能1、2を使用するか、しないかを切り替えます。

7-2　データストローブ信号のデータラッチタイミング

セントロニクスインターフェースポートのデータストローブ信号のデータラッチタイミングを前縁か後縁にするかを切り替えます。

7-2を前縁ラッチに指定した場合は、高速にデータを受信することができます。ただし、接続するコンピューターによっては、うまく受信できない場合があります。その場合には、後縁ラッチに切り替えて使用してください。

7-4　ホッパー2に装着した増設ホッパーの種類

増設ホッパ(250)、または増設ホッパ(500)のどちらがホッパー2に装着されているかを設定します。本装置では、必ず「増設ホッパ(500)」を選択してください。

7-5　ホッパー3に装着した増設ホッパーの種類

増設ホッパ(250)、または増設ホッパ(500)のどちらがホッパー3に装着されているかを設定します。本装置では、必ず「増設ホッパ(500)」を選択してください。

7-7　FS fコマンドでの指定サイズなしを表示する／しないの切り替え

FS fコマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、用紙補給表示をするか、表示しないでコマンドを無効にするかを設定します。

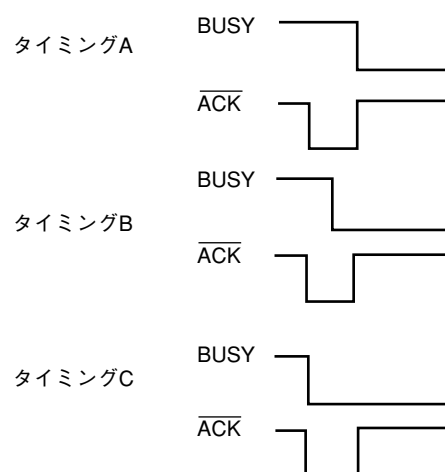
7-8　FS fコマンドでの自動縮小をする／しないの切り替え

FS fコマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、縮小印刷が可能ならば自動縮小をするか、しないかを切り替えます。

8-5、8-6　ビジィアクノリッジ(BUSY－ACK)のタイミング

2つのメモリースイッチの組み合わせにより、セントロニクスインターフェースのBUSY—ACKのタイミングを切り替えます。

ACKのタイミング	8-5	8-6
＜タイミングA＞	＜OFF＞	＜OFF＞
タイミングB	ON	OFF
タイミングC	OFF	ON
タイミングA	ON	ON

＜赤文字＞は工場設定を示します。

8-7、8-8 アクノリッジ(ACK)の幅の切り替え

2つのメモリースイッチの組み合わせにより、セントロニクスインターフェースのACKの幅を切り替えます。

ACKの幅	8-7	8-8
4μs	ON	OFF
＜1μs＞	＜OFF＞	＜OFF＞
2μs	OFF	ON
10μs	ON	ON

＜赤文字＞は工場設定を示します。

ACKの幅を短く設定すると、高速にデータを受信することができます。ただし、接続されたコンピューターによっては、うまく受信できない場合があります。その場合は、ACKの幅を長くして使用してください。

9-2 同期コードの無効/有効の切り替え

セントロニクスインターフェースの同期コードを無効とするか有効とするかを切り替えます。

本スイッチを変更した場合は、プリンターの電源の再投入を行ってください。

本メモリースイッチは、メモリースイッチ5-1が0(同期コード無効)の場合でも有効となります。

2 プリンタードライバー

プリンタードライバーはColor MultiWriter 9250Cで印刷を行うためのソフトウエアです。この章では一般的な印刷の手順と印刷の詳細を設定するためのプロパティダイアログボックスの概要を各OSに分けて説明します。

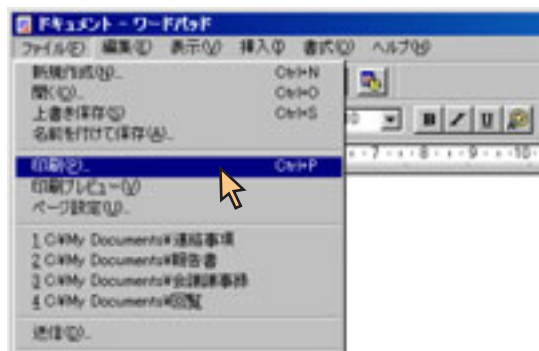
印刷の手順

ここでは、一般的な印刷手順を説明します。お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる場合があります。詳細はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

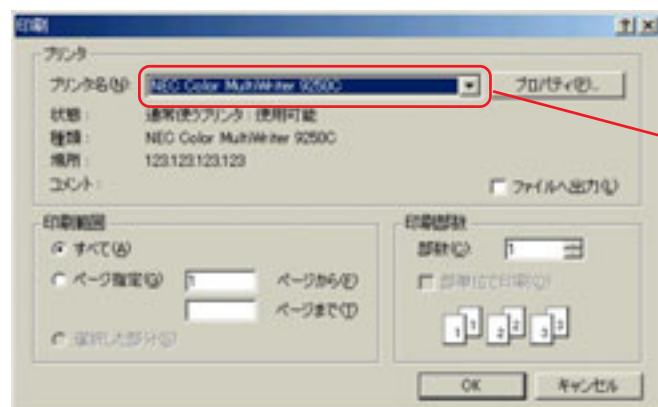
ここでは、Windows Me/98/95に添付されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって説明します（Windows XP/2000、Windows NT 4.0の場合は、多少画面の表示が異なります）。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

印刷をする

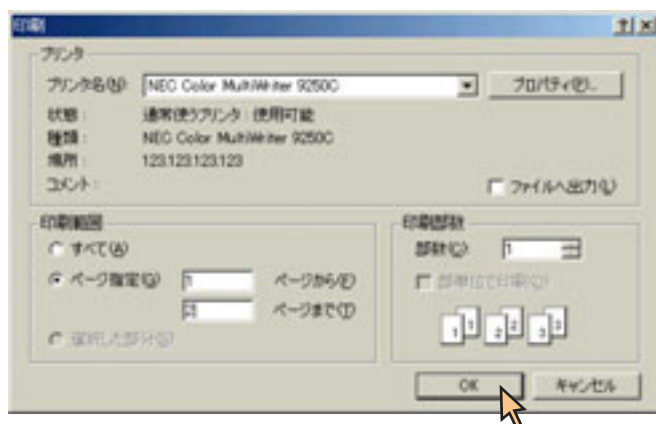
1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスが開きます。

2. 使用する[プリンタ名：]として[NEC Color MultiWriter 9250C]が選択されていることを確認する。

もし選択されていなければ選択し直します。

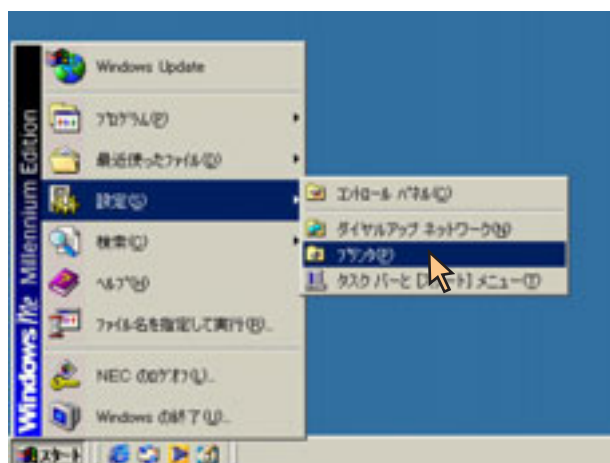
選択方法については「[通常使うプリンタ]として設定する」を参照してください。

3. **印刷範囲、部数を指定し、[OK]をクリックする。**

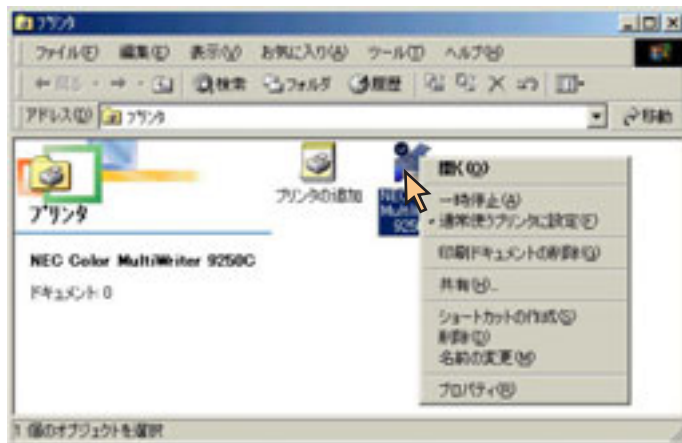
印刷が開始されます。用紙サイズなど、さらに詳しい設定をしたい場合は[プロパティ]をクリックし、設定変更してから[OK]をクリックします。

設定方法の詳細については「プロパティダイアログボックス」を参照してください。

[通常使うプリンタ]として設定する

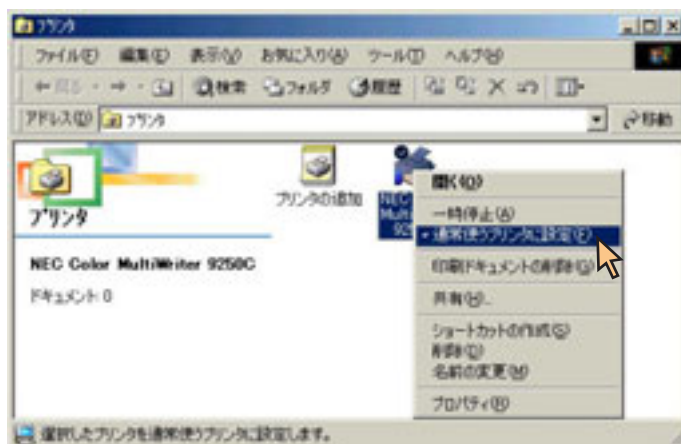
印刷をするために、あらかじめColor MultiWriter 9250Cを「通常使うプリンタ」として選択しておく方法を説明します。

1. **[プリンタ]フォルダー(Windows XPの場合は[プリンタとFAX])を開く。**

[NEC Color MultiWriter 9250C]アイコンが[プリンタ]フォルダー内に表示されます。(表示されない場合はプリンタードライバーがインストールされていません。ユーザーズマニュアルをご覧になり、プリンタードライバーをインストールしてください。)

2. ［NEC Color MultiWriter 9250C］アイコンを右クリックする。

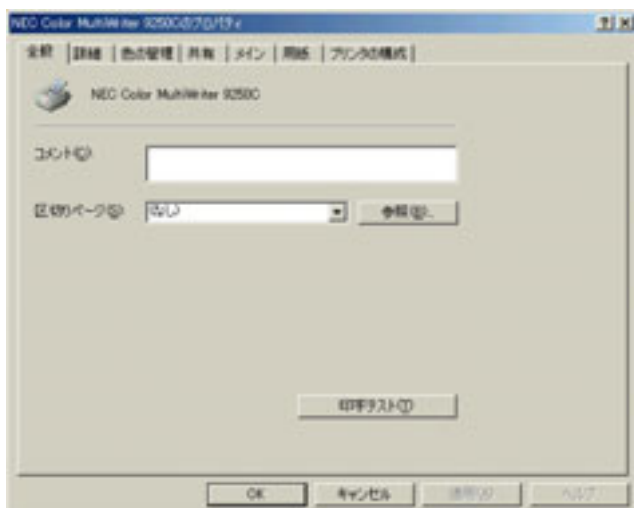
メニューが表示されます。

3. メニューの［通常使うプリンタに設定］をクリックする。

すでに設定されている場合はチェックマークが表示されています。

またWindows XPにおいて、すでに設定されている場合はメニューに「通常使うプリンタに設定」という項目は表示されません。

プロパティダイアログボックス

Color MultiWriter 9250Cでは[プロパティダイアログボックス]と呼ばれる画面を使って印刷の詳細な設定を行います。ここではプロパティダイアログボックスの開き方とダイアログボックスの設定の概要を各OSに分けて説明します。

Windows Me/98/95の場合

Windows Me/98/95では、印刷の詳細設定はプロパティダイアログボックスで行います。このプロパティダイアログボックスは次のようなプロパティシートで構成されています。

- [全般]シート*1
- [詳細]シート
- [色の管理]シート*2
- [共有]シート*3
- [メイン]シート
- [用紙]シート
- [プリンタの構成]シート

＊1 お使いのシステムによっては[情報]シートと表示されることがあります。
＊2 Windows Me/98のみ表示されます。
＊3 システムによっては表示されないことがあります。

プロパティダイアログボックスを開く

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから開く方法
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また、用紙の設定の項目などが表示できないことがあります。

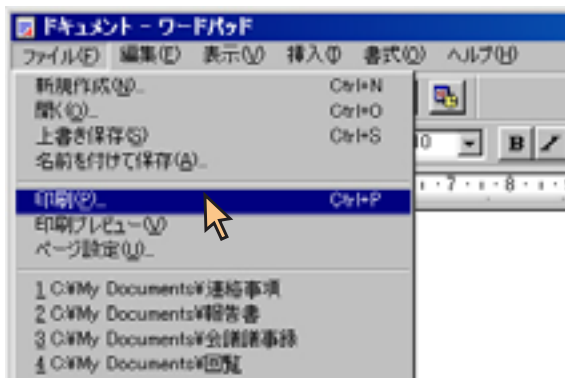
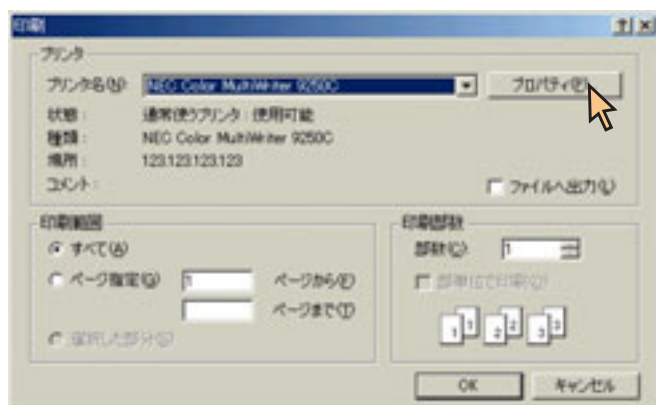
- デスクトップ上の[スタート]ボタンから開く方法
  ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

アプリケーションから開く

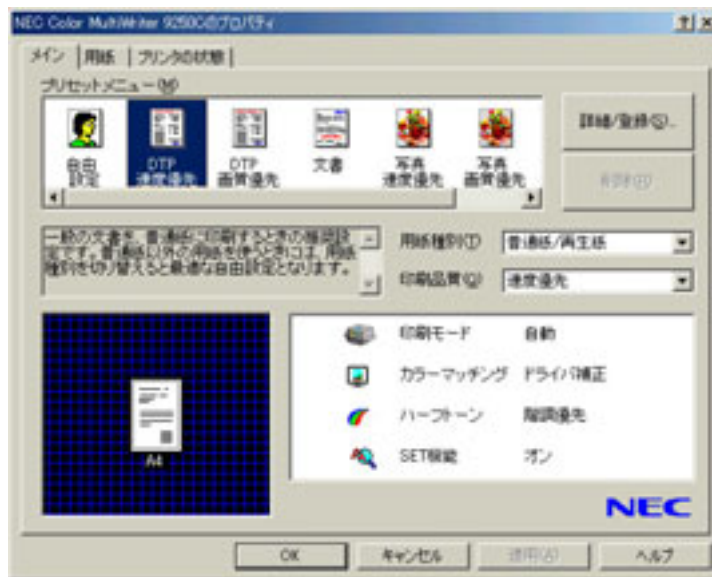
アプリケーションからプロパティダイアログボックスを開く場合、[ファイル]メニューの[印刷]コマンドか[プリンタの設定]コマンドを使います。(このコマンドはほとんどの場合[ファイル]メニューの中にありますが、メニューの構成はアプリケーションによって違います。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。)

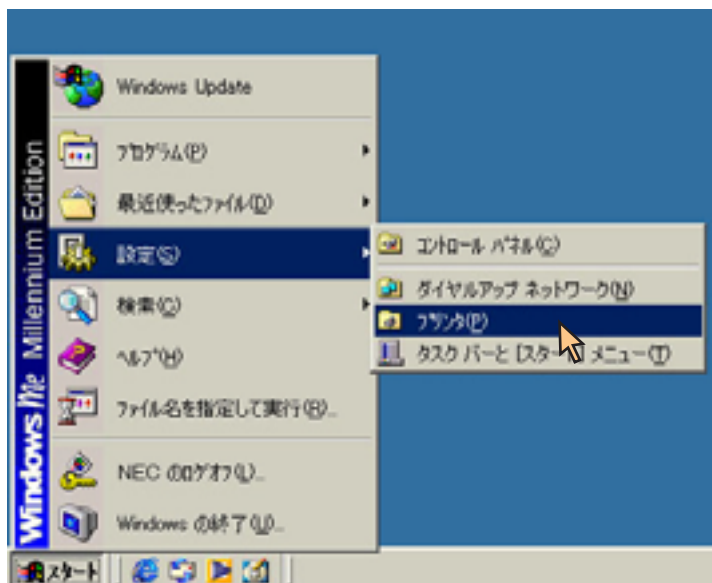
ここではWindows Me/98/95に添付されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

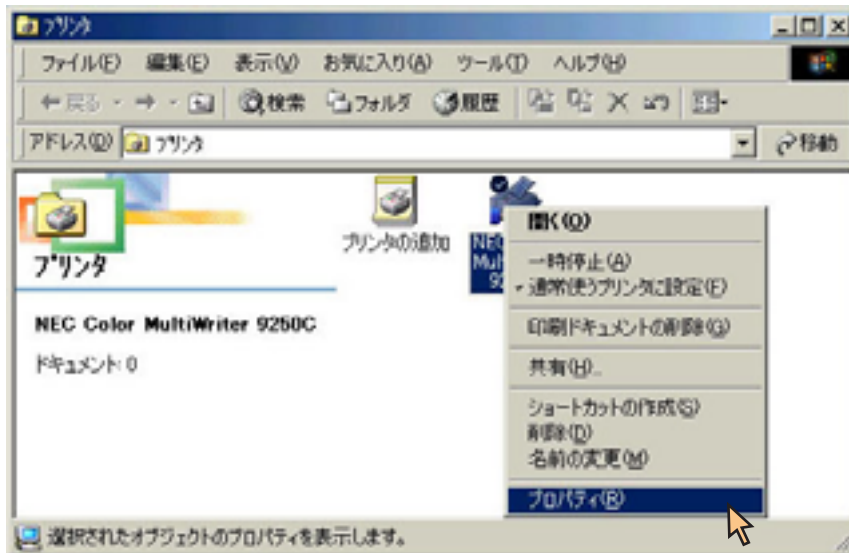
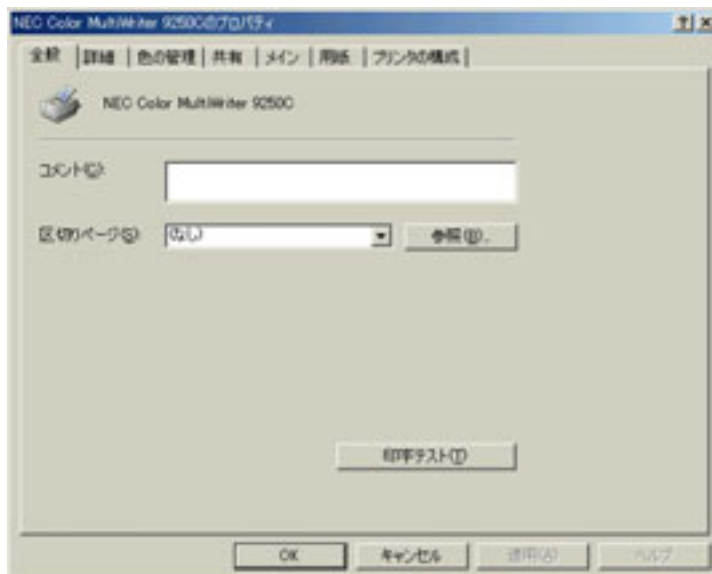
[印刷]ダイアログボックスが開きます。

2. [プロパティ]をクリックする。

下のようなプロパティダイアログボックスが表示されます。

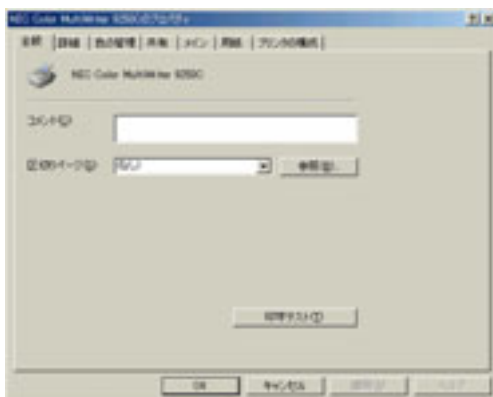
各プロパティシートについては「設定の概要」を参照してください。

[スタート]ボタンから開く

1. [スタート]ボタンから[設定]ー[プリンタ]を選択し、[プリンタ]フォルダーを開く。

2. ［NEC Color MultiWriter 9250C］アイコンを右クリックする。

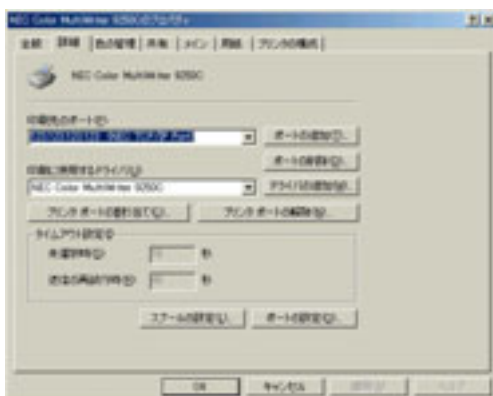
プリンターのアイコンが選択され、メニューが表示されます。

3. メニューの［プロパティ］をクリックする。

下のようなプロパティダイアログボックスが表示されます。

設定の概要

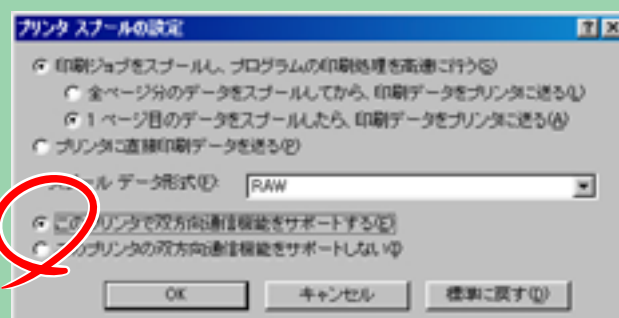
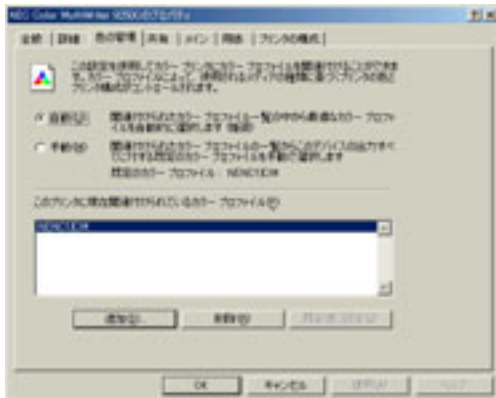
プロパティダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることによりヘルプを表示することができます。

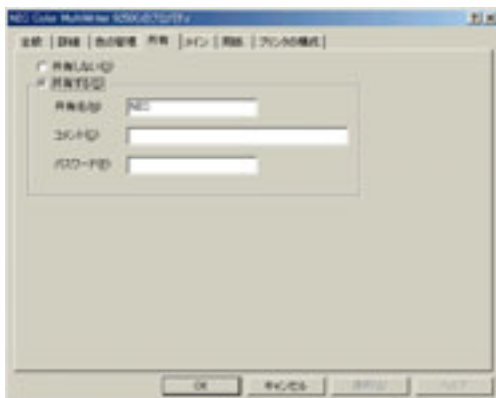
[全般]シート

このプロパティシートはプリンターに関するコメントを設定・表示します。(Windows Me/98/95 日本語版対応のプリンタードライバーとして共通のものです。)

通常ご使用になっている上では設定の変更の必要はありません。

[詳細]シート

このプロパティシートは印刷先のポートや使用するプリンタードライバーなどを表示・設定します。(Windows Me/98/95 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。)

通常ご使用になっている上では設定の変更の必要はありません。

PrintAgentを使用する場合は[スプールの設定]の[このプリンタで双方向通信機能をサポートする](Winodws Meでは[このプリンタの双方向通信機能をサポートする])を選択してください。

[色の管理]シート

このプロパティシートは色の管理を行うシートです。Windows Me/98日本語版の場合のみ表示されます。

[共有]シート

このプロパティシートはプリンターを共有するときの設定を行うシートです。Windows Me/98/95対応のプリンターをネットワークの設定でプリンターを共有できるように設定している場合にのみ表示されます。(Windows Me/98/95 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。)

[メイン]シート

このプロパティシートは用紙の種類、および印刷の品質などの以下の設定を行います。

- プリセットメニュー
- 用紙種別
- 印刷品質

「プリセットメニュー」

一般的な用途で使われる印刷品質・用紙種別に関する設定がスクロールウィンドウ内に登録されています。ウィンドウ内の希望のアイコンをクリックするだけで登録されている設定が印刷文書に反映されます。

あらかじめ登録されているプリセットの内容は以下のとおりです。設定されている内容は右下の設定情報表示エリアに表示されます。

- DTP　速度優先
  一般的なイラストや写真を含んだ文書を普通紙に高速に印刷する場合に適した設定です。
- DTP　画質優先
  一般的なイラストや写真を含んだ文章を普通紙に高品質で印刷する場合に適した設定です。
- 文書
  普通紙に文字を高品質に印刷する場合に適した設定です。
- 写真　速度優先
  写真画像を多く含んだ文書を普通紙に高速に印刷する場合に適した設定です。
- 写真　画質優先
  写真画像を多く含んだ文章を普通紙に高品質で印刷する場合に適した設定です。
- OHP
  プレゼンテーション資料などイラストを含んだデータをOHPに印刷する場合の設定です。

プリセットで設定できる項目の詳細については「カラー印刷の調整」、「プリセットメニューの設定内容」をご覧ください。また、オリジナルな設定内容を登録することもできます（登録・削除の方法についてはユーザーズマニュアルの「プリセットの登録・削除」を参照）。

「用紙種別」

以下の用紙種別を選択することができます。一度印刷した厚紙やはがきの裏面に印刷を行う場合には、それぞれ「厚紙（裏）」、「はがき（裏）」を選択してください。

- 普通紙/再生紙
  市販のコピー用紙や再生紙などに印刷する場合に選択します。
- 厚紙
  厚紙に印刷する場合に選択します。
- コート紙
  コート紙に印刷する場合に選択します。
- はがき
  はがきに印刷する場合に選択します。
- ラベル紙
  ラベル紙に印刷する場合に選択します。
- OHP
  OHPフィルム（OHPフィルムセット（A4）：PR-L9200C-TP）に印刷する場合に選択します。印刷品質は「文字優先」に設定されます。
- 封筒
  封筒に印刷する場合に選択します。
- 厚紙（裏）
  一度印刷した厚紙の裏面に印刷する場合に選択します。
- はがき（裏）
  一度印刷したはがきの裏面に印刷する場合に選択します。

- ［普通紙/再生紙］以外の用紙種別が選択されると給紙・排紙方法の変更を確認するダイアログボックスが表示されることがあります。［はい］をクリックすると給紙方法は「手差しトレー」、排紙方法は「フェイスアップ」に変更されます。
- 用紙種別と印刷品質によって、選択できるハーフトーンは変更されます。

「印刷品質」

以下の印刷品質を選択することができます。印刷品質に関して何を優先するかを選択すると適切な解像度と階調値が設定されます。

- 速度優先
  速度を優先して印刷します。通常の設定です。
  解像度：300×300dpi
  階調値：多値
- 文字優先
  文字を優先して印刷します。文書などの印刷にお使いください。
  解像度：600×600dpi
  階調値：二値

印刷モードが「カラー」の場合、SETが選択できなくなります。

- 画質優先
  画質を優先して印刷します。配付文書などの清書印刷にお使いください。
  解像度：600×600dpi
  階調値：多値
- トナーセーブ
  トナーを節約して薄い色で印刷します。原稿などのテスト印刷にお使いください。
  解像度：300×300dpi
  階調値：多値

用紙の種類によって印刷品質や給紙方法、排紙方法などが制限されます。以下の表のとおりです。

用紙種類	印刷品質	給紙方法	排紙方法	両面印刷	製本印刷
普通紙／再生紙	○	○	○	○	○
厚紙	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
コート紙	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
はがき	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
ラベル紙	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
OHP	文字優先	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
封筒	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
厚紙（裏）	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
はがき（裏）	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×

○：選択できる
×：選択できない

[用紙]シート

このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行います。

- 用紙サイズ
- 印刷部数
- 印刷方向
- 給紙方法
- 排紙方法
- 丁合印刷
- 印刷レイアウト
- 両面印刷
- ウォーターマーク

「用紙サイズ」

印刷する用紙サイズを選択します。[ユーザ定義]を選択した場合は、用紙の寸法を入力する[ユーザ定義サイズ]ダイアログボックスが表示されます。給紙方法は「手差しトレー」となります。

チェック

はがき、往復はがき、または封筒を選択すると自動的に給紙方法は「手差しトレー」、排紙方法は「フェイスアップ」に変更されます。また、B5より小さいサイズを定義した場合も排紙方法は「フェイスアップ」に変更されます。

「印刷部数」

印刷する枚数を選択します。

「印刷方向」

用紙を縦向きに使用するか横向きに使用するかを選択します。

「給紙方法」

給紙元(ホッパ/手差しトレー)をコンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。「自動」にしておくと、選択されている用紙サイズがセットされているホッパー、手差しトレーから自動的に給紙されます。

チェック

給紙元を「自動」に設定して手差しトレーから給紙を行う場合、プリンターの操作パネルで手差しトレーの用紙サイズを設定しておく必要があります。手差しトレーの用紙サイズの設定が一致し、給紙方法が「自動」の場合でも、手差しトレーから給紙されます。

「排紙方法」

以下の排紙先を選択することができます。

- フェイスアップ(先頭ページから)
  先頭ページからページ順に印刷面を上に向けて排紙します。
- フェイスアップ(最終ページから)
  最終ページからページの逆順に印刷面を上に向けて排紙します。
- フェイスダウン
  先頭ページからページ順に印刷面を下に向けて排紙します。

「丁合印刷」

チェックボックスにより丁合い印刷が指定できます。排紙方法、両面印刷の設定に従って印刷順序を示すアイコンも変化します。 両面印刷・製本印刷が指定されていると自動的に丁合い印刷が指定されます。

チェック

アプリケーションによっては、プリンターのプロパティから「丁合印刷」を選択しただけでは丁合い印刷が有効にならない場合があります。アプリケーションの印刷設定で「丁合い」、もしくは「部単位で印刷」などの指定ができる場合は、アプリケーションの方で丁合印刷を指定してください。
また、一部のアプリケーションにおいてはアプリケーション自身が丁合い処理を行う　ため、丁合い印刷を高速に行う「電子ソート」の機能が有効にならない場合があります。

Windows Me/98/95ではクライアント・サーバーシステムにおいて「丁合い」の設定をご使用になるためには、クライアント、サーバー両者にPrintAgentのインストールが必要です。さらにPrintAgentのプロパティにおいて、クライアントでは[共有プリンタを利用する]、サーバーでは[共有プリンタを提供する]をチェックしておく必要があります。ローカル接続、またはネットワーク接続で双方向通信を行っている場合には、このような設定をしなくても丁合い印刷を使用できます。

「印刷レイアウト」

このプロパティシートは印刷レイアウトに関する以下の設定を行うものです。

- 拡大縮小印刷
- 複数ページレイアウト
- 分割拡大印刷

[拡大縮小印刷]

文書を印刷する際の拡大縮小率を設定できます。通常使用される拡大・縮小率を指定できます。[詳細]をクリックすると[拡大縮小印刷]ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。

- 拡大/縮小率
  25～200%の範囲で設定できます。
- クイック設定
  定形用紙から拡大／縮小を設定します。
- 出力用紙サイズ
  印刷する用紙サイズを選択します。

[複数ページレイアウト]

複数ページレイアウトは、1枚の用紙に複数ページの印刷データを配置して印刷する機能です。[詳細]をクリックすると[複数ページレイアウト印刷]ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。

- ページ配置
  ページの配置順を2、4、8ページから設定します。
- ページレイアウト
  印刷するページの配置を設定します。
- 境界線を印刷する
  境界線の有無を設定します。

［分割拡大印刷］

分割拡大印刷は、ポスターなど大判サイズの印刷データを複数のページに分割して印刷する機能です。［詳細］をクリックすると［分割拡大印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。A4用紙を使用した場合、最大約A0サイズ相当のポスターを作成できます。印刷範囲、境界線の有無など詳細な設定ができます。

- 倍率設定
  拡大するページ数を設定します。
- 印刷範囲
  印刷するページを設定します。
- 境界線を印刷する
  境界線の有無を設定します。

「両面印刷」

片面印刷、両面印刷、および製本印刷に関する設定を行うものです。それぞれ［詳細］をクリックするとダイアログボックスを表示し、詳細な設定ができます。

次の条件を満たしていないと両面印刷、製本印刷を選択することができません。また、「拡大縮小印刷」、「複数ページレイアウト」を選択している場合は、製本印刷はできません。

- オプションの両面印刷ユニット（型番：PR-L9250C-DL）を装着していること
- ［メイン］シートの用紙種別で「普通紙/再生紙」が選択されていること
- 設定されている用紙サイズが特A3、A5、はがき、往復はがき、封筒、ユーザ定義でないこと
- 分割拡大印刷を選択していないこと

［片面］

表面にだけ印刷されます。

［両面］

自動的に排紙方法が「フェイスダウン」、丁合印刷が有効に設定されます。

- 印刷位置調整
  ページ左余白からの印刷位置を0～20mmの範囲で指定することができます。
- 裏面を対称に配置する
  チェックすると裏面の印刷範囲の枠が綴じ辺を軸にして表面と対称な位置に配置されます。
- 綴じ方向
  綴じ方を「長辺綴じ」にするか「短辺綴じ」にするか、綴じる順番を右からとするか左からとするかを設定します。

［製本］

製本印刷とは週刊誌のように2つ折りの本になるようページを割り付けて印刷する機能です。自動的に排紙方法が「フェイスダウン」、丁合印刷が有効に設定されます。

- 製本印刷
  製本したときに印刷面はどこに配置されるかを指定します。すべてのページに配置する、右ページのみに配置する、左ページのみに配置するの3通り選択できます。
- 印刷の順序
  ページを印刷する順番を指定します。［右から左］をチェックすると右開きの本（和書）になります。通常は左開き（洋書）の順番です。

「ウォーターマーク」

ウォーターマークとは用紙の決まった部分に透かしを入れたように、透かしを重ねて印刷する機能です。[詳細]をクリックするとダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。ウォーターマークはあらかじめ登録されている12個を含めて、最大50個まで登録することができます。ウォーターマークの追加登録方法に関してはユーザーズマニュアルの「ウォーターマークの登録」を参照ください。

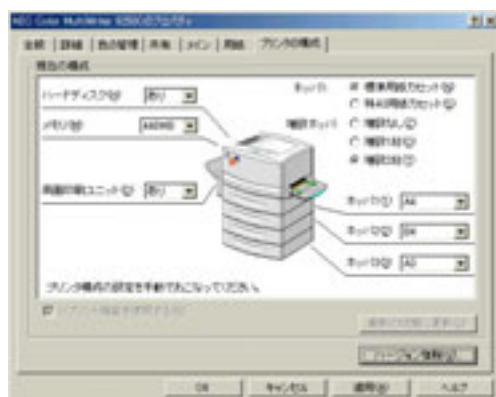
- 位置
  マークが印刷される位置を指定します。「中央」、「左上」、「右上」、「左下」、「右下」から指定します。
- 角度
  印刷されるマークの角度を5段階で指定します。ビットマップスタイルのスタンプは角度の指定ができません。
- サイズ
  印刷されるマークのサイズを設定します。
- カラー選択
  印刷されるマークの色を指定します。文字スタイルのスタンプにのみ色の指定ができます。

[プリンタの構成]シート

双方向通信の場合

このプロパティシートは現在のプリンターの状態(オプション、ホッパー)を表示するものです。PrintAgentがインストールされていて、双方向通信している場合[最新の状態に更新]をクリックすると最新の情報を取得することができます。

次の条件が満たされているとリプリント機能を使用するかどうかを選択することができます。

- PrintAgentがインストールされている
- 双方向通信が可能である
- PrintAgentのプロパティでリプリント機能が選択されている

片方向通信の場合

片方向通信を行っている場合は、手動でプリンターの構成を設定できます。

Windows XP場合

Windows XPでは、印刷の詳細な設定は以下の2つのダイアログボックスで行います。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックス

このダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。次のようなプロパティシートで構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは表示させることができません。

- [全般]シート
- [共有]シート
- [ポート]シート
- [詳細設定]シート
- [色の管理]シート
- [セキュリティ]シート(通常は表示されません)
- [プリンタの構成]シート

[印刷設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。次のようなプロパティシートで構成されています。また、ダイアログボックス内の設定は自由に組み合わせて登録することができます(ユーザーズガイドの「プリセットメニュー」参照)。

- [メイン]シート
- [用紙]シート
- [プリンタの状態]シート

ダイアログボックスの開き方

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから開く方法

  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目など表示できないことがあります。アプリケーションから呼び出せるのは印刷の設定を行う[印刷設定]ダイアログボックスだけです。

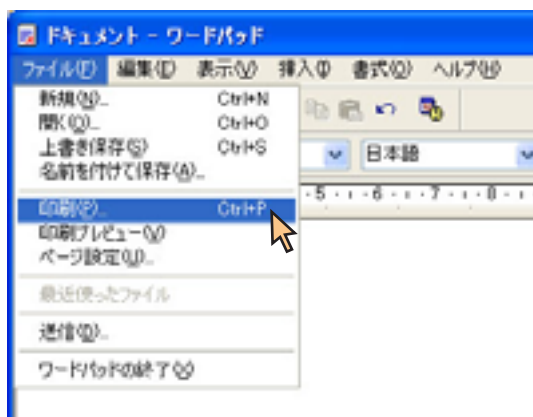
- タスクバー上の[スタート]から開く方法

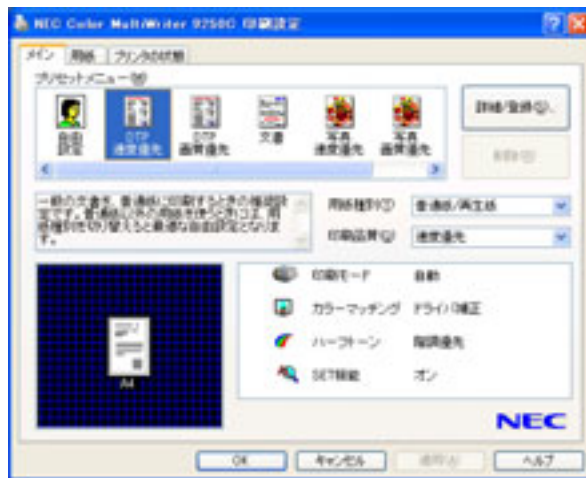
  ダイアログボックスの設定は[印刷設定]、[プリンタのプロパティ]ともにすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

アプリケーションから開く

アプリケーションから[印刷設定]ダイアログボックスを開く場合、[ファイル]メニューの[印刷]コマンドか[プリンタの設定]コマンドを使います。(このコマンドはほとんどの場合[ファイル]メニューの中にありますが、[ファイル]メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。)

ここではWindows XPに添付されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって、[印刷設定]ダイアログボックスを呼び出す手順を説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

2. [詳細設定]をクリックする。

以下のような[印刷設定]ダイアログボックスが表示されます。各プロパティシートについては、「設定の概要(印刷設定)」を参照してください。

[スタート]ボタンから開く

1. [プリンタとFAX]フォルダーを開く。

Windows XP Home Editionの場合は、コントロールパネルの[プリンタとその他のハードウェア]クリックし、[プリンタとFAX]フォルダーを開きます。

2. ［NEC Color MultiWriter 9250C］アイコンを右クリックする。

プリンターのアイコンが選択され、メニューが表示されます。

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを開きたい場合は手順3へ、［印刷設定］ダイアログボックスを開きたい場合は手順4へ進みます。

3. ［プロパティ］をクリックして、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを開く。

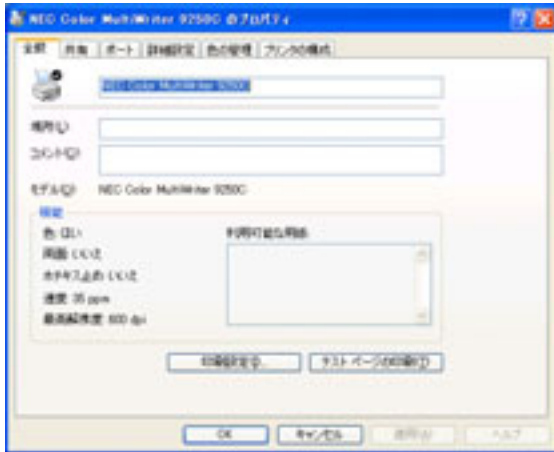
以下のような［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。各プロパティシートについては、「設定の概要（プリンタのプロパティ）」を参照してください。

4. [印刷設定]をクリックして、[印刷設定]ダイアログボックスを開く。

以下のような[印刷設定]ダイアログボックスが表示されます。各プロパティシートについては、「設定の概要(印刷設定)」を参照してください。

設定の概要（プリンタのプロパティ）

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることによりヘルプを表示することができます。

［全般］シート

このプロパティシートはあらかじめ入力されたプリンターについてのコメントなどを表示・設定します。Windows XP 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

［共有］シート

このプロパティシートはWindows XP 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

プリンターを共有するときの設定を行うシートです。

［ポート］シート

このプロパティシートはWindows XP 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

PrintAgentを使用する場合は、［双方向サポートを有効にする］をチェックしてください。

通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

[詳細設定]シート

このプロパティシートはWindows XP 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

[色の管理]シート

このプロパティシートはWindows XP 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

ICMプロファイルの設定を行うシートです。

[セキュリティ]シート

このプロパティシートはWindows XP 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

「セキュリティ」シートは通常表示されません。表示させるには、以下の手順を行ってください。

1. [プリンタとFAX]フォルダを開く。
2. [ツール]メニューから[フォルダオプション]をクリックする。
3. 表示された[フォルダオプション]プロパティシートの[表示]タブを選択する。
4. [詳細設定]の[簡易ファイルの共有を使用する(推奨)]のチェックをはずし、[OK]をクリックする。

[プリンタの構成]シート

双方向通信の場合

このプロパティシートは現在のプリンターの状態(オプション、ホッパー)を表示するものです。PrintAgentがインストールされていて、双方向通信している場合[最新の状態に更新]をクリックすると最新の情報を取得することができます。

片方向通信の場合

片方向通信を行っている場合は、手動でプリンターの構成を設定できます。

設定の概要(印刷設定)

[印刷設定]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。

[メイン]シート

このプロパティシートは用紙の種類、および印刷の品質などの以下の設定を行います。

- プリセットメニュー
- 用紙種別
- 印刷品質

「プリセットメニュー」

一般的な用途で使われる印刷品質・用紙種別に関する設定がスクロールウィンドウ内に登録されています。ウィンドウ内の希望のアイコンをクリックするだけで登録されている設定が印刷文書に反映されます。

あらかじめ登録されているプリセットの内容は以下のとおりです。設定されている内容は右下の設定情報表示エリアに表示されます。

- DTP　速度優先
  一般的なイラストや写真を含んだ文書を普通紙に高速に印刷する場合に適した設定です。
- DTP　画質優先
  一般的なイラストや写真を含んだ文章を普通紙に高品質で印刷する場合に適した設定です。
- 文書
  普通紙に文字を高品質に印刷する場合に適した設定です。
- 写真　速度優先
  写真画像を多く含んだ文書を普通紙に高速に印刷する場合に適した設定です。
- 写真　画質優先
  写真画像を多く含んだ文章を普通紙に高品質で印刷する場合に適した設定です。
- OHP
  プレゼンテーション資料などイラストを含んだデータをOHPに印刷する場合の設定です。

プリセットで設定できる項目の詳細については「カラー印刷の調整」、「プリセットメニューの設定内容」をご覧ください。また、オリジナルな設定内容を登録することもできます(登録・削除の方法についてはユーザーズマニュアルの「プリセットの登録・削除」参照)。

「用紙種別」

以下の用紙種別を選択することができます。一度印刷した厚紙やはがきの裏面に印刷を行う場合には、それぞれ「厚紙（裏）」、「はがき（裏）」を選択してください。

- 普通紙/再生紙
  市販のコピー用紙や再生紙などに印刷する場合に選択します。
- 厚紙
  厚紙に印刷する場合に選択します。
- コート紙
  コート紙に印刷する場合に選択します。
- はがき
  はがきに印刷する場合に選択します。
- ラベル紙
  ラベル紙に印刷する場合に選択します。
- OHP
  OHPフィルム（OHPフィルムセット（A4）：PR-L9200C-TP）に印刷する場合に選択します。印刷品質は「文字優先」に設定されます。
- 封筒
  封筒に印刷する場合に選択します。
- 厚紙（裏）
  一度印刷した厚紙の裏面に印刷する場合に選択します。
- はがき（裏）
  一度印刷したはがきの裏面に印刷する場合に選択します。

- [普通紙/再生紙]以外の用紙種別が選択されると給紙・排紙方法の変更を確認するダイアログボックスが表示されます。[はい]をクリックすると給紙方法は「手差しトレー」、排紙方法は「フェイスアップ」に変更されます。
- 用紙種別と印刷品質によって、選択できるハーフトーンは変更されます。

「印刷品質」

以下の印刷品質を選択することができます。印刷品質に関して何を優先するかを選択すると適切な解像度と階調値が設定されます。

- 速度優先
  速度を優先して印刷します。通常の設定です。
  解像度：300×300dpi
  階調値：多値
- 文字優先
  文字を優先して印刷します。文書などの印刷にお使いください。
  解像度：600×600dpi
  階調値：二値

印刷モードが「カラー」の場合、SETが選択できなくなります。

- 画質優先
  画質を優先して印刷します。配付文書などの清書印刷にお使いください。
  解像度：600×600dpi
  階調値：多値
- トナーセーブ
  トナーを節約して薄い色で印刷します。原稿などのテスト印刷にお使いください。
  解像度：300×300dpi
  階調値：多値

用紙の種類によって印刷品質や給紙方法、排紙方法などが制限されます。以下の表のとおりです。

用紙種類	印刷品質	給紙方法	排紙方法	両面印刷	製本印刷
普通紙／再生紙	○	○	○	○	○
厚紙	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
コート紙	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
はがき	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
ラベル紙	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
OHP	文字優先	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
封筒	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
厚紙（裏）	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
はがき（裏）	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×

○：選択できる
×：選択できない

[用紙]シート

このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行います。

- 用紙サイズ
- 印刷部数
- 印刷方向
- 給紙方法
- 排紙方法
- 丁合印刷
- 印刷レイアウト
- 両面印刷
- ウォーターマーク

「用紙サイズ」

印刷する用紙サイズを選択します。[ユーザ定義]を選択した場合は、用紙の寸法を入力する[ユーザ定義サイズ]ダイアログボックスが表示されます。給紙方法は「手差しトレー」となります。

チェック

はがき、往復はがき、または封筒を選択すると自動的に給紙方法は「手差しトレー」、排紙方法は「フェイスアップ」に変更されます。また、B5より小さいサイズを定義した場合も排紙方法は「フェイスアップ」に変更されます。

「印刷部数」

印刷する枚数を選択します。

「印刷方向」

用紙を縦向きに使用するか横向きに使用するかを選択します。

「給紙方法」

給紙元(ホッパ/手差しトレー)をコンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。「自動」にしておくと、選択されている用紙サイズがセットされているホッパー、手差しトレーから自動的に給紙されます。

チェック

給紙元を「自動」に設定して手差しトレーから給紙を行う場合、プリンターの操作パネルで手差しトレーの用紙サイズを設定しておく必要があります。手差しトレーの用紙サイズの設定が一致し、給紙方法が「自動」の場合でも、手差しトレーから給紙されます。

「排紙方法」

以下の排紙先を選択することができます。

- フェイスアップ(先頭ページから)
  先頭ページからページ順に印刷面を上に向けて排紙します。
- フェイスアップ(最終ページから)
  最終ページからページの逆順に印刷面を上に向けて排紙します。
- フェイスダウン
  先頭ページからページ順に印刷面を下に向けて排紙します。

「丁合印刷」

チェックボックスにより丁合い印刷が指定できます。排紙方法、両面印刷の設定に従って印刷順序を示すアイコンも変化します。 両面印刷・製本印刷が指定されていると自動的に丁合い印刷が指定されます。

アプリケーションによっては、プリンターのプロパティから「丁合印刷」を選択しただけでは丁合い印刷が有効にならない場合があります。アプリケーションの印刷設定で「丁合い」、もしくは「部単位で印刷」などの指定ができる場合は、アプリケーションの方で丁合印刷を指定してください。
また、一部のアプリケーションにおいてはアプリケーション自身が丁合い処理を行うため、丁合い印刷を高速に行う「電子ソート」の機能が有効にならない場合があります。

「印刷レイアウト」

このプロパティシートは印刷レイアウトに関する以下の設定を行うものです。

- 拡大縮小印刷
- 複数ページレイアウト
- 分割拡大印刷

［拡大縮小印刷］

文書を印刷する際の拡大縮小率を設定できます。通常使用される拡大・縮小率を指定できます。［詳細］をクリックすると［拡大縮小印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。

- 拡大/縮小率
  25～200%の範囲で設定できます。
- クイック設定
  定形用紙から拡大／縮小を設定します。
- 出力用紙サイズ
  印刷する用紙サイズを選択します。

［複数ページレイアウト］

複数ページレイアウトは、1枚の用紙に複数ページの印刷データを配置して印刷する機能です。［詳細］をクリックすると［複数ページレイアウト印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。

- ページ配置
  ページの配置順を2、4、8ページから設定します。
- ページレイアウト
  印刷するページの配置を設定します。
- 境界線を印刷する
  境界線の有無を設定します。

[分割拡大印刷]

分割拡大印刷は、ポスターなど大判サイズの印刷データを複数のページに分割して印刷する機能です。[詳細]をクリックすると[分割拡大印刷]ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。A4用紙を使用した場合、最大約A0サイズ相当のポスターを作成できます。印刷範囲、境界線の有無など詳細な設定ができます。

- 倍率設定
  拡大するページ数を設定します。
- 印刷範囲
  印刷するページを設定します。
- 境界線を印刷する
  境界線の有無を設定します。

「両面印刷」

片面印刷、両面印刷、および製本印刷に関する設定を行うものです。それぞれ[詳細]をクリックするとダイアログボックスを表示し詳細な設定ができます。

次の条件を満たしていないと両面印刷、製本印刷を選択することができません。また、「拡大縮小印刷」、「複数ページレイアウト」を選択している場合は、製本印刷はできません。

- オプションの両面印刷ユニット(型番：PR-L9250C-DL)を装着していること
- [メイン]シートの用紙種別で「普通紙/再生紙」が選択されていること、または手差しトレーに設定されていること
- 設定されている用紙サイズが特A3、A5、はがき、往復はがき、封筒、ユーザ定義でないこと
- 分割拡大印刷を選択していないこと

[片面]

表面にだけ印刷します。

[両面]

自動的に排紙方法が「フェイスダウン」、丁合印刷が有効に設定されます。

- 印刷位置調整
  ページ左余白からの印刷位置を0～20mmの範囲で指定することができます。
- 裏面を対称に配置する
  チェックすると裏面の印刷範囲の枠が綴じ辺を軸にして表面と対称な位置に配置されます。
- 綴じ方向
  綴じ方を「長辺綴じ」にするか「短辺綴じ」にするか、綴じる順番を右からとするか左からとするかを設定します。

[製本]

製本印刷とは週刊誌のように2つ折りの本になるようページを割り付けて印刷する機能です。自動的に排紙方法が「フェイスダウン」、丁合印刷が有効に設定されます。

- 製本印刷
  製本したときに印刷面はどこに配置されるかを指定します。すべてのページに配置する、右ページのみに配置する、左ページのみに配置するの3通り選択できます。
- 印刷の順序
  ページを印刷する順番を指定します。[右から左]を選択すると右開きの本(和書)になります。通常は左開き(洋書)の順番です。

「ウォーターマーク」

ウォーターマークとは用紙の決まった部分に透かしを入れたように、透かしを重ねて印刷する機能です。[詳細]をクリックするとダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。 ウォーターマークはあらかじめ登録されている12個を含めて、最大50個まで登録することができます。ウォーターマークの追加登録方法に関してはユーザーズマニュアルの「ウォーターマークの登録」を参照ください。

- 位置
  マークが印刷される位置を指定します。「中央」、「左上」、「右上」、「左下」、「右下」から指定します。
- 角度
  印刷されるマークの角度を5段階で指定します。ビットマップスタイルのスタンプは角度の指定ができません。
- サイズ
  印刷されるマークのサイズを設定します。
- カラー選択
  印刷されるマークの色を指定します。文字スタイルのスタンプにのみ色の指定ができます。

[プリンタの状態]シート

このプロパティシートは現在のプリンターの状態(オプション、ホッパー)を表示するものです。PrintAgentがインストールされていて、双方向通信している場合[最新の状態に更新]をクリックすると最新の情報を取得することができます。

次の条件が満たされているとリプリントの機能を使用するかどうかを選択することができます。

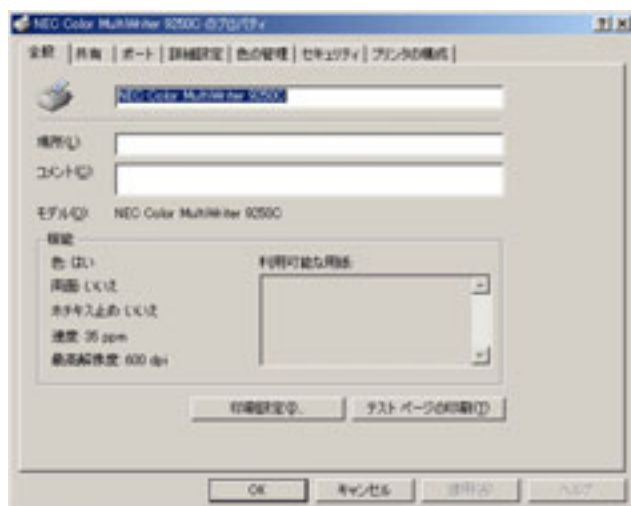
- PrintAgentがインストールされている
- 双方向通信が可能である
- PrintAgentのプロパティでリプリント機能が選択されている

「EMFスプールを有効にする」をチェックすると高速にスプールが作成されますが、データによっては正しく印刷されません。また、アプリケーションによってはEMFスプールにしか対応していないものがあります。その場合は「EMFスプールを有効にする」をチェックしてください。

Windows 2000場合

Windows 2000では、印刷の詳細な設定は以下の2つのダイアログボックスで行います。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックス

このダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。次のようなプロパティシートで構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは表示させることができません。

- [全般]シート
- [共有]シート
- [ポート]シート
- [詳細設定]シート
- [色の管理]シート
- [セキュリティ]シート
- [プリンタの構成]シート

[印刷設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。次のようなプロパティシートで構成されています。また、ダイアログボックス内の設定は自由に組み合わせて登録することができます(ユーザーズガイドの「プリセットメニュー」参照)。

- [メイン]シート
- [用紙]シート
- [プリンタの状態]シート

ダイアログボックスの開き方

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから開く方法

  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目など表示できないことがあります。アプリケーションから呼び出せるのは印刷の設定を行う[印刷設定]ダイアログボックスだけです。

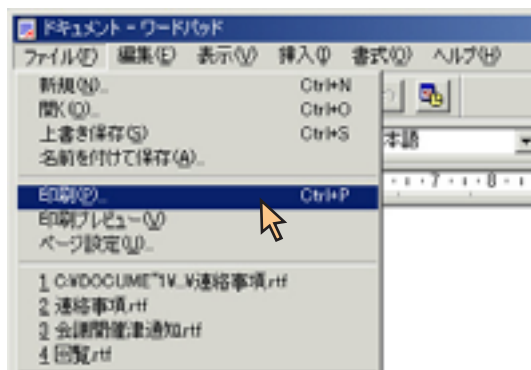
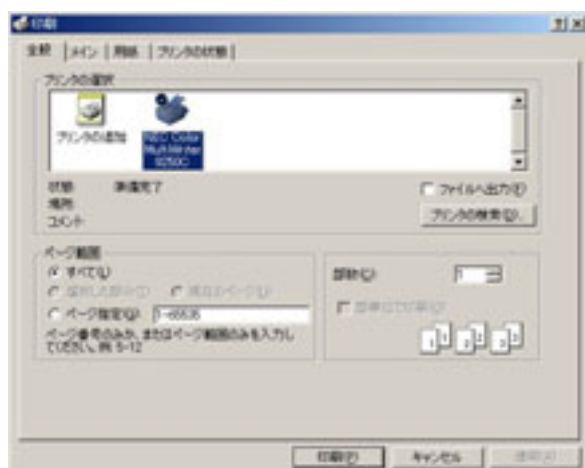
- タスクバー上の[スタート]から開く方法

  ダイアログボックスの設定は[印刷設定]、[プリンタのプロパティ]ともにすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

アプリケーションから開く

アプリケーションから[印刷設定]ダイアログボックスを開く場合、[ファイル]メニューの[印刷]コマンドか[プリンタの設定]コマンドを使います。（このコマンドはほとんどの場合[ファイル]メニューの中にありますが、[ファイル]メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。）

ここではWindows 2000に添付されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって、[印刷設定]ダイアログボックスを呼び出す手順を説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

以下のような[印刷]ダイアログボックスが表示されます。各プロパティシートについては、「設定の概要(印刷設定)」を参照してください。

［スタート］ボタンから開く

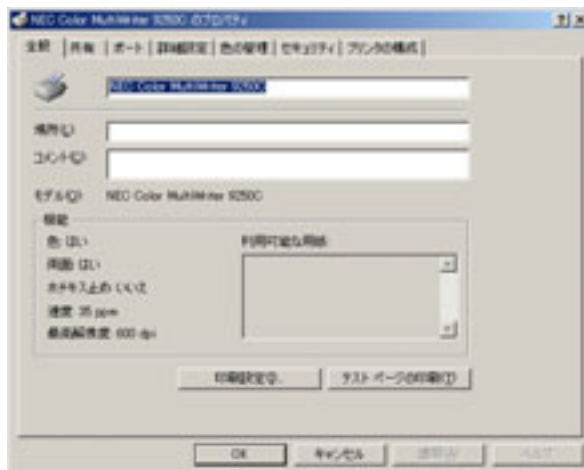
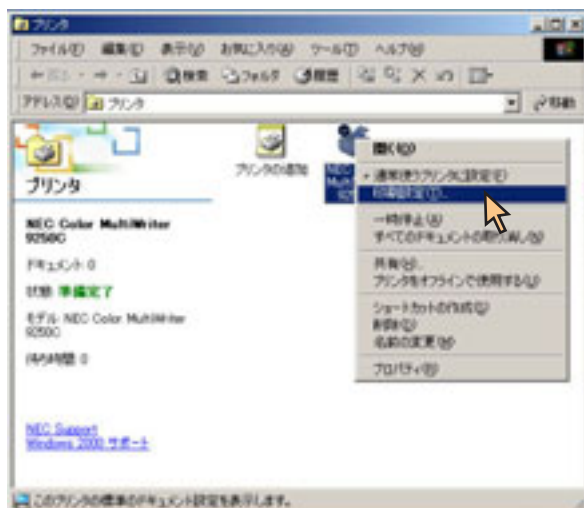
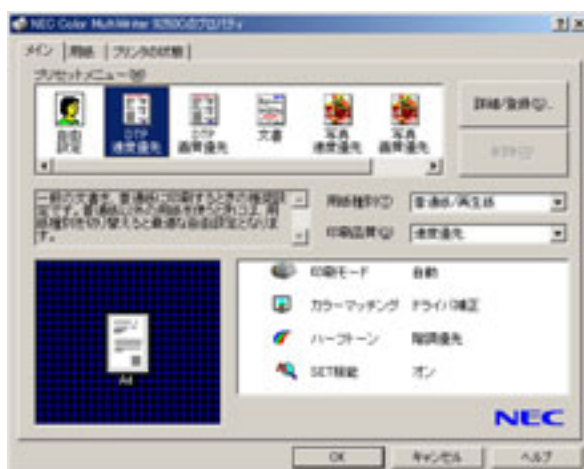
1. ［プリンタ］フォルダーを開く。

2. ［NEC Color MultiWriter 9250C］アイコンを右クリックする。

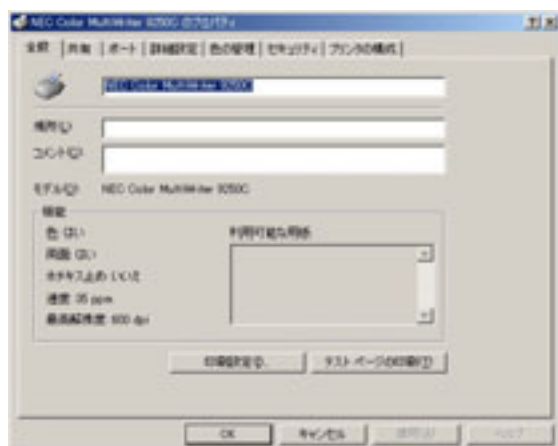
プリンターのアイコンが選択され、メニューが表示されます。

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを開きたい場合は手順3へ、［印刷設定］ダイアログボックスを開きたい場合は手順4へ進みます。

3. ［プロパティ］をクリックして、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを開く。

以下のような[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。各プロパティシートについては、「設定の概要(プリンタのプロパティ)」を参照してください。

4. [印刷設定]をクリックして、[印刷設定]ダイアログボックスを開く。

以下のような[印刷設定]ダイアログボックスが表示されます。各プロパティシートについては、「設定の概要(印刷設定)」を参照してください。

設定の概要（プリンタのプロパティ）

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることによりヘルプを表示することができます。

［全般］シート

このプロパティシートはあらかじめ入力されたプリンターについてのコメントなどを表示・設定します。Windows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

［共有］シート

このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

プリンターを共有するときの設定を行うシートです。

［ポート］シート

このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

PrintAgentを使用する場合は、［双方向サポートを有効にする］をチェックしてください。

通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

[詳細設定]シート

このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

[色の管理]シート

このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

ICMプロファイルの設定を行うシートです。

[セキュリティ]シート

このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

［プリンタの構成］シート

双方向通信の場合

このプロパティシートは現在のプリンターの状態（オプション、ホッパー）を表示するものです。PrintAgentがインストールされていて、双方向通信している場合［最新の状態に更新］をクリックすると最新の情報を取得することができます。

片方向通信の場合

片方向通信を行っている場合は、手動でプリンターの構成を設定できます。

設定の概要（印刷設定）

[印刷設定]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。

[メイン]シート

このプロパティシートは用紙の種類、および印刷の品質などの以下の設定を行います。

- プリセットメニュー
- 用紙種別
- 印刷品質

「プリセットメニュー」

一般的な用途で使われる印刷品質・用紙種別に関する設定がスクロールウィンドウ内に登録されています。ウィンドウ内の希望のアイコンをクリックするだけで登録されている設定が印刷文書に反映されます。

あらかじめ登録されているプリセットの内容は以下のとおりです。設定されている内容は右下の設定情報表示エリアに表示されます。

- DTP　速度優先
  一般的なイラストや写真を含んだ文書を普通紙に高速に印刷する場合に適した設定です。
- DTP　画質優先
  一般的なイラストや写真を含んだ文章を普通紙に高品質で印刷する場合に適した設定です。
- 文書
  普通紙に文字を高品質に印刷する場合に適した設定です。
- 写真　速度優先
  写真画像を多く含んだ文書を普通紙に高速に印刷する場合に適した設定です。
- 写真　画質優先
  写真画像を多く含んだ文章を普通紙に高品質で印刷する場合に適した設定です。
- OHP
  プレゼンテーション資料などイラストを含んだデータをOHPに印刷する場合の設定です。

プリセットで設定できる項目の詳細については「カラー印刷の調整」、「プリセットメニューの設定内容」をご覧ください。また、オリジナルな設定内容を登録することもできます（登録・削除の方法についてはユーザーズマニュアルの「プリセットの登録・削除」参照）。

「用紙種別」

以下の用紙種別を選択することができます。一度印刷した厚紙やはがきの裏面に印刷を行う場合には、それぞれ「厚紙（裏）」、「はがき（裏）」を選択してください。

- 普通紙/再生紙
  市販のコピー用紙や再生紙などに印刷する場合に選択します。
- 厚紙
  厚紙に印刷する場合に選択します。
- コート紙
  コート紙に印刷する場合に選択します。
- はがき
  はがきに印刷する場合に選択します。
- ラベル紙
  ラベル紙に印刷する場合に選択します。
- OHP
  OHPフィルム（OHPフィルムセット（A4）：PR-L9200C-TP）に印刷する場合に選択します。印刷品質は「文字優先」に設定されます。
- 封筒
  封筒に印刷する場合に選択します。
- 厚紙（裏）
  一度印刷した厚紙の裏面に印刷する場合に選択します。
- はがき（裏）
  一度印刷したはがきの裏面に印刷する場合に選択します。

- [普通紙/再生紙]以外の用紙種別が選択されると給紙・排紙方法の変更を確認するダイアログボックスが表示されます。[はい]をクリックすると給紙方法は「手差しトレー」、排紙方法は「フェイスアップ」に変更されます。
- 用紙種別と印刷品質によって、選択できるハーフトーンは変更されます。

「印刷品質」

以下の印刷品質を選択することができます。印刷品質に関して何を優先するかを選択すると適切な解像度と階調値が設定されます。

- 速度優先
  速度を優先して印刷します。通常の設定です。
  解像度：300×300dpi
  階調値：多値
- 文字優先
  文字を優先して印刷します。文書などの印刷にお使いください。
  解像度：600×600dpi
  階調値：二値

印刷モードが「カラー」の場合、SETが選択できなくなります。

- 画質優先
  画質を優先して印刷します。配付文書などの清書印刷にお使いください。
  解像度：600×600dpi
  階調値：多値
- トナーセーブ
  トナーを節約して薄い色で印刷します。原稿などのテスト印刷にお使いください。
  解像度：300×300dpi
  階調値：多値

用紙の種類によって印刷品質や給紙方法、排紙方法などが制限されます。以下の表のとおりです。

用紙種類	印刷品質	給紙方法	排紙方法	両面印刷	製本印刷
普通紙／再生紙	○	○	○	○	○
厚紙	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
コート紙	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
はがき	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
ラベル紙	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
OHP	文字優先	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
封筒	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
厚紙（裏）	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
はがき（裏）	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×

○：選択できる
×：選択できない

[用紙]シート

このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行います。

- 用紙サイズ
- 印刷部数
- 印刷方向
- 給紙方法
- 排紙方法
- 丁合印刷
- 印刷レイアウト
- 両面印刷
- ウォーターマーク

「用紙サイズ」

印刷する用紙サイズを選択します。[ユーザ定義]を選択した場合は、用紙の寸法を入力する[ユーザ定義サイズ]ダイアログボックスが表示されます。給紙方法は「手差しトレー」となります。

はがき、往復はがき、または封筒を選択すると自動的に給紙方法は「手差しトレー」、排紙方法は「フェイスアップ」に変更されます。また、B5より小さいサイズを定義した場合も排紙方法は「フェイスアップ」に変更されます。

「印刷部数」

印刷する枚数を選択します。

「印刷方向」

用紙を縦向きに使用するか横向きに使用するかを選択します。

「給紙方法」

給紙元(ホッパ/手差しトレー)をコンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。「自動」にしておくと、選択されている用紙サイズがセットされているホッパー、手差しトレーから自動的に給紙されます。

給紙元を「自動」に設定して手差しトレーから給紙を行う場合、プリンターの操作パネルで手差しトレーの用紙サイズを設定しておく必要があります。手差しトレーの用紙サイズの設定が一致し、給紙方法が「自動」の場合でも、手差しトレーから給紙されます。

「排紙方法」

以下の排紙先を選択することができます。

- フェイスアップ(先頭ページから)
  先頭ページからページ順に印刷面を上に向けて排紙します。
- フェイスアップ(最終ページから)
  最終ページからページの逆順に印刷面を上に向けて排紙します。
- フェイスダウン
  先頭ページからページ順に印刷面を下に向けて排紙します。

「丁合印刷」

チェックボックスにより丁合い印刷が指定できます。排紙方法、両面印刷の設定に従って印刷順序を示すアイコンも変化します。 両面印刷・製本印刷が指定されていると自動的に丁合い印刷が指定されます。

アプリケーションによっては、プリンターのプロパティから「丁合印刷」を選択しただけでは丁合い印刷が有効にならない場合があります。アプリケーションの印刷設定で「丁合い」、もしくは「部単位で印刷」などの指定ができる場合は、アプリケーションの方で丁合印刷を指定してください。
また、一部のアプリケーションにおいてはアプリケーション自身が丁合い処理を行うため、丁合い印刷を高速に行う「電子ソート」の機能が有効にならない場合があります。

「印刷レイアウト」

このプロパティシートは印刷レイアウトに関する以下の設定を行うものです。

- 拡大縮小印刷
- 複数ページレイアウト
- 分割拡大印刷

［拡大縮小印刷］

文書を印刷する際の拡大縮小率を設定できます。通常使用される拡大・縮小率を指定できます。［詳細］をクリックすると［拡大縮小印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。

- 拡大/縮小率
  25～200%の範囲で設定できます。
- クイック設定
  定形用紙から拡大／縮小を設定します。
- 出力用紙サイズ
  印刷する用紙サイズを選択します。

［複数ページレイアウト］

複数ページレイアウトは、1枚の用紙に複数ページの印刷データを配置して印刷する機能です。［詳細］をクリックすると［複数ページレイアウト印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。

- ページ配置
  ページの配置順を2、4、8ページから設定します。
- ページレイアウト
  印刷するページの配置を設定します。
- 境界線を印刷する
  境界線の有無を設定します。

［分割拡大印刷］

分割拡大印刷は、ポスターなど大判サイズの印刷データを複数のページに分割して印刷する機能です。［詳細］をクリックすると［分割拡大印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。A4用紙を使用した場合、最大約A0サイズ相当のポスターを作成できます。印刷範囲、境界線の有無など詳細な設定ができます。

- 倍率設定
  拡大するページ数を設定します。
- 印刷範囲
  印刷するページを設定します。
- 境界線を印刷する
  境界線の有無を設定します。

「両面印刷」

片面印刷、両面印刷、および製本印刷に関する設定を行うものです。それぞれ［詳細］をクリックするとダイアログボックスを表示し詳細な設定ができます。

チェック

次の条件を満たしていないと両面印刷、製本印刷を選択することができません。また、「拡大縮小印刷」、「複数ページレイアウト」を選択している場合は、製本印刷はできません。

- オプションの両面印刷ユニット（型番：PR-L9250C-DL）を装着していること
- ［メイン］シートの用紙種別で「普通紙/再生紙」が選択されていること、または手差しトレーに設定されていること
- 設定されている用紙サイズが特A3、A5、はがき、往復はがき、封筒、ユーザ定義でないこと
- 分割拡大印刷を選択していないこと

［片面］

表面にだけ印刷します。

［両面］

自動的に排紙方法が「フェイスダウン」、丁合印刷が有効に設定されます。

- 印刷位置調整
  ページ左余白からの印刷位置を0～20mmの範囲で指定することができます。
- 裏面を対称に配置する
  チェックすると裏面の印刷範囲の枠が綴じ辺を軸にして表面と対称な位置に配置されます。
- 綴じ方向
  綴じ方を「長辺綴じ」にするか「短辺綴じ」にするか、綴じる順番を右からとするか左からとするかを設定します。

［製本］

製本印刷とは週刊誌のように2つ折りの本になるようページを割り付けて印刷する機能です。自動的に排紙方法が「フェイスダウン」、丁合印刷が有効に設定されます。

- 製本印刷
  製本したときに印刷面はどこに配置されるかを指定します。すべてのページに配置する、右ページのみに配置する、左ページのみに配置するの3通り選択できます。
- 印刷の順序
  ページを印刷する順番を指定します。［右から左］を選択すると右開きの本（和書）になります。通常は左開き（洋書）の順番です。

「ウォーターマーク」

ウォーターマークとは用紙の決まった部分に透かしを入れたように、透かしを重ねて印刷する機能です。[詳細]をクリックするとダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。 ウォーターマークはあらかじめ登録されている12個を含めて、最大50個まで登録することができます。ウォーターマークの追加登録方法に関してはユーザーズマニュアルの「ウォーターマークの登録」を参照ください。

- 位置
  マークが印刷される位置を指定します。「中央」、「左上」、「右上」、「左下」、「右下」から指定します。
- 角度
  印刷されるマークの角度を5段階で指定します。ビットマップスタイルのスタンプは角度の指定ができません。
- サイズ
  印刷されるマークのサイズを設定します。
- カラー選択
  印刷されるマークの色を指定します。文字スタイルのスタンプにのみ色の指定ができます。

［プリンタの状態］シート

このプロパティシートは現在のプリンターの状態（オプション、ホッパー）を表示するものです。PrintAgentがインストールされていて、双方向通信している場合[最新の状態に更新]をクリックすると最新の情報を取得することができます。

次の条件が満たされているとリプリントの機能を使用するかどうかを選択することができます。

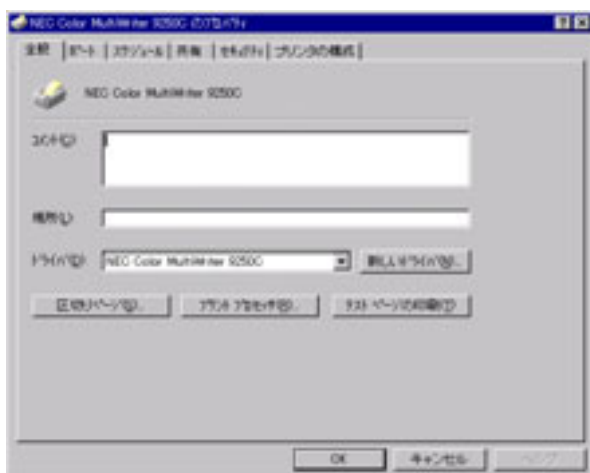
- PrintAgentがインストールされている
- 双方向通信が可能である
- PrintAgentのプロパティでリプリント機能が選択されている

「EMFスプールを有効にする」をチェックすると高速にスプールが作成されますが、データによっては正しく印刷されません。また、アプリケーションによってはEMFスプールにしか対応していないものがあります。その場合は「EMFスプールを有効にする」をチェックしてください。

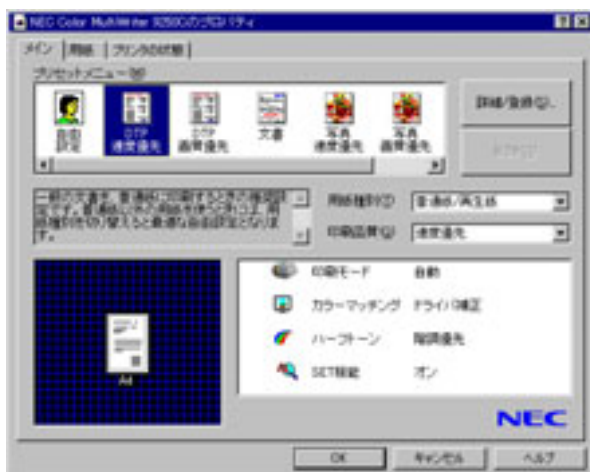
Windows NT 4.0の場合

Windows NT 4.0では、印刷の詳細な設定は以下の2つのプロパティダイアログボックスで行います。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックス

このダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。次のようなプロパティシートで構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは表示させることができません。

- [全般]シート
- [ポート]シート
- [スケジュール]シート
- [共有]シート
- [セキュリティ]シート
- [プリンタの構成]シート

[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。次のようなプロパティシートで構成されています。

- [メイン]シート
- [用紙]シート
- [プリンタの状態]シート

ダイアログボックスの開き方

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから開く方法

  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また、用紙の設定の項目など表示できないことがあります。アプリケーションから呼び出せるのは印刷の設定を行う[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスだけです。

- デスクトップ上の[スタート]ボタンから開く方法

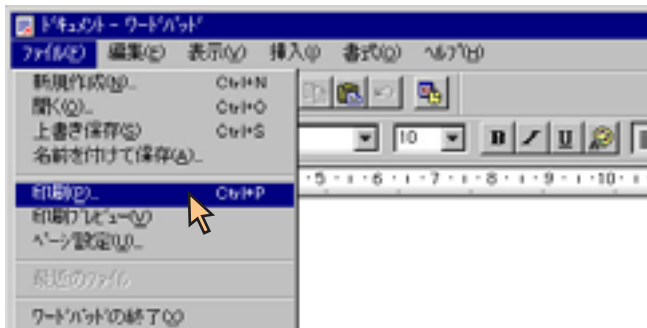
  ダイアログボックスの設定は[プリンタのプロパティ]、[ドキュメントプロパティ]、ともにすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

アプリケーションから開く

アプリケーションから[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを開く場合、[ファイル]メニューの[印刷]コマンドか[プリンタの設定]コマンドを使います。(このコマンドはほとんどの場合[ファイル]メニューの中にありますが、[ファイル]メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。)

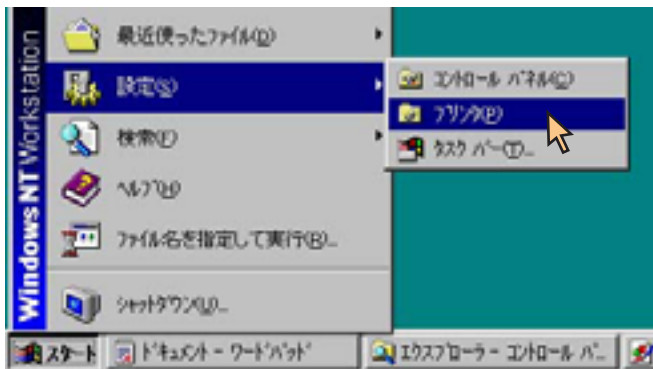
ここではWindows NT 4.0に添付されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって、[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを呼び出す手順を説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

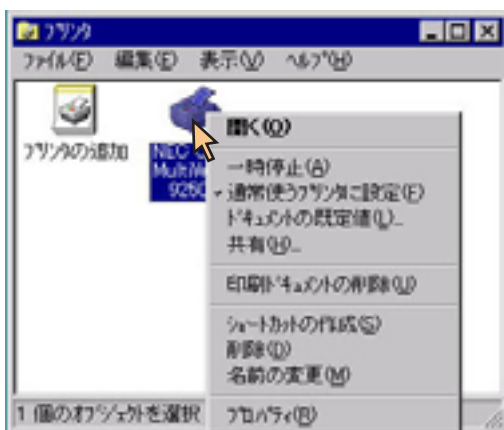
[印刷]ダイアログボックスが表示されます。

2. [プロパティ]をクリックする。

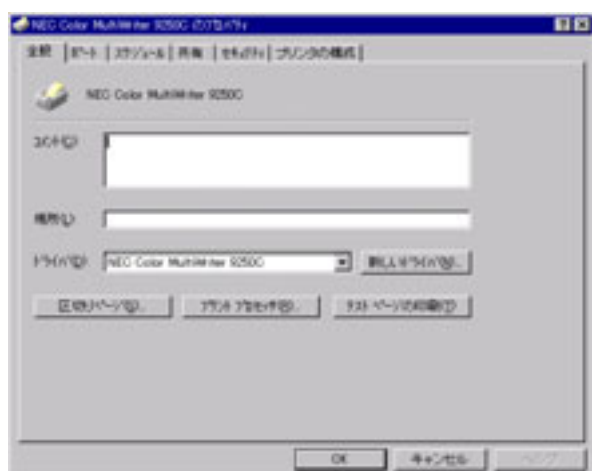
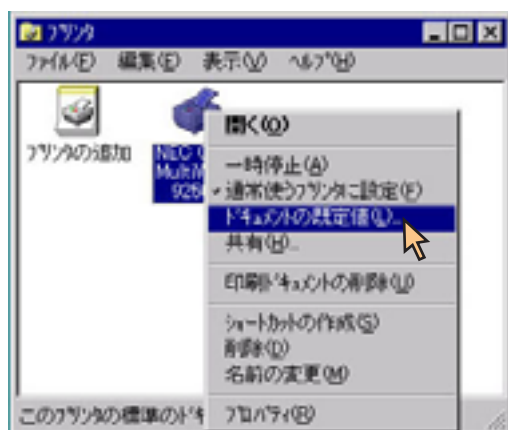
以下のような[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。各プロパティシートについては、「設定の概要(ドキュメントプロパティ)」を参照してください。

[スタート]から開く

1. [プリンタ]フォルダーを開く。

2. [NEC Color MultiWriter 9250C]アイコンを右クリックする。

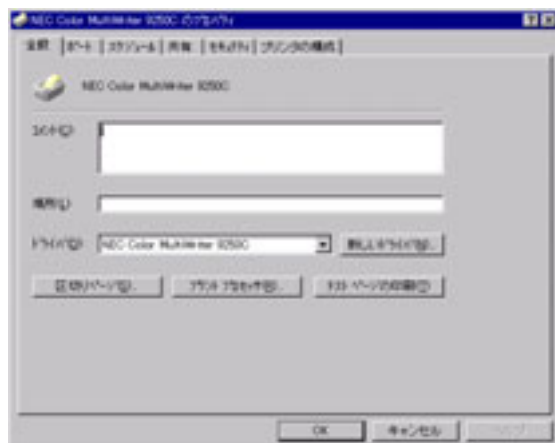
プリンターのアイコンが選択され、メニューが表示されます。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを開きたい場合は手順3へ、[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを開きたい場合は手順4へ進みます。

3. [プロパティ]をクリックして、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを開く。

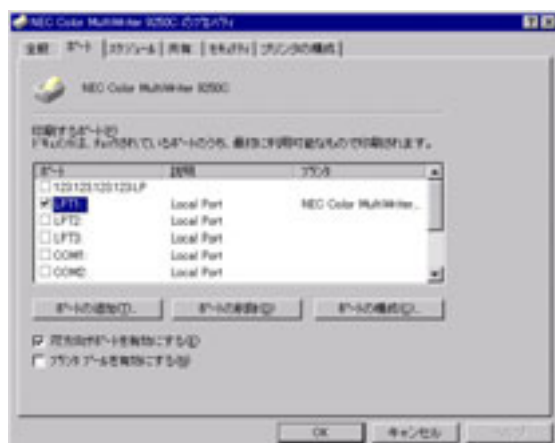
以下のような[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。各プロパティシートについては、「設定の概要(プリンタのプロパティ)」を参照してください。

4. [ドキュメントの既定値]をクリックして、[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを開く。

以下のような[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。各プロパティシートについては、「設定の概要(ドキュメントプロパティ)」を参照してください。

設定の概要(プリンタのプロパティ)

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることによりヘルプを表示することができます。

[全般]シート

このプロパティシートはあらかじめ入力されたプリンターについてのコメントなどを表示・設定します。Windows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

[ポート]シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

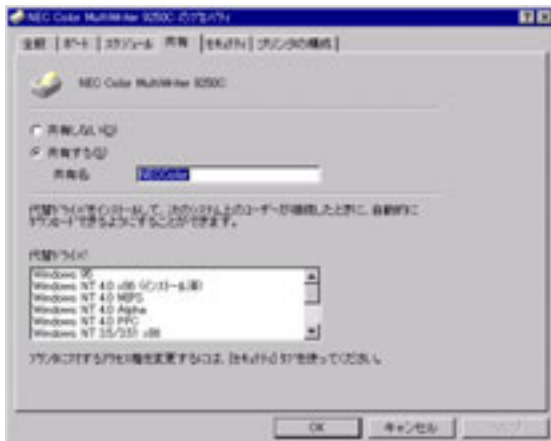
PrintAgentを使用する場合は、[双方向サポートを有効にする]をチェックしてください。

通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

[スケジュール]シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

[共有]シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

プリンターを共有するときの設定を行うシートです。

[セキュリティ]シート

このプロパティシートはWindows 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

[プリンタの構成]シート

双方向通信の場合

このプロパティシートは現在のプリンターの状態(オプション、ホッパー)を表示するものです。PrintAgentがインストールされていて、双方向通信している場合[最新の状態に更新]をクリックすると最新の情報を取得することができます。

片方向通信の場合

片方向通信を行っている場合は、手動でプリンターの構成を設定できます。

設定の概要（ドキュメントプロパティ）

［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。

［メイン］シート

このプロパティシートは用紙の種類、および印刷の品質などの以下の設定を行います。

- プリセットメニュー
- 用紙種別
- 印刷品質

「プリセットメニュー」

一般的な用途で使われる印刷品質・用紙種別に関する設定がスクロールウィンドウ内に登録されています。ウィンドウ内の希望のアイコンをクリックするだけで登録されている設定が印刷文書に反映されます。

あらかじめ登録されているプリセットの内容は以下のとおりです。設定されている内容は右下の設定情報表示エリアに表示されます。

- DTP　速度優先
  一般的なイラストや写真を含んだ文書を普通紙に高速に印刷する場合に適した設定です。
- DTP　画質優先
  一般的なイラストや写真を含んだ文章を普通紙に高品質で印刷する場合に適した設定です。
- 文書
  普通紙に文字を高品質に印刷する場合に適した設定です。
- 写真　速度優先
  写真画像を多く含んだ文書を普通紙に高速に印刷する場合に適した設定です。
- 写真　画質優先
  写真画像を多く含んだ文章を普通紙に高品質で印刷する場合に適した設定です。
- OHP
  プレゼンテーション資料などイラストを含んだデータをOHPに印刷する場合の設定です。

プリセットで設定できる項目の詳細については「カラー印刷の調整」、「プリセットメニューの設定内容」をご覧ください。また、オリジナルな設定内容を登録することもできます（登録・削除の方法についてはユーザーズマニュアルの「プリセットの登録・削除」参照）。

「用紙種別」

以下の用紙種別を選択することができます。一度印刷した厚紙やはがきの裏面に印刷を行う場合には、それぞれ「厚紙（裏）」、「はがき（裏）」を選択してください。

- 普通紙/再生紙
  市販のコピー用紙や再生紙などに印刷する場合に選択します。
- 厚紙
  厚紙に印刷する場合に選択します。
- コート紙
  コート紙に印刷する場合に選択します。
- はがき
  はがきに印刷する場合に選択します。
- ラベル紙
  ラベル紙に印刷する場合に選択します。
- OHP
  OHPフィルム（OHPフィルムセット（A4）：PR-L9200C-TP）に印刷する場合に選択します。印刷品質は「文字優先」に設定されます。
- 封筒
  封筒に印刷する場合に選択します。
- 厚紙（裏）
  一度印刷した厚紙の裏面に印刷する場合に選択します。
- はがき（裏）
  一度印刷したはがきの裏面に印刷する場合に選択します。

- [普通紙/再生紙]以外の用紙種別が選択されると給紙・排紙方法の変更を確認するダイアログボックスが表示されます。[はい]をクリックすると給紙方法は「手差しトレー」、排紙方法は「フェイスアップ」に変更されます。
- 用紙種別と印刷品質によって、選択できるハーフトーンは変更されます。

「印刷品質」

以下の印刷品質を選択することができます。印刷品質に関して何を優先するかを選択すると適切な解像度と階調値が設定されます。

- 速度優先
  速度を優先して印刷します。通常の設定です。
  解像度：300×300dpi
  階調値：多値
- 文字優先
  文字を優先して印刷します。文書などの印刷にお使いください。
  解像度：600×600dpi
  階調値：二値

印刷モードが「カラー」の場合、SETが選択できなくなります。

- 画質優先
  画質を優先して印刷します。配付文書などの清書印刷にお使いください。
  解像度：600×600dpi
  階調値：多値
- トナーセーブ
  トナーを節約して薄い色で印刷します。原稿などのテスト印刷にお使いください。
  解像度：300×300dpi
  階調値：多値

用紙の種類によって印刷品質や給紙方法、排紙方法などが制限されます。以下の表のとおりです。

用紙種類	印刷品質	給紙方法	排紙方法	両面印刷	製本印刷
普通紙／再生紙	○	○	○	○	○
厚紙	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
コート紙	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
はがき	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
ラベル紙	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
OHP	文字優先	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
封筒	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
厚紙（裏）	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
はがき（裏）	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×

○：選択できる
×：選択できない

[用紙]シート

このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行います。

- 用紙サイズ
- 印刷部数
- 印刷方向
- 給紙方法
- 排紙方法
- 丁合印刷
- 印刷レイアウト
- 両面印刷
- ウォーターマーク

「用紙サイズ」

印刷する用紙サイズを選択します。[ユーザ定義]を選択した場合は、用紙の寸法を入力する[ユーザ定義サイズ]ダイアログボックスが表示されます。給紙方法は「手差しトレー」となります。

はがき、往復はがき、または封筒を選択すると自動的に給紙方法は「手差しトレー」、排紙方法は「フェイスアップ」に変更されます。また、B5より小さいサイズを定義した場合も排紙方法は「フェイスアップ」に変更されます。

「印刷部数」

印刷する枚数を選択します。

「印刷方向」

用紙を縦向きに使用するか横向きに使用するかを選択します。

「給紙方法」

給紙元（ホッパ/手差しトレー）をコンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。「自動」にしておくと、選択されている用紙サイズがセットされているホッパー、手差しトレーから自動的に給紙されます。

給紙元を「自動」に設定して手差しトレーから給紙を行う場合、プリンターの操作パネルで手差しトレーの用紙サイズを設定しておく必要があります。手差しトレーの用紙サイズの設定が一致し、給紙方法が「自動」の場合でも、手差しトレーから給紙されます。

「排紙方法」

以下の排紙先を選択することができます。

- フェイスアップ（先頭ページから）
  先頭ページからページ順に印刷面を上に向けて排紙します。
- フェイスアップ（最終ページから）
  最終ページからページの逆順に印刷面を上に向けて排紙します。
- フェイスダウン
  先頭ページからページ順に印刷面を下に向けて排紙します。

「丁合印刷」

チェックボックスにより丁合印刷が指定できます。排紙方法、両面印刷の設定に従って印刷順序を示すアイコンも変化します。 両面印刷・製本印刷が指定されていると自動的に丁合印刷が指定されます。

チェック

アプリケーションによっては、プリンターのプロパティから「丁合印刷」を選択しただけでは丁合い印刷が有効にならない場合があります。アプリケーションの印刷設定で「丁合い」、もしくは「部単位で印刷」などの指定ができる場合は、アプリケーションの方で丁合印刷を指定してください。
また、一部のアプリケーションにおいてはアプリケーション自身が丁合い処理を行うため、丁合い印刷を高速に行う「電子ソート」の機能が有効にならない場合があります。

「印刷レイアウト」

このプロパティシートは印刷レイアウトに関する以下の設定を行うものです。

- 拡大縮小印刷
- 複数ページレイアウト
- 分割拡大印刷

［拡大縮小印刷］
文書を印刷する際の拡大縮小率を設定できます。通常使用される拡大・縮小率を指定できます。［詳細］をクリックすると［拡大縮小印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。

- 拡大/縮小率
  25～200％の範囲で設定できます。
- クイック設定
  定形用紙から拡大／縮小を設定します。
- 出力用紙サイズ
  印刷する用紙サイズを選択します。

［複数ページレイアウト］
複数ページレイアウトは、1枚の用紙に複数ページの印刷データを配置して印刷する機能です。［詳細］をクリックすると［複数ページレイアウト印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。

- ページ配置
  ページの配置順を2、4、8ページから設定します。
- ページレイアウト
  印刷するページの配置を設定します。
- 境界線を印刷する
  境界線の有無を設定します。

［分割拡大印刷］

分割拡大印刷は、ポスターなど大判サイズの印刷データを複数のページに分割して印刷する機能です。［詳細］をクリックすると［分割拡大印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。A4用紙を使用した場合、最大約A0サイズ相当のポスターを作成できます。印刷範囲、境界線の有無など詳細な設定ができます。

- 倍率設定
  拡大するページ数を設定します。
- 印刷範囲
  印刷するページを設定します。
- 境界線を印刷する
  境界線の有無を設定します。

「両面印刷」

このプロパティシートは両面印刷と製本印刷に関する設定を行うものです。それぞれ［詳細］をクリックするとダイアログボックスを表示し詳細な設定ができます。

次の条件を満たしていないと両面印刷、製本印刷を選択することができません。また、「拡大縮小印刷」、「複数ページレイアウト」を選択している場合は、製本印刷はできません。

- オプションの両面印刷ユニット（型番：PR-L9250C-DL）を装着していること
- ［メイン］シートの用紙種別で「普通紙/再生紙」が選択されていること、または手差しトレーに設定されていること
- 設定されている用紙サイズが特A3、A5、はがき、往復はがき、封筒、ユーザ定義でないこと
- 分割拡大印刷を選択していないこと

［片面］

表面にだけ印刷します。

［両面］

自動的に排紙方法が「フェイスダウン」、丁合印刷が有効に設定されます。

- 印刷位置調整
  ページ左余白からの印刷位置を0～20mmの範囲で指定することができます。
- 裏面を対称に配置する
  チェックすると裏面の印刷範囲の枠が綴じ辺を軸にして表面と対称な位置に配置されます。
- 綴じ方向
  綴じ方を「長辺綴じ」にするか「短辺綴じ」にするか、綴じる順番を右からとするか左からとするかを設定します。

［製本］

製本印刷とは週刊誌のように2つ折りの本になるようページを割り付けて印刷する機能です。自動的に排紙方法が「フェイスダウン」、丁合印刷が有効に設定されます。

- 製本印刷
  製本したときに印刷面はどこに配置されるかを指定します。すべてのページに配置する、右ページのみに配置する、左ページのみに配置するの3通りから選択できます。
- 印刷の順序
  ページを印刷する順番を指定します。［右から左］を選択すると右開きの本（和書）になります。通常は左開き（洋書）の順番です。

「ウォーターマーク」

ウォーターマークとは用紙の決まった部分に透かしを入れたように、透かしを重ねて印刷する機能です。[詳細]をクリックするとダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。 ウォーターマークはあらかじめ登録されている12個を含めて、最大50個まで登録することができます。ウォーターマークの追加登録方法に関してはユーザーズマニュアルの「ウォーターマークの登録」を参照ください。

- 位置
  マークが印刷される位置を指定します。「中央」、「左上」、「右上」、「左下」、「右下」から指定します。
- 角度
  印刷されるマークの角度を5段階で指定します。ビットマップスタイルのスタンプは角度の指定ができません。
- サイズ
  印刷されるマークのサイズを設定します。
- カラー選択
  印刷されるマークの色を指定します。文字スタイルのスタンプにのみ色の指定ができます。

[プリンタの状態]シート

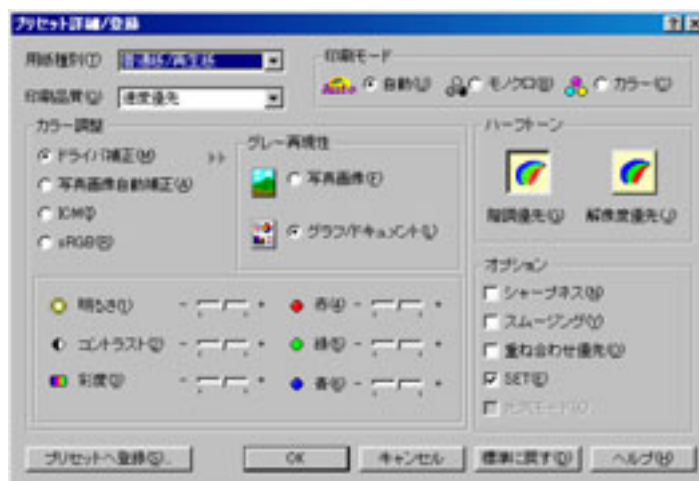
このプロパティシートは現在のプリンターの状態(オプション、ホッパー)を表示するものです。PrintAgentがインストールされていて、双方向通信している場合[最新の状態に更新]をクリックすると最新の情報を取得することができます。

次の条件が満たされているとリプリントの機能を使用するかどうかを選択することができます。

- PrintAgentがインストールされている
- 双方向通信が可能である
- PrintAgentのプロパティでリプリント機能が選択されている

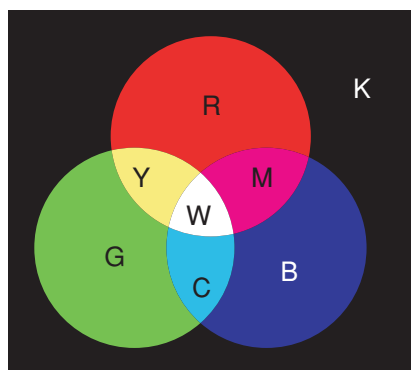
「EMFスプールを有効にする」をチェックすると高速にスプールが作成されますが、データによっては正しく印刷されません。また、アプリケーションによってはEMFスプールにしか対応していないものがあります。その場合は「EMFスプールを有効にする」をチェックしてください。

カラー印刷の調整

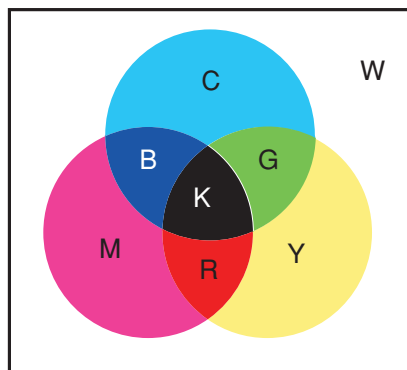
印刷を行う際には、カラー印刷に関するさまざまな設定ができます。設定は、[メイン]シートの[プリセット詳細/登録]をクリックし、[プリセット詳細/登録]ダイアログボックス上で行います。ここではWindows Me 日本語版の環境で説明します。

カラー印刷の基礎知識

色の表現方法

ディスプレイでの色の表現方法

ディスプレイ、スキャナなどの機器では、色を表現するのに、R(レッド)、G(グリーン)、B(ブルー)の光の3原色を使用しています。下に示すようにR、G、B、3色を混ぜ合わせることによりC(シアン)、M(マゼンタ)、Y(イエロー)という別の3色を得ることができます。光の3原色を混ぜ合わせることにより、様々な色を表現できることから加法混色と呼びます。加法混色の場合、RGB100%強度の光をすべて混ぜ合わせると白に、R、G、Bの光をまったく使用しないと黒になる性質を持っています。

上記では、RGB100%強度の光を混ぜ合わせる場合を示していますが、実際にはRGBそれぞれ256階調の色の強度を表現できることが一般的です。RGBそれぞれ256階調の色の強度を表現でき、それぞれを混ぜ合わせることで別の色を表現できるので、256×256×256=約1670万色の表現が可能ということになります。

プリンターでの色の表現方法

プリンター、印刷機などの機器では、C(シアン)、M(マゼンタ)、Y(イエロー)の3原色を使用して色を表現します。例えば、印刷物にCを印刷するとRの光を吸収します。同様に、YはBをMはGを吸収する性質を持ち、この特性を利用することにより色を表現していきます。光を吸収することにより色を表現するため、減法混色と呼びます。減法混色の場合、CMYすべてを100%印刷すると、すべての光を吸収して黒となります。また、何も印刷しないと光を全く吸収せず、白となります。

上記は、CMYを100%印刷した場合を示していますが、各色毎に階調を有しています。Color MultiWriter 9250Cの場合には各色とも256階調の階調性を有しているので、256×256×256=約1670万色の印刷が可能となっています。また、Color MultiWriter 9250Cの場合には、黒を正しく再現するため等の理由により、CMYの3原色以外に、K(ブラック)を加えて色を表現しています。

カラーマッチングについて

前項で説明したように、ディスプレイとプリンターとでは、色の表現方法が異なります。したがって、プリンターで印刷する色をディスプレイで表示されている色に合わせるには、カラーマッチングと呼ばれる手法を用いてRGB色とCMY色のマッチングを行う必要があります。RGB色による色再現範囲とC、M、Y色による色再現範囲は異なっています。異なる色再現範囲に対してカラーマッチングを行うわけですが、 Color MultiWriter 9250Cでは、様々なカラーマッチング手法を選択して色合わせを行うことができます。

ここでは、 Color MultiWriter 9250Cがサポートしているカラーマッチングの中から、以下の2つを説明します。

● sRGB

同じRGBを使用したディスプレイでもディスプレイごとに表現できる色は微妙に異なります。sRGBは、平均的なディスプレイのRGB色再現領域をCIE XYZ*という表色系で数値的に規定したものです。プリンターの色再現領域をこのsRGBの色空間に対応させることにより、平均的なディスプレイの色との色合わせを実現することができます。

＊ CIE(国際照明委員会)にて、定められた表色系で、CIE 1931標準表色系と呼ばれています。RGB表色系がデバイス毎に色再現領域が異なるのに対して、デバイスに依存しない表色系です。

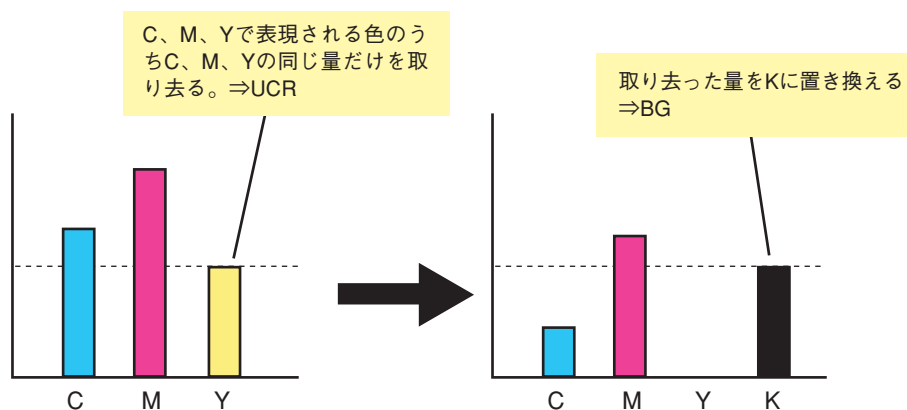
● ICM

Windows 95/98/Me/2000/XPにてサポートしているカラーマッチングシステムで、Image Color Matchingを意味します。写真のようなビットマップイメージに対してのみ有効なカラーマッチングシステムで、Windowsが持つカラーマッチングシステムにプリンターの特性を書き込んだプロファイル(ICC Profile)を与えることでプリンターに最適なカラーマッチングを行います。

UCR/BGについて

「色の表現方法」で説明したように、プリンターなどの機器ではCMYを3原色として色を表現していますが、Color MultiWriter 9250Cでは、CMYKの4色を使用して色を表現しています。C、M、Yを重ね合わせることにより理論的にはKを表すことができるにもかかわらず、Color MultiWriter 9250CでKを使用しているのは主に以下の理由からです。

- C、M、Yトナーにわずかな不純物が含まれるため、C、M、Yを重ね合わせても純粋なKとはならず、Kを使用した方が高品質に印刷することが可能となるため
- C、M、Yの重ね合わせをK1色で置き換えることができるため、トータルのトナー消費量を抑えることができ、ランニングコストが安くできるため

このような理由からColor MultiWriter 9250Cでは、UCR(Under Color Removal)とBG(Black Generation)という手法を用いてC、M、Y、Kの4色で色を表現しています。単純なUCR/BGは、以下のようになります。

実際には、このUCR/BGによって再現できる色が異なり、単純にCMYをKに置き換えるだけではきれいな印刷結果を得ることはできません。Color MultiWriter 9250Cでは、写真向けに階調の連続性を重視したUCR/BGとグラフ／ドキュメント向けにグレー色の再現性を重視したUCR/BGを使い分けることにより、それぞれの印刷物に適した色再現を実現しています。

ハーフトーンについて

Color MultiWriter 9250Cは、CMYK各色に256階調の色再現性を持ち、約1670万色フルカラーの印刷結果を実現しています。階調表現にはハーフトーンスクリーンという手法を用いています。ハーフトーンスクリーンとは、階調の表現に数個のドットを1つの階調表現の単位として色表現を行う手法です。

この階調表現の単位は、ハーフトーンセルと呼ばれます。一般的に、ハーフトーンセルが大きいとドットの数が多くできるため階調表現能力が有利になりますが、その反面ハーフトーンセルの間隔が大きくなるためドットの目立つ粒状感が悪い印刷結果となります。逆に、ハーフトーンセルが小さいとドットは目立たなくなり粒状感は向上しますが、階調表現能力が不利になります。

Color MultiWriter 9250Cでは、NEC独自の階調表現技術により小さいハーフトーンセルで圧倒的な階調表現力を実現し、粒状感と階調表現能力を両立した階調優先ハーフトーン(約200lpi*)と階調優先ハーフトーンよりさらにハーフトーンセルを小さくして色文字の再現性にこだわった解像度優先ハーフトーン(300lpi*)を用意し、印刷物にあった印刷環境を提供しています。

＊ lpi(line per inch)とは、ハーフトーンセルの細かさを表す単位で、25.4mm(1インチ)の長さに何個のハーフトーンセルが存在するかを示します。数字が大きいほどハーフトーンセルが細かく、粒状感が少なく、細部まで正確に表現できることを示します。

きれいに印刷するためのこつ

印刷ドキュメントに適した印刷モードで印刷する

Color MultiWriter 9250Cは、色々な印刷に対応できるように様々なカラーマッチング、UCR/BG、ハーフトーンを用意しています。最適な印刷モードを選択して印刷してください。印刷モードの詳細は、カラー調整を参照してください。

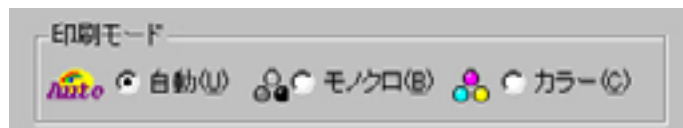
印刷する写真データの解像度を確認する

写真データを印刷する場合には、元になるデータの解像度が重要となります。一般に、ハーフトーンセルの解像度の倍の解像度があれば、十分にきれいに印刷することが可能であると言われています。Color MultiWriter 9250Cの場合には、階調優先のハーフトーンセルは、約200lpiですので、400dpi程度の解像度の写真データであれば、十分きれいに印刷できます。400dpi以上の解像度のデータでもきれいに印刷することはできますが、印刷データが非常に大きくなるため、印刷速度の低下につながる可能性があり、おすすめできません。逆に、印刷データの解像度が小さすぎると印刷速度は速くなりますが解像度不足のため、ガタガタとしたジャギーのある印刷結果となってしまいます。

印刷速度と印刷品質の両方を考えるのであれば、150dpi～400dpiを目安として画像の解像度を調整していただくことをお奨めします。

印刷モードについて

印刷モードは、[プリセット詳細/登録]ダイアログボックス上にあります。次の設定が行えます。

- 印刷モードが「自動」、または「カラー」に選択された状態でカラー調整が「ドライバ補正」以外の設定になっている場合、印刷モードを「モノクロ」に変更するとカラー調整の設定は自動的に「ドライバ補正」に変更されます。
- 「自動」に設定しておくことで、印刷するページがカラーかモノクロかを自動的に判別して最適な印刷処理を選択します。通常は「自動」に設定しておくことをお勧めします。

- 自動
印刷するページに含まれる描画データに応じてカラー／モノクロ描画処理を自動で切り替えて印刷します。描画の切り替えはページ毎に行います。データによってはカラー／モノクロの描画の切り替えがうまくいかない場合があります。カラーデータの少ないページもカラーモードで印刷されることがあるため、印刷ログではカラーとして扱われることがあります。初期設定では、この設定になっています。

- モノクロ
印刷するページに含まれる描画データに関係なく、モノクロ描画処理を行います。印刷ページがカラーの場合、モノクロに変換して印刷します。

- カラー
すべてのページをカラーモードで印刷します。カラーデータのないページもカラーモードで印刷されるため、印刷ログではカラーとして扱われます。

カラー調整

カラー調整は、[プリセット詳細/登録]ダイアログボックス上にあります。印刷するジョブに補正する場合に設定します。すべてのOSと共通していますが、ここではWindows Me 日本語版の環境で説明します。

ドライバ補正

印刷モードが自動、カラーの場合

印刷データの色補正をドライバーが行います。

補正方法(写真画像、またはグラフ／ドキュメント)、明るさ、コントラスト、彩度、赤・緑・青のカラーバランスを手動で調整できます。画像を主体とした印刷対象を補正する場合は「写真画像」を選択し、グラフや文字を主体とした印刷対象を印刷する場合は「グラフ／ドキュメント」を指定してください。

通常は、このモードを選択していれば、さまざまなドキュメントをきれいに印刷することができます。

印刷モードがモノクロの場合

印刷モードが「モノクロ」に設定されている場合は、設定できる項目が制限されます。

ドライバ補正を選択すると次のような画像の編集ができます。

明るさ(＋)

● 明るさ

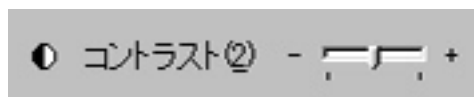
印刷結果の「明るさ」を±5段階で調整できます。実際の画像の「明るさ」が変わるわけではありませんが、印刷結果のイメージを表しています。

真ん中が標準状態、上が「＋」に調整した場合、下が「－」に調整した場合の印刷結果のイメージを表しています。

標準状態

明るさ(－)

● コントラスト

コントラスト(②)　-　+

印刷結果の「コントラスト」を±5段階で調整できます。実際の画像の「コントラスト」が変わるわけではありませんが、印刷結果のイメージを表しています。

真ん中が標準状態、上が「＋」に調整した場合、下が「ー」に調整した場合の印刷結果のイメージを表しています。

コントラスト（＋）

標準状態

コントラスト（ー）

彩度(＋)

標準状態

彩度(－)

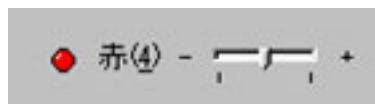
● 彩度

印刷結果の「彩度」を±5段階で調整できます。実際の画像の「彩度」が変わるわけではありませんが、印刷結果のイメージを表しています。

真ん中が標準状態、上が「＋」に調整した場合、下が「－」に調整した場合の印刷結果のイメージを表しています。
印刷モードが「モノクロ」に設定されている場合は、編集できません。

赤（＋）

標準状態

赤（ー）

● カラーバランス（赤）

印刷結果の「カラーバランス（赤）」を±5段階で調整できます。実際の画像の「カラーバランス（赤）」が変わるわけではありませんが、印刷結果のイメージを表しています。

真ん中が標準状態、上が「＋」に調整した場合、下が「ー」に調整した場合の印刷結果のイメージを表しています。
印刷モードが「モノクロ」に設定されている場合は、編集できません。

緑(＋)

標準状態

緑(−)

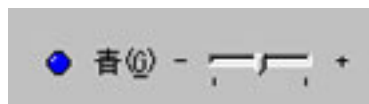
- カラーバランス(緑)

印刷結果の「カラーバランス(緑)」を±5段階で調整できます。実際の画像の「カラーバランス(緑)」が変わるわけではありませんが、印刷結果のイメージを表しています。

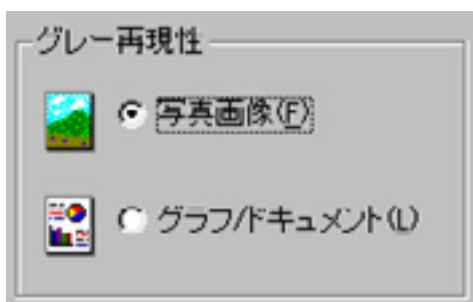
真ん中が標準状態、上が「＋」に調整した場合、下が「−」に調整した場合の印刷結果のイメージを表しています。
印刷モードが「モノクロ」に設定されている場合は、編集できません。

青（＋）

標準状態

青（－）

● カラーバランス（青）

印刷結果の「カラーバランス（青）」を±5段階で調整できます。実際の画像の「カラーバランス（青）」が変わるわけではありませんが、印刷結果のイメージを表しています。

真ん中が標準状態、上が「＋」に調整した場合、下が「－」に調整した場合の印刷結果のイメージを表しています。
印刷モードが「モノクロ」に設定されている場合は、編集できません。

● グレー再現性
UCR/BGの設定を変更します。この設定を変更することで、ドキュメントの特徴に応じて最適な印刷を行うことができます。

◇ 写真画像
印刷ドキュメントに写真が多く含まれている場合に選択します。階調表現の連続性を重視したUCR/BGを行います。

◇ グラフ／ドキュメント
印刷ドキュメントに文字／グラフなどが多く含まれる場合に選択します。グレー色の再現性を重視したUCR/BGを行います。

印刷モードが「モノクロ」、用紙種別が「OHP」、または印刷品質が「トナーセーブ」に設定されている場合は、設定できません。

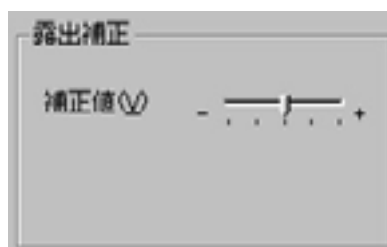
写真画像自動補正

自動補正前

自動補正後

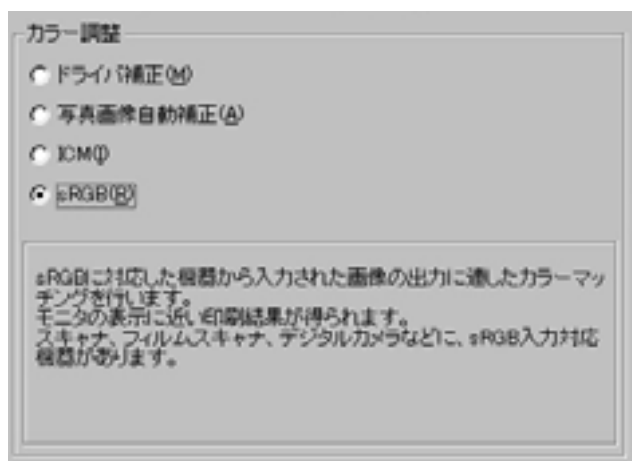
印刷する写真画像を解析し、自動的に画像を調整して印刷します。原画像が暗いなどの理由で美しく印刷できない場合に適した印刷モードです。

写真は自動補正を行う前後の印刷結果のイメージを示します。

露出補正のスライダーバーで補正の強度を微調整できます。スライダーバーが中央にある場合は、自動的に補正の強度を調整します。補正したい画像が暗い場合は、スライダーバーを左に移動させると印刷結果が明るくなります。補正したい画像が明るい場合は、スライダーバーを右に移動させると印刷結果が暗くなります。
通常は中央に設定しておいてください。
自動的に画像を判別するため、処理に時間がかかる場合があります。

ICMによる補正

印刷データの補正をWindowsが提供する補正機能を使って行います*。下段枠内にICMに関する説明が表示されます。Windows NT 4.0では未サポートのため、本設定は表示されません。

＊ ICMによるカラーマッチングは写真などのイメージに対してのみ有効です。

sRGBによる補正

sRGBに準拠したカラーマッチングを行います。ディスプレイの表示に近い印刷を行う場合に選択します。
下段枠内にsRGBに関する説明が表示されます。

ハーフトーン指定

ハーフトーンの処理方法を設定します。用紙種別と印刷品質の組み合わせにより異なります。また、用紙種別と印刷品質の組み合わせを変更することにより、現在選択しているハーフトーンがサポートされなくなる場合は、デフォルト（階調優先）のハーフトーンを選択し、それ以外の場合はそれまでのハーフトーンを選択し続けます。
設定できるハーフトーン指定は以下のとおりです。

- 階調優先

  印刷品質が「速度優先」、「画質優先」の場合に選択できます。粒状感と階調表現を両立したハーフトーンです。写真画像、グラフィック、文字などが混在したドキュメントを印刷する場合に適しています。

- 解像度優先

  印刷品質が「速度優先」、「画質優先」の場合に選択できます。ハーフトーンセルの大きさを小さくすることにより、色のついた文字などを印刷する場合に適しています。

- パターン

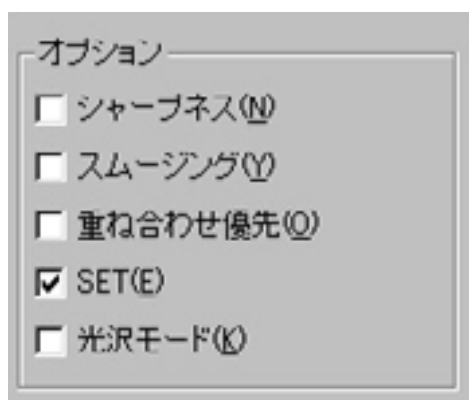
  印刷品質が「文字優先」、「トナーセーブ」の場合、および用紙種別が「OHP」の場合にはそれぞれの印刷モードに適したハーフトーンが自動的に選択されます。設定変更はできません。

用紙種別と印刷品質によるハーフトーンの組み合わせは次の表のとおりです。

用紙種類	印刷品質	パターン	階調優先	解像度優先
普通紙／再生紙、厚紙、コート紙、はがき、ラベル紙、封筒	速度優先	−	○	○
	文字優先	◎	−	−
	画質優先	−	○	○
	トナーセーブ	◎	−	−
OHP	文字優先	◎	−	−

○：ハーフトーンで選択できる。
◎：自動的に選択される。

オプション

オプション
シャープネス(N)
スムージング(Y)
重ね合わせ優先(O)
SET(E)
光沢モード(K)

オプションでは以下の設定ができます。

- シャープネス
  フルカラービットマップ画像に輪郭強調処理を行います。輪郭強調処理により、ピンボケの写真などの印刷結果が改善されます。
- スムージング
  フルカラービットマップ画像を拡大・縮小する場合に、平滑化処理を行います。解像度が小さいビットマップや解像度が大きすぎるビットマップを印刷する場合、より美しく印刷されます。
  ただし、ビットマップ画像をプリンターの解像度まで拡大して印刷するため、転送データが増えるので、印刷時間が長くなることがあります。
- 重ね合わせ優先
  印刷処理で画像の重ね合わせ処理を優先させます。印刷結果の文字やグラフィックオブジェクトの色合いや模様が画面上と大きく異なったり、抜け落ちたりする場合に指定します。
- SET機能
  SET（Sharp Edge Technorogy）機能を使用してテキストやグラフィックスの印刷品質を向上させます。

印刷品質が「文字優先」で印刷モードが「カラー」の場合、および印刷品質が「トナーセーブ」の場合は設定できません。すでに、SETが設定されている状態で印刷品質と印刷モードが変更された場合はSETの指定は解除され、設定できなくなります。

- 光沢モード
  光沢感のある印刷を行います。写真のように光沢感のある印刷を行う場合に指定します。特定の用紙種別で有効になります。

用紙種別が「厚紙」、「コート紙」、「はがき」が選択されている場合に設定できます。すでに、光沢モードが設定されている状態で用紙種別が変更された場合は光沢モードの指定は解除され、設定できなくなります。

プリセットメニューの設定内容

本プリンタードライバーのプリセットメニューには、すでに7個の設定が登録されています(自由登録を含む)。それぞれの設定内容について以下の表に示します。プリセットメニューは、最大で20個まで登録できます。

プリセットメニューの設定内容(1/2)

タイトル	設定項目	既定値
DTP速度優先	用紙種別	普通紙／再生紙
	印刷品質	速度優先
	印刷モード	自動
	カラー調整	ドライバ補正
	イメージ設定	明るさ：0 コントラスト：0 彩度：0 カラーバランス：0 グレー再現性：グラフ／ドキュメント
	ハーフトーン	階調優先
	オプション	SET：ON
DTP画質優先	用紙種別	普通紙／再生紙
	印刷品質	画質優先
	印刷モード	自動
	カラー調整	ドライバ補正
	イメージ設定	明るさ：0 コントラスト：0 彩度：0 カラーバランス：0 グレー再現性：グラフ／ドキュメント
	ハーフトーン	階調優先
	オプション	SET：ON
文書	用紙種別	普通紙／再生紙
	印刷品質	文字優先
	印刷モード	自動
	カラー調整	ドライバ補正
	イメージ設定	明るさ：0 コントラスト：0 彩度：0 カラーバランス：0 グレー再現性：グラフ／ドキュメント
	ハーフトーン	パターン
	オプション	SET：OFF

プリセットメニューの設定内容(2/2)

タイトル	設定項目	既定値
写真速度優先	用紙種別	普通紙／再生紙
	印刷品質	速度優先
	印刷モード	自動
	カラー調整	ドライバ補正
	イメージ設定	明るさ：0 コントラスト：0 彩度：0 カラーバランス：0 グレー再現性：写真画像
	ハーフトーン	階調優先
	オプション	SET：ON
写真画質優先	用紙種別	普通紙／再生紙
	印刷品質	画質優先
	印刷モード	自動
	カラー調整	写真画像自動補正
	イメージ設定	露出補正：0
	ハーフトーン	階調優先
	オプション	SET：ON
OHP	用紙種類	OHP
	印刷品質	文字優先
	印刷モード	自動
	カラー調整	ドライバ補正
	イメージ設定	明るさ：0 コントラスト：0 彩度：0 カラーバランス：0
	ハーフトーン	パターン
	オプション	SET：OFF

片方向用プリンタードライバーについて

PrintAgentは以下のシステムには対応していません。

- Windows 2000 Advanced Server、Windows 2000 Datacenter Server、Windows NT Server、Enterprise Edition 4.0のクラスタ機能を使ったクラスタリングシステム
- Windows NT Server 4.0, Terminal Server Edition、Windows XP/2000のTerminal Serviceを実装したシステム

これらのシステムでは、PrintAgentが正常に動作しない場合がありますので、PrintAgentをインストールしないでご利用ください。またこれらのシステムでご使用の際には、双方向通信に対応していないプリンタードライバーをお使いください。双方向通信に対応していないプリンタードライバーは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録しています。

片方向用プリンタドライバは、双方向通信機能に対応しておりません。このため、次の機能は利用できません。

- プリンターの情報取得機能
- オプション機器の自動設定

PrintAgentのリプリント機能

WindowsディレクトリーのあるハードディスクドライブをNTFS形式でフォーマットしている場合で、Windowsディレクトリーにアクセス制限が掛けられている場合、プリンターソフトウエアCD-ROMの¥TEMPSetディレクトリに格納されているTEMPSetユーティリティーによってプリンタードライバーが一時ファイルを書き出すテンポラリーパスを別の任意のディレクトリーに設定する必要があります。

OSをインストールした後、テンポラリーパスの設定が行われていない場合は、Winodwsディレクトリーがテンポラリーパスとして使用されております。Windowsディレクトリーが印刷を行うユーザーに書き込みができない設定となっている場合、EMPSetユーティリティーを使用して、テンポラリーパスを別のディレクトリーに設定してください。特に、Windows NT Server 4.0, Terminal Server Editionをご使用になられているお客様で、WindowsディレクトリーのあるハードディスクドライブにNTFSフォーマットをご使用になられているお客様は、デフォルトでWindowsディレクトリーにアクセス制限が掛けられているため、TEMPSetユーティリティーによる設定が必要となりますのでご注意ください。

TEMPSetユーティリティーによる設定を行わない場合、印刷されないなどの現象が発生することがあります。詳細については、プリンターソフトウエアCD-ROMの¥TEMPSet¥Readme.txtをお読みください。

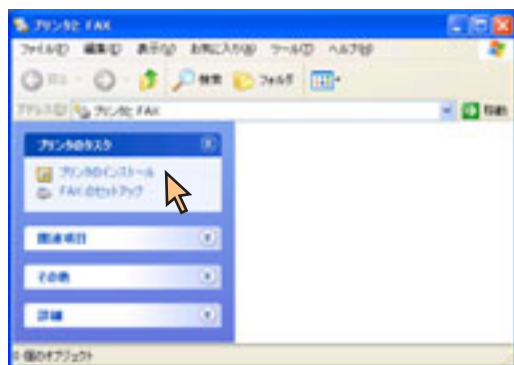
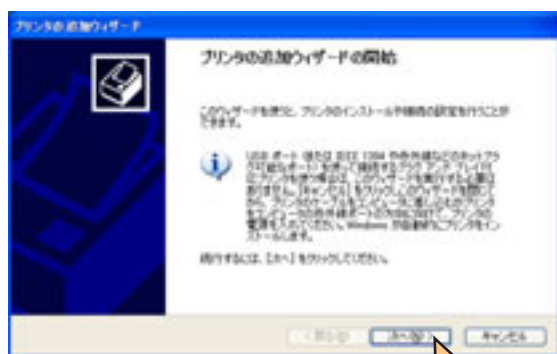
インストール方法

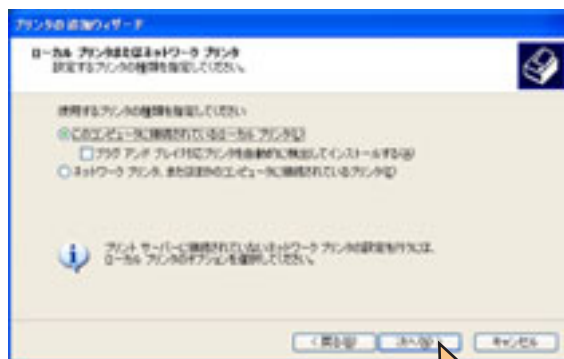
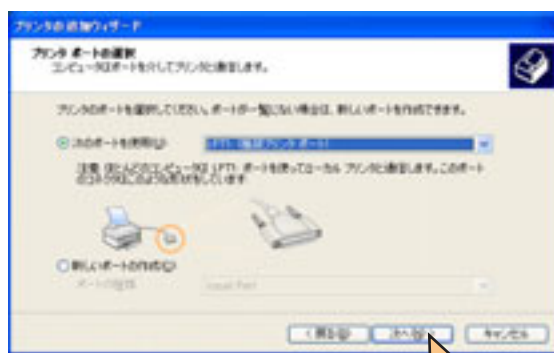
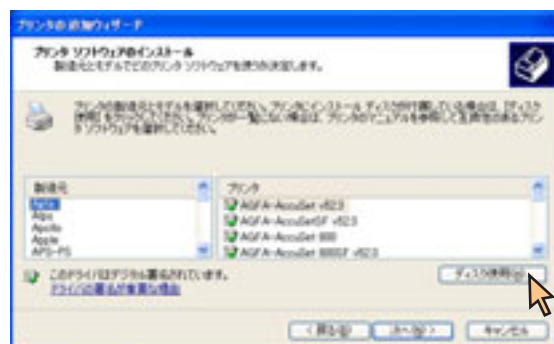
Windows XP 日本語版

❶ Windows XP 日本語版を起動する。

❷ [スタート]ボタンの[プリンタとFAX]をクリックして[プリンタとFAX]フォルダを開く。

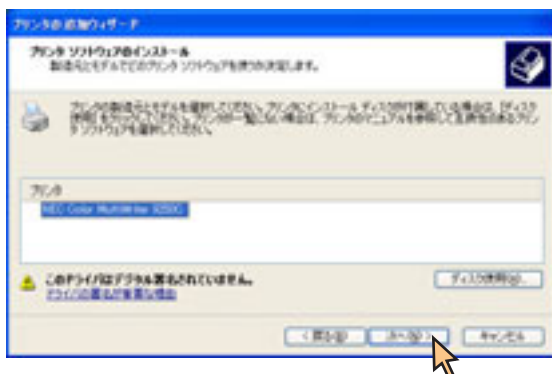
Windows XP Home Editionの場合は、コントロールパネルの[プリンタとその他のハードウェア]クリックし、[プリンタとFAX]フォルダーを開きます。

❸ [プリンタとFAX]フォルダの[プリンタのタスク]フォルダにある[プリンタのインストール]アイコンをダブルクリックする。

❹ [プリンタの追加ウィザードの開始]で、[次へ]をクリックする。

❺ プリンタの接続先を選び[次へ]をクリックする。

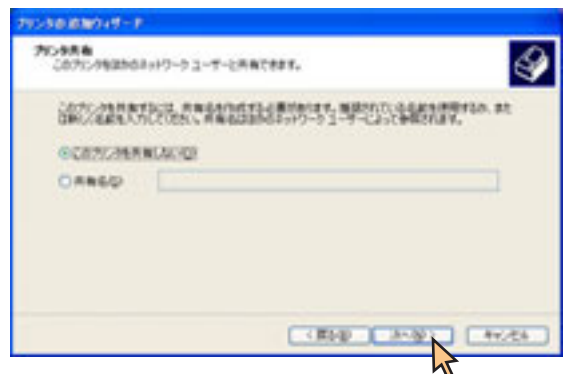
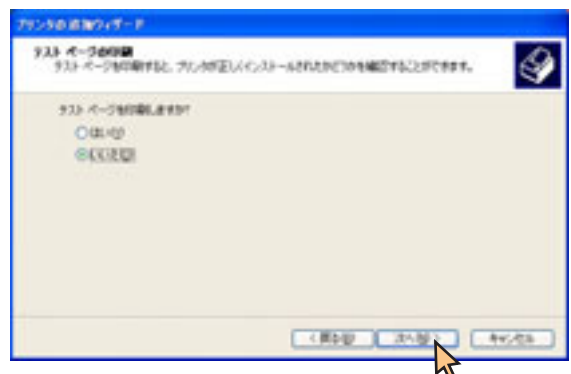
[ネットワークプリンタ]を選択する場合はOSの取扱説明書をご覧ください。

❻ 「LPT1:(推奨ポート)」を選び[次へ]をクリックする。

❼ [ディスク使用]をクリックする。

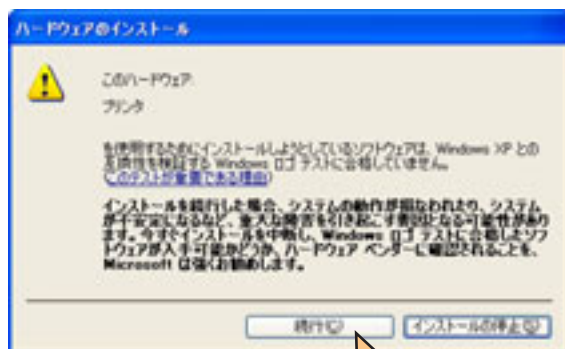
❽ [フロッピーディスクからインストール]ダイアログボックスの［製造元のファイルのコピー元]を指定するテキストボックスに、CD-ROMをセットしたドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「CMW9250C¥W2CUSTOM」と直接入力し、[OK]をクリックする。

フロッピーディスクをご使用の場合、CD-ROMの「CMW9250C¥W2CUSTOM」からコピーしたフロッピーディスクをドライブにセットします。[製造元のファイルのコピー元]を指定するテキストボックスに、フロッピーディスクを挿入したドライブ名、コロン(:)と直接入力し、[OK]をクリックします。

❾ [プリンタ]で[NEC Color MultiWriter 9250C]を選択し[次へ]をクリックする。

❿ [プリンタ名]でプリンタの名前を確認して[次へ]をクリックする。

すでに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、通常使うプリンタとして使用するかしないかを選択してください。

⓫ インストールするプリンタを共有するかしないか選択して[次へ]をクリックする。

⓬ [テストページの印刷]でテストページを印刷するかしないか選択して[次へ]クリックする。

⓭ [完了]をクリックする。

⓮ 「Windows XPとの互換性を検証するWindowsロゴテストに合格していません」と表示されたら[続行]をクリックする。

本プリンタドライバーはロゴテストに対応しておりませんが、弊社で正しく動作すること とを確認しております。

これでインストールは完了です。

Windows 2000 日本語版

❶ Windows 2000 日本語版を起動する。

❷ [スタート]ボタンの[設定]メニューの[プリンタ]をクリックして[プリンタ]フォルダを開く。

❸ [プリンタ]フォルダの[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。

❹ [プリンタの追加ウィザードの開始]で、[次へ]をクリックする。

❺ プリンタの接続先を選び[次へ]をクリックする。

[ネットワークプリンタ]を選択する場合はOSの取扱説明書をご覧ください。

❻ 使用するプリンタポートを選び[次へ]をクリックする。

❼ ［ディスク使用］をクリックする。

❽ ［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスの［製造元のファイルのコピー元］を指定するテキストボックスに、CD-ROMをセットしたドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「CMW9250C¥W2CUSTOM」と直接入力し、［OK］をクリックする。

フロッピーディスクをご使用の場合、CD-ROMの「CMW9250C¥W2CUSTOM」からコピーしたフロッピーディスクをドライブにセットします。［製造元のファイルのコピー元］を指定するテキストボックスに、フロッピーディスクを挿入したドライブ名、コロン(:)と直接入力し、［OK］をクリックします。

❾ ［プリンタ］で［NEC Color MultiWriter 9250C］を選択し［次へ］をクリックする。

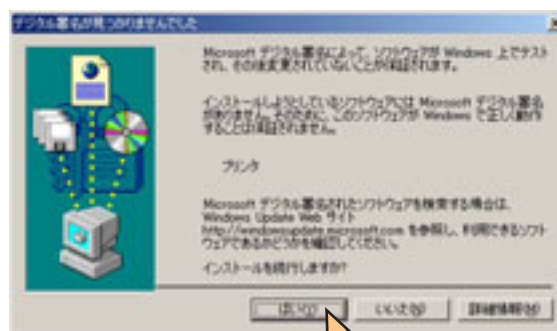
❿ ［プリンタ名］でプリンタの名前を確認して［次へ］をクリックする。

すでに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、通常使うプリンタとして使用するかしないかを選択してください。

⓫ インストールするプリンタを共有するかしないか選択して［次へ］をクリックする。

⓬ ［テストページの印刷］でテストページを印刷するかしないか選択して［次へ］クリックする。

⓭ [完了]をクリックする。

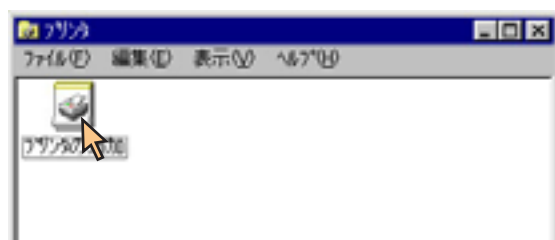
⓮ [デジタル署名が見つかりませんでした]ダイアログが表示されたら[はい]をクリックする。

本プリンタドライバはデジタル署名に対応しておりませんが、弊社で正しく動作するこ とを確認しております。

これでインストールは完了です。

Windows NT 4.0 日本語版

❶ Windows NT 4.0 日本語版を起動する。

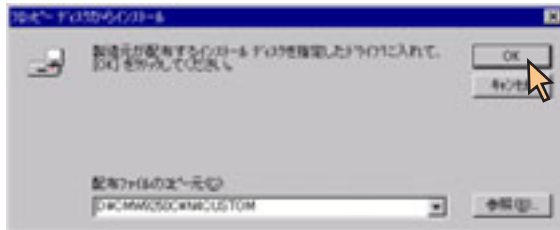
❷ [スタート]ボタンの[設定]メニューの[プリンタ]をクリックして[プリンタ]フォルダを開く。

❸ [プリンタ]フォルダの[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。

❹ プリンタの接続先を選び[次へ]をクリックする。

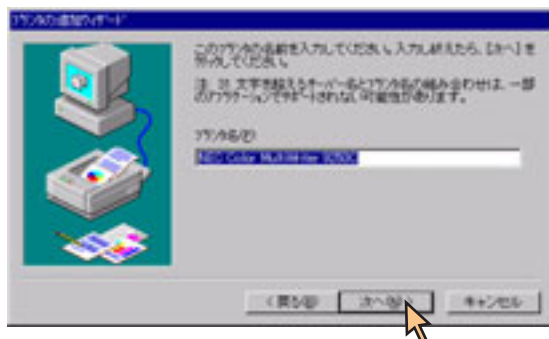
[ネットワークプリンタサーバー]を選択する場合はOSの取扱説明書をご覧くださ い。

❺ 使用するプリンタポートを選び[次へ]をクリックする。

❻ [ディスク使用]をクリックする。

❼ ［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスの［配布ファイルのコピー元］を指定するテキストボックスに、CD-ROMをセットしたドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「CMW9250C¥N4CUSTOM」と直接入力し、［OK］をクリックする。

フロッピーディスクをご使用の場合、CD-ROMの「CMW9250C¥N4CUSTOM」からコピーしたフロッピーディスクをドライブにセットします。
［配布ファイルのコピー元］を指定するテキストボックスに、フロッピーディスクを挿入したドライブ名、コロン(:)と直接入力し、［OK］をクリックします。

❽ ［プリンタ］で［NEC Color MultiWriter 9250C］を選択し［次へ］をクリックする。

❾ ［プリンタ名］でプリンタの名前を確認して［次へ］をクリックする。

すでに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、通常使うプリンタとして使用するかしないかを選択してください。

❿ インストールするプリンタを共有するかしないか選択して［次へ］をクリックする。

⓫ ［テストページの印刷］でテストページを印刷するかしないか選択して［完了］をクリックする。

これでインストールは完了です。

PrintAgent

この章ではPrintAgentが正常に機能するための注意事項、PrintAgentが提供する各機能の設定方法を説明します。なお、説明はWindows Meの画面を使っています。OSによる機能の違い、制限事項があった場合はそのつど説明を付け加えています。

ソフトウエアの起動

PrintAgentはローカルプリンターの印刷、管理に加えネットワークプリンターで印刷される方とネットワークプリンターを管理される方のためにさまざまな機能を提供します。PrintAgentの機能は次のソフトウエアを使ってご利用になれます。

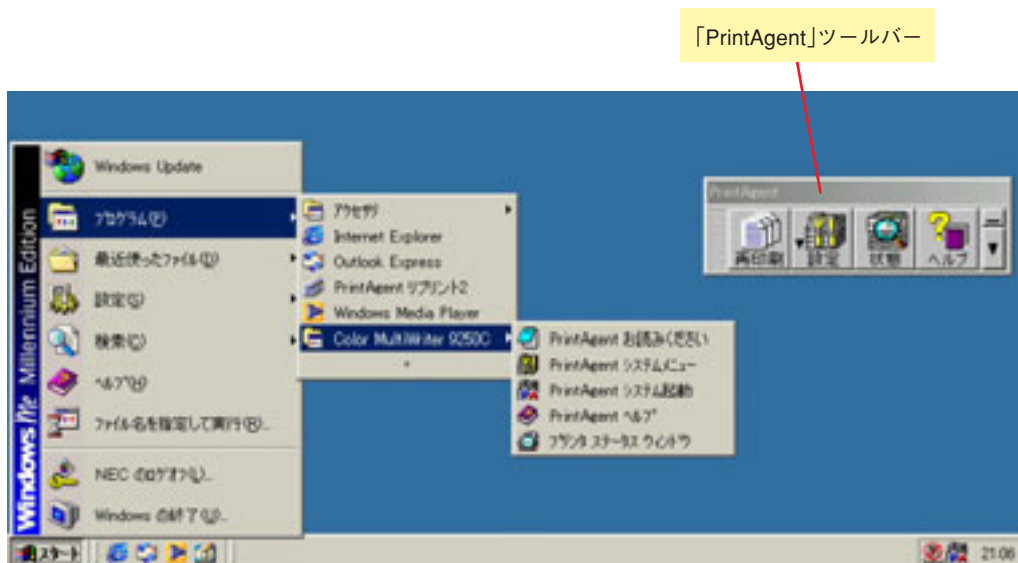
これらのソフトウエアはOSのデスクトップ上([スタート]ボタン、またはタスクバーのアイコン)から呼び出すことができます。

[スタート]ボタンから

- **PrintAgentシステムメニュー**
  「PrintAgentシステムメニュー」ダイアログボックスが起動されます。このダイアログボックスではPrintAgentを効率よく運用していただくための環境を設定します。

- **PrintAgentシステム起動**
  PrintAgentのシステムを起動させます。通常はOSが立ち上がると自動的に起動する設定になっています。

- **プリンタステータスウィンドウ(PSW)**
  現在使用しているプリンターの状態(用紙なしやカバーオープンなど)や印刷の進行状況をコンピューターの画面上のアニメーションや音声*で確認することができます。「PrintAgent」ツールバーから起動することもできます。

- **PrintAgent リプリント2**
  一度印刷したドキュメントをアプリケーションの再起動をすることなく、再印刷することができるアプリケーションです。

[Color MultiWriter 9250C]のメニュー

- **プリンター覧***
  お使いのコンピューターにインストールされているプリンターを一覧形式で表示し、各プリンターの使用状況が確認できます。

- **プリンタ管理ユーティリティ**
  お使いのコンピューターが利用できるプリンターを一覧形式で表示し、プリンターやLANボード、およびLANアダプターを設定・管理できます。プリンターソフトウエアを管理者向けでインストールした方のみご利用になれます。

＊ 標準ではインストールされません。

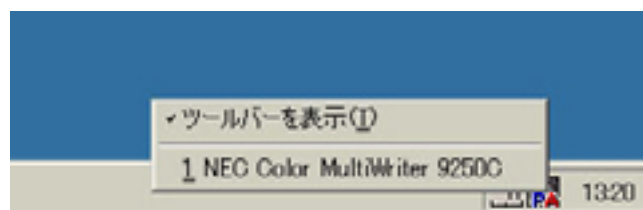
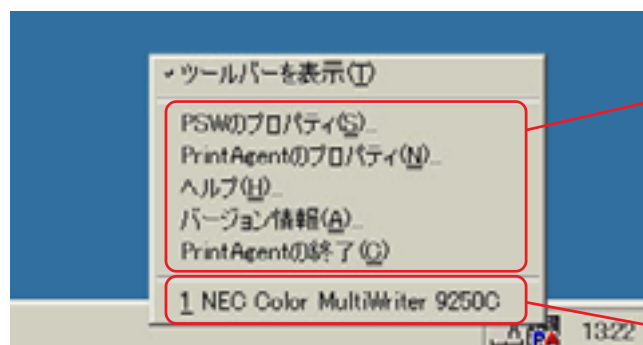
［PrintAgent管理ツール］フォルダー

タスクバーのアイコンから

- ツールバーを表示
  「PrintAgent」ツールバーを表示させることができます。「PrintAgent」ツールバーはPrintAgentの機能をボタン化してひとまとめにし、より便利になったリプリント「PrintAgent リプリント2」を追加したものです。

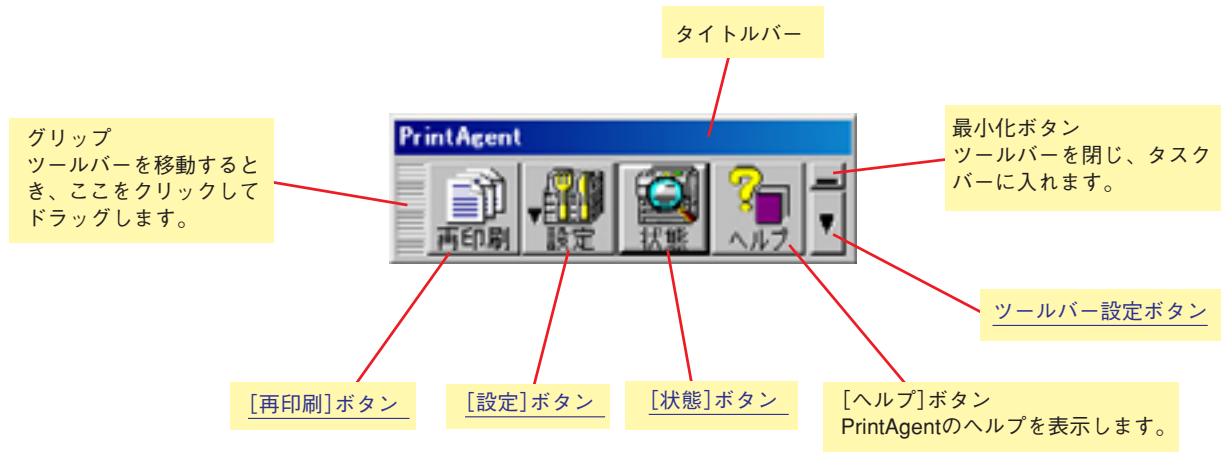
- プリンタステータスウィンドウ(PSW)
  プリンターの状態(用紙なしやカバーオープンなど)や印刷の進行状況をコンピューターの画面や音声*で確認することができます。現在ご使用になっていないプリンターのPSWも起動することができます。ご使用のコンピューターでPSWの対象となっているPrintAgent対応プリンターが列挙されますので希望のプリンターをクリックすることによって該当のプリンターのPSWを起動できます。

  ＊ 標準ではインストールされません。

- システムメニュー
  PrintAgentをネットワークで効率よく運用していただくための設定ダイアログボックスを直接起動します。またPrintAgentシステムを直接終了することができます。

タスクバーのアイコン(左クリック)

タスクバーのアイコン(右クリック)

「PrintAgent」ツールバー

「PrintAgent」ツールバーはPrintAgentの機能のうち「再印刷」、「設定」、「状態」、「ヘルプ」に関する4項目をボタン化し、ツールバーにまとめたものです。それぞれのボタンをクリックするだけで簡単に各機能を呼び出すことができます。

「PrintAgent」ツールバーはタスクバーのアイコンをダブルクリックするかタスクバーのアイコンのメニューから呼び出すことができます。

再印刷ボタン

このボタンをクリックすると[PrintAgent リプリント2]が起動され、再印刷を行うことができます。このウィンドウを使うとPSWから起動するリプリント機能よりさらに便利な機能がご利用になれます。詳細は「PrintAgentリプリント2」をご覧ください。

[PrintAgentリプリント2]ダイアログボックス

設定ボタン

PrintAgentの設定に関するコマンドを表示します。

PSWのプロパティ

[PSWのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。[スタート]ボタン、タスクバーのアイコンを介して表示されるものと同じです。

PrintAgentのプロパティ

[PrintAgentのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。[スタート]ボタン、タスクバーのアイコンを介して表示されるものと同じです。

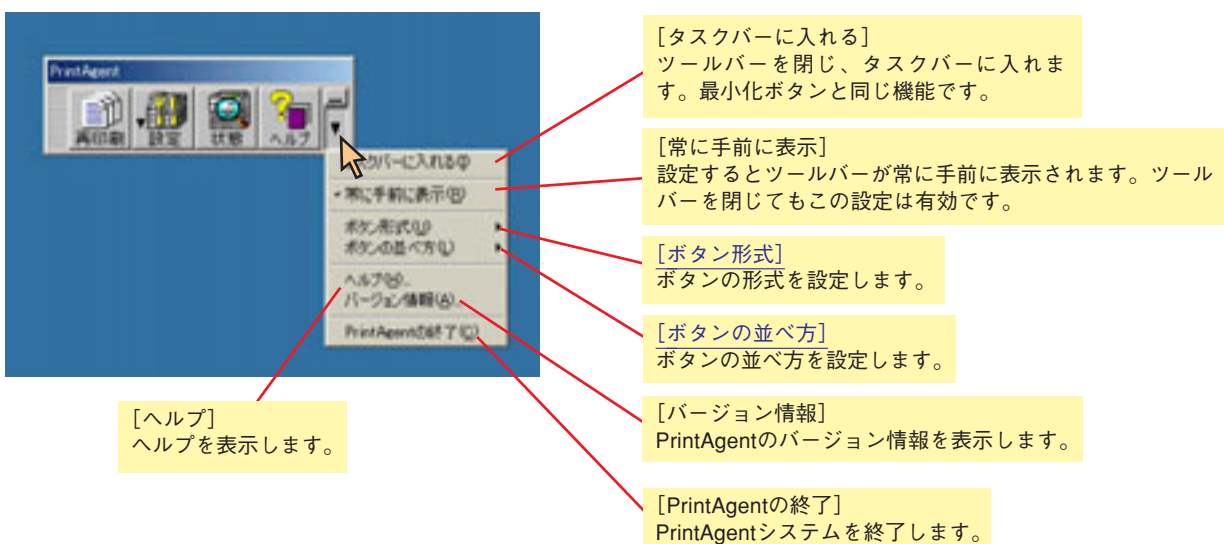
PrintAgentのバージョン情報

PrintAgentのバージョンが表示されます。

状態ボタン

このボタンをクリックするとPrintAgentに対応しているプリンターをリスト表示します。希望のプリンター名をクリックするとプリンタステータスウィンドウが表示されます。

ツールバー設定ボタン

このボタンをクリックするとツールバーの表示形式などを設定するコマンドのメニューが表示されます。

ボタン形式

ボタンの形式を次の3種類から選択できます。この設定はツールバーを閉じても有効です。

● 文字列を表示

● 大きいボタン

● 小さいボタン

「大きいボタン」、「小さいボタン」で表示した場合、またはツールバーを移動する場合はグリップをクリックしてドラッグします。

ボタンの並べ方

ボタンの並べ方を次の2種類から選択できます。この設定はツールバーを閉じても有効です。

● 横

● 縦

PrintAgent リプリント2

PrintAgentリプリント2は「PrintAgent」ツールバーの[再印刷]ボタンをクリックしたときに起動されるソフトウエアです。[スタート]メニューの[プログラム]フォルダーからも起動することができます。

このソフトウエアを使うと、一度印刷したスプールファイルに保存されているドキュメントを組み合わせることができます(ジョブ結合)。また、スプールしてあるドキュメントを丁合い機能を使って再印刷することもできます。

スプールファイルの制限や格納するフォルダなどリプリント機能の設定に関してはPSWから起動するリプリント機能と同じです。ここでは、PrintAgentリプリント2ソフトウエアの概要を説明します。このソフトウエアを使った実際の手順はユーザーズマニュアルをご覧ください。

スプールドキュメントシート

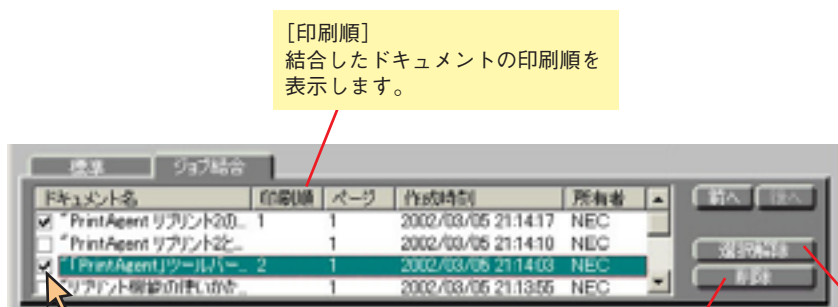
このシートは[リプリント機能の設定]ダイアログボックスの設定に従って保存してあるドキュメントをリスト表示し、再印刷するドキュメントの選択、結合、印刷順の変更などを設定することができます。

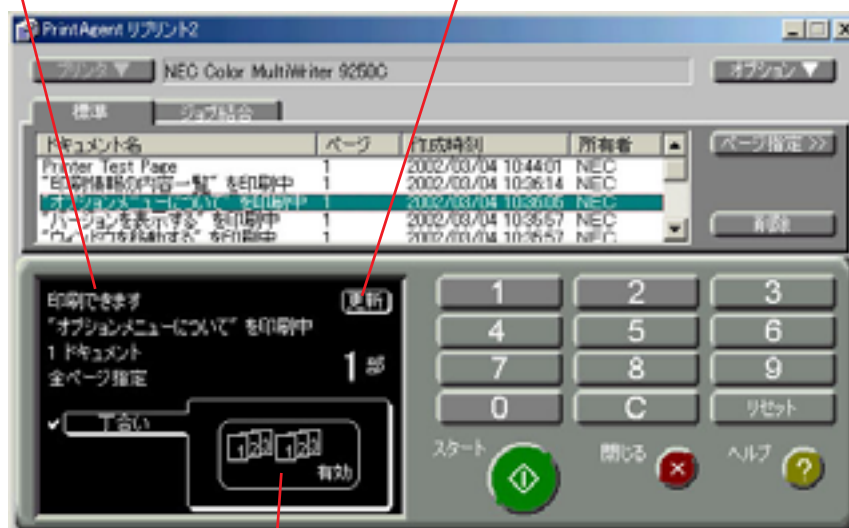
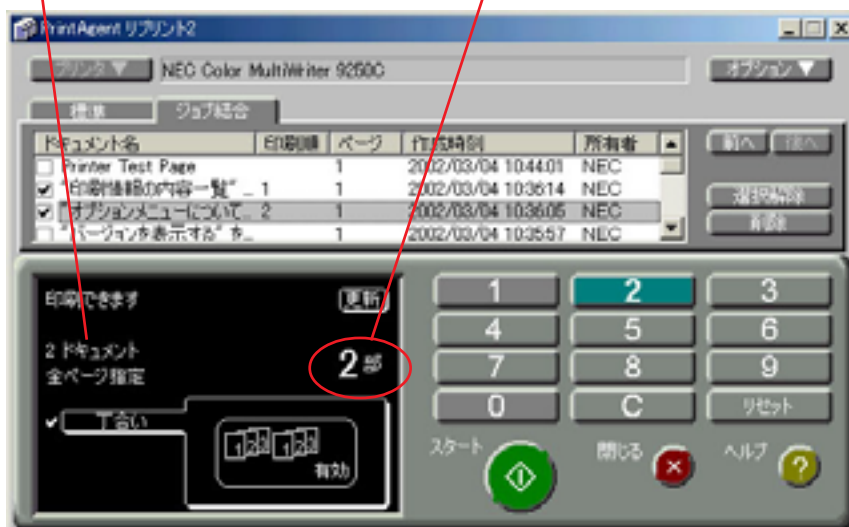
標準シート

リスト中の希望するドキュメントを直接クリックし、ハイライト表示させることでリプリントするドキュメントとして選択することができます。

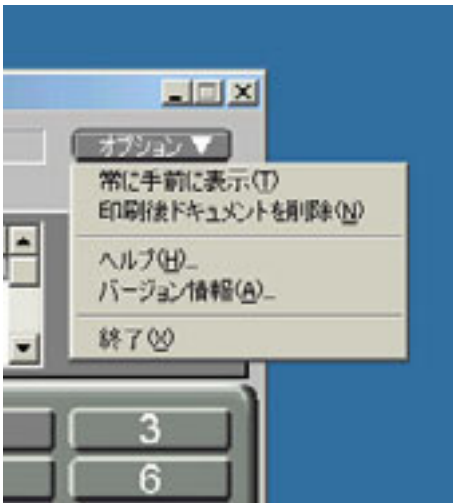
＊　[所有者]の項目は、クライアントコンピューターのときは表示されません。お使いになっているWindows環境がWindows XP/2000/NT 4.0の場合、Administrators権限がないユーザー（Windows XPの場合は「コンピュータの管理者」以外のユーザー）は[所有者]の項目が表示されません。

ジョブ結合シート

リスト中の希望するドキュメントのチェックボックスをクリックしてチェックマークを付けることでジョブ結合するドキュメントを選択することができます。

ディスプレイパネル

ディスプレイパネルはリプリントの設定内容を表示し、リプリント文書に対して丁合いの設定をすることができます。

[標準]シートで**1**ドキュメントを選択したときの画面

[ジョブ結合]シートで**2**ドキュメントを選択し、丁合い機能を有効にしたときの画面

[オプション]

[オプション]メニューはPrintAgent リプリント2のオプション機能を設定します。

常に手前に表示

設定するとPrintAgent リプリント2ウィンドウが常に手前に表示されます。

ヒント

PrintAgent リプリント2を閉じても、この設定は有効です。

印刷後ドキュメントを削除

設定するとリプリント実行後、選択されていたファイルを削除します。

ヒント

PrintAgent リプリント2を閉じても、この設定は有効です。

ヘルプ

PrintAgent リプリント2のヘルプが表示されます。

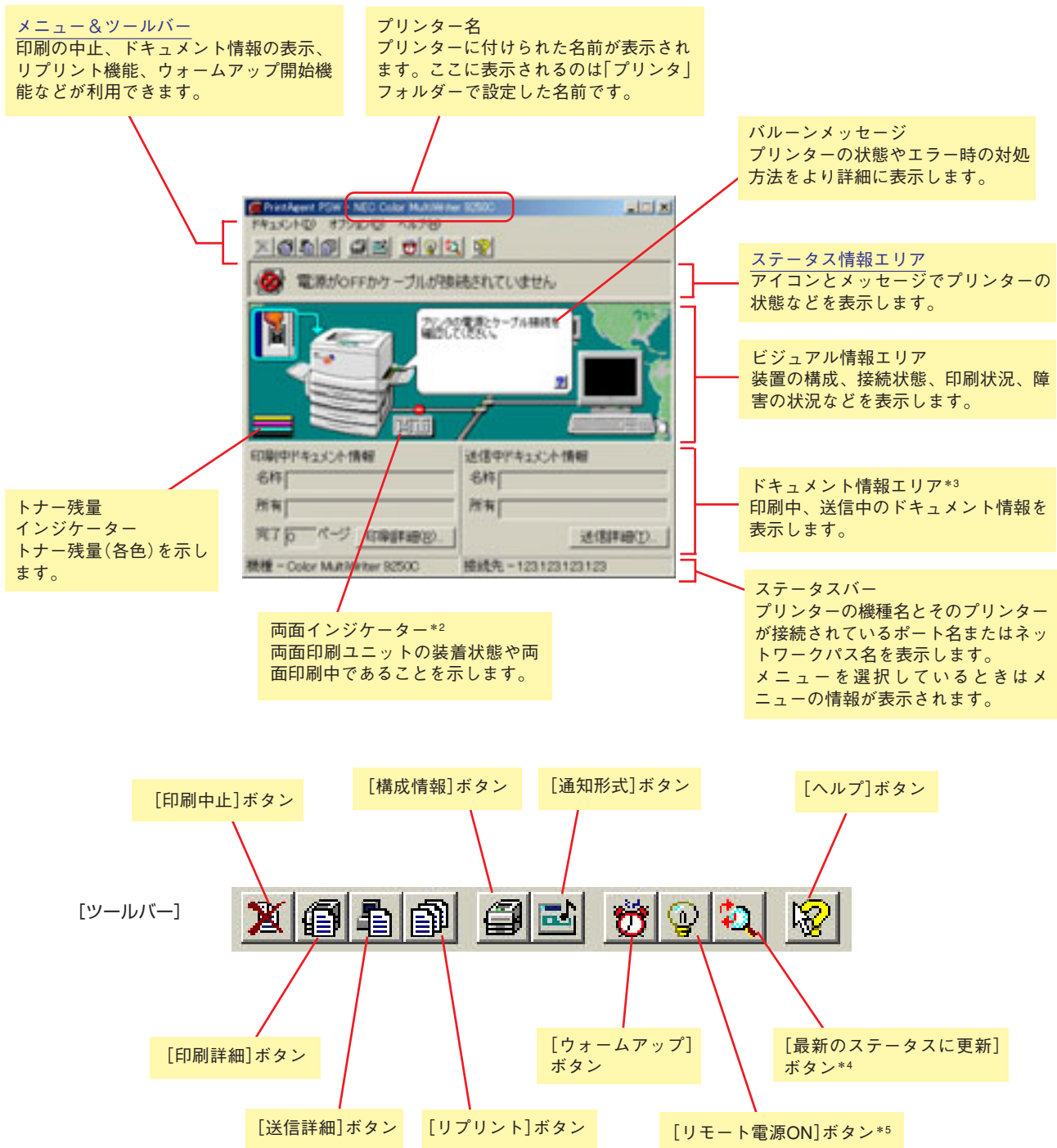
バージョン情報

PrintAgent リプリント2のバージョンが表示されます。

終了

PrintAgent リプリント2を終了します。

プリンタステータスウィンドウ

プリンタステータスウィンドウ（PSW）は印刷の進行状況やプリンターの状態を画面と音声*1によるメッセージで通知します。また、印刷の中止の指示もこのウィンドウから行うことができます。

*1　音声機能は標準ではインストールされません。

*2　両面印刷ユニット（オプション）を装着したときのみ表示されます。

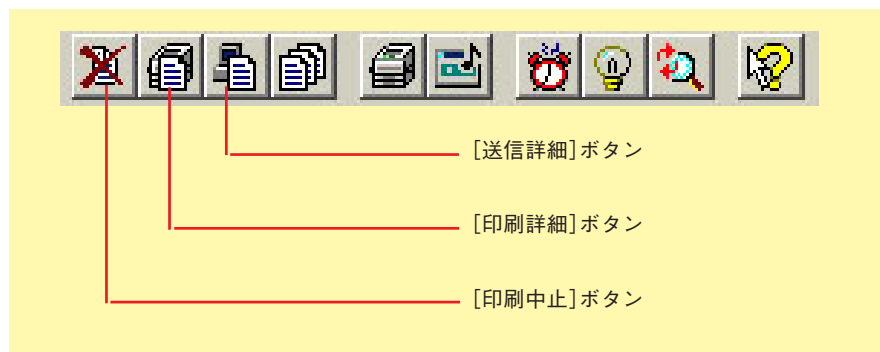
*3　初期設定では表示されません。ドキュメント情報エリアを表示させるには[通知形式のプロパティ]ダイアログボックスで[ドキュメント情報]をチェックしてください（「通知形式を変更する」参照）。

*4　初期設定では印刷中以外はプリンターの状態を監視しないことになっています。プリンターの最新の状態を知るためには[最新のステータスに更新]ボタンをクリックしてください。常にプリンターの状態を取得するようにするには[通知形式のプロパティ]ダイアログボックスで[常にステータスを取得]をチェックしてください（「通知形式を変更する」参照）。

*5　プリンターがリモート電源制御対応LANアダプター（型番PR-NP-03TR2）に接続されている状態で電源制御の設定が有効な状態に表示されます。

メニュー&ツールバー

メニューとツールバーを使うと印刷の中止、ドキュメント情報の表示、リプリント機能、ウォームアップ開始機能などが利用できます。ツールバーのボタンはメニューの項目をアイコン化したものです。

ドキュメントを制御する

印刷の中止

ツールバーの[印刷中止]ボタンをクリックするか、[ドキュメント]メニューの[印刷中止]を選択すると送信中のドキュメントの印刷中止を行います。

PrintAgentをご使用の環境での印刷中止は、この「ジョブキャンセル」機能を使うことをお勧めいたします。ジョブキャンセルは、送信中の印刷データを削除し、印刷を取りやめることができます。すでに送られた印刷データは削除することができません。

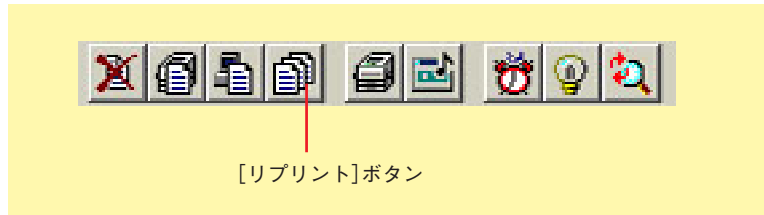
印刷中ドキュメントの表示

ツールバーの[印刷詳細]ボタンをクリックするか[ドキュメント]メニューの[印刷詳細]を選択すると印刷中、印刷待ち、および受信中のドキュメント一覧を表示します。

送信中ドキュメントの表示

ツールバーの[送信詳細]ボタンをクリックするか[ドキュメント]メニューの[送信詳細]を選択すると送信中、送信待ちのドキュメント一覧を表示します。

リプリント機能を使う

リプリント機能を利用すると一度印刷したデータはアプリケーションから再び印刷を実行することなく、PSWのダイアログボックスから直接再印刷（リプリント）できるようになります。

ツールバーのリプリントボタンをクリックするか［ドキュメント］メニューの［リプリント機能］を選択すると［リプリント機能］ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスを使ってリプリントするドキュメントの設定を行います。

リプリント機能についてはPrintAgent リプリント2 をご利用になると、より高機能な使い方ができます。リプリントはPrintAgent リプリント2 をお使いになることをお勧めします。

［スプールファイルの選択］

リプリントを行うドキュメントを選択します。

［印刷後スプールファイルを削除］

リプリントを行った後に、プライベートスプールしてあるドキュメントを削除します。プライベートスプールしてあるドキュメントとは、リプリントのために保存されたドキュメントのことです。

［印刷範囲］

［スプールファイルの選択］で選択されたドキュメントの印刷範囲を指定します。

［スプールファイル削除］

クリックすると［スプールファイルの選択］で選択したドキュメントを削除します。

［部数］

印刷時の部数（コピー枚数）を指定することができます（1～99枚まで設定可能）。

［部単位で印刷］

印刷時の部数を複数枚指定した場合、部単位で印刷（丁合い印刷）するかどうかについて指定します。

［印刷］

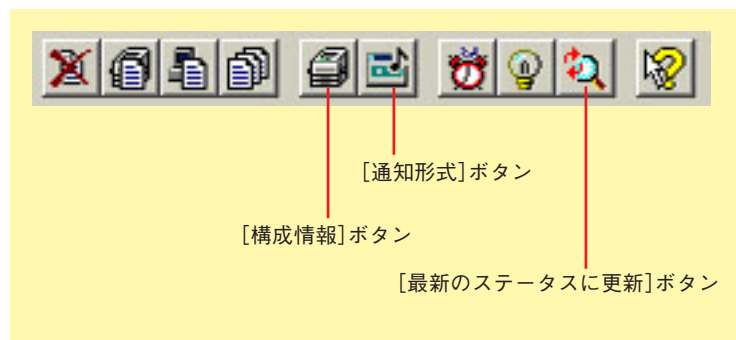
クリックすると再印刷を実行します。

［閉じる］

クリックすると再印刷を実行せずに、［リプリント機能］ダイアログボックスを閉じます。

すでに他のPrintAgent対応プリンターをご使用になり、PrintAgentをインストールしている場合に、Color MultiWriter 9250CのPrintAgentをインストールすると、リプリント機能のスプールファイルの「ドキュメント数」は、すでにインストールされているPrintAgentの設定値が10未満の場合は10、10以上の設定がされている場合はその設定値となります。

プリンターの構成情報を見る

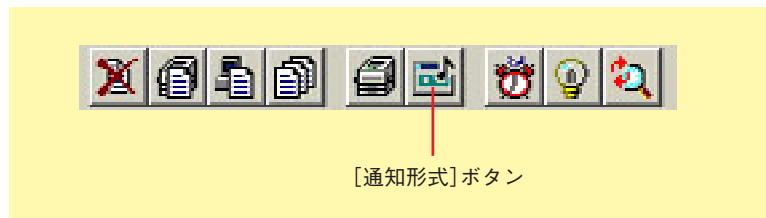
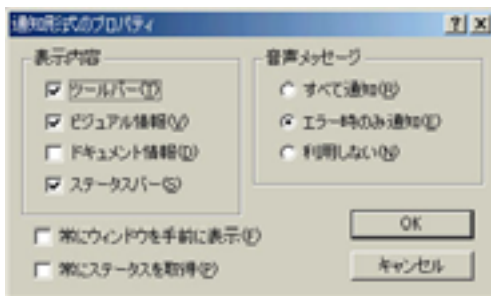
ツールバーの[構成情報]ボタンをクリックするか[オプション]メニューの[プリンタの構成情報]を選択するとプリンターの給紙構成、トナー残量、オプション、メモリーの情報を表示します。

常に最新の情報を取得する設定になっていないと、このダイアログボックスの構成情報と実際の構成情報が一致しない場合があります。

最新の情報に更新するにはツールバーの[最新のステータスに更新]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[最新のステータスに更新]を選択してください。

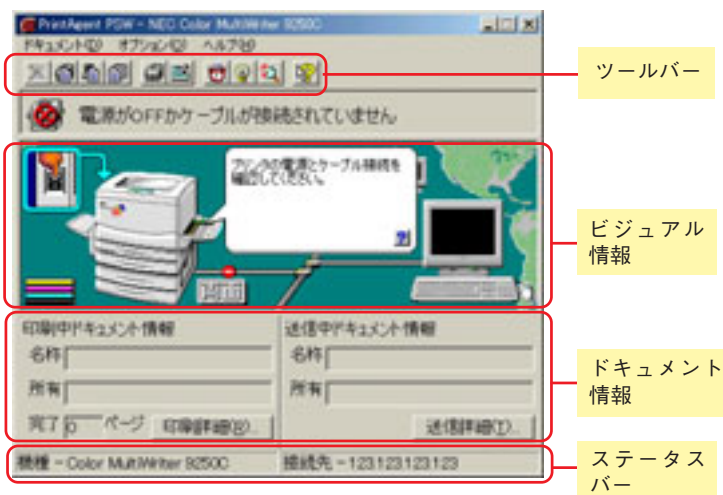
常に最新情報を取得したい場合はツールバーの[通知形式の設定]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[通知形式]を選択すると表示される[通知形式のプロパティ]ダイアログで[常にステータスを取得]をチェックしてください(「通知形式を変更する」参照)。

プリンターとコンピューターで双方向通信が行われていないときはプリンターの構成情報が正しく表示されません。

通知形式を変更する

ツールバーの[通知形式]ボタンをクリックするか[オプション]メニューの[通知形式]を選択するとプリンタステータスウィンドウ(PSW)の通知形式を変更することができます。

表示内容を必要とする項目だけを選択することにより、ウィンドウをコンパクトにすることができたり、常にステータスを取得するかどうかなどを設定できます。

[表示内容]

ウィンドウに表示する内容を次の項目で選択します。初期設定では[ドキュメント情報]がオフになっています。

- ツールバー
- ビジュアル情報
- ドキュメント情報*
- ステータスバー

* 初期設定では表示されません。

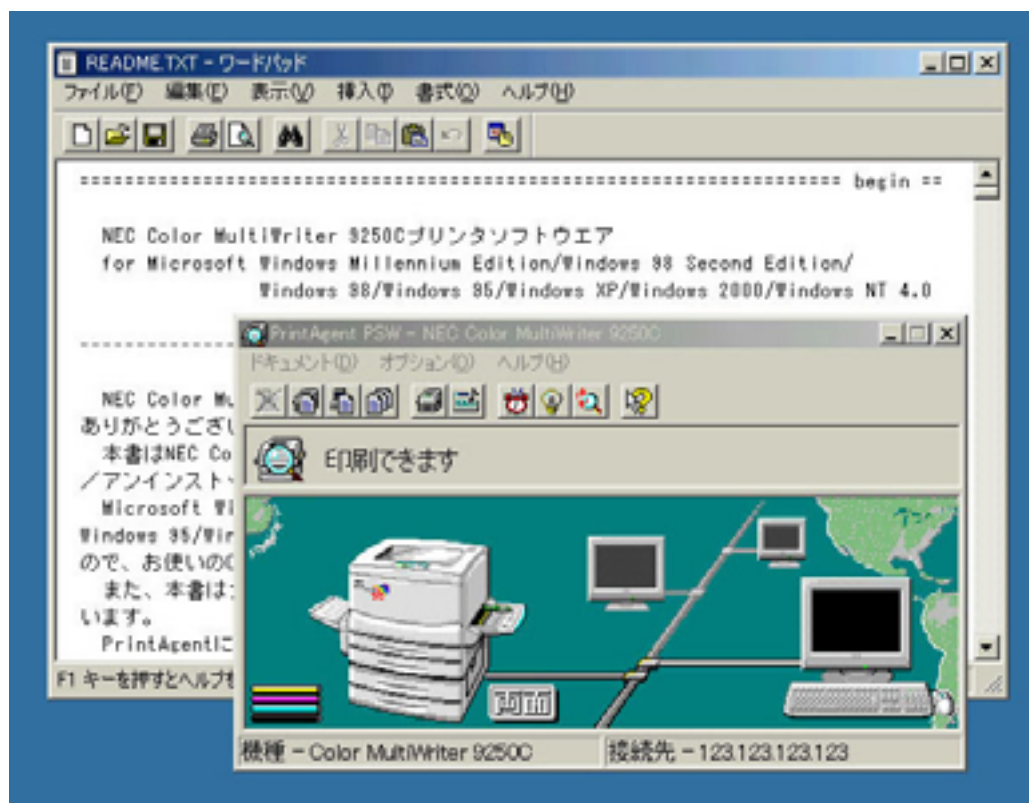
[音声メッセージ]

音声メッセージの利用方法を切り替えます。

- すべて通知
- エラー時のみ通知
- 利用しない

- 音声メッセージ通知はインストール時に選択しないとご利用になれません。
- 音声メッセージは、自分のドキュメントの印刷中にはPSWが表示されていない場合でもPrintAgentが起動していれば通知されます。必要ない場合は[音声メッセージ]で[利用しない]を選択してください。
- 音声メッセージは、自分のドキュメントを印刷していないときの通知に関しては、PSWのプロパティの設定内容により変わります。詳細については「システムメニュー」をご覧ください。
- 連続して印刷を行っている場合、印刷開始のメッセージは最初のデータの印刷処理が開始されたときだけ通知されます。同様に印刷終了のメッセージは最後のデータが処理終了したときだけ通知されます。

[常にウィンドウを手前に表示]

この項目をチェックしておくと一番手前にPSWが表示されるので、プリンタの状態を常に確認できます。

[常にステータスを取得]

この項目をチェックしておくと印刷中以外でもプリンターの状態を常に監視します。ネットワーク共有プリンターの場合はサーバーで設定してください。

チェック

Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0ではAdministrators権限を持つユーザー(Windows XPの場合は[コンピュータの管理者])のみが設定を変更できます。

ウォームアップを行う

ツールバーの[ウォームアップ]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[ウォームアップ開始]を選択すると節電状態のプリンターのウォームアップを開始します。通常はデータ受信とともにウォームアップを開始しますが、印刷前にあらかじめウォームアップを開始させておくと印刷までの時間が早くなります。さらに、通常状態で[ウォームアップ]ボタンを押すと節電状態に入るまでの時間をリセットすることができます。

ヒント

節電機能のON/OFFと節電状態に入るまでの時間は、プリンターの操作パネルによるメニューモードの[「運用メニュー」](#)で設定できます。

プリンターの電源をONする

ツールバーの[リモート電源ON]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[電源をONにする]を選択すると指定したプリンターの電源をONすることができます。

チェック

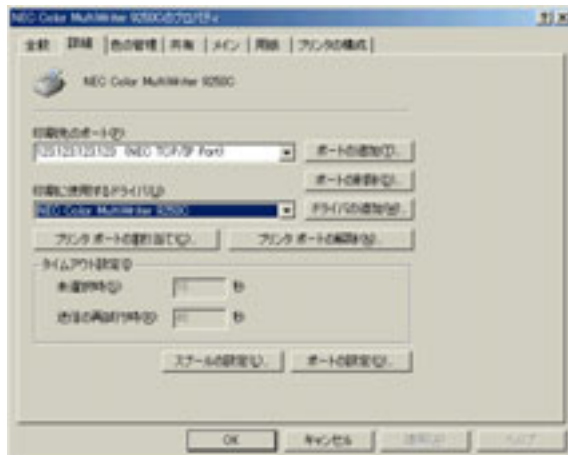
プリンターがリモート電源制御対応のLANアダプター(型番PR-NP-03TR2)に接続されている場合のみ利用できます。

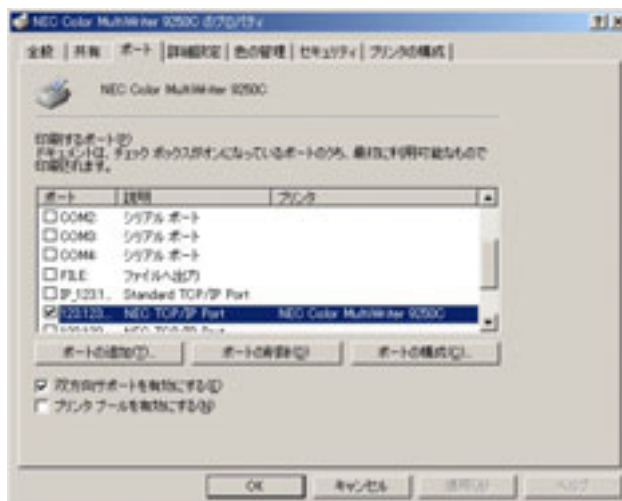
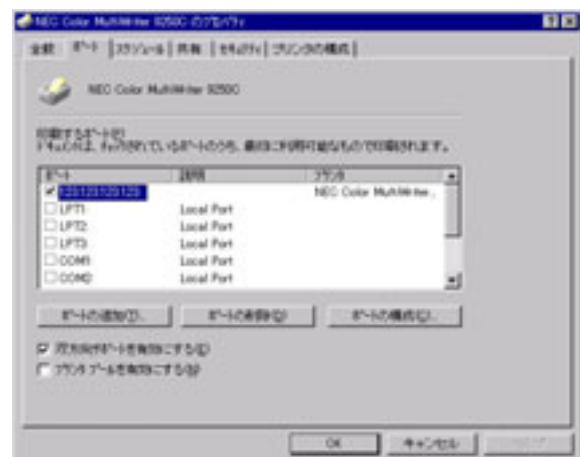
PSWからはプリンターの電源をOFFすることはできません。プリンターの電源OFFはプリンタ管理ユーティリティをご利用ください。詳しくはプリンタ管理ユーティリティのマニュアルをご覧ください。

PSWでリモート電源制御機能を利用するには

印刷先のポートとしてNEC TCP/IP Portを直接指定している場合は、以下の設定を行ってください。

1. [プリンタ]フォルダー(Windows XPでは[プリンタとFAX]フォルダー)から対象プリンターの[プロパティ]ダイアログボックスを開き、Windows Me/98/95の場合は[詳細]タブ、Windows XP/2000/NT 4.0の場合は[ポート]タブをクリックする。

それぞれ、以下のシートが表示されます。

Windows Me/98/95の場合

Windows XPの場合

Windows 2000の場合

Windows NT 4.0の場合

2. **Windows Me/98/95の場合は［ポートの設定］、Windows XP/2000、Windows NT 4.0の場合は［ポートの構成］をクリックする。**

Windows Me/98/95の場合は［NEC TCP/IP Printing System］ダイアログボックスが表示されます。

Windows XP/2000、Windows NT 4.0の場合は［NEC Network Port］ダイアログボックスが表示されます。

3. **［電源制御する］をチェックする。**

Windows Me/98/95の場合

Windows XP/2000/Windows NT 4.0の場合

4. **［MACアドレス］を入力し［OK］をクリックする。**

［検索］をクリックすると自動的にMACアドレスを検索できますが、プリンター本体およびLANアダプターの電源が入っている必要があります。

本機能はプリンターがリモート電源制御対応LANアダプター（型番：PR-NP-03TR2）に接続されている場合のみ有効な機能です。

Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0ではAdministrators権限のユーザー（Windows XPの場合は［コンピュータの管理者］）のみが設定できます。

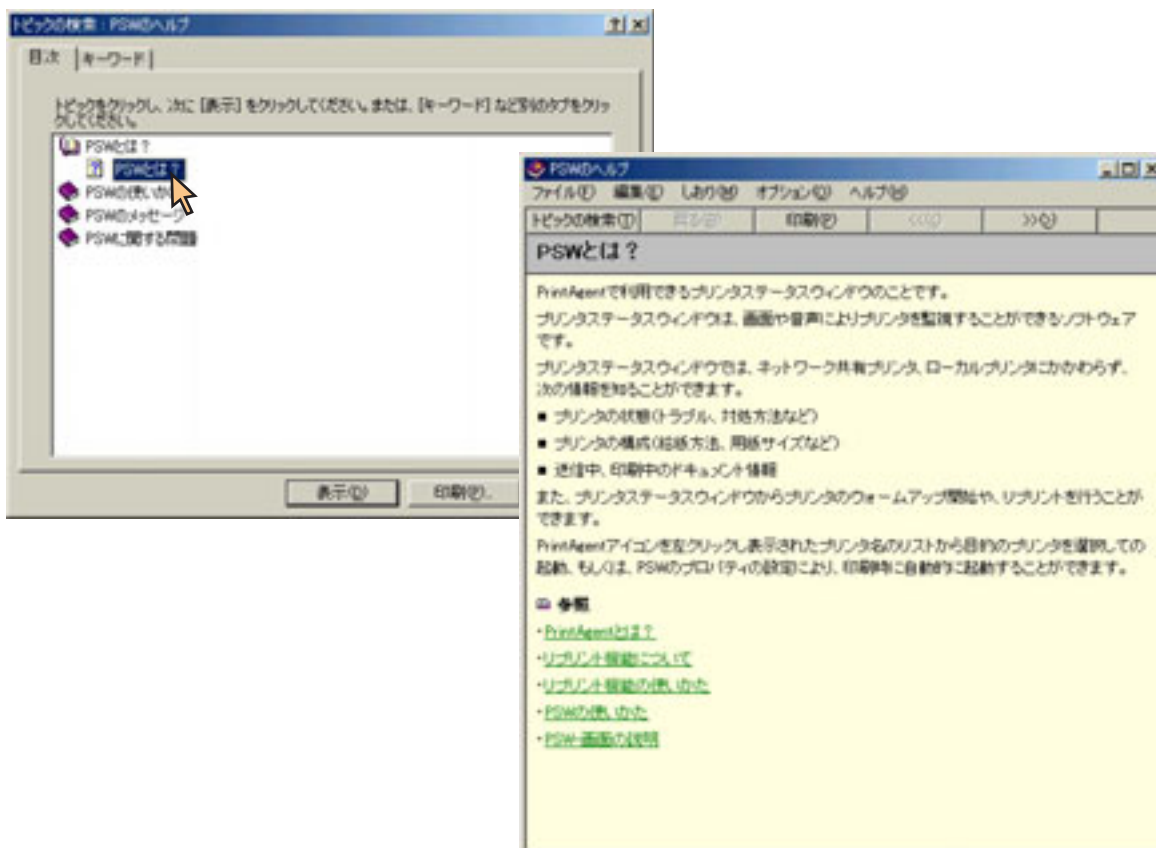
最新のステータスに更新する

ツールバーの［最新のステータスに更新］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［最新のステータスに更新］を選択するとプリンターのステータスを取得することができます。

通常は印刷中以外のプリンターのステータス情報を監視していませんので、最新のプリンターステータス情報を表示するには、ステータスの更新を行ってください。

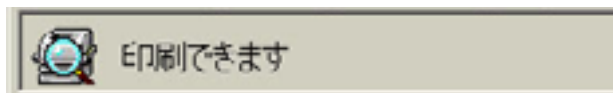
ヘルプを見る

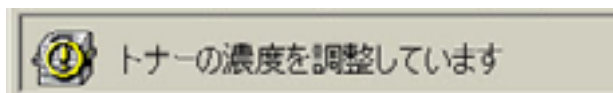
ヘルプを見るためには[？]ボタンをクリックし、そのままポインタを移動させウィンドウ内の各部分をクリックするか、[ヘルプ]メニューの[目次]をダブルクリックし、[トピックの検索]を表示させます。

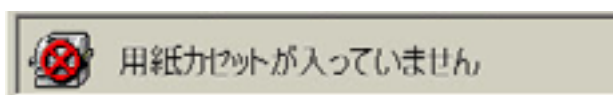
[？]ボタンから表示するヘルプ

[トピックの検索]ダイアログボックス

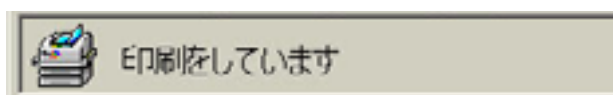
ステータス情報エリア

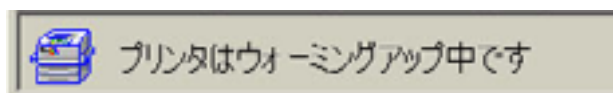
5種類のアイコンでプリンターの状態を表示し、文字と音声によるメッセージが付随します。

通常状態

通常に印刷できる状態、または処理中の表示です。

通知状態

「トナーの濃度を調整しています」など現在の状態を表示します。

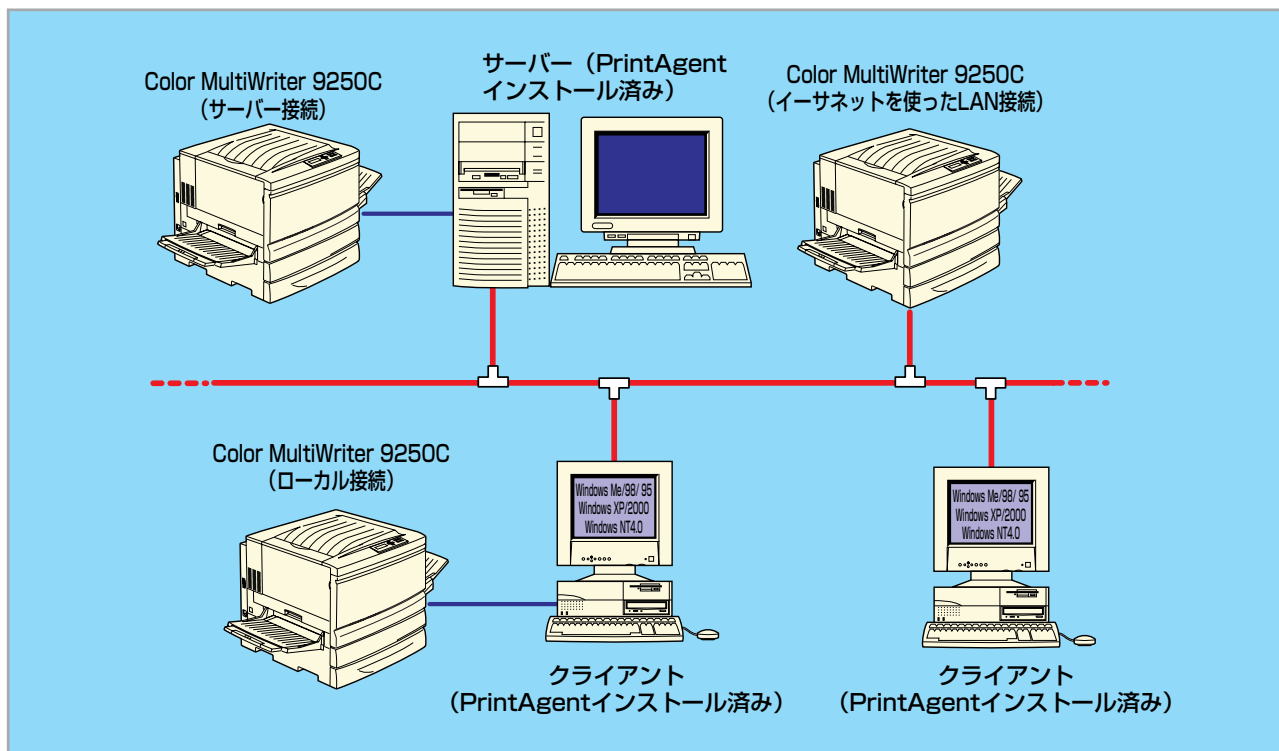
エラー状態

「用紙カセットなし」など印刷を再開するために必要な情報を表示します。

印刷中

プリンターが印刷中に表示されます。

ウォーミングアップ中

プリンターがウォーミングアップ中に表示されます。

プリンタステータスウィンドウ(PSW)の通知一覧

プリンタステータスウィンドウは、プリンターがローカル接続されているかサーバー接続されているかによって利用できる機能や通知できる内容に違いがあります。

サーバー接続プリンターの場合、ネットワークプロトコルはTCP/IPのときに、プリンタステータスウィンドウがご利用になれます。

プリンタステータスウィンドウの利用できる機能

機能項目	ローカル・サーバー接続	LAN接続
タイトルバー		
プリンタ名の表示	○	○
［ドキュメント］メニュー		
印刷中止	○	○*1
印刷詳細	○	○
送信詳細	○	○
リプリント機能	○	○
［オプション］メニュー		
プリンタの構成情報	○	○
通知形式	○	○
ウォームアップ開始	○	○
電源をONにする	×	○*3
最新のステータスに更新	○	○
［ヘルプ］メニュー		
目次	○	○
バージョン情報	○	○
ツールバー		
［印刷中止］ボタン	○	○*1
［印刷詳細］ボタン	○	○
［送信詳細］ボタン	○	○
［リプリント］ボタン	○	○
［構成情報］ボタン	○	○
［通知形式］ボタン	○	○
［ウォームアップ開始］ボタン	○	○
［リモート電源ON］ボタン	×	○*3
［最新のステータスに更新］ボタン	○	○
［ヘルプ］ボタン	○	○
「ステータス情報」エリア*2	○	○
「ビジュアル情報」エリア		
バルーンメッセージ	○	○
ステータスヘルプボタン	○	○
トナー残量インジケーター	○	○
両面インジケーター	○	○
音声メッセージ	○	○*2
「ドキュメント情報」エリア		
［印刷中ドキュメント情報］	○	○
［送信中ドキュメント情報］	○	○
ステータスバー		
［機種］	○	○
［接続先］	○	○

*1 実行可能ですが実行後、印刷データが残ったままになることがあります。
*2 表示・通知がプリンターの動作、状態により若干遅れることがあります。
*3 外付けLANアダプター（型番：PR-NP-03TR2）との接続時のみご使用になれます。

ステータス情報エリアの表示(1/2)

ステータス	表示メッセージ	音声メッセージ	ローカル・サーバー接続	LAN接続
通常	印刷できます	ーーーーーーーー	○	○
	印刷ドキュメントを準備中です	ーーーーーーーー	○	○
	印刷をしています	印刷を開始します 印刷が再開されました	○	○
	プリンタは節電状態になっています	ーーーーーーーー	○	○
通知	印刷ドキュメントを削除中です	印刷を取りやめました	○	○
	プリンタはウォーミングアップ中です	ーーーーーーーー	○	○
	プリンタのもう一方のポートで印刷しています	ーーーーーーーー	○	○
	消耗品の交換時期です	ーーーーーーーー	○	○
	プリンタの情報を取得中です	ーーーーーーーー	○	○
	定期保守の時期です	ーーーーーーーー	○	○
	テスト印刷を実行中です	ーーーーーーーー	○*1	×
	給紙口異常です	ーーーーーーーー	○	○
	16進ダンプ印刷を実行中です	ーーーーーーーー	○*2	×
	プリンタの情報が取得できません	ーーーーーーーー	○	○
	トナーの濃度を調整しています	ーーーーーーーー	○	○
	ネットワークプリンタの情報は取得できません	ーーーーーーーー	○*3	×
	ネットワークプリンタの情報が取得できません	ーーーーーーーー	○*3	×
	ネットワーク関連の内部エラーです	ーーーーーーーー	○*3	○
エラー	ネットワークプリンタの状態が不明です*4	ーーーーーーーー	○*3	×
	プリンタの情報が取得できません	ーーーーーーーー	○	○
	電源がOFFかケーブルが接続されていません	プリンタの応答がありません	○	○
	印刷可スイッチが押されていません	印刷可スイッチが押されていません	○	○
	接続されているプリンタはサポートされていません	このプリンタはサポートしていません	○	○
	ドキュメントの印刷を一時停止中です	印刷が一時停止されました	○	○
	プリンタは一時停止中です	印刷が一時停止されました	○	○
	用紙がありません	用紙がありません	○	○
	指定サイズと異なる用紙がセットされています	正しい用紙がセットされていません	○	○
	正しい用紙サイズで印刷できませんでした	正しい用紙サイズで印刷できませんでした	○	○
	紙づまりです	紙づまりです	○	○
	ドラムカートリッジが異常です	プリンタで障害が発生しました	○	○
	OHPシートが正しくセットされていません	正しい用紙がセットされていません	○	○
	定期保守の時期です	ーーーーーーーー	○	○
	消耗品の交換時期です	プリンタで障害が発生しました	○	○
	消耗品の交換時期です	ーーーーーーーー	○	○
	給紙口異常が発生しました	プリンタで障害が発生しました	○	○
	給紙口異常です	ーーーーーーーー	○	○
	消耗品が装着されていません	ーーーーーーーー	○	○

ステータス情報エリアの表示（2/2）

ステータス	表示メッセージ	音声メッセージ	ローカル/サーバー接続	LAN接続
エラー	プリンタのカバーが開いています	プリンタのカバーが開いています	○	○
	プリンタのメモリが不足しています	プリンタで障害が発生しました	○	○
	ネットワークプリンタはオフライン作業中です*5	オフライン作業中です	○*3	×
	状態が取得できません	―――――――――	○	○
	プリンタで障害が発生しています	プリンタで障害が発生しました	○	○
	用紙カセットが入っていません	用紙がありません	○	○

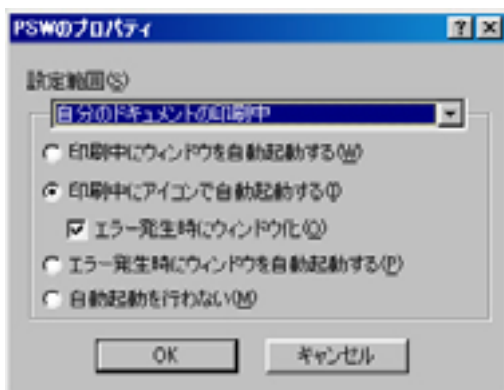
*1 「印刷可スイッチが押されていません」と通知されることがあります。
*2 「印刷できます」と通知されることがあります。
*3 ローカル接続のときは通知されません。
*4 Windows XP/2000/NT 4.0のときのみ通知されます。
*5 Windows Me/98/95のときのみ通知されます。

システムメニュー

システムメニューはPSWとPrintAgentを効率よく運用していただくための環境を設定します。システムメニューでは以下のようなPrintAgentの設定項目を選ぶことができます。

- PSWのプロパティを開く
- PrintAgentのプロパティを開く
- ヘルプを開く
  PirntAgentのヘルプを起動します。
- バージョン情報を開く
  PrintAgentのバージョン情報ダイアログを開きます。
- PrintAgentを終了する
  PrintAgentを終了します。

PSWのプロパティ

[PSWのプロパティ]ダイアログボックスはプリンタステータスウィンドウをいつ自動起動(表示)させるかを設定します。設定範囲のリストボックスから以下の2つのいずれかを選択できます。

[設定範囲]

- **自分のドキュメントを印刷中**
  画面枠内の設定は、自分が印刷を行ったときのPSWの自動起動に関して設定できます。
- **自分のドキュメントを印刷していないとき**
  自分が印刷していない場合(ネットワーク上でプリンターを共有しているときに他の人が印刷を行った場合を含む)のPSWの自動起動に関して設定できます。

特定のクライアントで、プリンターを管理する場合等は、[自分のドキュメントを印刷していないとき]を選択し、自動起動を行うようにすれば便利です。

[印刷中にウィンドウを自動起動する]

印刷を開始すると自動的にPSWを表示し、印刷が終了すると自動的にウィンドウを閉じます。

[印刷中にアイコンで自動起動する]

印刷を開始すると自動的にPSWのアイコンをタスクバー上に表示します。印刷が終了すると自動的にPSWアイコンは消えます。必要に応じてウィンドウとして表示することができます。また、[エラー発生時にウィンドウ化]をチェックすると、印刷中にエラーが発生したとき、自動的にウィンドウが表示され、エラー状態が解除されるとアイコン表示に戻ります。

[エラー発生時にウィンドウを自動起動する]

なんらかの対処をしなければ印刷を継続できないエラーが発生した場合に自動的にPSWを表示します。エラー状態が解除されると自動的にウィンドウは閉じます。

［自動起動を行わない］

印刷時やエラー発生時も含めて自動起動を行いません。

PrintAgentのプロパティ

［PrintAgentのプロパティ］ダイアログボックスでは、おもにネットワークでPrintAgentを使ってColor MultiWriterを効率よく運用していただくために必要な項目が設定できます。

［システムを自動的に起動する］

Windowsの起動時にPrintAgentシステムが自動的に起動します。設定した内容は、次回のWindows起動時（Windows Me/98/95）またはログオン時（Windows XP/2000、Windows NT 4.0）から有効となります。

［共有プリンタを利用する］

他のコンピューター（プリントサーバー）がネットワーク共有プリンターとして提供しているColor MultiWriter 9250Cに対してPrintAgentの機能を利用できるようになります。

この設定は、共有プリンターに対するPrintAgent機能の利用のみを設定するもので、OFFになっていても印刷自体は可能です。

設定が有効になるためには、プリントサーバー側のPrintAgentのプロパティで「共有プリンタを提供する」がチェックされている必要があります。

［共有プリンタを提供する］

お使いのコンピューターに接続されているColor MultiWriter 9250Cを共有プリンターとして他のコンピューターに対して提供する場合に、他のコンピューターからPrintAgentの機能を利用できるようにします。

この設定は、PrintAgentの機能の利用のみを設定するもので、OFFになっていてもクライアントから共有プリンターに印刷することはできます。また、共有プリンターを提供するコンピューターがWindowsのログオン画面表示中（ユーザーがログオンしていない間）であっても他のコンピューターからPrintAgent機能は利用可能です。

共有プリンターの利用/提供について

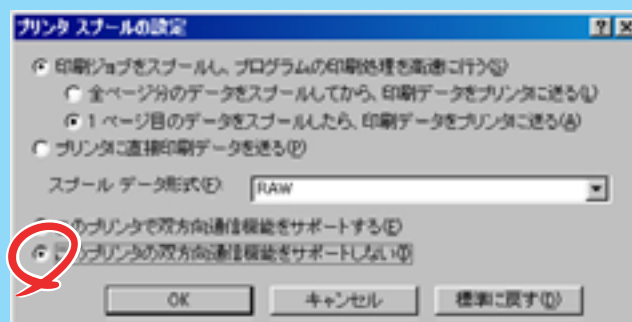
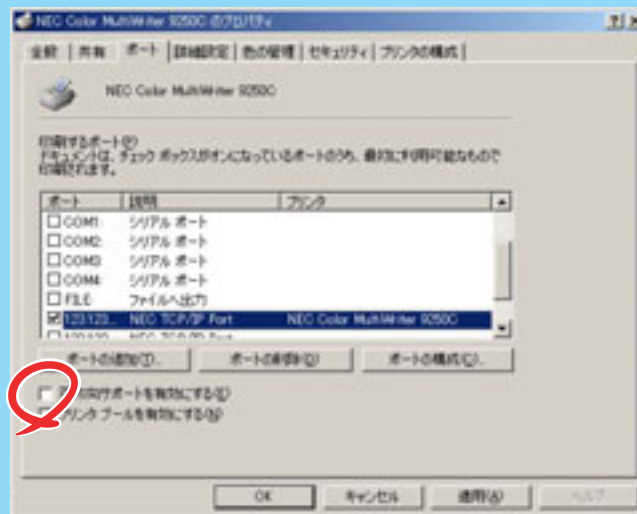
本項目は、Windows XP/2000、Windows NT 4.0をお使いの場合、提供はAdministrators権限のある方(Windows XPの場合は[コンピュータの管理者])のみが設定を変更することができ、利用についてはAdministrators権限を持たなくても設定を変更することができます。[共有プリンタを利用する]、[共有プリンタを提供する]は、通常はONのままで支障ありませんが、次の場合はOFFにすることをお勧めします。

- ネットワークの回線速度が遅い
  低速回線を経由する共有プリンターに対して、PrintAgentを使用すると、通信速度の関係でPSWなどの操作がしにくかったり、状態の表示が遅れたりすることがあります。この場合は、[PrintAgentのプロパティ]で[共有プリンタを利用する]のチェックを外してください。ネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にすることができます。
- 課金されるネットワークを使っている
  転送データ量に応じて課金される従量課金制のネットワークを経由してPrintAgentを使用している場合にも、PrintAgentの双方向通信によってデータ転送が発生し、課金されることがあります。
  考慮すべきネットワーク環境の例としては以下のケースがあります。
  - ◇ ネットワークプリンターが、公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合。
  - ◇ プリントサーバー、DNSサーバー、WINSサーバーが公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合。
  - ◇ ローカルネットワークの通信自体が課金ネットワークの場合。

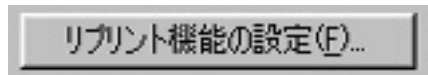
  これを避けたい場合にも、上記操作によってネットワーク共有プリンタについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にしてください。
- コンピューターの処理能力が十分でない
  コンピューターの性能があまり高くない場合、PrintAgentのご利用により、他の作業の処理速度に影響する可能性があります。この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。

従量課金回線での課金を最小限(印刷時のみ)とするためには

以下の設定を行うとPrintAgent機能は使用できません。

- クライアントコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを利用する]のチェックを外す。
- サーバーコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを提供する]のチェックを外す。
- サーバーコンピューターがWindows Me/98/95の場合は[プリンタのプロパティ]の[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタの双方向通信機能をサポートしない]を選択する。

サーバーコンピューターがWindows XP/2000、Windows NT 4.0の場合は[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートの[双方向サポートを有効にする]のチェックを外してご利用ください。以下はWindows 2000 日本語版の場合です。

[リプリント機能を提供する]

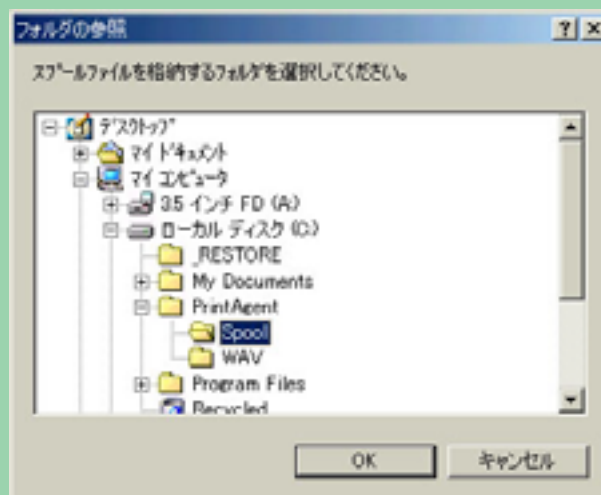
チェックすると、一度印刷されたデータがコンピューター上に保管(スプール)が可能になります。いったんスプールされたデータはアプリケーションを起動することなくPrintAgent リプリント2 やPSWのダイアログボックスからリプリント(再印刷)できるようになります。ネットワーク共有プリンターの場合は、サーバーにスプールされます。

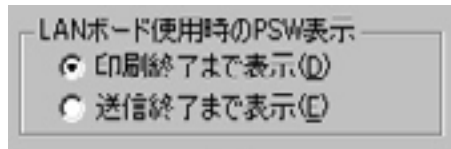
[リプリント機能の設定]

リプリント機能の設定(F)...

このボタンをクリックすることにより、[リプリント機能の設定]ダイアログボックスが表示されます。

[リプリント機能の設定]ダイアログボックスはリプリントで用いるスプールファイルについて設定をするダイアログボックスです。

スプール先について

空き容量が不足した場合には、[変更]をクリックし、以下の[フォルダの参照]ダイアログボックスにより、スプールするフォルダーを変更できます。ただし、ネットワークで接続されたフォルダーやリムーバブルディスクはスプールするフォルダーとして指定できません。

［LANボード使用時のPSW表示］

LANボード使用時のPSW表示
◉ 印刷終了まで表示(D)
○ 送信終了まで表示(E)

LANボードやLANアダプターを使用している時に、プリンターで印刷中のドキュメント情報をPSWで表示させるか設定します。LANボードを使用してネットワーク接続されたプリンターで「印刷ログ出力機能」を利用したい場合は［印刷終了まで表示］に設定する必要があります。

ネットワーク共有プリンターの場合、リプリントとLANボードの設定はサーバーで行ってください。また、Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0環境ではAdministratorsの権限（Windows XPでは「コンピュータの管理者」であること）が必要です。

プリンタ管理ユーティリティ

「プリンタ管理ユーティリティ」は管理者用としてソフトウエアをインストールした方のみご利用になれるユーティリティーです。このユーティリティーは、ローカル接続も含めネットワーク内に接続されているプリンターであれば管理者ご自身が実際に使用している、いないにかかわらず以下の機能を使ってプリンターを設定・管理することができます。

- プリンターの使用状況の確認
- 印刷ジョブの制御
- 保守情報のメール通知（NEC e-mailメンテナンス）の設定
- ネットワーク関連の設定（NEC製のLANボード・LANアダプターを使用している場合）
- プリンタステータスウィンドウの起動

プリンタ管理ユーティリティは以下のウィンドウを使って設定・管理します。ここではウィンドウの概略を説明します。プリンタ管理ユーティリティを使って実現する機能の手順についてはプリンターのユーザーズマニュアル、またはプリンターに添付のCD-ROMに収録されているPrintAgentプリンタ管理ユーティリティ取扱説明書をご覧ください。

ヒント

「プリンタ一覧」のウィンドウでは「ツリービュー」の部分が表示されず機能も一部制限されます。（管理者の機能は表示されません）

メニュー

ツールバー
メニューの項目をアイコン化したものです。選んだプリンター、接続形態を選択しているツリービューによって表示内容は異なります。

ツリービュー
ネットワーク内のプリンターがどのように接続されているかをツリー形式で表示します。

- 利用可能なプリンタ：
  お使いのコンピューターにインストールされているすべてのプリンターです。
- ネットワーク共有プリンタ：
  ネットワーク内で共有に出されているすべてのプリンターです。
- NECプリントサーバ：
  イーサネットコネクターを標準装備したNEC製のプリンター、またはNEC製のLANボード・LANアダプターを使ってネットワーク接続されているプリンターです。

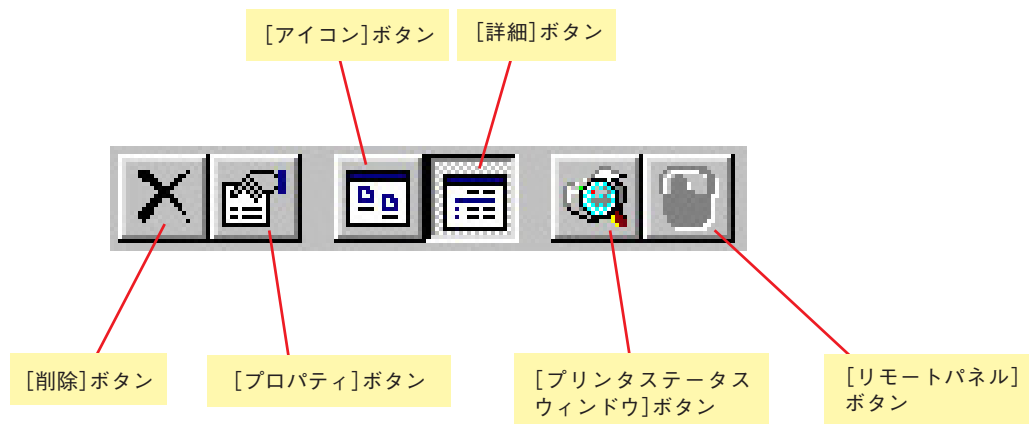
リストビュー
左側のボックスで選ばれた接続形態のプリンターの使用状況などをリストで表示します。

ステータスバー

ヒント

各メニューのコマンドをポイントするとステータスバーに簡単な説明が表示されます。詳細な説明が必要な場合はヘルプをご覧ください。

ツールバー

プリンタ管理ユーティリティはツールバーとメニューを使ってネットワーク内のプリンターを設定・管理します。ツールバーのボタンはメニューの項目をアイコン化したものです。

[削除]ボタン

リストビューで選択したプリンターのプリンタードライバーを削除します。

[プロパティ]ボタン

リストビューで選択したプリンターのプリンタードライバーのプロパティシートが開きます。

[アイコン]ボタン

リストビューのプリンター一覧をアイコンで表示します。

[詳細]ボタン

リストビューのプリンター一覧を詳細なリストで表示します。

[プリンタステータスウィンドウ]ボタン

リストビューで選択したプリンターのプリンタステータスウィンドウを表示させせます。

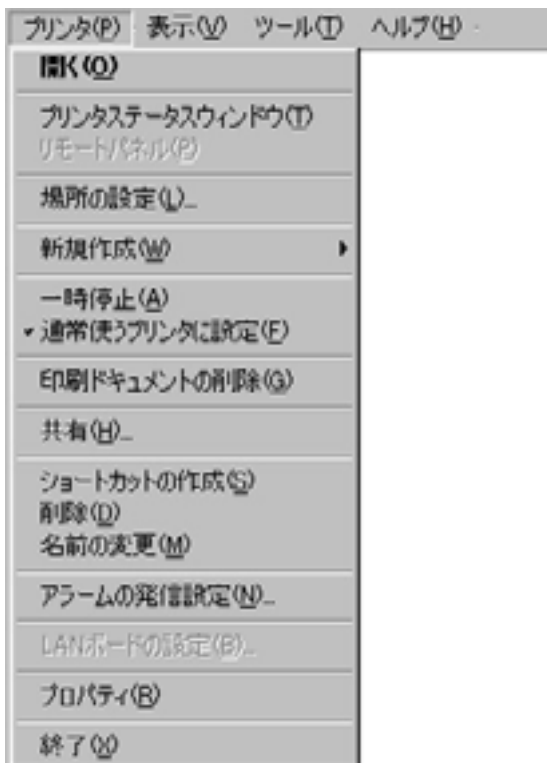
[リモートパネル]ボタン

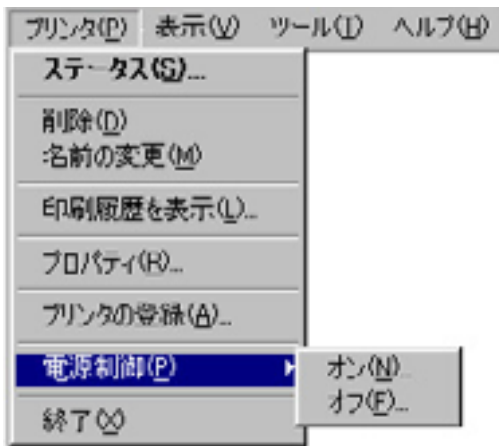
Color MultiWriter 9250Cでは無効です。

メニュー

メニューの表示項目、順番はそれぞれのOSの環境、プリンターの接続方法によって変わります。以下はWindows Me/98の表示例です。

[プリンタ]メニュー

選択されているプリンターに対して有効なコマンドが表示されます。

利用可能なプリンタを選択した場合

- **開く**
  プリンタードライバーを開きます。
- **プリンタステータスウィンドウ**
  プリンタステータスウィンドウを開きます。
- **場所の設定(Windows Me/98/95のみ)**
  プリンターの設置場所を設定します。設定された場所はプリンターの状況確認や印刷終了通知を受け取ったときに参照できます。
- **新規作成**
  プリンターを追加し、利用できるようにします。通常のプリンターが作成できます。
- **一時停止**
  印刷を一時停止します。
- **通常使うプリンタに設定**
  通常使うプリンターに設定します。
- **印刷ドキュメントの削除**
  印刷中のジョブを削除します。
- **共有**
  プリンターの共有プロパティを表示します。
- **ショートカットの作成**
  プリンターのショートカットを作成します。
- **削除**
  プリンタードライバーを削除します。
- **名前の変更**
  プリンターの名前を変更します。
- **アラームの発信設定**
  メール通知の設定を行います。
- **LANボードの設定**
  プリンターに接続されているLANボード/アダプターのプロパティを表示します。LANプリンターを選択した場合に表示されます。
- **プロパティ**
  プリンターのプロパティシートを表示します。
- **終了**
  プリンタ管理ユーティリティを終了します。

NECプリントサーバを選択した場合

ネットワーク関連の設定

ツリービューで[NEC プリントサーバ]を選択し、さらにリストビューでプリンターを選択した場合に表示されます。

- **ステータス**

  プリンターのステータスダイアログを表示します。

- **削除**

  プリンタードライバーを削除します。

- **名前の変更**

  プリンターの名前を変更します。

- **印刷履歴を表示**

  プリンターの印刷履歴を表示します。

- **プロパティ**

  プリンターのプロパティシートを表示します。

- **プリンタの登録**

  新しいプリンターを登録します。

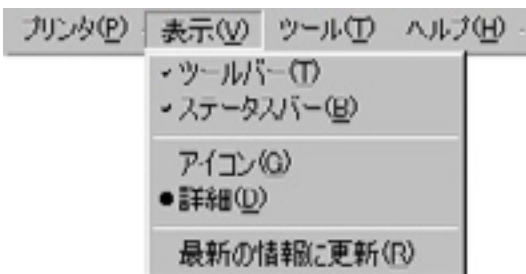
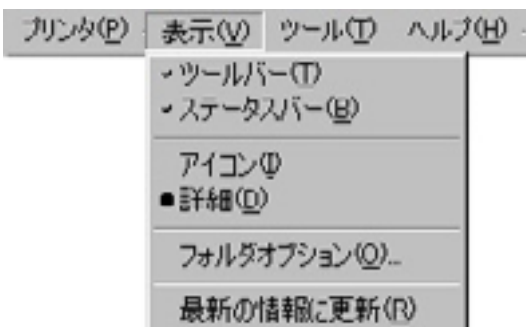
- **電源制御**

  プリンターの電源をリモートオン/オフします。

- **終了**

  プリンタ管理ユーティリティを終了します。

[表示]メニュー

ウィンドウのデザインを変更するコマンドが表示されます。

利用可能なプリンターを選択した場合

NECプリントサーバを選択した場合

- **ツールバー**

  ツールバーの表示/非表示を切り替えます。

- **ステータスバー**

  ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。

- **アイコン**

  プリンターをアイコンで表示します。

- **詳細**

  プリンターを詳細なリストで表示します。

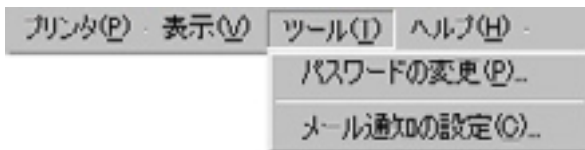
- **フォルダオプション**

  [NECプリントサーバのオプション]ダイアログボックスを表示し、ステータスの更新周期や表示項目を設定します。

- **最新の情報に更新**

  各項目を最新の情報に更新します。

[ツール]メニュー

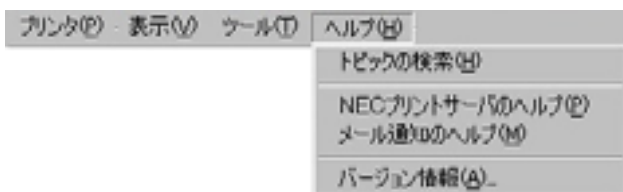
プリンタ管理ユーティリティの設定を行うコマンドが表示されます。

- **パスワードの変更**

  管理者用パスワードを変更します。

- **メール通知の設定**

  [メール通知の設定]ダイアログボックスを表示し、保守情報のメール通知設定を行います。

[ヘルプ]メニュー

ヘルプコマンドが表示されます。

- **トピックの検索**

  「プリンタ管理ユーティリティ」のヘルプが表示され、トピックの検索でヘルプを表示・印刷できます。

- **NECプリントサーバのヘルプ**

  「NECプリントサーバ」のヘルプが表示され、トピックの検索でヘルプを表示・印刷できます。

- **メール通知のヘルプ**

  「メール通知」のヘルプが表示され、トピックの検索でヘルプを表示・印刷できます。

- **バージョン情報**

  プリンタ管理ユーティリティ、プリンタ一覧のバージョンを表示します。

制御コード

この章では制御コードについて説明します。
制御コードは「テキストモード」と「図形モード」の2つに分かれています。
機能を拡張した制御コードについては別売りの「日本語ページプリンタ言語NPDL（Level2）」を参照してください。「日本語ページプリンタ言語NPDL（Level2）」に記載されていない制御コードについては「機能拡張制御コード」で細かく説明しています。

制御コード一覧

以下の表において「E」と「P」は動作モードを表します。

E：201PLエミュレーションモード

P：ページプリンタ（NPDL）モード

また、「○」と「×」はそれぞれの動作モードでその制御コードを使用できるか（○）使用できないか（×）を示します。
制御コードの詳細については、別売の「日本語ページプリンタ言語NPDL（Level 2）リファレンスマニュアル」をご覧ください。

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
ページ制御コード	改ページ指令	FF	○	○
	未印刷データ排出	ESC a	○	○
	未印刷データ排出	ESC b	○	○
	印刷方向の設定およびホッパ選択	FS f c_1 c_2 c_3.	○	○
	印刷方向の設定および用紙サイズ選択	FS f c_1 c_2 c_3.	○	○
	印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定	FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5.	○	○
	ページコピー枚数の設定	FS x	○	○
行桁関連制御コード				
■行桁制御印刷コード	ドットスペース（1〜8ドットスペース）	ESC <n>	○	○
	ドットスペース（9〜25ドットスペース）	ESC <n>	×	○
	固定ドットスペース	FS w	○	○
	2バイトコード文字の文字幅設定	FS p	○	○
	ドットアドレッシング	ESC F	○	○
	半角文字の組文字設定	ESC q	○	○
	縮小文字の組文字印刷指定	FS P	○	○
	縦方向オフセット量の設定	FS t	×	○
	VFUの設定開始	GS	○	○
	VFUの設定終了	RS	○	○
	簡易VFUの設定	ESC v	○	○
	垂直タブの実行	VT	○	○
	VFUの実行	US	○	○
	水平タブの設定	ESC (	○	○
	水平タブの実行	HT	○	○
	水平タブの部分クリア	ESC)	○	○
	水平タブの全クリア	ESC 2	○	○
	レフトマージンの設定	ESC L	○	○
	ライトマージンの設定	ESC /	○	○
	1/6インチ改行モードの設定	ESC A	○	○
	1/8インチ改行モードの設定	ESC B	○	○
	N/120インチ改行モードの設定	ESC T	○	○
	印刷位置の復帰	CR	○	○
	改行指令	LF	○	○
	改ページ指令	FF	○	○
	n行改行	US	○	○
	順方向改行モードの設定	ESC f	○	○
	逆方向改行モードの設定	ESC r	○	○
■行桁修飾制御コード	ライン付加モードの設定	ESC X	○	○
	ライン付加モードの解除	ESC Y	○	○
	アンダーライン／オーバーラインの切り替え	ESC _	○	○
	付加ライン線種の設定	FS 04 L	○	○
	網かけ・白黒反転モードの設定	FS n	○	○
	網かけ・白黒反転モードの解除	FS E	○	○
	網かけパターンの登録	FS r	×	○
■ドット列印刷制御コード	8ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC S	○	○
	16ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC I	○	○
	24ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC J	○	×
	8ビットドット列リピート	ESC V	○	×
	16ビットドット列リピート	ESC W	○	×
	24ビットドット列リピート	ESC U	○	×
	40ビットドット列印刷モードの設定	FS b	×	○
■その他	コピーモードの設定	ESC D	○	○
	ネイティブモードの設定	ESC M	○	○

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
文字関連制御コード				
■文字セット制御コード	英数モードの設定（7ビットコード）	SI	○	×
	カタカナモードの設定（7ビットコード）	SO	○	×
	カタカナモードの設定（8ビットコード）	ESC $	○	○
	英数モードの設定（7ビットコード）	ESC $	○	×
	ひらがなモードの設定（8ビットコード）	ESC &	○	○
	ひらがなモードの設定（7ビットコード）	ESC &	○	×
	CGグラフィックモードの設定（7ビットコード）	ESC #	○	×
	外字（24×24ドット）のロード	ESC +	○	×
	外字（16×16ドット）のロード	ESC ＊	○	×
	1バイトコード文字のダウンロード	ESC /	○	×
	登録文字のクリア	ESC /Ø	○	×
	登録文字の印刷	ESC /+	○	×
	プリンター内蔵文字の印刷	ESC /-	○	×
	1バイトコード文字の登録	FS g R	×	○
	2バイトコード文字の登録	FS g R2K	×	○
	1バイトコード登録文字の全クリア	FS g AC1.	×	○
	2バイトコード登録文字の全クリア	FS g AC2.	×	○
	1バイトコード内蔵文字印刷	FS g MI1.	×	○
	1バイトコード登録文字印刷	FS g MR1.	×	○
	1バイト文字フォントの選択	FS Ø6F1	○	○
	2バイト文字書体の選択	FS Ø6F2	×	○
	2バイト文字指定	ESC O	○	○
■文字スタイル制御コード	文字拡大モードの設定（8ビットコード）	SO	○	×
	文字拡大モードの解除（8ビットコード）	SI	○	×
	文字拡大モードの設定（7ビットコード）	DC2	○	×
	文字拡大モードの解除（7ビットコード）	DC4	○	×
	パイカモードの設定	ESC H	○	○
	エリートモードの設定	ESC E	○	○
	コンデンスモードの設定	ESC Q	○	○
	プロポーショナルモードの設定	ESC P	○	○
	漢字（横書き）モードの設定	ESC K	○	○
	漢字（縦書き）モードの設定	ESC t	○	○
	外字の印刷（横書き）	ESC K a_1 b_1	○	○
	外字の印刷（縦書き）	ESC t a_1 b_1	○	○
	半角文字の縦書きモード設定	ESC h1	○	○
	半角文字の縦書きモード解除	ESC hØ	○	○
	スーパースクリプトモードの設定	ESC s1	○	○
	サブスクリプトモードの設定	ESC s2	○	○
	スクリプトモードの解除	ESC sØ	○	○
	文字サイズの設定	FS Ø4S	○	○
	1バイト文字サイズの設定	FS Ø7S1	×	○
	2バイト文字サイズの設定	FS Ø7S2	×	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：3/20インチ、文字サイズ：10.5ポイント）	FS A	○	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/5インチ、文字サイズ：10.5ポイント）	FS B	○	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/6インチ、文字サイズ：10.5ポイント）	FS C	○	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/10インチ、文字サイズ：7ポイント）	FS F	○	×
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/6インチ、文字サイズ：12ポイント）	FS G	○	×
	縦横拡大率の指定	ESC e	○	×
	文字の拡大率、縮小率の指定	FS m	○	○
	強調印刷モードの設定	ESC !	○	○
	強調印刷モードの解除	ESC ”	○	○
	文字修飾の指定／解除	FS c	○	○
	文字明度の指定	FS $	×	○
■その他	キャラクターリピート	ESC R	○	○

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
面制御コード	座標指定単位の設定	FS <	×	○
	描画座標の指定	FS e	×	○
	座標のコピー	FS e	×	○
	罫線の描画	FS l	×	○
	領域指定の網かけ	FS s	×	○
	網かけパターンの登録	FS r	×	○
	領域指定のイメージ印刷	FS i	×	○
	全点アドレス印刷モードの設定	FS a	×	○
	全点アドレス印刷モードの解除	FS R	×	○
	フォーム登録の開始／参照	FS u	○	○
	フォーム登録モードの解除	FS U	○	○
その他	セレクト状態の設定	DC1	○	×
	ディセレクト状態の設定	DC3	○	×
	201PLエミュレーションモードの設定	FS d 160.	○	○
	ページプリンターモードの設定	FS d 240.	○	○
	ソフトウエアリセット	ESC c1	○	○
	パラメーターリセット	ESC c8	○	○
	図形モードの設定	FS Y	×	○
	図形モードの解除	FS Z	×	○
	描画論理の指定	FS "	×	○
	クリッピング領域の設定	FS #	×	○

図形モード

図形モードに関する制御コードはすべてページプリンタモードの図形モード中で有効です。

コード区分	機　能	制御コード	E	P
図形の座標系設定	スケーリングポイントの設定	IP	×	○
	座標系の設定	SC	×	○
	ウィンドウ領域の指定	IW	×	○
	回転角の設定	RO	×	○
	座標系の反転	RC	×	○
	プリンタ単位の設定	SU	×	○
線に関する設定	線種の設定	LT	×	○
	線幅の設定	LW	×	○
	線端タイプの設定	LC	×	○
	線接続タイプの設定	LJ	×	○
	線タイプの登録	RL	×	○
	線パターンの選択	LP	×	○
塗りつぶしに関する設定	塗りつぶしモードの設定	XX1	×	○
	塗りつぶしモードの解除	XX0	×	○
	塗りつぶしパターンの選択	PP	×	○
	塗りつぶしパターンの登録	RP	×	○
	グレーレベルパターンの設定	SG	×	○
	描画論理の設定	PM	×	○
図形の描画	ペンを上げる	PU	×	○
	ペンを下げる	PD	×	○
	直線の描画（絶対描画モード）	PA	×	○
	直線の描画（相対描画モード）	PR	×	○
	ペンの移動（絶対描画モード）	MA	×	○
	ペンの移動（相対描画モード）	MR	×	○
	扇形の描画（絶対描画モード）	FA	×	○
	扇形の描画（相対描画モード）	FR	×	○
	円の描画	CI	×	○
	円弧の描画（絶対描画モード）	AA	×	○
	円弧の描画（相対描画モード）	AR	×	○
	円弧の描画（絶対座標）	AX	×	○
	円弧の描画（相対座標）	AY	×	○
	円弧の描画	AT	×	○
	楕円の描画	EL	×	○
	楕円弧の描画	ED	×	○
	楕円弧の描画（逆方向）	EN	×	○

図形モード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
図形の描画（続き）	枠無し四角形の塗りつぶし（絶対位置指定） 枠無し四角形の塗りつぶし（相対位置指定） 枠あり四角形の塗りつぶし（絶対位置指定） 枠あり四角形の塗りつぶし（相対位置指定） 枠無し扇形の塗りつぶし 枠あり扇形の塗りつぶし 閉領域の塗りつぶし パス構築モードの開始 パスの閉鎖 パス構築モードの終了 ストロークの描画 フィルの描画（非零則） フィルの描画（偶奇則）	RA RR EA ER WG EW PI NP CP EP ST FL EF	× × × × × × × × × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
その他	イニシャライズ 初期設定 図形モード設定 図形モード解除	IN DF FS Y FS Z	× × × ×	○ ○ ○ ○

機能拡張制御コード

別売りの「日本語ページプリンタ言語NPDL（Level2）リファレンスマニュアル」に記載されていない機能を拡張した制御コードの一覧表を以下に示します。その後にそれぞれの機能を説明しています。

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
文字スタイル制御コード	漢字文字幅2/15インチ、文字サイズ9.5ポイント設定 文字明度の指定 1バイト文字サイズの設定 2バイト文字サイズの設定 1バイト文字縦横サイズの設定 2バイト文字縦横サイズの設定	FS D FS $ FS Ø7 S1 FS Ø7 S2 FS 12 S1 FS 12 S2	○ × × × × ×	× ○ ○ ○ ○ ○
行桁制御印刷コード	2バイトコード文字の文字幅設定	FS p	○	○
文字ロード	1バイト/2バイトコード文字の登録	FS g	×	○
バーコードの印刷	バーコードの印刷	FS` $p_1,p_2,p_3,p_4,p_5,p_6,p_7.d_1d_2d_3d_4$・・・	○	○
面制御コード	フォーム登録の開始／参照	FS u	○	○
ページ制御コード	縮小印字の設定 印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定 両面印刷設定	FS Ø5f FS f $c_1c_2c_3c_4c_5$. FS '	○ ○ ○	× ○ ○
領域指定イメージ	領域指定イメージ描画の設定	FS i	×	○
座標指定単位設定	座標指定単位の設定	FS <	×	○
文字セット制御コード	OCR-Bフォントの指定	FS Ø6 F1 -ØØ4	○	○
カスタマーバーコードの印刷	カスタマーバーコード書体の選択	FS Ø6 F2-$n_1n_2n_3$	○	○
漢字コード表切り替えのための制御コード	漢字コード表の設定	FS Ø5 F2	○	○

図形モード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
図形の描画コード	楕円の描画 楕円弧の描画 自由曲線の描画（絶対座標モード） 自由曲線の描画（相対座標モード）	EL ED, EN BA BR	× × × ×	○ ○ ○ ○
プリンター単位設定	プリンター単位の設定	SU	×	○
塗りつぶしに関する設定	グレーレベルパターンの設定	SG	×	○
楕円弧描画	楕円弧の描画	AV	×	○
弓形描画	弓形の描画	CV	×	○
扇形描画	扇形の描画	FV	×	○
角丸短形描画	角丸の矩形の描画	RB	×	○

文字スタイル制御コード

漢字文字幅2／15インチ、文字サイズ9.5ポイント設定　FS D

全角漢字の文字幅を2／15インチ、文字サイズを9.5ポイントに設定します。

形　式　FS D

記述例

```
LPRINT  CHR$(&h1C); CHR$(&h44);
または
LPRINT  CHR$(28); "D";
```

文字明度の指定　FS $

テキストモードでの文字明度を指定します。

形　式　FS $ p_1 .

- p_1でテキストモードでの文字明度を指定します。
- p_1の範囲は0〜100が有効です。
- p_1は0に近いほど黒くなり、100に近いほど白くなります。(p_1=0で黒、$p1$=100で白)
- p_1省略時およびp_1が100より大きいときは、本コマンドは無効となります。

チェック

FS $は形式、パターンの範囲ともに従来と同じですが、従来0〜100のパラメーターを白または黒のどちらかに解釈して印刷していたものが、本プリンターでは中間調に印刷できるようになりました。これにより従来よりも細かい明度表現が可能となります。

記述例　テキストモードでの文字明度を50に指定するとき

```
LPRINT  CHR$(&h1C);CHR$(&h24);"50.";
または
LPRINT CHR$(28);"$50.";
```

1バイト文字サイズの設定　FS Ø7S1

1バイト文字のサイズを0.1ポイント単位で設定します。

形　式

FS Ø 7 S 1 − c_1 c_2 c_3 c_4

- c_1 c_2 c_3 c_4で文字サイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c_1 c_2 c_3 c_4の有効範囲は0001～9999です。

記述例

文字サイズを20ポイントに設定するとき

```
LPRINT   CHR$(&h1C);CHR$(&h30);CHR$(&h37);CHR$(&h53);CHR$(&h31);
         CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"07S1-0200";
```

2バイト文字サイズの設定　FS Ø7S2

2バイト文字のサイズを0.1ポイント単位で設定します。

形　式

FS Ø 7 S 2 − c_1 c_2 c_3 c_4

- c_1 c_2 c_3 c_4で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c_1 c_2 c_3 c_4の有効範囲は0001～9999です。

記述例

文字サイズを20ポイントに設定するとき

```
LPRINT   CHR$(&h1C);CHR$(&h30);CHR$(&h37);CHR$(&h53);CHR$(&h32);
         CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"07S2-0200";
```

1バイト文字縦横サイズの設定　FS 12S1

1バイト文字のサイズを縦横別々に0.1ポイント単位で設定します。

形　式

FS 1 2 S 1 − c_1 c_2 c_3 c_4 − c_5 c_6 c_7 c_8

- $c_1\,c_2\,c_3\,c_4$で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- $c_5\,c_6\,c_7\,c_8$で文字Yサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- 有効範囲はX、Yともに0001～9999。

記述例

縦20ポイント、横50ポイントを設定するとき

```
LPRINT  CHR$(&h1C);CHR$(&h31);CHR$(&h32);CHR$(&h53);CHR$(&h31);
        CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h35);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
        CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"12S1-0500-0200";
```

2バイト文字縦横サイズの設定　FS 12S2

2バイト文字のサイズを縦横別々に0.1ポイント単位で設定します。

形　式

FS 1 2 S 2 − c_1 c_2 c_3 c_4 − c_5 c_6 c_7 c_8

- $c_1\,c_2\,c_3\,c_4$で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- $c_5\,c_6\,c_7\,c_8$で文字Yサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- 有効範囲はX、Yともに0001～9999。

記述例

縦20ポイント、横50ポイントを設定するとき

```
LPRINT  CHR$(&h1C);CHR$(&h31);CHR$(&h32);CHR$(&h53);CHR$(&h32);
        CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h35);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
        CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"12S2-0500-0200";
```

行桁制御印刷コード

2バイトコード文字の文字幅設定　FS p

2バイトコード文字の文字幅（印刷ピッチ）を設定します。

形　式

- p_1／p_2で文字幅を設定します。
- p_1は文字幅の分子、p_2は文字幅の分母を表します。
- p_2を240に設定したとき、p_1は1～240の値が有効となります。
- p_2を240以外の値に設定するときは、以下の組み合わせのみが有効です。

p_1	p_2	文字幅
1	5	1/5インチ
1	6	1/6インチ
1	10	1/10インチ
2	15	2/15インチ
3	20	3/20インチ

従来このコマンドは表に示す組み合わせにのみ設定可能でしたが、本プリンターでは1/240～240/240の設定が可能になりました。これにより、より細かな文字幅の設定が行えます。

記述例

2バイトコード文字の文字幅を1/8インチ（30/240）に設定するとき

```
LPRINT  CHR$(&h1C);CHR$(&h70);"2,30/240.";
または
LPRINT  CHR$(28);"p";"2,30/240.";
```

文字ロード

1バイト/2バイト文字の登録　FS g

外字パターンのロードをします。

形式　FS g c_1 c_2 c_3 , p_1 , p_2 , p_3 , p_4 , p_5 . c_4 c_5 d_1 ··· d_n

- c_1はこの制御コードのモードを表す1バイトの文字です。c_1によってこの制御コードは次の動作をします。

c_1	動作
R	登録
A	クリア
M	印刷文字選択

- c_2c_3は印刷方式とキャラクターモードを指定します。

c_2	c_3	印刷方式/キャラクターモード	
K	N	パイカ	カタカナ
	H	パイカ	
	E	エリート	
	Q	コンデンス	
	P	プロポーショナル	
H	N	パイカ	ひらがな
	H	パイカ	
	E	エリート	
	Q	コンデンス	
	P	プロポーショナル	
2	K	漢字	

- c_1がAのときは、 c_2c_3は次の意味を持ちます。
  このとき、この制御コードはp_1以降のパラメーターとデータは不要です。

c_2	c_3	動作
C	1	1バイト系の全クリア
C	2	2バイト系の全クリア

- c_1がMのときは。 c_2c_3は次の意味を持ちます。
  このとき、この制御コードはp_1以降のパラメーターとデータは不要です。

c_2	c_3	動作
I	1	1バイト系は内部CGを印刷
R	1	1バイト系はダウンロード文字を印刷

- p_1は文字の高さを表します。p_1はc_1がRのときのみ有効で、登録する文字の高さをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_2	240dpi	400dpi	600dpi	動作
H or K	36	60	90	—
2の時	24	40	60	7.2ポイントの登録を意味する
	26	60	90	10.8ポイントの登録を意味する
	40	67	100	12ポイントの登録を意味する

- p_2は左スペース量を表します。p_2はc_1がRのときのみ有効で、登録する文字の左側スペースをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_3	240dpi	400dpi	600dpi
P	0～23	0～39	0～59
P以外	0		

- p_3は文字幅を表します。p_3はc_1がRのときのみ有効で、登録する文字の文字幅をドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

またc_3=Pのときは　$p_2+p_3+p_4 \leqq 24$　(240dpi)
$p_2+p_3+p_4 \leqq 40$　(400dpi)
$p_2+p_3+p_4 \leqq 60$　(600dpi)　でなくてはなりません。

c_3	p_3		
	240dpi	400dpi	600dpi
N	24	40	60
H			
E	20	34	50
Q	14	24	35
P	1～24	1～40	1～60
K	p_1	p_1	p_1

- p_4は右スペース量を表します。p_4はc_1がRのときのみ有効で、登録する文字の右側スペースをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_3	240dpi	400dpi	600dpi
P	0～23	0～39	0～59
P以外	0		

- p_1～p_4はc_1c_2の状態によっては省略可能な場合があります。省略可能な場合は次のとおりです。

c_1c_2	p_1	p_2	p_3	p_4
RK	不可	可（0）	不可	可（0）
RH	不可	可（0）	不可	可（0）
R2	不可	可（0）	可（p_1）	可（0）

（　）内は省略時の値

- c_4c_5は参照に使用する文字コードを表します。 使用可能なコードは次のとおりです。

c_2=HまたはKのとき　21h≦c_4≦7Eh　80h≦c_4≦9Eh　A1h≦c_4≦FEh　c_5は指定しない
c_2=2のとき　76h≦c_4≦78h　20h≦c_5≦7Fh

上記以外の値を指定したときは、c_2=HまたはKのときはc_4までを、c_2=2のときはc_5までを読み捨ててシーケンスを終了します。

- d_1～d_nはパターンデータをバイナリー表現で表します。データ数は$p_1 \times p_4 \div 8$とします。

- この制御コードでパラメーターに不正があったときはピリオドまでを読み捨てて、シーケンスを終了します。ただし文字コードに不正があったときは、文字コードまでを読み捨てます。どちらの場合でもパターンデータの読み捨てはしません（パターンデータはテキストデータとして扱い、印刷される）。

- 本装置では、登録可能な文字数は次のとおりです。

  c_2=HまたはKのもの　128文字（1バイト系）
  c_2=2のとき　256文字（2バイト系）

  また文字の登録があった時、そのエリアに登録されていた前のパターンは同一ページ内では保証されません。

- 未登録の文字コードや文字サイズは空白が登録されているのと同様の印刷を行います。

バーコードの印刷

バーコードの印刷　FS `

形式　FS ` p_1 , p_2 , p_3 , p_4 , p_5 , p_6 , p_7 . d_1 d_2 d_3 d_4 ･･･

- p_1はバーコードの種類を設定します。

<201PLエミュレーションモード>

p_1		バーコードの種類
Ø	1	NW-7のスタート／ストップキャラクター設定
Ø	2	NW-7
Ø	3	JAN
Ø	4	CODE 39
Ø	5	INDUSTRIAL 2 OF 5
Ø	6	INTERLEAVED 2 OF 5

<ページプリンターモード>

p_1	バーコードの種類
1	NW-7のスタート／ストップキャラクター設定
2	NW-7
3	JAN
4	CODE 39
5	INDUSTRIAL 2 OF 5
6	INTERLEAVED 2 OF 5

p_1の指定により、p_2～p_7、d_1～d_nの値は変化します。

- p_2はバーコードに対するHRC（付加文字）の有無およびその位置を指定します。

p_2	HRC
Ø	文字なし
1	文字を下につける
2	文字を上につける

- p_3はバーコードのモジュール幅をドット単位で指定します。

  <201PLエミュレーション>
  指定範囲：2≦p_3≦4（160dpi）

  <ページプリンターモード>
  指定範囲：4≦p_3≦10（400dpi）、4≦p_3≦15（600dpi）

- p_4はバーコードのワイド／ナローエレメント比を指定します。
  p_4＝30のみ有効

- p_5はバーコード高さをドット単位で指定します。

<201PLエミュレーション>

0≦p_5≦999（160dpi）

p_5が0の時は、高さを改行ピッチに設定します。したがって、改行ピッチの切り替えコマンドと組み合わせることにより1/120インチ単位での指定も可能となります。またバーコードの下にHRCがある場合は、実際に改行する幅はバーコードの高さ＋HRCの高さです。

<ページプリンターモード>

指定範囲：

10≦p_5≦1665（400dpi　1ドット＝約0.064mm なるべく150～300程度の値でご使用ください）

10≦p_5≦2498（600dpi　1ドット＝約0.042mm なるべく150～300程度の値でご使用ください）

- p_6はデータキャラクターの長さをバイト単位で指定します。

この値は、バーコードの種類ごとに下記のように制限されます。

p_1	有効なp_6
1	2
2	0～34
3	13または8
4	0～34
5	0～34
6	0～34(偶数のみ)

- p_7はp_3、p_5の解像度を指定します。

<201PLエミュレーション>

省略してください。（160dpi）

<ページプリンターモード>

指定：p_7＝400（400dpi）、p_7＝600（600dpi）

- d_1、d_2、d_3、d_4･･･はデータキャラクター、またはスタート／ストップキャラクター（p_1＝1のとき）です。
- グレーの実現レベルはプリンター機種ならびに解像度に依存します。

バーコードをご使用になる際には次のことにご注意ください。

- 読み取り装置によっては、本プリンターで印刷したバーコードをうまく読み取れない場合があります。ご使用になる読み取り装置でバーコードを読み取れることを確認してからご使用ください。
- トナー切れなどにより印刷がかすれたりした場合には、読み取れないことがあります。
- 用紙の拡大／縮小は行わないでください。読み取り装置でバーコードを読み取ることができません。
- トナー節約機能は使用しないでください。読み取り装置でバーコードを読み取れないことがあります。
- p_2で指定されるHRCはOCR-Bフォントで印刷されます。ただし、OCR-Bフォントの最小ピッチは10CPIのため、HRCの幅の方がバーコードより広くなることがあります。また、オートリターン有効時でも、印刷範囲から越えた場合にはデータを読み捨てます（オートリターンしません）。
- バーコードの印刷を行う際には、次のコマンドは無効となります。
  - ◇　縦横拡大指定（FS m）
  - ◇　網かけ、反転（FS n）
  - ◇　アンダーライン／オーバーライン（ESC X）
  - ◇　縦方向オフセット（FS t）
  - ◇　固定ドットスペース（FS w）

記述例　p_1=1、スタートキャラクターを“a”、ストップキャラクターを“b”とするとき

```
LPRINT  CHR$(&h1C);CHR$(&h60);"1,,,,,2,.ab";
または
LPRINT CHR$(&h1C);"`1,,,,,2,.ab";
```

補足

バーコードの種類によって、パラメーターの意味が少しずつ異なります。

- p_1＝1のとき（NW-7のスタート／ストップキャラクターを指定します。）
  - ◇ バーコードの印刷ではなく、バーコードの種別NW-7の仕様に従い、NW-7で付加されるスタート／ストップキャラクターの設定を行います。
  - ◇ スタート／ストップキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。（初期状態は“a”）
    a b c d e n t ＊ A B C D E N T
    また、p_2〜p_5およびp_7は省略されます。
    記述例 スタートキャラクターを“a”、ストップキャラクターを“b”とするとき
    LPRINT CHR$（&h1C）;"`1,,,,,2,.ab";

- p_1＝2のとき（NW-7）
  - ◇ p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - ◇ p_6＝0のときは、スタート／ストップキャラクターのみ印刷します。
  - ◇ データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ー ＄ . ／ : +
  - ◇ データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

- p_1＝3のとき（JAN）
  - ◇ p_3の値が1モジュールの幅に対応し、他の幅のバーおよびスペースはこの整数倍の幅となります。
  - ◇ p_6は13または8とし、13のときはJAN標準のバーコード、8のときはJAN短縮のバーコードを印刷します。
  - ◇ データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
  - ◇ JAN標準でデータキャラクターの1バイト目（フラグキャラクター）が規定外のときは、データキャラクターも含めて読み捨てます。
  - ◇ レフトガードバー、サイドガードバー、ライトガードバーは自動的に付加します。

- p_1＝4のとき（CODE-39）
  - ◇ p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - ◇ p_6＝0のときは、スタート／ストップキャラクター（“＊”固定）のみ印刷します。
  - ◇ データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ー ＄ . ／ ＋ % SP（スペース）
    A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
  - ◇ データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

- p_1＝5のとき（INDUSTRIAL 2 OF 5）
  - ◇ p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - ◇ p_6＝0のときは、スタート／ストップキャラクターのみ印刷します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクターがないため印刷されません。
  - ◇ データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
  - ◇ データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

- p_1＝6のとき（INTERLEAVED 2 OF 5）
  - ◇ p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - ◇ p_6＝0のときは、スタート／ストップキャラクターのみ印刷します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクターがないため印刷されません。
  - ◇ データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
  - ◇ 2つのデータキャラクターを1組のバーコードデータとして印刷します。
  - ◇ データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

面制御コード

フォーム登録の開始／参照　FS u

フォームデータの登録開始および参照を指示します。

形　式　FS u c_1 , p_1 , c_2 .

- c_1で登録か参照かを設定します。

c_1	機　　能
1	フォーム登録モードを設定（フォーム登録を開始）
2	フォーム参照モードを設定

- p_1でフォーム番号を指定します。省略時は1となります。指定範囲は1～100です。
- c_2はc_1=1（フォーム登録モード）のときは必ず省略してください。c_1=2（フォーム参照モード）のときは、c_2でフォーム参照の継続の有無を設定します。

c_2	機　　能
省略	この制御コードが存在するページに対してフォームを描画（参照）します。現ページに対してのみ有効です。
S	この制御コードが存在するページ以降、解除が指定される間でのフォーム参照を継続します。
E	上記「S」で設定されたフォーム参照モードを解除します。

チェック

100面までの登録が可能です。実際にはメモリーの容量に依存しますが、オプションの増設メモリーを装着することによってより多くのフォーム登録が可能となります。また従来フォームに登録できなかった図形モードデータ、領域指定網かけ、全点アドレス印刷データも登録可能となっています。

記述例　フォーム番号2にフォーム登録を行うとき

```
LPRINT  CHR$(&h1C);CHR$(&h75);CHR$(&h31);CHR$(&h2C);"2";CHR$(&h2E);
```

または

```
LPRINT  CHR$(28);"u1,2.";
```

ページ制御コード

縮小印字の設定　FS Ø5f

形　式　FS Ø 5 f c_1 c_2 c_3 c_4

- c_1、c_2、c_3で縮小率を設定します。
  組み合わせは次の中から選択します。

c_1	c_2	c_3	設定内容
1	Ø	Ø	縮小印字解除(原寸)
Ø	8	Ø	4/5縮小印字
Ø	6	7	2/3縮小印字

- c_4で縮小基準位置を設定します。
  設定は次のとおりです。

c_4	縮小基準位置
L	左端基準
C	中央基準

- すべての文字に対して有効です。
- 行の先頭で指定してください。その行から縮小印字します。
  行の途中で指定した場合は、次の行から縮小印字します。
- 縮小印字は受信したデータを2／3または4／5に縮小して印刷しますので、例えばA4サイズのデータをA5サイズの用紙に、またはB4サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷したいようなときに役立つ機能です。
- プリンターがサポートしていない縮小率を設定しようとした場合、その命令は無視されます。
- 縮小を行うと、改行幅も縮小されます。また、文字によっては見づらくなるものがあります。

記述例　縮小率を4／5、左端基準で印刷するとき

```
LPRINT  CHR$(&h1C); CHR$(&h30); CHR$(&h35);
        CHR$(&h66); "080L"
```

または

```
LPRINT  CHR$(28); "05f"; "080L"
```

印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定　FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .

プリンターの印刷方向および縮小／拡大モードの設定を行います。

形　式

FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .

- c_1は印刷方向を設定します。

c_1	印刷方向
P	ポートレート
L	ランドスケープ

- c_2～c_5は用紙方向、ホッパー、用紙サイズ、縮小／拡大モードを設定します。本プリンターではMP指定、手差し指定、封筒指定、往復はがき指定、拡大機能が追加されました。パラメーターの設定方法に関しては下記の表をご覧ください。
- トレーモード時は「MØ」指定にてトレー給紙となります。

記述例

印刷方向をポートレートで、A4サイズの印刷データをA3用紙に拡大して印刷するとき

```
LPRINT  CHR$(&h1C);CHR$(&h66);"PA4A3.";
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"f";"PA4A3.";
```

追加パラメーター

c_2	c_3	c_4	c_5	機　能
M	0			手差し指定
E	N	V	4	封筒
U	P	P	C	往復はがき
L	P	B	4	帳票→B4
L	P	A	4	帳票→A4
U	P	A	4	A4×2→A4
U	P	B	5	B5×2→B5
A	3	B	4	A3→B4
A	3	A	4	A3→A4
A	4	A	3	A4→A3
A	4	B	4	A4→B4
A	4	B	5	A4→B5
B	4	A	3	B4→A3
B	4	A	4	B4→A4
B	4	B	5	B4→B5
B	5	A	4	B5→A4
B	5	B	4	B5→B4

両面印刷設定　FS '

両面印刷を設定します。

形　式

- c_1で印刷モードを設定します。

c_1	印刷モード
S	片面印刷
B	両面印刷

- c_1で片面印刷を指定した場合は、c_2 以降のパラメーターは無効になります。
- c_2で両面印刷における用紙の印刷開始面を設定します。

c_2	印刷面
F	表面
B	裏面

- c_2を省略した場合は、表面を印刷開始面とします。
- p_1で綴じ代を付加する位置を設定します。

p_1	印刷面
1	長辺綴じ位置1
2	短辺綴じ位置1
3	長辺綴じ位置2
4	短辺綴じ位置2

- p_2で綴じ代として追加する余白量を1mm単位で設定します。範囲は、$0 \leqq p_2 \leqq 20$です。
  綴じ代を付けない場合は、0を指定します。
- p_1、p_2を省略した場合、メニューの設定に従います。
- 本コマンドはページの先頭で使用してください。ページの途中で指定した場合は、改ページを行い、以前のページの用紙をすべて排出した後で、本コマンドの設定に従った印刷を開始します。

記述例

印刷開始面が表面の両面印刷で、長辺綴じ1、余白量を10mmに設定するとき

```
LPRINT  CHR$(&h1C); CHR$(&h27);  "B,F,1,10.";
または
LPRINT  CHR$(28); " ' "; "B,F,1,10.";
```

領域指定イメージ

領域指定イメージ描画の設定　FS i

描画座標を原点として指定された領域にラスターイメージを描画します。

形　式　FS i p_1 , p_2 , p_3 , p_4 ／ p_5 , p_6 ／ p_7 , p_8 , p_9 , d_1 … d_n

- p_1はイメージ領域のXサイズです。
- p_2はイメージ領域のYサイズです。
- p_3はデータの形式です。
- p_4はX方向拡大率の分子です。
- p_5はX方向拡大率の分母です（省略時は1と同等）。
- p_6はY方向拡大率の分子です。
- p_7はY方向拡大率の分母です（省略時は1と同等）。
- p_8はパターンデータのバイト数です。
- p_9はイメージデータの解像度を指定します。p_9を省略した場合、または規定値以外の数値を指定した場合、解像度は240dpiになります。

p_9	解像度
160	160dpi
200	200dpi
240	240dpi
300	300dpi
400	400dpi
600	600dpi

- d_1～d_nはnバイトのラスターイメージデータ（バイナリー形式）です。

座標指定単位設定

座標指定単位の設定　FS <

面モード時の移動量の基本単位を設定する。

形　式

- p_1は単位量の分子を表します。
- p_2は単位量の分母を表します。
- c_1はインチまたはmmの識別を表します。
- p_1、p_2、c_1は下記の値が有効です。

<table>
<tr><th>p1</th><th>p2</th><th>c1</th><th>座標指定単位</th></tr>
<tr><td>1</td><td>160</td><td rowspan="7">i</td><td>1/160インチ</td></tr>
<tr><td>1</td><td>200</td><td>1/200インチ</td></tr>
<tr><td>1</td><td>240</td><td>1/240インチ</td></tr>
<tr><td>1</td><td>400</td><td>1/400インチ</td></tr>
<tr><td>1</td><td>600</td><td>1/600インチ</td></tr>
<tr><td>1</td><td>720</td><td>1/720インチ</td></tr>
<tr><td>1</td><td>1200</td><td>1/1200インチ</td></tr>
<tr><td>1</td><td>100</td><td>m</td><td>1/100mm</td></tr>
</table>

- 描画座標指定（FS e）、座標指定罫線（FS l）、領域指定網かけ（FS s）の領域の大きさ、全点アドレス印刷モード（FS a）の移動量、クリッピング領域指定（FS #）が、この制御コードで設定された単位で指定されます。
- 領域指定イメージのビットパターンデータは影響を受けません。
- 上記制御コードの後に、この単位設定を実行しても、それまでに設定した座標、大きさ、移動量等は変化しません。
- p_1が省略された場合は1、p_2が省略された場合は240、c_1が省略された場合はiとみなされます。
- 本コマンドを再度受信するまでは有効です。
- 以下の場合、単位は1/240インチとなります。
  ① POWER ON時
  ② 操作パネルでリセットが実行されたとき
  ③ ソフトウエアリセットを受けたとき
  ④ インプットプライムを受けたとき

文字セット制御コード

OCR-Bフォントの指定　FS Ø6F1-ØØ4

形　式　FS Ø 6 F 1 ─ Ø Ø 4

- 1バイト文字としてOCR-Bフォントを選択します。

OCR-Bフォントについて

本プリンターはOCR-Bフォントを内蔵しており、各種アプリケーションから指定して印刷することができますが、ご使用にあたっては以下の点にご注意ください。

- OCR-Bフォントは大きさが限定されています。本プリンターの場合10CPI(12ポイント、パイカサイズ)のみでご使用になれます。それ以外の文字サイズは指定しないでください。また文字の拡大/縮小、ページの拡大/縮小を行うと印刷できません。
- OCR-Bフォントの印刷は本プリンターのNPDLモードでのみ可能です。また、OCR-Bフォントの指定はアプリケーションソフトから行う必要があります。
- WindowsからOCR-Bフォントを使用する場合はいずれかの方法で指定します。

  ① アプリケーションのフォント選択で「OCR-Bフォント」を選択します。
  このとき画面上は他のフォントを使用して表示されます。なお、文字のサイズは必ず12ポイントを指定してください。
  また、ボールド、イタリック(斜体)、アンダーラインなどの文字スタイルを設定しないでください。

  ② アプリケーションのフォント選択の中に「OCR-B」というプリンターフォントがない場合は、本プリンタードライバーの「TrueTypeフォントのプリンターフォントへ置き換え」機能を使用して印刷します(詳細はユーザーズマニュアル参照)。

  なお、OCR-Bフォントに置き換えるフォントは「Courier New」等の固定ピッチの英文フォントで指定してください。また置き換えるフォントによっては文字のピッチがOCR-Bフォントと合わないため、OCR読み取り装置で読み取れないことがあります。特にプロポーショナルフォントには置き換えないでください。和文フォントは置き換えるフォントとして指定できますが、実際に置き換えることができるのは半角英数文字だけです。

- OCR-Bフォントは、OCR読み取り装置によっては読み取れない場合があります。事前にご確認ください。
- トナーが少なくなり印刷にかすれなどがある場合には、OCR読み取り装置でうまく読み取れない場合があります。
- トナー節約機能は使用しないでください。OCR読み取り装置がうまく読み取れません。

カスタマーバーコードの印刷

カスタマーバーコード書体の選択　FS Ø6F2

カスタマーバーコードはJANコード等のバーコードとは異なり、2バイト文字として印刷を行います。
このため、カスタマーバーコードの印刷には、まず2バイト文字書体の選択を行う必要があります。

形　式　FS Ø 6 F 2 - n_1 n_2 n_3

- n_1、n_2、n_3は3桁の文字表現の10進数(‘123’など)であり、書体番号を示します。
  但し、例外として‘CLR’(43h 4Ch 52h)のパラメーターは指定可能です。
- 初期状態ではプリンターのメニュー機能による設定が有効となります。
- 本制御コードによる書体選択制御コードにより他の書体が選択されるまで、現在の書体選択が有効です。
- 初期化処理により書体は初期状態に戻ります。

カスタマーバーコードの書体番号を次のように割り当てます。

851：カスタマーバーコード書体(回転なし)
852：カスタマーバーコード書体(反時計回り90°回転)
853：カスタマーバーコード書体(反時計回り180°回転)
854：カスタマーバーコード書体(反時計回り270°回転)
CLR：初期状態の書体に戻す。(メニュー設定に従う)

- 2桁目の数字‘5’は文字の太さを指定するパラメーターですが、カスタマーバーコード書体の場合は意味を持ちません。
- 8から始まる書体番号において上記に合致しない場合は、カスタマーバーコード書体への切り替えは行わず読み捨てます。その際、書体選択の初期化は行いません。(例：850、861、867)

- 書体番号851を選択して縦書きで印刷すると書体番号852の印刷結果と等しくなります。同様に書体番号852の縦書きは書体番号853、書体番号853の縦書きは書体番号854、書体番号854の縦書きは書体番号851となります。
- 201PLエミュレーションで使用する場合、「2バイト系文字書体の選択コマンド」は従来のサポートされておりませんが、カスタマーバーコード書体選択時のみ、201PLエミュレーションでも有効となります。カスタマーバーコード以外の書体を選択した場合には、「2バイト系文字書体の選択コマンド」は従来どおり無効コマンドとなります。

バーコードをご使用になる際には次のことにご注意ください。
- トナー切れなどにより印刷がかすれたりした場合には、読み取れないことがあります。
- 用紙の拡大／縮小は行わないでください。読み取り装置でバーコードを読み取ることができません。
- トナー節約機能は使用しないでください。読み取り装置でバーコードを読み取れないことがあります。

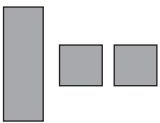
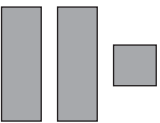
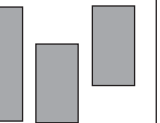
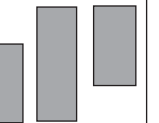
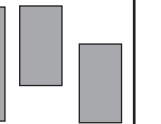
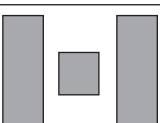
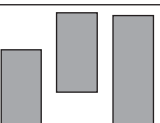
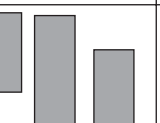
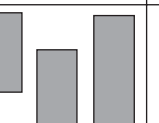
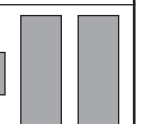
カスタマーバーコードのキャラクター指定

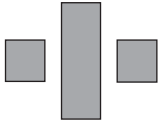
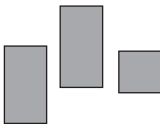
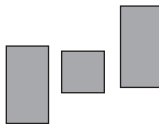
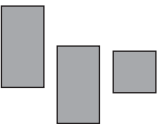
カスタマーバーコードの21種のキャラクターは次の文字コードを割り当てます。

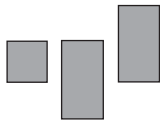
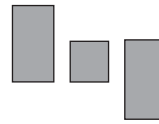
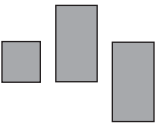
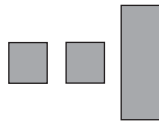
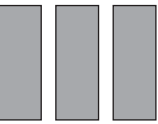
数字（‘0’～‘9’）　：2330h～2339h（数字の‘0’～‘9’）
ハイフン　：215Dh（マイナス記号‘ー’）
英字用制御コード（CC1～CC3）：2361h～2363h（小文字アルファベットの‘a’～‘c’）
予備用制御コード（CC4～CC8）：2364h～2368h（小文字アルファベットの‘d’～‘h’）
スタートコード（STC）　：2163h（不等号‘<’）
ストップコード（SPC）　：2164h（不等号‘>’）

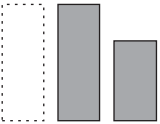
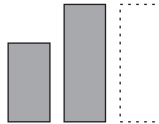
上記外の文字コードが指定された場合は全角スペースに置き換えて印刷します。

ヒント

カスタマーバーコードのサイズの指定
郵政省のカスタマーバーコードの仕様によると、読み取りのためにはバーコードパターンを文字とみなしたときにその大きさを8ポイントから11.5ポイントまでの範囲にする必要があります。（この範囲内で任意の値を指定できます）
一方、プリンタはカスタマーバーコードといえども文字であるため、NPDL2、201PLそれぞれで定義された文字制御に関する全ての機能を有効とします。（例えば、上記範囲から外れる文字サイズ指定や不適切な文字ピッチ指定、拡大・縮小、アンダーライン、文字修飾など）
このため、カスタマーバーコードの印刷を行うアプリケーションは適切な印刷結果が得られるように留意してください。
また、プリンター側の機能で縮小や拡大を指定しての印刷においても適切な印刷結果が得られなくなります。

カスタマーバーコード（キャラクター指定とバーの組み合わせ）

カスタマーバーコードの体系について
（バーの種類とは、ロングバー：1、セミロングバー（上）：2、セミロングバー（下）：3、タイミングバー：4としたもの。）

● 数字（‘0’～‘9’）

キャラクター	0	1	2	3	4
文字コード	0 (2330h)	1 (2331h)	2 (2332h)	3 (2333h)	4 (2334h)
カスタマーバーコード					
バー種類	1 4 4	1 1 4	1 3 2	3 1 2	1 2 3

キャラクター	5	6	7	8	9
文字コード	5 (2335h)	6 (2336h)	7 (2337h)	8 (2338h)	9 (2339h)
カスタマーバーコード					
バー種類	1 4 1	3 2 1	2 1 3	2 3 1	4 1 1

● ハイフン

キャラクター	−
文字コード	− (215Dh)
カスタマーバーコード	
バー種類	4 1 4

● 英字用制御コード

キャラクター	CC1	CC2	CC3
文字コード	a (2361h)	b (2362h)	c (2363h)
カスタマーバーコード			
バー種類	3 2 4	3 4 2	2 3 4

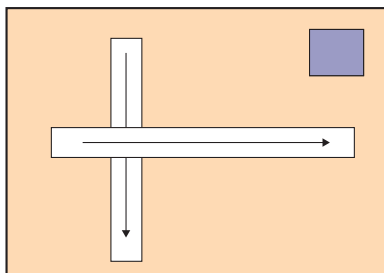
● 予備用制御コード

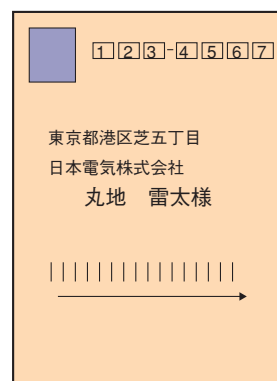
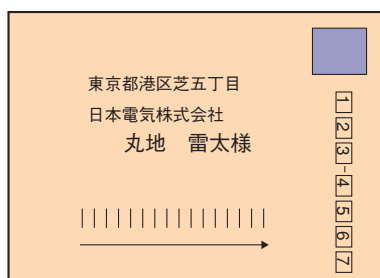
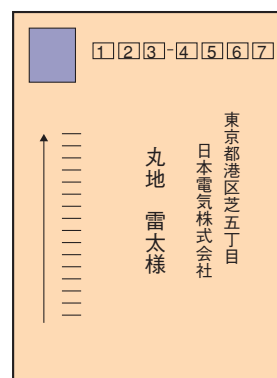
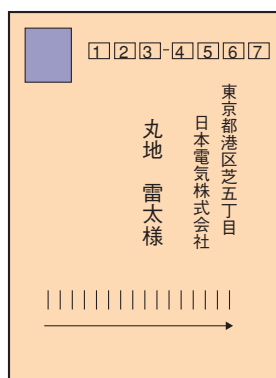
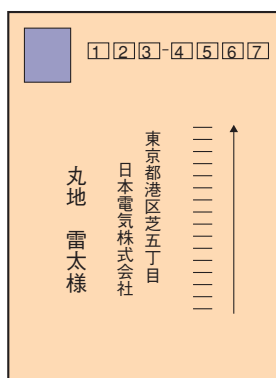
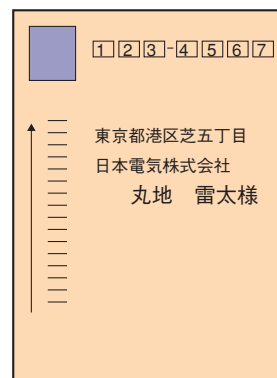
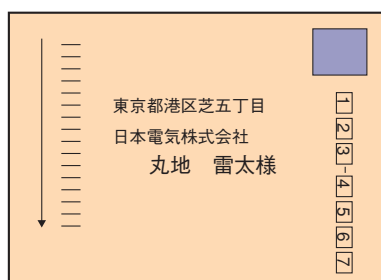
キャラクター	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
文字コード	d (2364h)	e (2365h)	f (2366h)	g (2367h)	h (2368h)
カスタマーバーコード					
バー種類	4 3 2	2 4 3	4 2 3	4 4 1	1 1 1

● スタート/ストップコード

キャラクター	スタート	ストップ
文字コード	< (2163h)	> (2164h)
カスタマーバーコード		
バー種類	1 3	3 1

備考（宛名書きとカスタマーバーコードとの関係）

カスタマーバーコードは、封書の切手の位置（はがきの料金印刷部分）を右上に位置付けたときに、下図の示すように上から下、左から右の方向へ印刷されます。

宛名が横書きの場合

郵政省の資料には記載されていない印刷例

宛名が縦書きの場合

カスタマーバーコードの仕様と注意点

カスタマーバーコードの形状

カスタマーバーコードは、上下にバーを延ばしたロングバー、上方向のみにバーを延ばしたセミロングバー(上)、下方向のみにバーを延ばしたセミロングバー(下)およびタイミングバーの4つの形状のバーを3本組み合わせて1つのキャラクターを表す4ステイト3バーとします。

カスタマーバーコードの寸法

aポイント、8、9、10、11.5ポイントの場合、次表のとおりとして(10ポイントの場合、a/10=1)、8≦a≦11.5の大きさを許すものとします。

aポイント	比率	基準寸法(mm)	許容範囲(mm)
ロングバー長さ	6	3.6×a/10	3.40×a/10〜3.60×a/10
タイミングバー長さ	2	1.2×a/10	1.05×a/10〜1.35×a/10
バーピッチ	2	1.2×a/10	0.95×a/10〜1.30×a/10
バー幅	1	0.6×a/10	0.50×a/10〜0.70×a/10
バースペース	1	0.6×a/10	0.45×a/10〜0.60×a/10

8≦a≦11.5

8ポイント	比率	基準寸法(mm)	許容範囲(mm)
ロングバー長さ	6	2.88	2.72〜2.88
タイミングバー長さ	2	0.96	0.84〜1.08
バーピッチ	2	0.96	0.76〜1.04
バー幅	1	0.48	0.40〜0.56
バースペース	1	0.48	0.36〜0.48

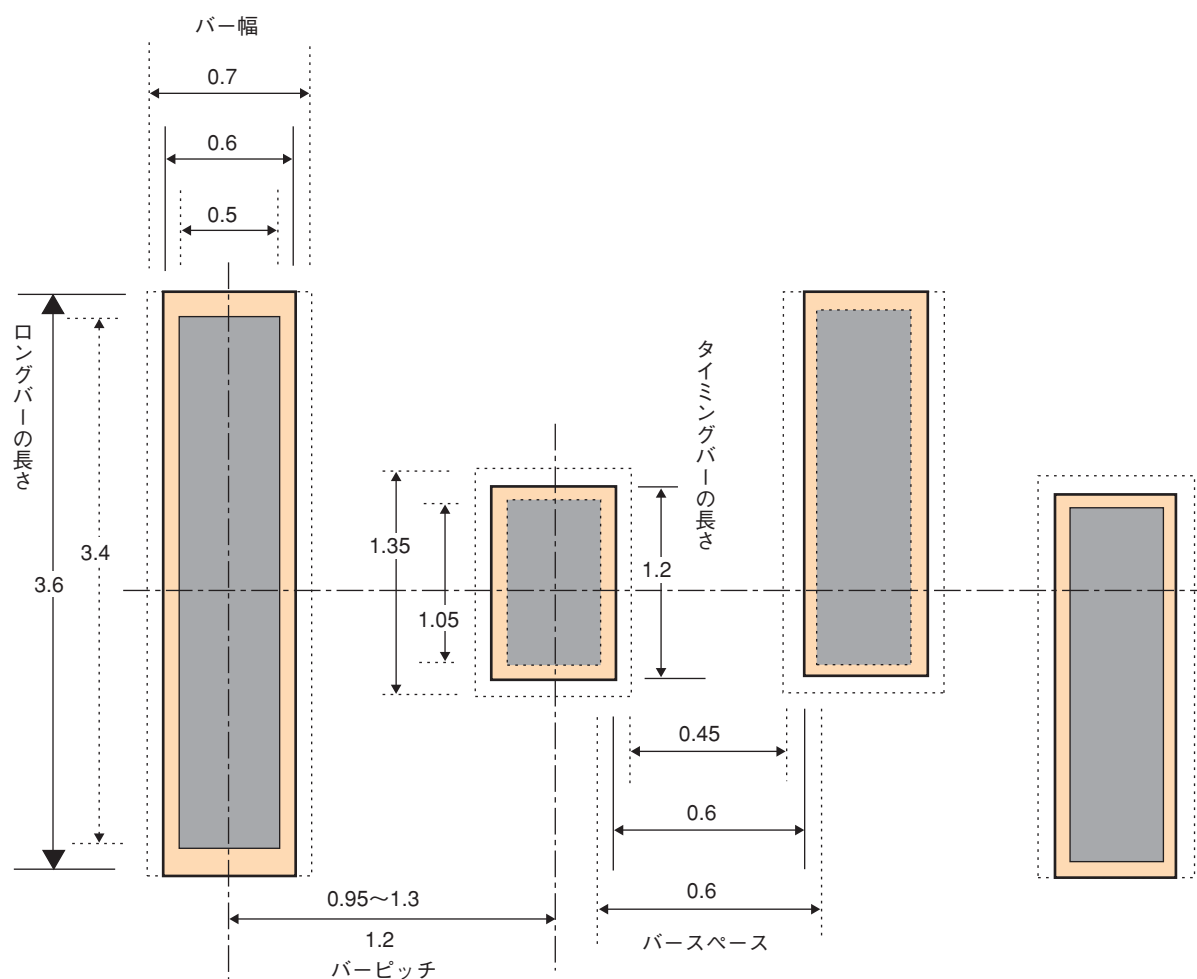
9ポイント	比率	基準寸法(mm)	許容範囲(mm)
ロングバー長さ	6	3.24	3.06〜3.24
タイミングバー長さ	2	1.08	0.95〜1.22
バーピッチ	2	1.08	0.86〜1.20
バー幅	1	0.54	0.45〜0.63
バースペース	1	0.54	0.41〜0.54

10ポイント	比率	基準寸法(mm)	許容範囲(mm)
ロングバー長さ	6	3.60	3.40〜3.60
タイミングバー長さ	2	1.20	1.05〜1.35
バーピッチ	2	1.20	0.95〜1.30
バー幅	1	0.60	0.50〜0.70
バースペース	1	0.60	0.45〜0.60

11.5ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	4.14	3.91～4.14
タイミングバー長さ	2	1.38	1.21～1.55
バーピッチ	2	1.38	1.09～1.50
バー幅	1	0.69	0.58～0.81
バースペース	1	0.69	0.52～0.69

（注1）カスタマーバーコードは、すべての規定(ロングバーの長さ、タイミングバーの長さ、バーピッチ、バー幅およびバースペース)が許容範囲に収まらなければなりません。
（注2）各比率に対して、許容範囲の設定に変更がありますが、これは印刷時のバーの太り等を考慮したものです。

【例1】カスタマーバーコードの寸法(10p相当)

実線で囲まれた範囲は基準寸法示し(数値はゴシック体で表記)、点線で囲まれた範囲は許容範囲を示します。

【例2】ドット割付寸法（参考）

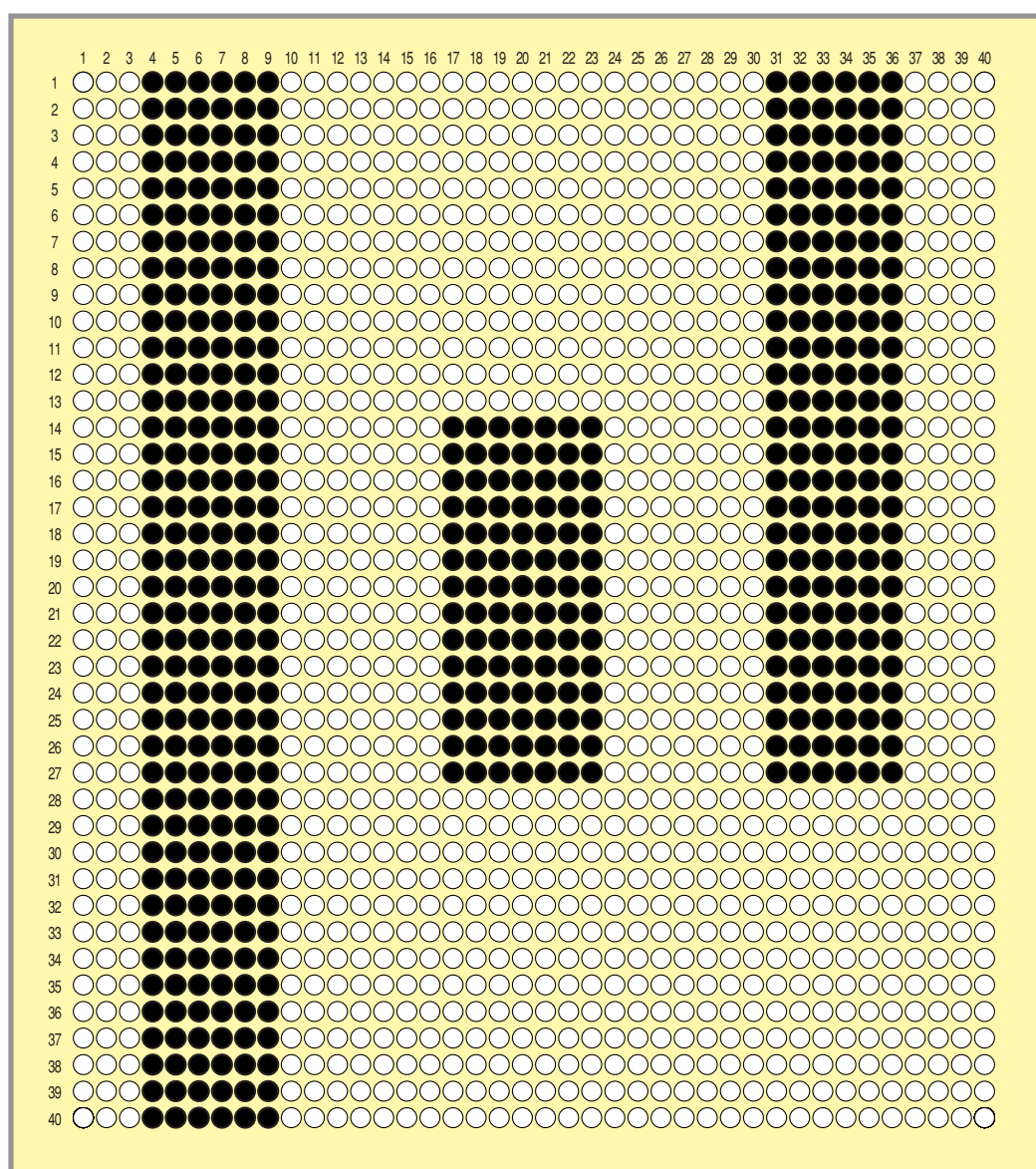
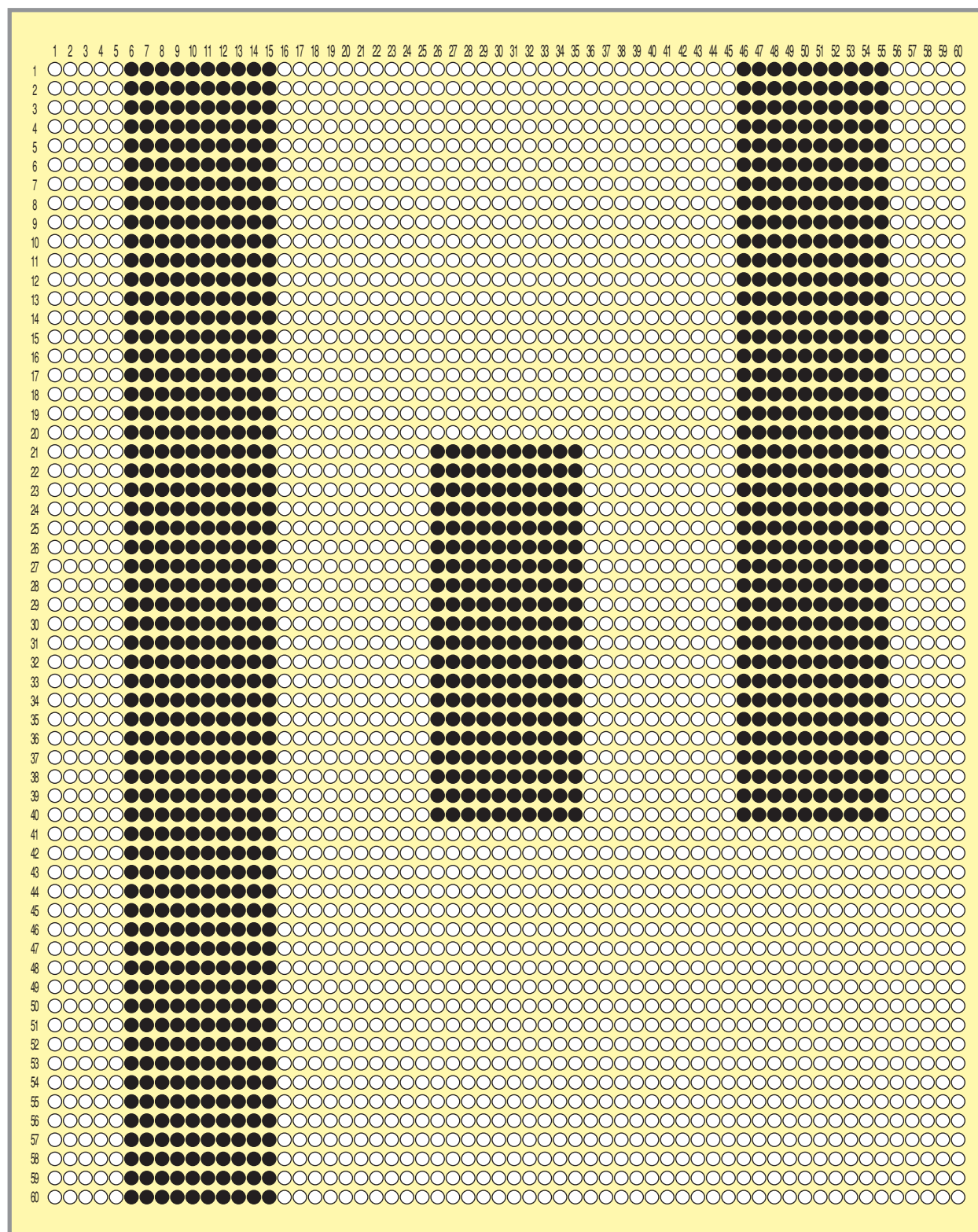
レーザープリンター等ドットマトリックス形式で印刷する場合などは、バーコードの印刷上がりを規定の比率にできるかぎり近づけます。この点を考慮して下記にドット構成の参考を記します。

マトリックスサイズ	横7分割 W, B, W, B, W, B, W	縦3分割 U, M, L
24×24	2, 4, 4, 4, 4, 4, 2	8, 8, 8
30×30	2, 5, 5, 5, 5, 5, 3	10, 10, 10
32×32	3, 5, 5, 5, 6, 5, 3	11, 10, 11
40×40	3, 6, 7, 7, 7, 6, 4	13, 14, 13
60×60	5, 10, 10, 10, 10, 10, 5	20, 20, 20

（B：バー部のドット数、W：空白部のドット数、U：バー上部のドット数、M：タイミングバーのドット数、L：バー下部のドット数）

● 上記の表にないマトリックスサイズ（例：48×48等）のドット振り分けは比例的に準じます。

各マトリックスサイズにおけるドットの割付の実際について次に参考例を挙げます。

〈参考例1〉　40ドット×40ドットの場合

〈参考例2〉60ドット×60ドットの場合

カスタマーバーコードのフォーマットおよび桁数

カスタマーバーコードのフォーマットは次のとおりとします。ただし、新郵便番号の3桁目と4桁目の間のハイフンおよび新郵便番号と住所表示番号を連結するハイフンは省くものとします。また、英字1文字は制御コードと数字コードの組み合わせにより表現し、バーコード2桁分として扱います。

フォーマット：スタ－コード十 新郵便番号十 住所表示番号十チェックデジット十ストップコード
バーコード桁数：　（1）　（7）　（13）　（1）　（1）

住所表示番号が規定のけた数13桁に対して過不足のある場合には、次のように調節します。

13桁を越える場合：

13桁までの住所表示番号をバーコードに変換し、それ以上の情報は含めません。ただし、制御コード十数字コードで表される英字の制御コードが13桁目に当たる場合は、この制御コードに該当するバーコードまで含めるものとします。

13桁に満たない場合：

13桁になるまで制御コードCC4に該当するバーコードで埋めるものとします。

また、チェックデジットは、新郵便番号～住所表示番号に盛り込む情報の各キャラクターをチェック用数字に置き換え、その合計が19の倍数となるように生成します。
各キャラクターのチェック用数字への置き換えは、次のとおりとします。

バーコード用キャラクター	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	-	CC1	CC2	CC3	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
チェック用数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18

漢字コード表切り替えのための制御コード

本プリンターは、従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の3つの漢字コード表に対応しています。これらをコンピューターから切り替えるために、以下の制御コードを使用します。

漢字コード表の設定　FS Ø5F2

形　式　FS Ø 5 F 2 ー c_1 c_2

- c_1 c_2で漢字コード表を設定します。

c_1c_2	漢字コード表
ØØ	JIS 1978年版(JIS C6226-1978)
Ø1	JIS 1983年版(JIS X0208-1983)
Ø2	JIS 1990年版(JIS X0208-1990)

- 本プリンターで印刷する文字は、基本的に上記JISに準拠していますが、デザイン処理等の都合により多少字形が異なるものがあります。
- コンピューターが対応していないコード表を選択した場合には、コンピューターのディスプレイと印刷結果の文字が異なる場合があります。

記述例　JIS 1983年版を選択するとき

```
LPRINT  CHR$(&h1C);CHR$(&h30);CHR$(&h35);CHR$(&h46);
        CHR$(&h32);CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h31);
または
LPRINT CHR$(28);"05F2-01";
```

図形の描画コード

楕円の描画　EL

現在の座標位置を中心に楕円を描画します。従来のELコマンドに加え、楕円の回転を可能にしています。これにより斜楕円の描画を行えます。

形　式　E L r_1 , r_2 , θ ;

- r_1は楕円の長軸を、r_2は楕円の短軸を示します。
- θは楕円の回転角度を示します。θは省略した場合0゜とみなします。
- θ=360以上を指定した場合、360の剰余とみなします。またθは負の値も設定可能です。たとえば -1゜は359゜とみなします。
- 回転の方向は反時計回りです。
- r_1、r_2は線幅の1/2以下でなければなりません。
- r_1、r_2は下記の値以下でなければなりません。

400dpiで印刷する場合：　32767-400=32367　（約2055mm）
600dpiで印刷する場合：　32767-600=32167　（約1362mm）

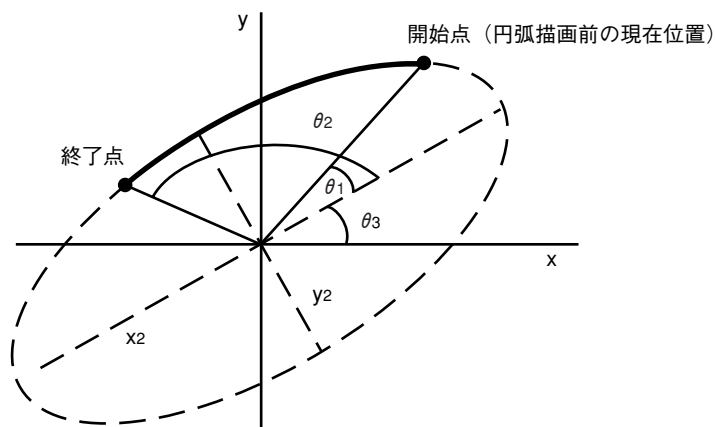
記述例　長軸方向1000、短軸方向500の楕円を30゜回転させて描画するとき

```
LPRINT  CHR$(&h45);CHR$(&h4C);"1000, 500, 30;";
```
または
```
LPRINT  "EL1000, 500, 30;";
```

楕円弧の描画　ED, EN

楕円弧を描きます（直線がはじめに引かれる場合があります）。

形　式　E D x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , $θ_1$, $θ_2$, $θ_3$;

E N x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , $θ_1$, $θ_2$, $θ_3$;

- （x_1, y_1）は楕円の中心座標を示します。
- x_2とy_2はそれぞれx軸方向、y軸方向の長短軸の半径を示します。
- $θ_1$と$θ_2$はそれぞれ楕円弧の開始角度、終了角度を示します。0〜359（度単位）が有効です。
  $θ_2$が省略された場合、欠けていない楕円を描画します。$θ_1$は省略できません。
- $θ_3$は楕円弧の回転角度を示します。$θ_3$で示された角度だけ、楕円そのものと楕円の開始、終了角度が回転します。
  $θ_3$が省略された場合、回転なしと解釈されます。

- 楕円の開始角度で示される開始点が現在位置と異なる場合、現在位置から楕円の開始位置まで直線が描画されます。欠けていない楕円の場合も同様です。
- 楕円描画後の現在位置は楕円弧の終了位置になります。
- EDコマンドの楕円弧の描画方向は、座標系コマンド(RC、RO)の設定に関わらず常に反時計回りになります。ENコマンドは常に時計回りに描画します。
- 指定角度が360を越えている場合は360で割った余りが使用されます。
- 指定角度に負の数を使用することができます。-1は359とみなします。

記述例

長中心点(100,100)、軸方向1000、短軸方向500で、開始角度15°、終了角度120°の楕円弧を反時計方向に30°回転させて描画するとき

```
LPRINT "ED100,100,1000,500,15,120,30;";
```

従来は楕円を回転(傾斜)させることができませんでしたが、EL、ED、ENの各コマンドに楕円の角度を指定するパラメータが追加され、任意の角度に回転させることができるようになりました。

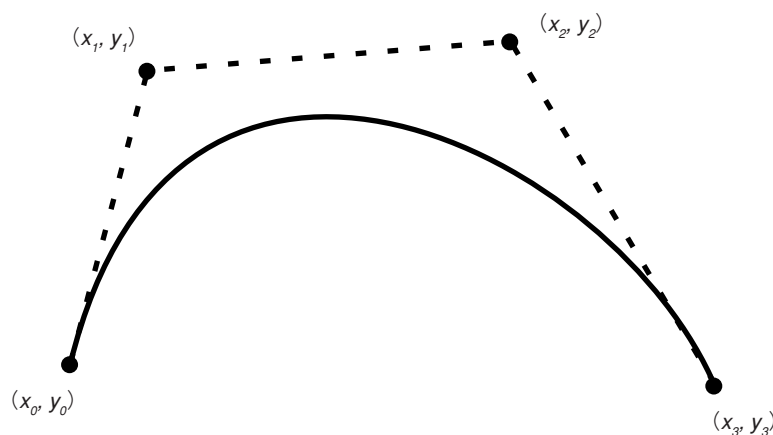
自由曲線の描画(絶対座標モード) BA

曲線を絶対座標モードで描画します。

形 式

B A x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , x_3 , y_3 . . . , x_n , y_n ;

- 現在の座標を(x_0, y_0)として(x_0, y_0)、(x_1, y_1)、(x_2, y_2)、(x_3, y_3)の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。
- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点が用いられます。3つ目の座標に対して一つの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは絶対座標モードになります。
- 本コマンドは、パス構築モード中(コマンドNP指定後)でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。

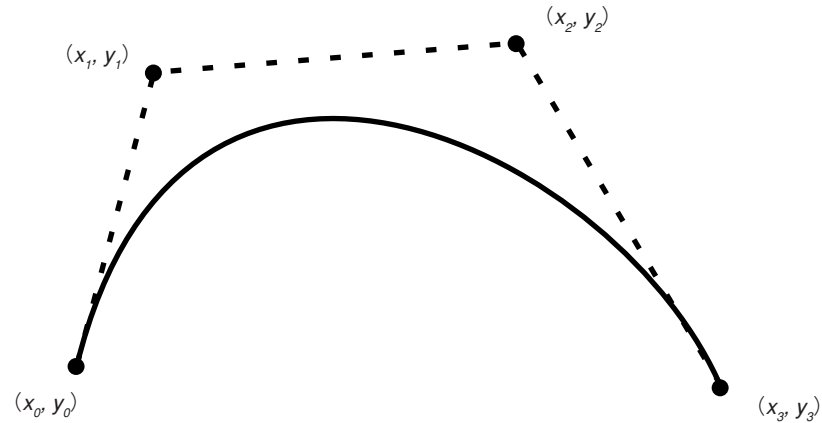
記述例

現在の座標位置から(x_1, y_1)、(x_2, y_2)、(x_3, y_3)を結ぶ曲線を描画するとき

```
LPRINT CHR$(&h42);CHR$(&h41);"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
または
LPRINT "BA X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
```

自由曲線の描画（相対座標モード）　BR

曲線を相対座標モードで描画します。

形　式

B R x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , x_3 , y_3 . . . , x_n , y_n ;

- 現在の座標を（x_0 y_0）として（x_0, y_0）、（x_1, y_1）、（x_2, y_2）、（x_3, y_3）の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。

- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点が用いられます。3つ目の座標に対して一つの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは相対座標モードになります。
- 本コマンドは、パス構築モード中（コマンドNP指定後）でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。

記述例

現在の座標位置から（x_1, y_1）、（x_2, y_2）、（x_3, y_3）を結ぶ曲線を描画するとき

```
LPRINT  CHR$(&h42);CHR$(&h52);"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
または
LPRINT  "BR X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
```

プリンター単位指定

プリンター単位の設定　SU

図形モードのプリンター単位を設定します。

形　式　S U n_1 , n_2 , n_3 ;

- n_1、n_2、n_3でプリンター単位を設定します。

n1, n2, n3	プリンター単位
1,160,0	1/160インチ
1,200,0	1/200インチ
1,240,0	1/240インチ
1,400,0	1/400インチ
1,600,0	1/600インチ
1,1200,0	1/1200インチ
1,720,0	1/720インチ
1,100,0	1/100mm

- プリンター単位の初期設定は1/240インチです。初期化動作（電源ON、操作パネルのリセット操作、リセットコマンド他）およびイニシャライズ（IN）制御コードにより1/240インチに初期化されます。
- プリンター単位設定により初期化が実行されます。
- 上記以外の組み合わせは無効です。
- パラメーターを省略することはできません。省略した場合、コマンドは無効となります。

塗りつぶしに関する設定

グレーレベルパターンの設定　SG

フィル描画(FL, EL)や閉領域塗りつぶし描画(PI)で使用する塗りつぶしパターンを明度で設定します。

形　式

- n_1, n_2は明度を示します。

パラメータ	用途	明度
n_1	面分描画で使用	0～100
n_2	線分描画で使用	0～100

- n_1, n_2の設定範囲は0(黒ベタ)から100(白)までです。(初期値は0です)
- n_1, n_2とも省略すると本コマンド以前の内容が保存されます。
- 本コマンドでの設定は
  ① 初期化動作(電源ON、リセット動作など)
  ② イニシャライズコマンド(IN)実行
  ③ 初期化を伴うコマンド(RC、SU、DF)の実行
  ④ 塗りつぶしパターン選択(PP)の実行
  まで有効です。

- 塗りつぶしパターン選択コマンド(PP)が実行された場合、そのコマンドで指定されたパターンが選択されます。
- 線パターンとして黒ベタ以外を設定した場合、一般に線描画で閉領域が構成できないため閉領域塗りつぶし(PI)の使用は避けること。
- グレーの実現レベルはプリンター機種ならびに解像度に依存します。
- スクリーン角度は45゜です。
- パラメーターを省略したとき、いずれか一方でもパラメーターを設定範囲外に指定した時は本コマンドは無効です。
- パラメーター値とパターンの関係は以下のとおりです。パターン番号は小数点第1位を四捨五入した値です。

  パターン番号 ＝ パラメーター × 63/100

  (例)　パラメーターで70を指定するとき
  　70 × 63/100 ＝ 44.1
  　選択されるパターンはパターン番号44となります。

SGは形式、パラメーターの指定範囲ともに従来と同じですが、本プリンターでは64諧調で表現しています。これにより従来よりも細かな明度表現が可能となります。

記述例

面分描画での明度を50、線分描画での明度を0(黒)に設定するとき

```
LPRINT  CHR$(&h53);CHR$(&h47);"50,0;";
または
LPRINT "SG 50,0;";
```

楕円弧描画

楕円弧の描画　AV

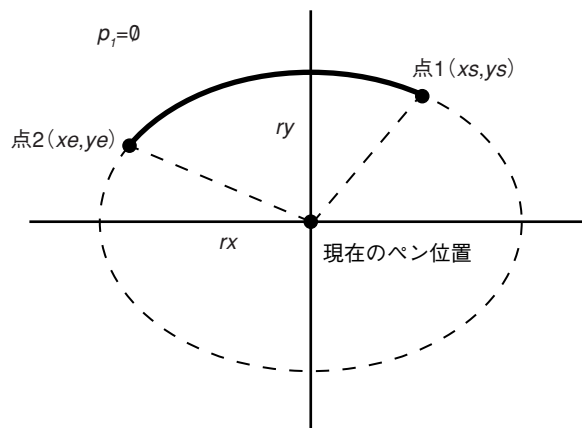
矩形領域に内接する楕円弧を描画します。

形　式

パラメータ

① *rx* .... x半径
② *ry* .... y半径
③ *xs* .... 点1のx座標（絶対座標）
④ *ys* .... 点1のy座標（絶対座標）
⑤ *xe* .... 点2のx座標（絶対座標）
⑥ *ye* .... 点2のy座標（絶対座標）
⑦ p_1 .... 描画方向（省略可）

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ryの楕円と、中心と点1（*xs*、*ys*）を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2（*xe*、*ye*）を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を描画方向に従い描画します。
- p_1＝0の時、反時計回り
  p_1＝1の時、時計回り
- 省略時は反時計回りになります。
  p_1に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、楕円を描画する。
- 求めた開始点あるいは終了点が中心点と同じ場合、楕円弧を描画しません。
- 点1、点2の座標（プリンター座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-（解像度）より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。

記述例

現在のペン位置を中心とする半径*rx*、*ry*の楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を描画するとき

```
LPRINT  CHR$(&h41); CHR$(&h56); rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1; " ;
```

または

```
LPRINT  " AV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1; " ; "
```

弓形描画

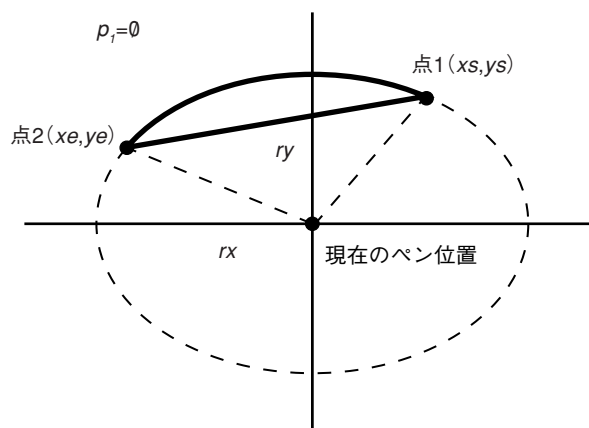
弓形の描画　CV

矩形領域に内接する惰円弧を基に弓形を描画する。

形　式　C V rx , ry , xs , ys , xe , ye , p1 , p2 ;

パラメータ

① *rx* .... x半径
② *ry* .... y半径
③ *xs* .... 点1のx座標（絶対座標）
④ *ys* .... 点1のy座標（絶対座標）
⑤ *xe* .... 点2のx座標（絶対座標）
⑥ *ye* .... 点2のy座標（絶対座標）
⑦ p_1 .... 描画モード
⑧ p_2 .... 描画方向（省略可）

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ryの惰円と、中心と点1（*xs*、*ys*）を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2（*xe*、*ye*）を結ぶ直線との交点を終了点とする惰円弧を基に弓形を描画します。
- p_1＝0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画する。）
  p_1＝1の時、塗りつぶしのみ
  p_1＝2の時、輪郭＋塗りつぶし
  p_1に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- p_2＝0の時、反時計回り。
  p_2＝1の時、時計回り。
  省略時は反時計回りになります。
  p_2に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、惰円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が矩形領域の中心と同じ場合、弓形を描画しません。
- 点1、点2の座標（プリンター座標系）が-32768〜32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-（解像度）より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。

記述例　現在のペン位置を中心とする半径*rx*、*ry*の惰円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする弓形を描画するとき

```
LPRINT  CHR$(&h43); CHR$(&h56); " rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; ";
または
LPRINT  "CV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; "; "
```

扇形描画

扇形の描画　FV

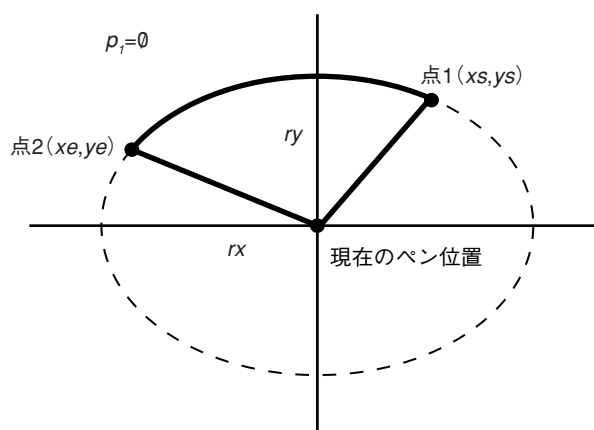
矩形領域に内接する楕円弧を基に扇形を描画する。

形　式　F V rx , ry , xs , ys , xe , ye , p1 , p2 ;

パラメータ

① *rx* .... x半径
② *ry* .... y半径
③ *xs* .... 点1のx座標（絶対座標）
④ *ys* .... 点1のy座標（絶対座標）
⑤ *xe* .... 点2のx座標（絶対座標）
⑥ *ye* .... 点2のy座標（絶対座標）
⑦ p_1 .... 描画モード
⑧ p_2 .... 描画方向（省略可）

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ryの楕円と、中心と点1（*xs*、*ys*）を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2（*xe*、*ye*）を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を基に扇形を描画します。
- p_1=0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画します。）
  p_1=1の時、塗りつぶしのみ
  p_1=2の時、輪郭+塗りつぶし
  p_1に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- p_2=0の時、反時計回り。
  p_2=1の時、時計回り。
  省略時は反時計回りになります。
  p_2に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が矩形領域の中心と同じ場合、扇形を描画しません。
- 点1、点2の座標（プリンター座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-（解像度）より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。

記述例

現在のペン位置を中心とする半径*rx*、*ry*の楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする扇形を描画するとき

```
LPRINT  CHR$(&h46); CHR$(&h56); " rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; ";
```

または

```
LPRINT  "FV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; "; "
```

角丸矩形描画

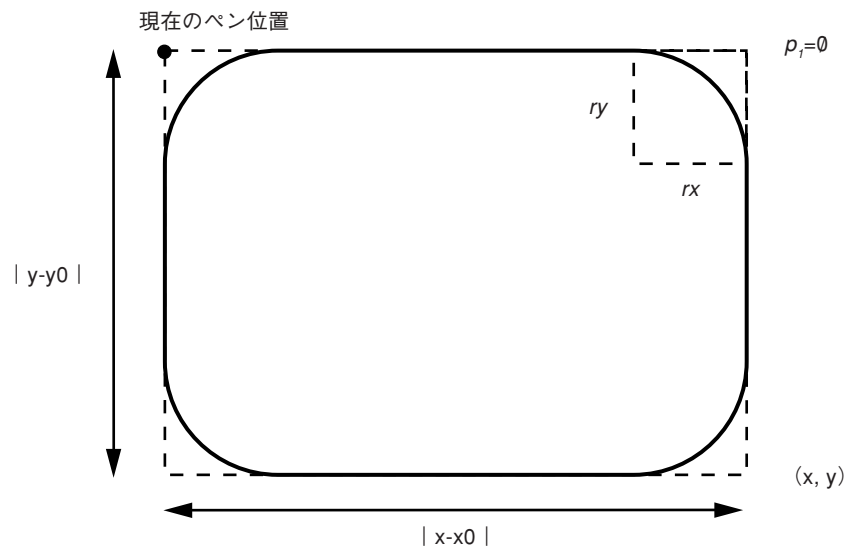
角丸矩形の描画　RB

指定された2点を基に角丸矩形を描画する。

形　式　R B x , y , rx , ry , p1 ;

パラメータ

① x .... 矩形の対角のx座標（絶対座標）
② *y* .... 矩形の対角のy座標（絶対座標）
③ *rx* .... 角丸のx半径
④ *ry* .... 角丸のy半径
⑤ p_1 .... 描画モード

- 現在のペン位置からx、yで示される矩形の角に半径rx、ryの1/4楕円を描画します。
- p_1＝0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画します。）
  p_1＝1の時、塗りつぶしのみ
  p_1＝2の時、輪郭＋塗りつぶし
  p_1に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- ｜x-x0｜＞2 × *rx*かつ｜y-y0｜＞2 × *ry*のとき角丸めを行い、それ以外は角丸めを行いません。
- *x*、*y*半径が32767 - 解像度を超える場合は、32767 - 解像度に丸める。
- 対角点の座標（プリンター座標系）が-32768〜32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。

記述例　現在のペン位置から *x*、*y*で示される矩形に半径 *rx*、*ry*の角丸矩形を描画するとき

```
LPRINT  CHR$(&h52); CHR$(&h42); " x, y, rx, ry, p1; ";
```

または

```
LPRINT   " RB x, y, rx, ry, p1; ";
```

技術情報

使用できるコンピューターとプリンターケーブル

次ページの表をご覧になり、使用するコンピューターが、Color MultiWriter 9250Cを正常に動作できる機種かどうかを確認してください。また、Color MultiWriter 9250Cにはプリンターケーブルが添付されていないため、別途お買い求めになる必要があります。ご使用のコンピューターに合ったプリンターケーブルは、次ページの表で確認してください。

コンピューター		プリンターケーブル
PC98-NXシリーズ （DOS/V対応機）	PC98-NXシリーズ	PC-PRCA-01 PC-CA205[＊2] PR-CA-U02[＊3]
	IBM、富士通、東芝、Compaq、DELL、その他各社	PC-PRCA-01
PC-9800シリーズ デスクトップタイプ ミニタワータイプ	98MATEシリーズ（除くAp・As・Ae・Af） 98MATEサーバシリーズ 98FELLOWシリーズ（除くBA・BX） 98MULTiシリーズ（除くCe） 98MULTi CanBeシリーズ VALUE STARシリーズ CEREB 98FINE PC-H98シリーズ[＊5]	PC-CA202[＊4] PC-CA204[＊2]
	PC-98XA・XL・XL・RL[＊5]	PC-PR801-21 (パソコン本体に標準添付)
	上記以外の14ピンパラレルインターフェースを持つデスクトップタイプ	PC-CA203[＊2]
98サーバシリーズ	SV-H98シリーズ[＊5] SV-98シリーズ	PC-CA202[＊4] PC-CA204[＊2]
98NOTEシリーズ	Lavieシリーズ Aileシリーズ 98NOTE Light PC-9821Nf・Np・Nx・Nd・Nm・Ne3・Ne2・Nd2 PC-9801NL/A・NS/A	PC-CA202[＊4] PC-CA204[＊2]
	上記以外の20ピンパラレルインターフェースを持つ98NOTEシリーズ	PC-9801N-19
PC-9800シリーズ ラップトップタイプ	PC-9821Ts	PC-CA202[＊4] PC-CA204[＊2]
プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）		PC-CA202[＊4] PC-CA204[＊2]

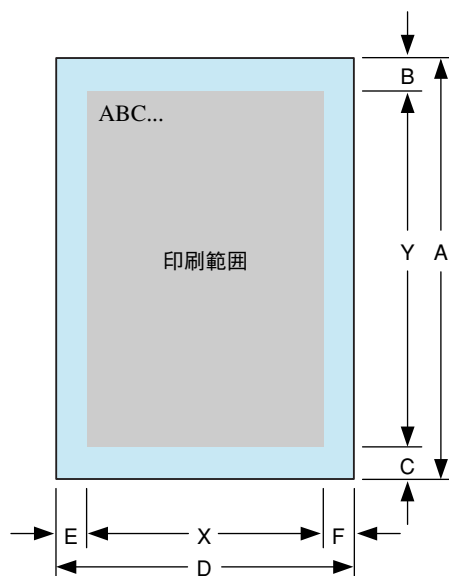
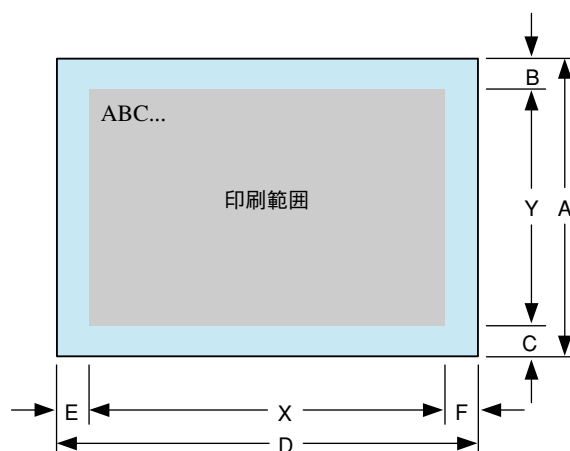
＊1　他社のケーブルをお使いになる場合、運用した結果の影響については責任を負いかねます。
＊2　PC-CA203、PC-CA204、PC-CA205のケーブルの長さは4.0m。
＊3　USBプリンタケーブルに関する情報については情報サービス窓口より提供していますので、ご利用ください(ユーザーズマニュアル参照)。
＊4　ケーブルの長さは1.5m。
＊5　ハイレゾリューションモードでは、プリンタステータスウィンドウ機能、音声メッセージ機能は利用不可。

- 一部のコンピューターによっては、CPUの性能によりPrintAgentの動作が不安定または動作しないものがあります。
- PrintAgentは、プリンタステータスウィンドウの表示に加えて、音声でメッセージを通知させることもできます。この機能を利用できるのは、PCM録音・再生など「サウンド機能」を持ったコンピューターです。お手持ちのコンピューターが音声メッセージ機能を使用できるかどうかは、コンピューターに添付のマニュアルをご覧ください。
- パソコン本体とプリンターとの接続は、当社指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンター共有器などを使用すると、プリンターの機能の一部、または全部が正常に動作しない場合があります。

印刷範囲

定形用紙

以下に示す印刷範囲は、理論印刷範囲を表しています。実際の印刷範囲と使用環境、プリンター設定により多少異なる場合があります。

- ポートレート

- ランドスケープ

印刷範囲

以下の印刷範囲はNPDLコマンドでの印刷範囲です。Windowsドライバーからの印刷を行う場合は、Windowsドライバーの印刷範囲に従い、余白5mmで印刷を行います。

● ポートレート

データ	用紙	A (用紙長)	B (上余白)	C (下余白)	Y (印刷範囲)		D (用紙幅)	E (左余白)	F (右余白)	X (印刷範囲)		
		mm	mm	mm	ドット*1	行*2	mm	mm	mm	ドット*1	文字*3	文字*4
特A3*5	A3ノビ	453	5.00	5.00*5	4224	105	328	5.00*5	5.00	3024	126	84
A3	A3	420	5.00	6.06	3864	96	297	5.00	4.98	2712	113	75
	B4	364	17.28	5.94	3864	96	257	10.12	7.70	2712	113	75
	A4	297	19.39	4.98	3864	96	210	14.77	3.88	2712	113	75
B4	A3	420	10.29	6.17	3336	83	297	13.47	7.73	2280	95	63
	B4	364	5.00	5.94	3336	83	257	8.00	7.70	2280	95	63
	A4(2/3)	297	30.82	30.80	3336	83	210	26.84	22.30	2280	95	63
	A4(4/5)	297	9.55	4.98	3336	83	210	10.75	6.21	2280	95	63
	B5	257	10.50	11.12	3336	83	182	12.66	8.48	2280	95	63
A4	A3	420	5.00	13.15	2712	67	297	7.12	12.49	1872	78	52
	A3(80)	420	5.00	13.15	2712	67	297	7.12	5.40	1920	78	53
	B4	364	5.00	14.51	2712	67	257	8.11	11.09	1872	78	52
	B4(80)	364	5.00	14.51	2712	67	257	8.11	5.05	1920	78	53
	A4	297	5.00	4.98	2712	67	210	8.00	3.88	1872	78	52
	A4(80)	297	5.00	4.98	2712	67	210	3.40	3.40	1920	78	53
	B5	257	8.60	9.22	2712	67	182	10.54	6.36	1872	78	52
	B5(80)	257	8.60	9.22	2712	67	182	8.85	3.82	1920	78	53
A4×2	A4	297	21.93	4.98	3828	-	210	14.77	3.88	2712	-	-
	A4(80)	297	21.93	4.98	3828	-	210	14.77	3.88	2712	-	-
B5	B4	364	11.35	7.63	2328	58	257	13.29	5.37	1608	67	44
	A4	297	9.23	6.14	2328	58	210	10.12	5.36	1608	67	44
	B5	257	5.00	5.62	2328	58	182	8.00	3.82	1608	67	44
B5×2	B5	257	19.39	5.62	3288	-	182	13.93	3.82	2328	-	-
A5	A5	210	5.00	4.34	1896	47	148	8.00	4.11	1284	53	35
帳票	B4	364	35.90	51.66	3264	81	257	25.78	7.70	2640	110	73
	A4	297	30.82	35.88	3264	81	210	19.85	3.88	2640	110	73
ハガキ	ハガキ	148	5.00	3.30	1320	33	100	8.00	5.64	816	34	22
レター	レター	279.4	5.00	5.00	2544	63	215.9	8.00	4.80	1920	80	53
往復ハガキ	往復ハガキ	200	5.00	5.00	1303	32	148	5.00	5.00	1796	74	49
封筒	封筒	235	5.00	5.00	2126	53	105	5.00	5.00	898	37	24
リーガル*5	リーガル	355.6	5.00	5.00*5	3264	99	215.9	500*5	500	1944	83	55
レジャー*5	レジャー	431.8	5.00	5.00*5	3984	99	279.4	5.00*5	5.00	2544	106	70

*1 解像度240dpiの場合。
*2 改行ピッチが6LPIの場合。
*3 文字ピッチが10CPIの場合（7.2ポイントのフォント使用時）。
*4 10.8ポイントのフォント使用時。
*5 特A3、リーガル、レジャーはNPDLのサイズ指定コマンドでは指定できません。特A3、リーガル、レジャーをホッパー、またはトレーにセットし、メニューモードによる用紙サイズ指定を有効にした状態で印刷した場合の印刷範囲を参考値として記載しています。

● ランドスケープ

データ	用紙	A (用紙長)	B (上余白)	C (下余白)	Y (印刷範囲)		D (用紙幅)	E (左余白)	F (右余白)	X (印刷範囲)		
		mm	mm	mm	ドット*1	行*2	mm	mm	mm	ドット*1	文字*3	文字*4
特A3*5	A3ノビ	328	5.00	5.00	3024	75	453	5.00	5.00	4224	176	117
A3	A3	297	4.98	5.00	2712	67	420	5.00	6.06	3864	161	107
	B4	257	9.82	8.00	2712	67	364	9.66	13.56	3864	161	107
	A4	210	10.65	8.00	2712	67	297	19.39	4.98	3864	161	107
B4	A3	297	16.20	5.00	2280	57	420	10.29	14.84	3264	136	90
	B4	257	7.70	8.00	2280	57	364	5.00	13.56	3264	136	90
	A4(2/3)	210	26.74	22.39	2280	57	297	30.82	35.88	3264	136	90
	A4(4/5)	210	8.75	8.21	2280	57	297	9.55	11.01	3264	136	90
	B5	182	8.48	12.66	2280	57	257	13.04	13.66	3264	136	90
A4	A3	297	12.49	7.12	1872	46	420	5.00	13.15	2712	113	75
	A3(80)	297	12.49	7.12	1872	46	420	5.00	13.15	2712	113	75
	B4	257	7.91	11.28	1872	46	364	5.00	14.51	2712	113	75
	B4(80)	257	7.91	11.28	1872	46	364	5.00	14.51	2712	113	75
	A4	210	3.88	8.00	1872	46	297	5.00	4.98	2712	113	75
	A4(80)	210	3.88	8.00	1872	46	297	5.00	4.98	2712	113	75
	B5	182	6.36	10.54	1872	46	257	8.60	9.22	2712	113	75
	B5(80)	182	6.36	10.54	1872	46	257	8.60	9.22	2712	113	75
A4×2	A4	210	10.65	8.00	2712	-	297	18.55	8.37	3828	-	-
	A4(80)	210	10.65	8.00	2712	-	297	15.16	4.98	3924	-	-
B5	B4	257	10.66	8.00	1608	40	364	11.35	7.63	2328	97	64
	A4	210	7.48	8.00	1608	40	297	9.23	6.14	2328	97	64
	B5	182	3.82	8.00	1608	40	257	5.00	5.62	2328	97	64
B5×2	B5	182	9.75	8.00	2328	-	257	12.20	12.82	3288	-	-
A5	A5	148	4.11	8.00	1284	32	210	5.00	4.34	1896	79	52
帳票	B4	257	25.48	8.00	2640	66	364	35.90	51.66	3264	136	90
	A4	210	15.73	8.00	2640	66	297	30.82	35.88	3264	136	90
ハガキ	ハガキ	100	5.64	8.00	816	20	148	5.00	5.84	1296	54	36
レター	レター	215.9	4.80	8.00	1920	48	279.4	5.00	5.76	2544	106	70
往復ハガキ	往復ハガキ	148	5.00	5.00	1796	21	200	5.00	5.00	1303	54	36
封筒	封筒	105	5.00	5.00	898	22	235	5.00	5.00	2126	88	59
リーガル*5	リーガル	215.9	5.00	5.00	1944	48	355.6	5.00	5.00	3264	136	90
レジャー*5	レジャー	279.4	5.00	5.00	2544	63	431.8	5.00	5.00	3984	166	110

*1 解像度が240dpiの場合。
*2 改行ピッチが6LPIの場合。
*3 文字ピッチが10CPIの場合（7.2ポイントのフォント使用時）。
*4 10.8ポイントのフォント使用時。
*5 特A3、リーガル、レジャーの用紙をホッパー、またはトレーにセットした状態で用紙サイズを指定しないで印刷した場合の印刷範囲を参考値として記載しています。

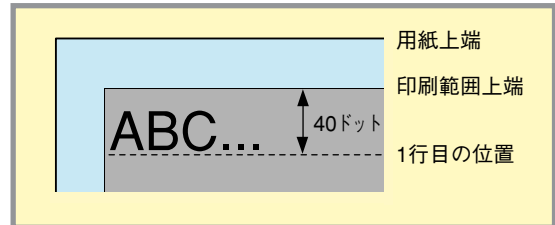
補足説明

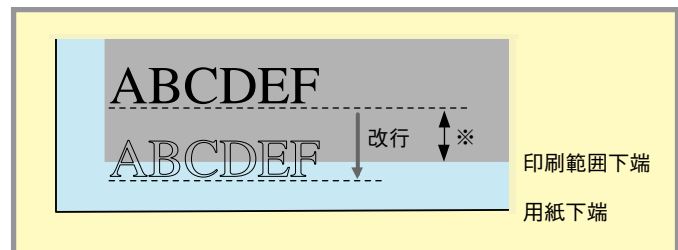
- 余白量(印刷不可領域)は、使用する用紙の寸法差、プリンター個々の用紙走行の精度などの条件により前後する場合があります。
- 印刷範囲(印刷可能ドット数)は、すべて240dpiで規定されています。各解像度での印刷可能ドット数は

  400dpi：　240dpiのドット数を5/3倍にした値
  600dpi：　240dpiのドット数を5/2倍にした値

  になります。
- 行桁モードでは、1行目の位置は240dpi相当で印刷範囲の上から40ドット目(約4.2mm)となります。したがって、40ドットより小さい文字を印刷した場合、上端の余白は上記値よりも大きくなります。

  ◇ 1行目の第一印刷位置に文字を印刷したときは、全点アドレス印刷モードで座標値として(0, 39) (240dpi)を指定したのと同じ位置に印刷されます。

  ◇ 文字が小さい場合などでは見かけ上の余白が大きくなります。

- 行桁モードでは、ページの下端付近での改行の結果、次の印刷位置が上記印刷範囲をはみ出してしまう場合には改ページされます。このため改行ピッチの設定によっては印刷範囲下端付近には印刷できない場合があり、その場合の下端余白は上記値よりも大きくなります。

  ◇ 最終行が下にはみ出してしまうので、実際には改ページ後に印刷されます。その結果、※の部分には印刷できなくなるので見かけ上の余白が大きくなります。

- 印刷可能桁数、行数は、上記印刷範囲のドット数を文字ピッチあるいは行ピッチで割ることによって算出したものです。

  計算に用いる値は右のとおりです。

種　別			ドット数
文字数	1バイト系	パイカ	24ドット
		エリート	20ドット
		コンデンス	14ドット
	2バイト系	7ポイント(1/10インチ)	24ドット
		10.5ポイント(3/20インチ)	36ドット
		12ポイント(1/6インチ)	40ドット
行数	6LPI(1/6インチ)		40ドット
	8LPI(1/8インチ)		30ドット

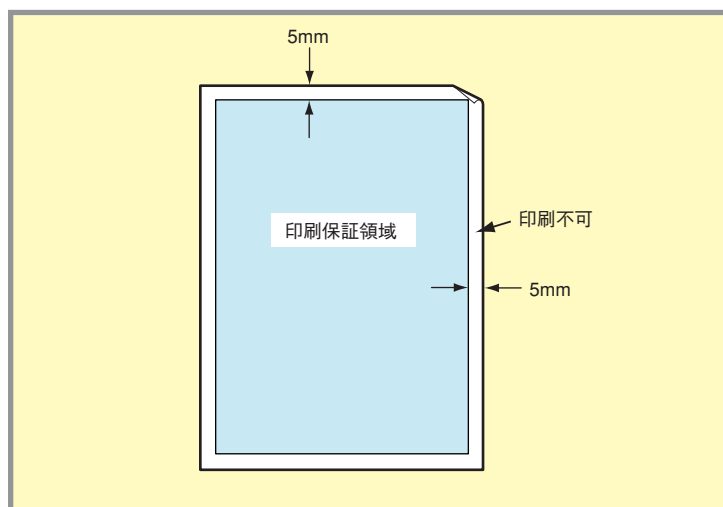
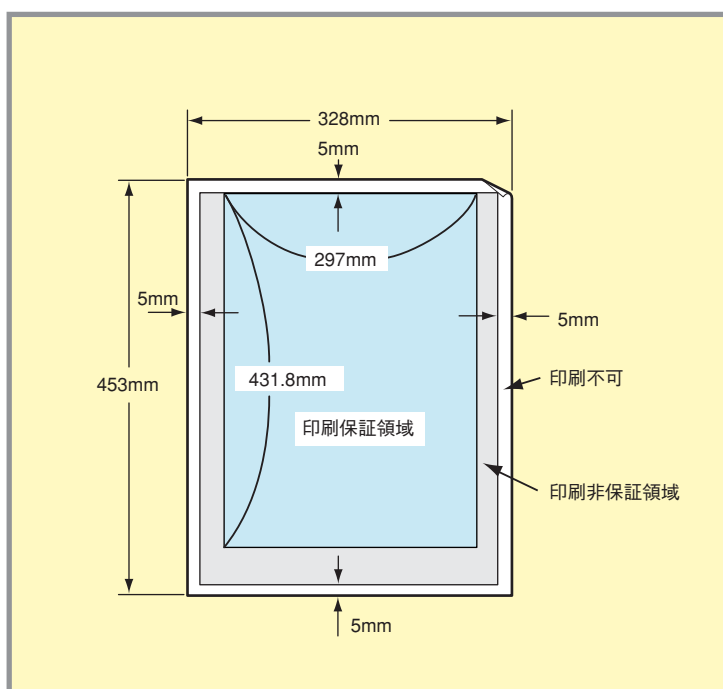
  ◇ 値はすべて240dpiでのドット数です。文字数、行数とも、計算はすべて240dpiで行います。

  ◇ 2バイト系文字については、カッコ内に示した文字ピッチを使用している場合のドット数を示しています。文字ピッチを変えることにより、印刷可能桁数も変わります。

  ◇ 1バイト系、2バイト系文字とも、文字間にスペースを挿入することが可能ですが、この場合も印刷可能桁数は減少します。

- 添付プリンタードライバーを使用した場合、プリンタードライバーの機能により余白量をすべて約5mmにできます。

印刷保証領域

A3以下の用紙の場合

特A3用紙の場合

定形外用紙

定形外用紙とは、本プリンターでサポートしている定形用紙(特A3、A3、A4、A5、B4、B5、レジャー、リーガル、レター、はがき、往復はがき、封筒)以外の大きさの用紙のことです。Color MultiWriter 9250Cは添付のプリンタードライバーが使用するWindows専用言語では、90mm×139.7mm〜328mm×453.0mmまでの用紙に対応しています。この場合の印刷範囲と印刷位置は、使用する用紙の大きさ、プリンター設定に応じてアプリケーションから正しく制御する必要があります。ただし、NPDLコマンドで対応している定形外用紙は、はがき(100mm×148mm)〜A3(297mm×420mm)までです。

定形外用紙をセットするときの注意

アプリケーションソフトウエアで任意の用紙サイズを指定できても定形外用紙への印刷が行えないことがあります。
また、対応可能な用紙の厚み(坪量)は、定型紙に比べて扱える範囲が狭くなる場合があります。定形外用紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認することを強くお勧めいたします。

- 形状が長方形以外の不規則な形状の用紙、裁断角度が直角でない用紙は使用しないでください。
- 紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目等により正常に印刷されない場合があります。
- 種類、繊維目方向によっては印刷後大きくカールするものがあります。
- スタックが完全にされない場合があります。この場合はその都度用紙を取り除いてください。
- NPDLモードでご使用の場合には、メニューモードの「用紙メニュー」で「トレー定形外用紙」を「ON」にする必要があります。

プリンターの設定について

定形外用紙に印刷する場合、トレーを使用してください。プリンターは定形用紙を想定し、印刷位置、印刷範囲の制御を行います。操作パネルの[トレー]スイッチによって印刷させる定形外用紙の用紙サイズに近似した用紙サイズを設定する必要があります。

印刷範囲が定型外用紙内に収まっていない設定のまま印刷を行うと装置内を汚すなど、思わぬ障害の原因となる場合があります。印刷前に十分確認してください。

定形外用紙はホッパーからは給紙できません。

余白について

印刷結果が実際に使用する用紙をはみ出すことのないように注意してください。はみ出した印刷を続けると、思わぬトラブルの原因となります。

また、印刷品質を保つため、実際に使用する用紙に対して上下左右とも5mm以上の余白ができるように、印刷位置と印刷範囲を設定してください。

A3サイズ以上の用紙を使用する場合には、印刷範囲は、上下左右とも5mm以上の余白、または印刷範囲が297mm×431.8mmのどちらか小さい方になります。ご使用の用紙に合わせて印刷範囲を設定してください。

印刷位置について

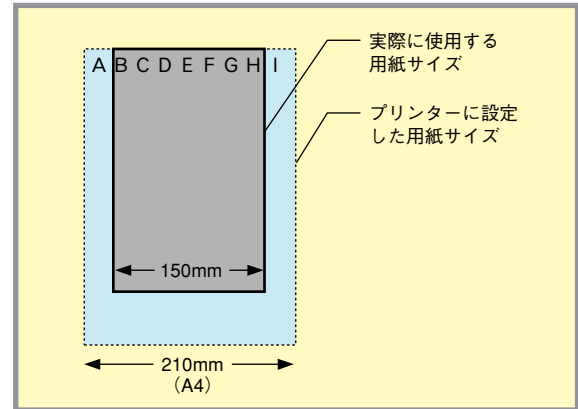
次に様々なケースでの印刷位置、印刷範囲の考え方を説明します。これらの説明は、主にNPDLの行桁モードによる制御を前提にしていますが、それ以外の方法でも同様の考え方による制御を行ってください。

● ポートレートの桁方向（プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき）

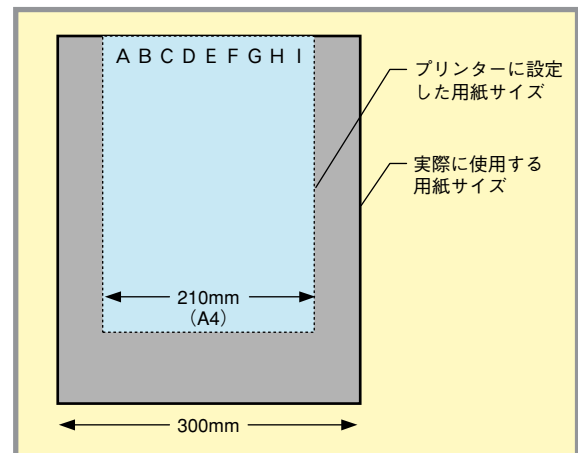
例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、幅が150mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、左右の端の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

このような場合には、各行の先頭に適当な量のスペースを取ることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。
必要なスペース量は次のように算出してください。

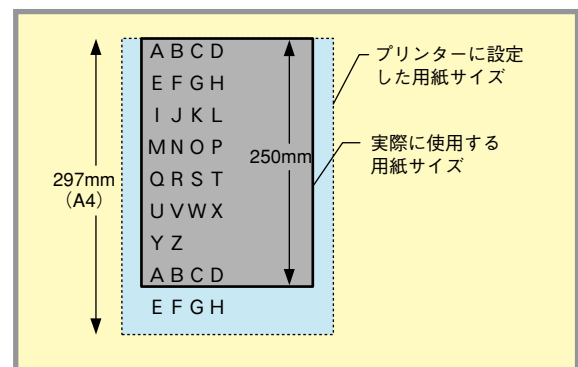
$$必要なスペース＝\frac{A－B}{2}$$

A: プリンターに設定されている用紙の幅
B: 実際に使用する用紙の幅

● ポートレートの桁方向（実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき）

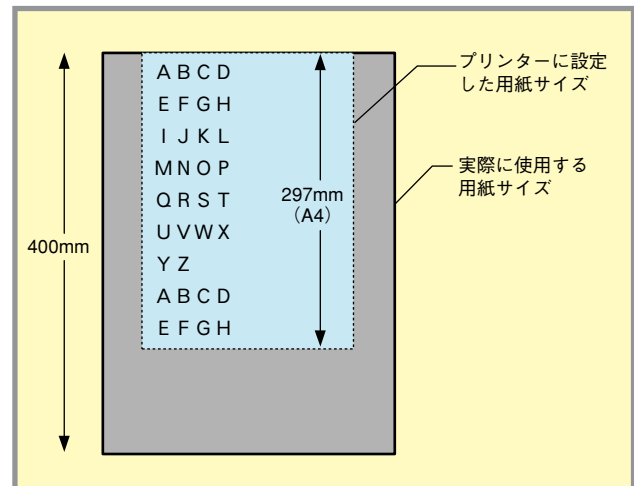
例えば、プリンターの設定をA4にしているときに幅が300mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の左右には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の左右の部分にも印刷したい場合には、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、さらに大きいものに変更してください。

● ポートレートの行方向（プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに長さが250mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙の長さを超えるような改行命令については自動的に改ページをしますが、使用する用紙が短いために下端付近のデータは用紙をはみ出してしまいます。

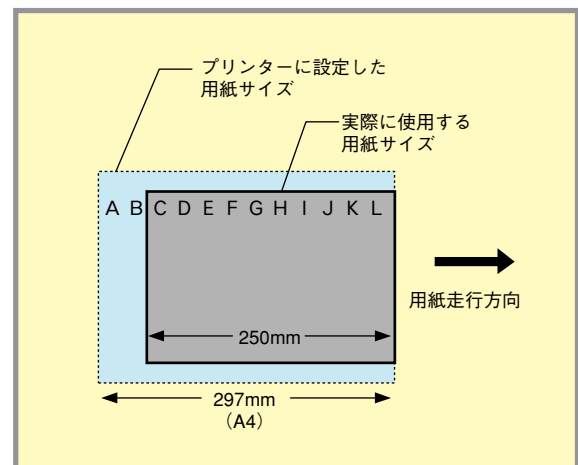
このような場合には、1ページ当たりに印刷可能な行数を制限し、はみ出すことのないようにしてください。

● ポートレートの行方向(実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、長さが400mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙を超えるようなデータは印刷しません。その結果、用紙の下端には印刷できない部分が発生します。

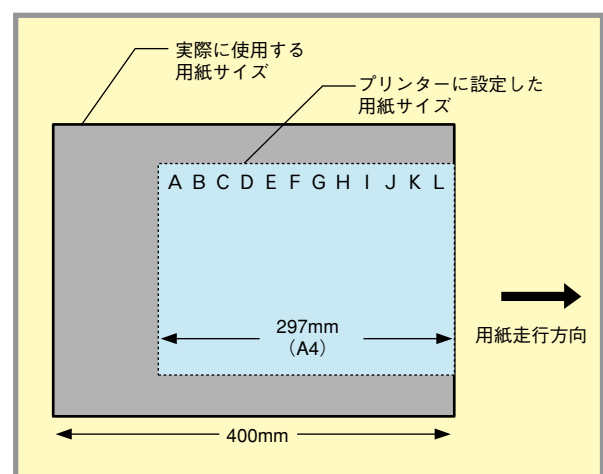
このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の下端部分にも印刷したい場合は、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。

● ランドスケープの桁方向(プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、長さが250mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、左端(行の先頭)の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

この場合には、各行の先頭に適当な量のスペースをとることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。
必要なスペース量は次のように算出してください。

必要なスペース＝A−B
　A：プリンターに設定されている用紙の幅
　B：実際に使用する用紙の幅

● ランドスケープの桁方向(実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、長さが400mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の左端には印刷できない部分が発生します。

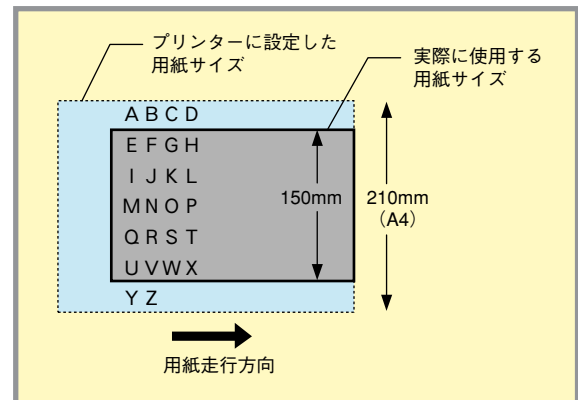
このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の左端の部分にも印刷したい場合は、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。

● ランドスケープの行方向(プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、幅が150mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、ページの上下の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

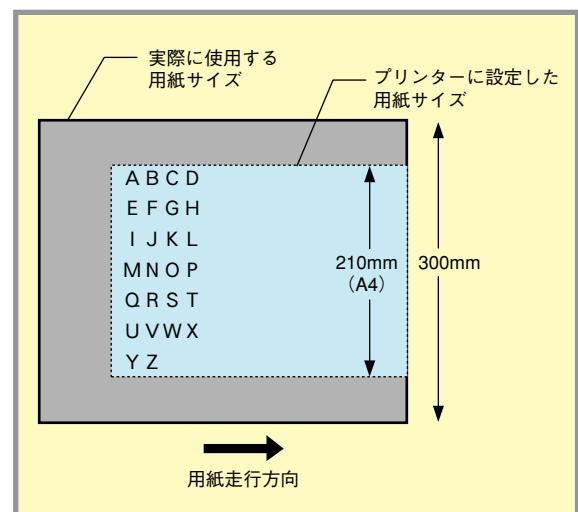
この場合には各ページの先頭に適当な量の余白(改行)をとることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。
必要な余白の量は次のように算出してください。

$$必要なスペース = \frac{C - D}{2}$$

C: プリンターに設定されている用紙の幅
D: 実際に使用する用紙の幅

また、1ページ当たりに印刷可能な行数を制限し、はみ出すことのないようにしてください。

● ランドスケープの行方向(実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、幅が300mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の上下には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙上下の部分にも印刷したい場合には、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。

80桁モードについて
本プリンターの印刷可能桁数は78桁(A4用紙、パイカモード時)です。したがって、80桁のシリアルプリンターでバッファーフル印刷を利用して改行を行うソフトウエアを本プリンターで使用した場合、印刷位置が異なることになります。
このため、本プリンターではバッファーフルまでの印刷桁数を印刷範囲に広げることで、80桁にすることができます(A4ポートレートの場合のみ可能です)。設定は「A4ポートレートケタスウ」メニューで行います。

NPDLの初期状態

次の条件で、プリンターの内部状態は初期状態になります。それぞれの条件下における初期状態については、次の表をご覧ください。

- 電源をONにしたとき
- 操作パネル上でリセットを実行したとき
  → 未印刷データをすべて消します。
- ソフトウエアリセット(ESC c1)を実行したとき
  → 印刷フォーマット、ホッパー指定は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。
- $\overline{\text{INPUT・PRIME}}$信号を受信したとき
  → VFU印刷フォーマット、ホッパ指定、およびセレクト／ディセレクトは初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。
- パラメーターリセット(ESC c8)を実行したとき
  → VFU、印刷フォーマット、ホッパ指定、セレクト／ディセレクト、動作モード、網かけ登録、1バイト文字登録などの登録内容は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">内部状態</th><th colspan="5">イニシャライズ（初期化）の種類</th></tr>
<tr><th>電源ON</th><th>操作パネルリセット</th><th>ESC c1</th><th>INPUT・PRIME</th><th>ESC c8</th></tr>
<tr><td colspan="2">現在位置</td><td colspan="5">第1行第1桁</td></tr>
<tr><td colspan="2">レフトマージン幅</td><td colspan="5">メニュー設定に従う（工場設定000）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ライトマージン幅</td><td colspan="5">A3：113　A4：078（80桁モード時 080）　A5：053
B4：095　B5：067　レター：080　はがき：034</td></tr>
<tr><td colspan="2">水平タブセット</td><td colspan="5">クリア</td></tr>
<tr><td rowspan="4">VFU</td><td>FF長</td><td colspan="3">A3: 96行　A4: 67行　A5: 47行
B4: 83行　B5: 58行　レター: 63行　はがき: 33行</td><td colspan="2">変化せず</td></tr>
<tr><td>ボトム領域</td><td colspan="3">なし</td><td colspan="2">変化せず</td></tr>
<tr><td>VTセット（CH2）</td><td colspan="3">A3:第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61、67、73、79、85、91行目
A4:第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61、67行目
A5:第7、13、19、25、31、37、43行目
B4:第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61、67、73、79行目
B5:第7、13、19、25、31、37、43、49、55行目
レター:第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61行目
はがき:第7、13、19、25、31行目</td><td colspan="2">変化せず</td></tr>
<tr><td>VTセット(CH3～CH6)</td><td colspan="3">クリア</td><td colspan="2">変化せず</td></tr>
<tr><td colspan="2">改行方向</td><td colspan="5">順方向改行</td></tr>
<tr><td colspan="2">改行幅</td><td colspan="5">1/6インチ</td></tr>
<tr><td colspan="2">セレクト／ディセレクト状態</td><td colspan="3">セレクト状態</td><td colspan="2">変化せず</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信バッファ</td><td colspan="2">クリア</td><td colspan="3">クリアせず</td></tr>
<tr><td colspan="2">ページバッファ</td><td colspan="2">クリア</td><td colspan="3">クリアせず</td></tr>
<tr><td colspan="2">未印刷データ</td><td>—</td><td>クリア</td><td colspan="3">印刷実行</td></tr>
<tr><td colspan="2">動作モード</td><td colspan="5">メニュー設定に従う（エミュレーション／ページプリンタ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">印刷方式</td><td colspan="5">パイカモード</td></tr>
<tr><td colspan="2">コード表のシフト状態</td><td colspan="5">カタカナ状態（8ビットコード）</td></tr>
<tr><td colspan="2">1バイト文字フォント</td><td colspan="5">メニュー設定に従う（標準／イタリック／クーリエ／ゴシック）</td></tr>
<tr><td colspan="2">漢字書体</td><td colspan="5">メニュー設定に従う（内蔵明朝／内蔵ゴシック）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">漢字</td><td>文字サイズ</td><td colspan="5">10.5ポイント</td></tr>
<tr><td>文字幅</td><td colspan="5">3/20インチ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">半角</td><td>縦書き</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td>組文字</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td colspan="2">スクリプト文字</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td colspan="2">倍率指定</td><td colspan="5">縦横とも解除</td></tr>
<tr><td colspan="2">修飾印刷</td><td colspan="5">解除</td></tr>
</table>

内部状態		イニシャライズ（初期化）の種類				
		電源ON	操作パネルリセット	ESC c1	INPUT・PRIME	ESC c8
アンダーライン	指定	解除				
	線種	実線、一重線				
	線幅	2ドット				
網かけ	指定	解除				
	登録	クリア（未登録状態）				クリアせず
白黒反転		解除				
固定ドットスペース		左右とも0ドット				
縦方向文字位置オフセット		0ドット				
1バイト文字登録	パターン	ROMパターン				
	登録	クリア（未登録状態）				クリアせず
2バイト文字登録		クリア（未登録状態）				クリアせず
ドット切り替え		メニュー設定に従う（ネイティブモード／コピーモード）				
印刷フォーマット	印刷方向	ポートレート		変化せず		
	縮小モード	解除		変化せず		
コピー枚数	コード (FSx)	1枚		メニュー設定に従う		
	操作パネル	1枚		変化せず		
座標指定単位		1/240インチ				
描画座標		（X，Y）＝（0，0）				
全点アドレス印刷モード		解除				
フォーム	登録	クリア				クリアせず
	参照	解除				変化せず
図形印刷モード		解除				
グラフ描画モード		絶対描画モード				
プリンター単位		1/240インチ				
線分	線種	実線				
	線幅	1ドット幅				
	線長	P_1P_2の対角線距離の4%				
	線端タイプ	断ち切り型				
	接続タイプ	マイタ接続				
	選択パターン	黒べた				
	登録パターン	クリア				クリアせず
ペン	座標	（X，Y）＝（0，0）				
	上下位置	アップ状態				
塗り潰しモード		解除				
塗り潰し	選択パターン	パターン番号1				
	登録パターン	クリア（未登録状態）				クリアせず
スケーリングポイント	P1	（X，Y）＝（0，0）				
	P2	各用紙サイズ、印刷フォーマットでの最大印刷位置				
スケーリング		解除				
ウィンドウ領域		各用紙サイズでの最大				
座標系反転		解除				
座標系回転		0度				
論理描画		OR				
パス構築モード		解除				
パスデータ		廃棄				
ホッパー指定		メニュー設定に従う（ホッパー1/ホッパー2/ホッパー3）		変化せず		
ホッパー／トレー給紙		ホッパー給紙		変化せず		
セントロ切り替え		準備（前後Ready）		以前の状態を継続		
両面印刷		メニュー設定に従う（片面印刷/両面印刷）		変化せず		

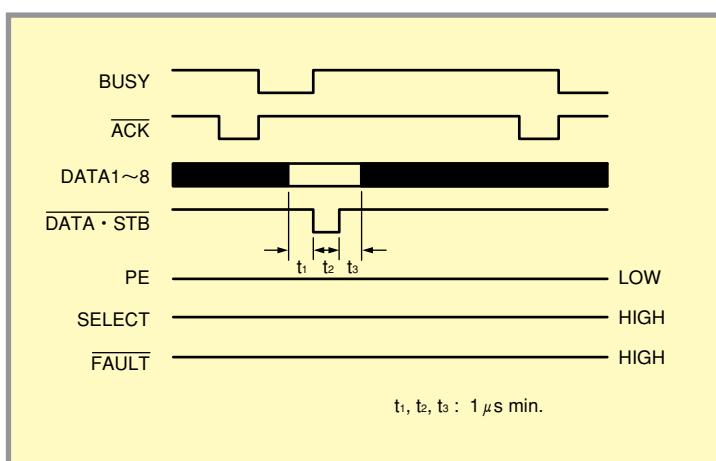
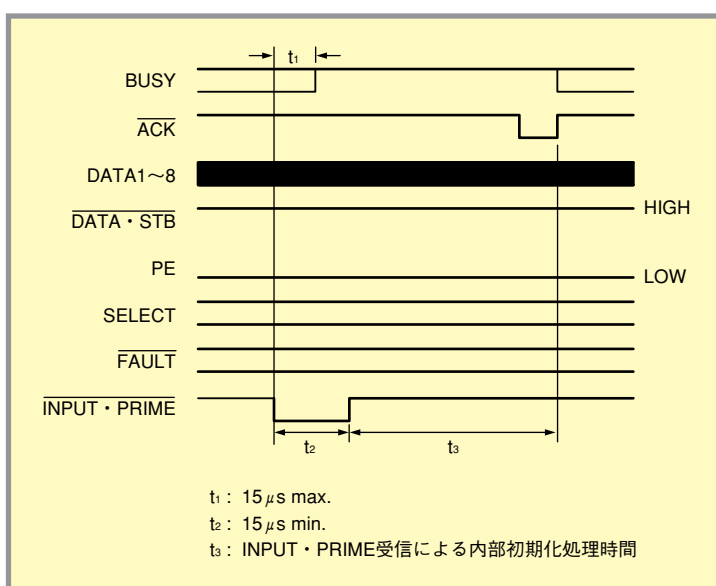
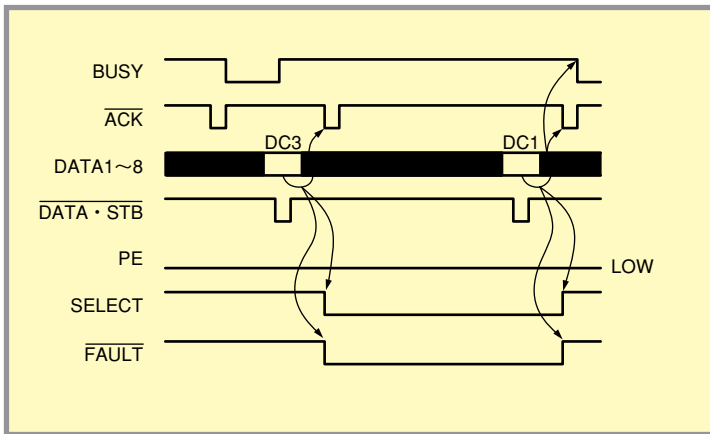
インターフェース

インターフェース信号の機能

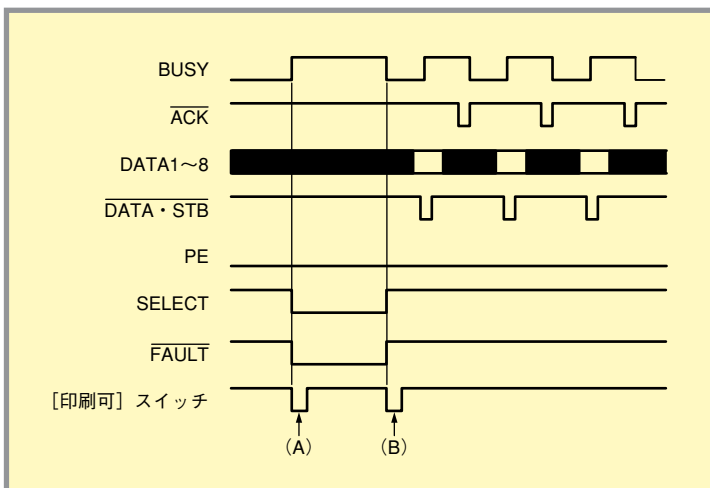
ピン番号	信号名	略称	信号の方向	機能
1	データストローブ	DATA・STB	PR←PC	DATA 1～8を読み込むための同期信号である。定常状態はHIGHであり、HIGHからLOWになったときBUSYがHIGHになり、次にLOWからHIGHになるまでにDATA 1～8を読み込む。パルス幅は最小1 μsとする。 DATA1～8 DATA・STB BUSY 1 μs min　1 μs min　1 μs min
2 3 4 5 6 7 8 9	データ1 データ2 データ3 データ4 データ5 データ6 データ7 データ8	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	PR←PC	各信号は、データの1ビット目から8ビット目の情報を受信する入力信号である。 論理1はHIGHである。DATA 1が最下位桁（LSB）、DATA 8が最上位桁（MSB）である。上図に示すDATA・STBの前後1 μsの範囲でDATA 1～8は確定していること。
10	アクノリッジ	ACK	PR→PC	受信したデータをプリンター内へ取り込み完了したことを示す信号で、DATA・STB受信に対する応答である。ただし、電源ON時、インプットプライム処理終了時、および操作パネルによるリセットの処理終了時には無条件に一度出力する。定常状態はHIGHであり、約1 μsLOWとなるパルスを出力する。
11	ビジィ	BUSY	PR→PC	プリンターがデータ受信不可能（BUSY中）状態であることを知らせる信号である。LOWの場合、データ入力が可能である。次の条件を満たすものが1つでもあればHIGHになる。それ以外ではLOWである。 ● SELECT信号がLOWのとき。 ● FAULT信号がLOWのとき。 ● INPUT・PRIME信号がLOWになったときから所定時間経過したのちHIGHとなり、内部初期化処理が終了するまでの間。 ● データを受信してから、プリンター内へ取り込み完了するまでの間。 ● 操作パネルによるリセットを行ってから、内部初期化処理が終了するまでの間。 ［補足］ 本プリンターは印刷処理用の1ページ分バッファーのほかに、受信用のバッファーを持ち、データを受信するとまず受信バッファに書き込まれる。このため、データの処理が完了しないうちに次のデータを受信することができ、プリンターの動作状態とBUSY信号の状態は同期しない。また、受信用バッファーが満杯になったときはBUSY信号はHIGHを保持し、印刷動作実行などにより余裕が生じたらLOWとなって次の受信を行う。
12	ペーパエンド	PE	PR→PC	用紙がなくなったときHIGHになる。 ● 設定されたサイズの用紙がホッパーに存在せず、縮小もできない場合 ● データが存在して用紙がない場合
13	セレクト	SELECT	PR→PC	プリンターがセレクト中（HIGH）かディセレクト中（LOW）かを示す。セレクト中はデータの受信が可能である。 ［セレクトになる条件］ ● 電源ONしたとき ● ディセレクト状態で印刷可スイッチが押されたとき。 ● メモリースイッチ1-5がOFFで、ディセレクト状態でDC1コードを受信したとき。 ［ディセレクトになる条件］ ● セレクト状態で印刷可スイッチが押されたとき。 ● メモリースイッチ1-5がOFFで、DC3コードを受信したとき。 ● PE＝1のとき。 ● FAULT＝0のとき。
14～15	―	―	―	将来の拡張用
16	シグナルグランド	SG	―	信号用グランド
17	フレームグランド	FG	―	フレームグランド
18	デバイスコネクト	DCN	PR→PC	プリンターの電源がONになっていることを表す。操作パネルのリセットスイッチでリセットを実行した場合、最小で1.5秒間OFFとなる。
19～30	GND	―	―	（信号グランドに接続されている。）
31	インプットプライム	INPUT・PRIME	PR←PC	この信号がLOWになるとプリンターは初期状態になる。パルス幅は15 μs以上必要。SELECT信号がHIGH、LOWどちらであってもINPUT・PRIMEは有効。INPUT・PRIMEによる初期状態は電源ON時とほぼ同じ状態となる。
32	フォルト	FAULT	PR→PC	次のいずれかの条件が発生したときLOWになる。（本信号をLOWにするときは、必ずBUSYを先または同時にHIGHにすること） ● SELECT＝0のとき。 ● プリンターがエラーのとき。
33	シグナルグランド	SG	―	信号用グランド
34～36	―	―	―	将来の拡張用

タイムチャート

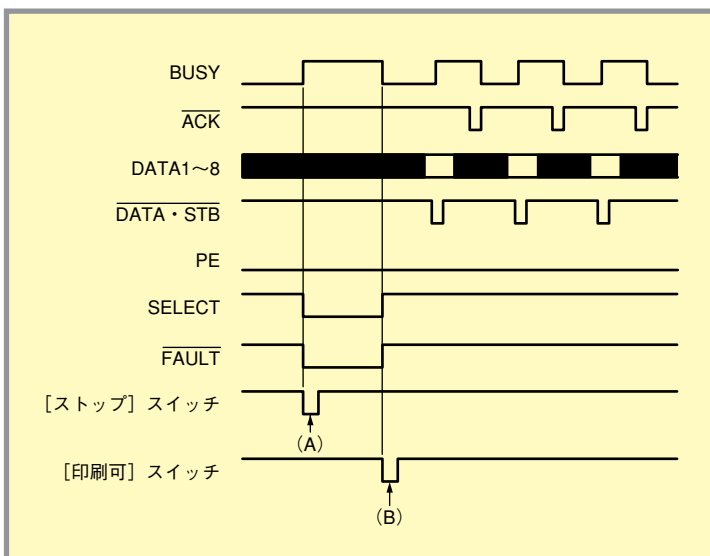
● 電源ON時

● データ受信時

● INPUT･PRIME受信時

● DC1、DC3によるセレクト、ディセレクトの切り替え

◇ DC1、DC3の処理は受信バッファから読み出された後に実行される。

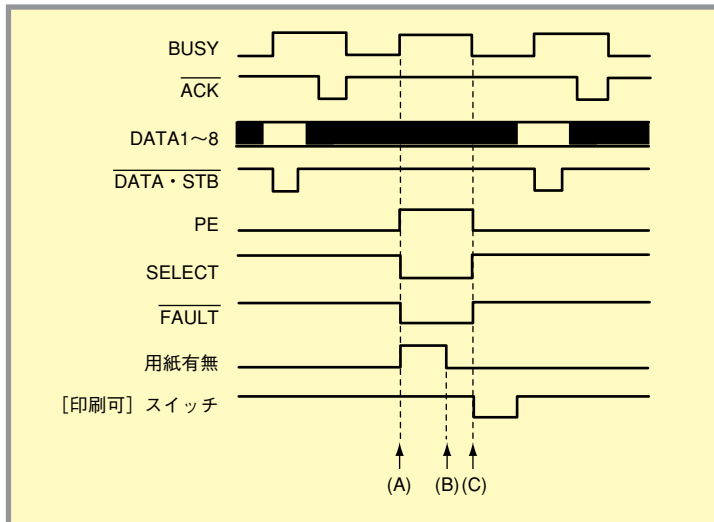
◇ DC3処理後はBUSY、ディセレクトのため、実際には通常の送信方法ではDC1はプリンターに対して送信できない。

● 操作パネルによるセレクト、ディセレクトの切り替え

(A) セレクト状態で[印刷可]スイッチを押すと、ただちにディセレクト状態になる。

(B) ディセレクト状態で[印刷可]スイッチを押すと、セレクト状態になる。

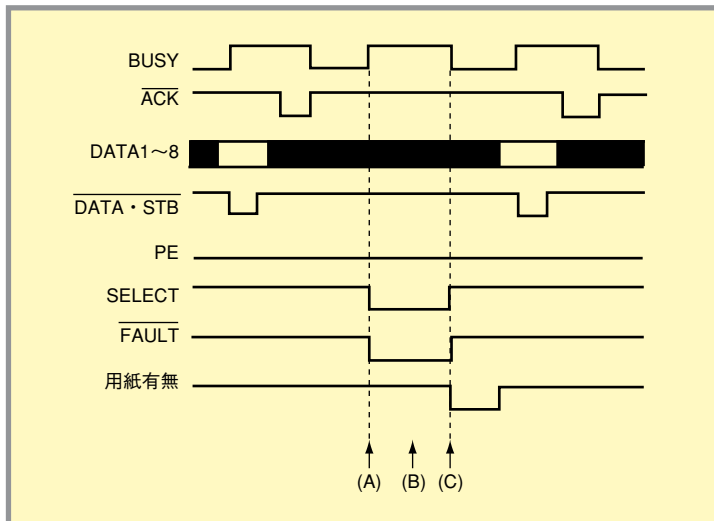
● [ストップ]スイッチによる一時停止

(A) セレクト状態で[印刷可]スイッチを押すと、ただちにディセレクト状態になる。

(B) ディセレクト状態で[印刷可]スイッチを押すと、セレクト状態になる。

● 用紙なし発生時

(A)　印刷データ受信後、用紙なしを検出すると、ただちににディセレクト状態になる。

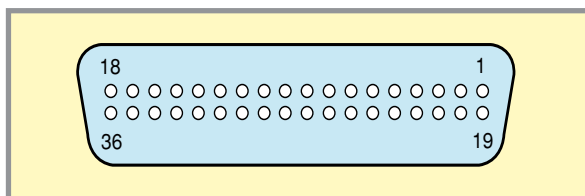
(B)　用紙をセットする。

(C)　用紙をセットすることによりセレクト状態となり、前の続きの処理を再開する。

● 紙づまり発生時

(A)　用紙ジャム発生状態

(B)　用紙を取り除く。用紙が取り除かれるまで状態は続く。

(C)　[印刷可]スイッチを押すことにより印刷を再開する。

コネクターピン配置

各ピンの信号については「インターフェース信号の機能」をご覧ください。

16ピン、19〜30ピン、33ピンのピンの端子はプリンター内部で相互に接続されています。

電気的特性

入力回路

信号名	回路形式
DATA 1～8 （背面の インターフェース）	+5V 1kΩ 510Ω 470pF LS244相当品
DATA 1～8 （前面の インターフェース）	+5V 1kΩ 510Ω 470pF LS244相当品
$\overline{\text{DATA・STB}}$ $\overline{\text{INPUT・PRIME}}$	+5V 1kΩ 510Ω 470pF LS14相当品

出力回路

信号名	回路形式
$\overline{\text{ACK}}$ $\overline{\text{FAULT}}$ BUSY PE SELECT DCN	LS240相当品 220pF

文字の種類

内蔵文字の種類

表中の「○」と「×」は、各書体においてその文字の種類が内蔵されているか(○)内蔵されていないか(×)を示します。

1バイト系文字

文字の種類	標準／クーリエ／ゴシック／イタリック
英数字・記号　96種（スペース、0を含む）	○
カタカナ・記号　63種	○
ひらがな　55種	○
CGグラフィック　56種	○
各国文字　15種	○

2バイト系文字

JIS X6226-1978準拠(JIS X0208-1983, JIS-X0208-1990への切り替え可能)

文字の種類	明朝体 アウトライン	ゴシック体 アウトライン
記号　96種（スペースを含む）	○	○
英数字　62種	○	○
ひらがな　83種	○	○
カタカナ　86種	○	○
ギリシャ文字　48種	○	○
ロシア文字　66種	○	○
半角文字　212種（スペースを含む）	○	○
JIS第一水準漢字　2965種	○	○
JIS第二水準漢字　3384種	○	○

文字間隔

文字種	文字サイズ	文字間隔（インチ）
1バイト系文字	パイカ	1/10
	エリート	1/12
	コンデンス	約1/17
	プロポーショナル	約1/27～1/10
2バイト系文字	7ポイント*1	1/10
	10.5ポイント*2	約1/6.66
	12ポイント	1/6

*1　正確には7.2ポイントです。
*2　正確には10.8ポイントです。

文字構成

1バイト系文字

文字種				ドット構成（ボディフェース）＜縦×横＞（ドット）	文字寸法（ボディフェース）＜縦×横＞（mm）
1バイト系文字	標　準	英数字 記号 カタカナ ひらがな	パイカ	56×40	3.39×2.54
			エリート	45×34	2.82×2.12
			コンデンス	32×24	1.98×1.48
			プロポーショナル	54×A*	3.39×B*
		CGグラフィック	パイカ	54×40	3.39×2.54
			エリート	45×34	2.82×2.12
			コンデンス	32×24	1.98×1.48
			プロポーショナル	54×40	3.39×2.54
	スクリプト	英数字 記号 カタカナ ひらがな	パイカ	27×40	1.69×2.54
			エリート	23×34	1.41×2.12
			コンデンス	16×24	0.99×1.48
			プロポーショナル	27×A*	1.69×B*
		CGグラフィック	パイカ	27×40	1.69×2.54
			エリート	23×34	1.41×2.12
			コンデンス	16×24	0.99×1.48
			プロポーショナル	27×40	1.69×2.54

＊　プロポーショナルの横のサイズは文字ごとに異なります。
A：15～37ドット（400dpi）、23～55ドット（600dpi）
B：0.95～2.33mm

2バイト系文字、グラフィック

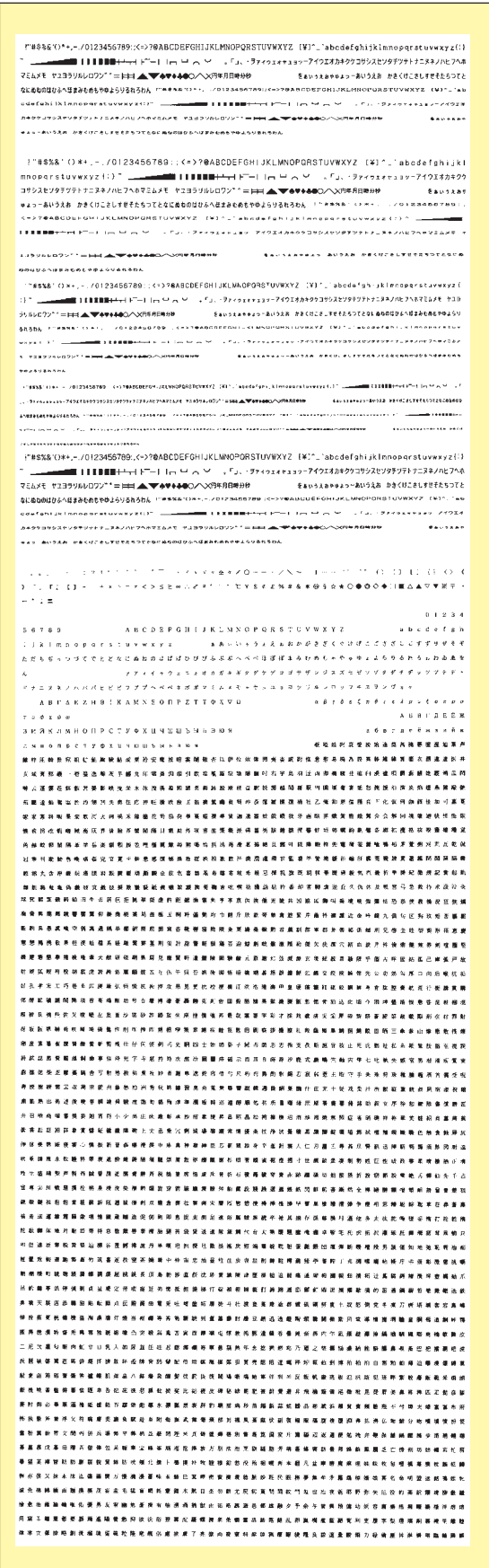
文字種			ドット構成（ボディフェース）＜縦×横＞（ドット）	文字寸法（ボディフェース）＜縦×横＞（mm）
2バイト系文字	7ポイント	全角	40×40	2.54×2.54
		半角	40×20	2.54×1.27
	10.5ポイント	全角	60×60	3.81×3.81
		半角	60×30	3.81×1.91
	12ポイント	全角	67×67	4.23×4.23
		半角	67×34	4.23×2.12
ドット列印刷	40ドット		67×n	4.23×m

テスト印刷のプリント結果

次にテスト印刷とステータス印刷のプリント結果例を示します。プリント結果はA4サイズの用紙に印刷したものを33%に縮小しました。

連続印刷

連続印刷(テスト印刷)では、1バイト系標準、イタリック、クーリエ、ゴシックの4フォントと、各フォントのパイカ文字、エリート文字、コンデンス文字、プロポーショナル文字、2バイト系明朝体の7ポイントの第一水準漢字のすべて、アウトラインフォントの第二水準漢字の一部分と2バイト系明朝体の10.5ポイントの第一水準漢字のすべて、アウトラインフォントの第二水準漢字の一部分を順次印刷します。

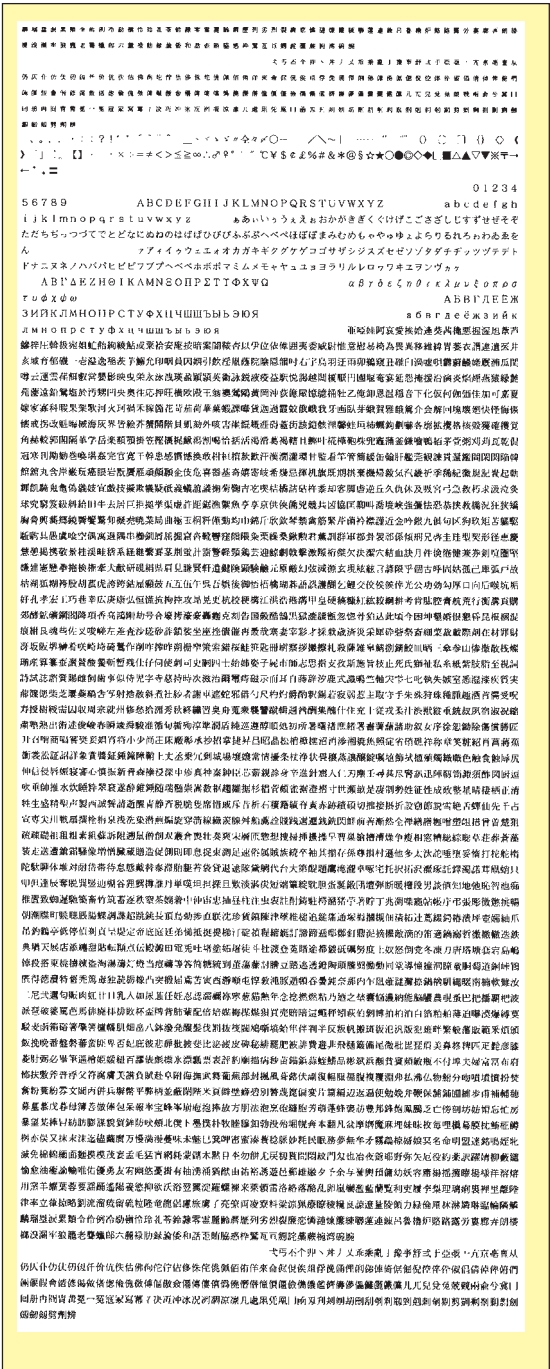
←1バイト系	標準	パイカ文字
←1バイト系	標準	エリート文字
←1バイト系	標準	コンデンス文字
←1バイト系	標準	プロポーショナル文字
←1バイト系	イタリック	パイカ文字
←1バイト系	イタリック	エリート文字
←1バイト系	イタリック	コンデンス文字
←1バイト系	イタリック	プロポーショナル文字
←1バイト系	クーリエ	パイカ文字
←1バイト系	クーリエ	エリート文字
←1バイト系	クーリエ	コンデンス文字

←1バイト系　クーリエ　プロポーショナル文字

←1バイト系　ゴシック　パイカ文字

←1バイト系　ゴシック　エリート文字

←1バイト系　ゴシック　コンデンス文字

←1バイト系　ゴシック　プロポーショナル文字

←2バイト系　明朝体アウトラインフォント第一水準漢字のすべて(7ポイント)

←2バイト系　明朝体アウトラインフォント第二水準漢字の一部分（7ポイント）

←2バイト系　明朝体アウトラインフォント第一水準漢字のすべて（10.5ポイント）

←2バイト系　明朝体アウトラインフォント第二水準漢字の一部分（10.5ポイント）

ステータス印刷

ステータス印刷では、オプションの接続やメモリースイッチの状態など、本プリンターの状態が印刷されます。オプションを接続した後の確認にご使用ください。次に工場設定時のステータス印刷の結果例を示します。

```
＊＊　プリンタ設定環境　＊＊

Ｖｅｒｓｉｏｎ
  エンジン　　：０００００００　00000000
  コントローラ：００．００

オプション
  無し

給紙構成
  ホッパ１：Ａ４　（Ａ３、Ａ４、Ｂ４、Ｂ５、レター、リーガル、レジャー）
  トレー　：Ａ４　（特Ａ３、Ａ３、Ａ４、Ａ５、Ｂ４、Ｂ５、レター、はがき、リーガル、
                    レジャー、封筒、往復はがき）

動作モード
  サポート言語：ＮＰＤＬ　ＮＭＰＳ－Ｃ
  後部インタフェース：ＮＰＤＬ
  ネットワークインタフェース：ＮＰＤＬ

メモリ
  メモリ容量　　：６４ＭＢ

メモリスイッチ設定
           12345678           12345678           12345678           12345678
  ＭＳＷ  1:00000000  MSW  2:00000000  MSW  3:00000000  MSW  4:00000000
  ＭＳＷ  5:00000000  MSW  6:00000000  MSW  7:00000000  MSW  8:00000000
  ＭＳＷ  9:00000000  MSW10:00000000

1バイト系内蔵フォント
  Standard      :PICA ELITE CONDENSE PROPORTIONAL
  Italic        :PICA ELITE CONDENSE PROPORTIONAL
  Courier       :PICA ELITE CONDENSE PROPORTIONAL
  Gothic        :PICA ELITE CONDENSE PROPORTIONAL

２バイト系内蔵フォント
  書体番号    ファイル名    フォント名
   ０３１     ＮＭＩ３＿ＣＦ　ＦｏｎｔＡｖｅｎｕｅ明朝体－Ｌ
   ２５１     ＮＧＯ５＿ＣＦ　ＦｏｎｔＡｖｅｎｕｅゴシック体－Ｍ
```

コンフィグレーションページ

「テストメニュー」の「ネットワーク1ジッコウ」を選択すると、以下のような内蔵NICのコンフィグレーションページを印刷します。

```
NEC Network Interface Configuration Page

    <Network Information>

        F/W Version                 :    01.03 00094.0112261207
        ID Number                   :    NFE-290000
        Printer Name                :    NFE-290000
        MAC Address                 :    00:00:4C:29:00:00
        H/W Description             :    NEC NetworkPrinter7000C2
        10Base/100Base              :    "Auto (?)"
        Half/Full Duplex            :    "Auto (?)"
        Printing Log                :    "Off"

    <Self-Diagnosis>

        Link Test                   :    "No connection"
        Network Status              :    "OK"

    <TCP/IP>

        IP Address                  :     11. 22. 33. 44
        Subnet Mask                 :    255.  0.  0.  0
        Gateway Address             :      0.  0.  0.  0
        Auto IP Address             :    "On"
        Max. Number of Session      :    64
        Session Timeout [sec]       :    120
        Keep Alive                  :    "On"
        FTP Timeout [min]           :    10
        DHCP                        :    "Off"
        e-Mail Service              :    "Off"
        Current Active Session      :    0
```

文字コード表

本プリンターは、NPDLコマンドを利用することにより、1バイト系コードと2バイト系コードを使用することができます。
1バイト系コードは、メモリースイッチ1-1〜1-3を切り替えることによりアメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン、日本の各国特殊文字が入ったコードにすることができます。工場設定は「日本」になっています。
2バイト系コードは、半角文字、JIS第一水準の漢字や記号など、およびJIS第二水準の漢字を印刷するときに使用できます。半角文字とは全角（普通の漢字）の半分の横幅の文字で、英字、数字、記号、カナなどがあります。ただし、Windowsドライバーから印刷する場合は、Windows上のTrueType Fontを利用して印刷されます。

1バイト系コード表

カタカナモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
00										HT	LF	VT	FF	CR			注 15 / 注 16
10										EM		ESC	FS	GS	RS	US	
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?	注 17
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	_	
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12		
80	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼	注 13
90	┴	┬	┤	├	▔	─	│	▕	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯	
A0		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	注 14
B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	
C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	
D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜	
E0	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	╱	╲	注 13
F0	╳	円	年	月	日	時	分	秒									

ひらがなモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
00										HT	LF	VT	FF	CR			注 15 / 注 16
10										EM		ESC	FS	GS	RS	US	
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?	注 17
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	_	
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12		
80	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼	注 13
90	┴	┬	┤	├	▔	─	│	▕	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯	
A0		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ	注 14
B0	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ	
C0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま	
D0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜	
E0	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	╱	╲	注 13
F0	╳	円	年	月	日	時	分	秒									

注1〜12　各国特殊文字が入ります（メモリースイッチ1-1〜1-3で切り替えます。）
注13　8、9、E、F行はCGグラフィックを表します。
注14　A〜D行はひらがなモード（ESC &で指定）の場合はひらがな文字、カタカナモード（ESC $で指定）の場合はカタカナ文字になります。
注15　0、1行は制御コードです。
注16　0、1行の空欄は無視されます。2〜F行の空欄はスペース（SP）として処理されます。
注17　3行、0列の「0」の印刷字体はメモリースイッチ2-1により変更できます。

国別相違点

注　No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コード	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü

2バイト系コード表

半角文字

- コードは16進で表現されます。例えば、“J”のコードは0040＋A＝004Aとなります。
- 0020は漢字文字幅の半分のスペース（SP）です。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0020		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0030	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0050	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
0060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0070	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	‾	
0080		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
0090	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
00A0		｡	｢	｣	､	･	ｦ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ
00B0	ｰ	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ
00C0	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	ﾏ
00D0	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ﾝ	ﾞ	ﾟ
00E0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00F0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜

全角文字

- 全角漢字のコード表は、CD-ROMのMANUALディレクトリにある「KANJI.TXT」ファイルをWindowsに添付のメモ帳などで開いてプリンターに印刷してください。（一般のアプリケーションを使用される場合には、フォントをプリンターフォントである「明朝」または「ゴシック」にして印刷してください。）
  本プリンターでは、制御コードによってコード表をJIS 1978年版／JIS 1983年版およびJIS 1990年版の切り替えることもできますが、Windows環境から印刷するとWindowsの設定に従います。ただし、デザイン処理などの都合により、Windows上の字形と一部字形の異なる文字があります。
- コードは16進で表現されます。例えば、“亜”のコードは3020＋1＝3021となります。
- 2121は漢字文字幅のスペース（SP）です。

ディスプレイ表示一覧

ディスプレイ表示の一覧を以下の表に示します。

ディスプレイ表示一覧(1/3)

表示の種類		表　示	表示の意味
通常表示	給紙方法に関する表示	ホッパ　XXX　XXX	ホッパー給紙を選択しています。
		トレー　XXX　XXX	トレー給紙を選択しています。
		ホッパ1　XXX　XXX	上から1段目のホッパーからの給紙を選択しています。*
		ホッパ2　XXX　XXX	上から2段目のホッパーからの給紙を選択しています。*
		ホッパ3　XXX　XXX	上から3段目のホッパーからの給紙を選択しています。*
	用紙サイズに関する表示	XXX　トクA3　XXX	A3ノビサイズの用紙を選択しています（トレー、または特A3ホッパー使用時）。
		XXX　A3　XXX	A3サイズの用紙を選択しています。
		XXX　B4　XXX	B4サイズの用紙を選択しています。
		XXX　A4　XXX	A4サイズの用紙を選択しています。
		XXX　B5　XXX	B5サイズの用紙を選択しています。
		XXX　A5　XXX	A5サイズの用紙を選択しています（トレー使用時）。
		XXX　LT　XXX	レターサイズの用紙を選択しています。
		XXX　リーガル　XXX	リーガルサイズの用紙を選択しています。
		XXX　レジャー　XXX	レジャーサイズの用紙を選択しています。
		XXX　ハガキ　XXX	はがきサイズの用紙を選択しています（トレー使用時）。
		XXX　ハガキX2　XXX	往復はがきサイズの用紙を選択しています（トレー使用時）。
		XXX　フウトウ　XXX	封筒サイズの用紙を選択しています（トレー使用時）。
		XXX　テイケイガイ　XXX	定形外用紙を選択しています（トレー使用時）。
	縮小／拡大モードに関する表示	XXX　A4→A3　XXX	A4サイズのデータをA3サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX　B4→A3　XXX	B4サイズのデータをA3サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX　A3→B4　XXX	A3サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　LP→B4　XXX	帳票サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　A4→B4　XXX	A4サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX　B5→B4　XXX	B5サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX　A3→A4　XXX	A3サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　B4→A4　XXX	B4サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　LP→A4　XXX	帳票サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　A4 ×2　XXX	A4サイズ2ページ分のデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　B4→B5　XXX	B4サイズのデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　A4→B5　XXX	A4サイズのデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　B5 ×2　XXX	B5サイズ2ページ分のデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　B5→A4　XXX	B5サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。

＊　オプションの増設ホッパーを取り付けている場合のみ表示されます。

ディスプレイ表示一覧（2/3）

表示の種類		表　示	表示の意味
通常表示	印刷方向に関する表示	XXX　XXX　ポート	印刷方向にポートレートを選択しています。
		XXX　XXX　ランド	印刷方向にランドスケープを選択しています。
	用紙の種類に関する表示	フツウシ　XXX　XXX	普通紙を選択しています。
		サイセイシ　XXX　XXX	再生紙を選択しています。
		アツガミ　XXX　XXX	厚紙を選択しています（トレー使用時）。
		アツガミウラ　XXX　XXX	厚紙（裏）を選択しています（トレー使用時）。
		ハガキ　XXX　XXX	はがきを選択しています（トレー使用時）。
		ハガキウラ　XXX　XXX	はがき（裏）を選択しています（トレー使用時）。
		ラベル　XXX　XXX	ラベルを選択しています（トレー使用時）。
		OHP　XXX　XXX	OHPシートを選択しています（トレー使用時）。
		フウトウ　XXX　XXX	封筒を選択しています（トレー使用時）。
		コートシ　XXX　XXX	コート紙を選択しています（トレー使用時）。
ステータス表示		コピー　XX　マイ	コピー枚数がXX枚に設定されています。コピー枚数はメニューモードで最大20枚まで設定できます。この表示は、コピー枚数をメニューモードで2枚以上に設定したときに、給紙方法・用紙サイズ・印刷方向（例：“ホッパA4ポート”）の表示と交互に表示されます。コピー枚数が1枚（オリジナルのみ）の場合には表示されません。
		イニシャライズチュウ	電源投入時のイニシャライズを実行中です。
		ウォームアップ　チュウデス	ウォームアップ中です。
		ジュシンチュウ	データを受信中です。
		セツデン1　チュウ	プリンターは節電モード1に入っています。
		セツデン2　チュウ	プリンターは節電モード2に入っています。
		ショリチュウ	データ処理を実行中です。データ処理が終了し、排出可能となるまで表示されます。
		インサツチュウ	印刷中です。用紙が排出されるまで表示されます。
		テストインサツチュウ	テスト印刷を実行中です。
		データガノコッテイマス	未印刷データがプリンター内に残っています。
		16シンダンプチュウ	16進ダンプ印刷を実行中です。
		リセットジッコウ	リセットを実行します。
アラーム表示		ホッパ　XXX　ホキュウ	用紙がなくなりました。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がありません。増設ホッパーを取り付けている場合には、「ホッパX」のXの箇所に選択しているホッパー番号が表示されます。
		トレー　XX　セット	コンピューターから印刷データを受信しましたが、トレーに用紙がセットされていないので印刷できません。表示されているサイズの用紙をトレーにセットしてください。
		72　カバーオープン XX	カバーが開いています。ディスプレイ下段に開いているカバー名が表示されます。
		73　ショウモウヒンミソウチャク XXX	消耗品が装着されていません。ディスプレイ下段に装着されていない消耗品名が表示されます。
		74　カミヅマリ XXX	紙づまりが発生しています。ディスプレイ下段には紙づまりが発生している箇所が表示されます。
		75　ヨウシサイズエラー　XX	指定されているサイズと異なる用紙がセットされています。XXの箇所にエラーが発生しているホッパー、またはトレーが表示されます。
		76　ショウモウヒンカクニン XXX	消耗品の残量があとわずかです。ディスプレイ下段に残量の少ない消耗品名が表示されます。
		77　テイキコウカン XXX	定期保守（定着ユニットなどの交換）の必要な時期です。ディスプレイ下段に対象の部品名が表示されます。
		79　キュウシイジョウ XXX　ハ　ツカエマセン	給紙機構部に異常が発生しました。
		82　メモリオーバー メモリヲゾウセツシテクダサイ	データを印刷するためのメモリーが不足しています。
		83　インサツカ メモリヲゾウセツシテクダサイ	プリンターのメモリーオーバーのため解像度を落として印刷しようとしましたがそれでもメモリーが不足したため印刷できませんでした。
		84　フォーム　オーバーXXX	フォーム登録に必要なメモリーが不足しています。

ディスプレイ表示一覧（3/3）

表示の種類	表　示	表示の意味
アラーム表示	85　ショウモウヒンジュミョウ XXX	消耗品の交換時期です。ディスプレイ下段に該当の消耗品名が表示されます。
	87　ドラムカートリッジ エラー　コウカンシテクダサイ	ドラムカートリッジが異常です。
	88　OHPセットエラー タダシクセットシテクダサイ	OHPシートが正しくセットされていない、または使用できないOHPシートがセットされています。
	51　　　コール　51	オプションの両面印刷ユニットの接続不良です。
	01　　　コール　01 〜67　　　コール　67 この他の表示	障害が発生しています。
メニュー表示	メニュー表示は、メニューモードを使用しているときに表示されます。メニュー表示についてはユ ーザーズマニュアルをご覧ください。	

索引

記号

136桁モード 27, 35
16進ダンプ印刷 21
1バイト系コード表 228
1バイト系ゼロ 26
1バイト文字サイズ 168
1バイト文字縦横サイズ 169
201PLエミュレーション 33
2バイト系ゼロ 26
2バイト文字サイズ 168
2バイト文字縦横サイズ 169
7ビット 33
80桁モード 213
8ビット 33

A

A4ポートレート印刷桁数 34
A4ポートレート桁数 27
ACK 37, 216
ANK 26
ANK文字 26

B

BUSY 37, 216

C

CR 33
CR機能 33

D

DC1 .... 33, 218
DC3 .... 33, 218

E

Enterprise Edition 4.0 117
ESC a 33
ESC b 33

F

FF 33, 35
FS f 34, 37

I

ICM 100, 112
INPUT･PRIME 217
IPアドレス 28

L

LANアダプター 28
LAN初期化実行 28
LAN設定メニュー 28
LANボード 155
LF 33

N

NEC e-mailメンテナンス 156
NECプリントサーバ 156, 160
NPDL 214
NPDL設定メニュー 27
NTFS形式 117

O

OCR-Bフォント 182, 182

P

PrintAgent 125
　～システム起動 126
　～システムメニュー 126
　システムメニュー 126
　ソフトウエアの起動 126
　～の終了 129
　～のバージョン情報 129
　～のプロパティ 129, 151
PrintAgent リプリント2 131
PSW 146
　～のプロパティ 150
PSWのプロパティ 150
PSW表示 155

S

SET 21, 36, 114
Sharp Edge Technology 21
sRGB 100, 112

T

TEMPSetユーティリティー 117
Terminal Service 117

U

US 33

V

VT 33

W

Windows 2000
- 色の管理シート 75
- 印刷設定 77
- 共有シート 74
- 詳細設定シート 75
- セキュリティシート 75
- 全般シート 74
- プリンタの構成シート 76
- プリンタの状態シート 83
- プリンタのプロパティダイアログボックス 74
- ポートシート 74
- メインシート 77
- 用紙シート 80

Windows 2000 Advanced Server 117
Windows 2000 Datacenter Server 117
Windows Me/98/95
- 色の管理シート 48
- 共有シート 48
- 詳細シート 47
- 全般シート 47
- プリンタの構成シート 54
- メインシート 48
- 用紙シート 51

Windows NT 4.0
- 共有シート 90
- スケジュールシート 89
- セキュリティシート 90
- 全般シート 89
- ドキュメントプロパティ 92
- プリンタの構成シート 90
- プリンタの状態シート 98
- プリンタのプロパティ 89
- ポートシート 89
- メインシート 92
- 用紙シート 95

Windows NT Server 117
Windows NT Server 4.0, Terminal Server Edition 117
Windows XP
- 色の管理シート 61
- 印刷設定 63
- 共有シート 60
- 詳細設定シート 61
- セキュリティシート 61
- 全般シート 60
- プリンタの状態シート 69
- プリンタのプロパティダイアログボックス 60
- ポートシート 60
- メインシート 63
- 用紙シート 66

ア

明るさ 105

イ

色の管理シート
- Windows 2000 75
- Windows Me/98/95 48
- Windows XP 61

印刷位置 211
印刷詳細 136
印刷指令 33
印刷設定ダイアログボックス 55, 70
印刷設定メニュー 21
印刷中止 136
印刷中ドキュメント 136
印刷ドキュメント 158
印刷の中止 136
印刷の手順 40
- 印刷をする 40
- 通常使うプリンタとして設定する 41

印刷範囲 205
- 定形外用紙 210
- 定形用紙 205

印刷品質 50, 65, 79, 94
印刷部数 51, 66, 80, 95
印刷方向 51, 66, 80, 95, 178
印刷保証領域 209
印刷モード 103
印刷レイアウト 52, 67, 81, 96
印字位置設定メニュー 23
インターフェース 216
インターフェース信号 216

ウ

ウォーターマーク 54, 69, 83, 98
ウォームアップ 141
運用メニュー 26

エ

エミュレーション 27
エミュレーションモード 33

オ

オプション 114, 134
音声メッセージ 139
オンラインマニュアル 8
　印刷 11
　サムネール 9
　しおり 8
　リンク 10

カ

外字パターン 171
回線速度 152
解像度 102
各国文字セット 27
拡大 178
拡大縮小印刷 52, 67, 81, 96
カスタマーバーコード 183
仮想印刷範囲 27
カタカナモード 228
各国文字 33
カラー印刷の基礎知識 99
カラー印刷の調整 99
　カラー印刷の基礎知識 99
　カラー調整 104
カラー調整 104
　ICM 112
　sRGB 112
　オプション 114
　写真画像自動補正 111
　ドライバ補正 104
　ハーフトーン指定 113
カラーバランス 108
漢字 26
漢字コード表切り替え 192
漢字文字幅 167

キ

記憶実行 28
技術情報 203
機能拡張制御コード 166
給紙方法 51, 66, 80, 95
行桁制御印刷コード 170
共有シート
　Windows 2000 74
　Windows Me/98/95 48
　Windows NT 4.0 90
　Windows XP 60
共有プリンタ 151, 156

ク

国別 27
クラスタリングシステム 117
グラフィックモード 33
クリップ 25
グレー再現性 111
グレーレベルパターン 197
黒トナー節約 21

コ

工場出荷時の設定 31
光沢設定 22
ゴシック 26
コネクターピン配置 219
コピー枚数 21
コピーモード 33
コントラスト 106
コンピューター 203
コンフィグレーションページ 21, 227

サ

再印刷ボタン 128
最新のステータス 143
彩度 107
サブネットマスク 28
サンプル印刷 21

シ

システムメニュー 150
自動縮小 37
自動排紙 26
自動復帰改行 33
写真画像自動補正 111
従量課金回線 152
縮小 178
縮小印字 177
縮小率 34
出力回路 220
詳細シート
　Windows Me/98/95 47
詳細設定シート
　Windows 2000 75
　Windows XP 61
状態ボタン 129
初期化 35
初期化オール実行 28
初期化実行 28
初期状態 214
初期設定 24, 29

ジョブ結合 132

ス

数字ゼロの字体 26, 33
スケジュールシート
　Windows NT 4.0 89
ステータス印刷 21, 226
ステータス情報エリア 135, 145, 148
ステータスバー 135, 139
スプール先 154
スプールドキュメント 131
スプールドキュメントシート 132
スプールファイル 137
スプールフォルダー 154

セ

製本印刷 53, 68, 82, 97
セキュリティシート
　Windows 2000 75
　Windows NT 4.0 90
　Windows XP 61
設定ボタン 129
節電 26, 36
全角文字 229
セントロ設定メニュー 28
セントロニクスインターフェース 28, 216
全般シート
　Windows 2000 74
　Windows Me/98/95 47
　Windows NT 4.0 89
　Windows XP 60

ソ

送信中ドキュメント 136
増設ホッパーの種類 37
双方向サポート 60, 74, 89
双方向通信 117, 138

タ

タイムチャート 217
楕円 193
楕円弧 193

チ

中央合わせ 27, 35
丁合印刷 52, 67, 81, 96

ツ

ツールバー 135, 139, 157
ツールバー設定ボタン 129
通信速度 152
通信モード 28
通知形式 138, 139
常にステータスを取得 140
常に手前 129, 140

テ

定形外用紙
　プリンターの設定 210
ディスプレイパネル 133
ディスプレイ表示 230
テキストモード 162
テスト印刷 21, 223
テストメニュー 21
電気的特性 220
電源制御 159

ト

同期コード 36, 38
ドキュメント情報 139, 147
ドキュメント情報エリア 135
ドキュメントの制御 136
ドキュメントプロパティダイアログボックス 84
綴じ代 24
トナー残量インジケーター 135
ドライバ補正 104
　明るさ 105
　カラーバランス 108
　グレー再現性 111
　コントラスト 106
　彩度 107
トレー定形外用紙 22
トレー用紙種別 22

ナ

内蔵文字 221

ニ

入力回路 220

ネ

ネイティブモード 33
ネットワーク1印刷 21

ネットワーク2印刷 21

ハ

バーコード印刷 173
バージョン情報 134, 160
ハーフトーン指定 113
排紙方法 51, 66, 80, 95
排紙方法設定 22
白紙出力 35
パスワード 160
バルーンメッセージ 135
半角文字 229

ヒ

ビジュアル情報 147, 139
ビジュアル情報エリア 135
左端合わせ 27, 35
微調整 27
描画コード 193
標準フォント 26
ひらがなモード 228

フ

フォーム登録 176
フォントメニュー 26
複数ページレイアウト 52, 67, 81, 96
ブザー 35
プリセットメニュー 49, 63, 77, 92, 115
プリンターケーブル 203
プリンター単位指定 196
プリンタードライバー 39
プリンターの構成情報 138
プリンター覧 126
プリンタ管理ユーティリティ 126, 156
プリンタステータスウィンドウ. 126, 135, 146, 157
プリンタの構成シート
　Windows 2000 76
　Windows Me/98/95 54
　Windows NT 4.0 90
プリンタの状態シート
　Windows 2000 83
　Windows NT 4.0 98
　Windows XP 69
プリンタのプロパティダイアログボックス 55, 70, 84
プリントサーバー 151
プロパティダイアログボックス 43
　Windows 2000 70
　Windows Me/98/95 43
　Windows NT 4.0 84
　Windows XP 55
ブンカツカクダイインサツ 97
分割拡大印刷 53, 68, 82

ヘ

ページプリンター 33
ヘルプ 134, 144, 160

ホ

ポートシート
　Windows 2000 74
　Windows NT 4.0 89
　Windows XP 60
ポートレート 205
保守情報 160
ボタン形式 129, 130
ボタンの並べ方 129, 130
ホッパー 37
ホッパ初期設定 22
ホッパ用紙種別 22

ミ

明朝 26

メ

メール通知 160
メインシート
　Windows 2000 77
　Windows Me/98/95 48
　Windows NT 4.0 92
　Windows XP 63
メニュー 21, 158
メニュー＆ツールバー 135, 136
メニューツリー 14
メニューモード 13
メモリーオーバー 36
メモリースイッチ 33
メモリースイッチメニュー 31
面制御コード 176

モ

文字間隔 221
文字コード表 228
文字構成 222
文字サイズ 167
文字セット 26
文字セット制御コード 182
文字の種類 221

文字幅 170
文字明度 167

ヨ

用紙位置 .... 27，35
用紙位置微調整方向 35
用紙サイズ .... 51，66，80，95
用紙シート
- Windows 2000 80
- Windows Me/98/95 51
- Windows NT 4.0 95
- Windows XP 66

用紙種別 .... 49，64，78，93
用紙なし 219
用紙メニュー 22
余白 .... 24，210
呼び出し実行 28

ラ

ランドスケープ 205
ランドスケープ方向 36

リ

リプリント .... 137，153
リモート電源ONボタン 141
リモート電源制御 142
リモート電源制御ボタン 135
領域指定イメージ 180
両面印刷 .... 53，68，82，97，179
両面印刷メニュー 24
両面インジケーター 135
リレー給紙設定 22

レ

レフトマージン量 34
連続印刷 .... 21，223

オンラインマニュアル

ネットワークセットアップガイド

893-810004-006-A
初版

商標について

NEC、NECロゴ、FontAvenueは日本電気株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Novell、NetWare、IntranetWare、NDS、IPX/SPXは米国Novell, Inc.の登録商標です。
IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
UNIXオペレーティングシステムはX/Openカンパニーリミテッドがライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
TranXitはPuma Technology, Inc.の登録商標です。
Ethernetは米国ゼロックス社の登録商標です。
AdobeおよびAcrobatはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標です。
MULTIWRITER、NMPS、MOPYING、PrintAgentは富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows MeはMicrosoft Windows Millennium Edition operating systemの略です。Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。Windows XPはMicrosoft Windows XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT 3.51はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.51およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.51の略です。Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1の略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の一部はアドビシステムズ社で著作権を所有しており、その許可の下に転載されています。
3. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
4. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
5. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
6. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
7. 運用した結果の影響については5項および6項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
8. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

893-810004-006-A　初版

マニュアルの種類について

Color MultiWriter 9250C本体や付属のプリンターソフトウエアの取り扱い方を説明したマニュアルには、「ユーザーズマニュアル」と「オンラインマニュアル（2部構成）」があります。目的に応じてマニュアルをお読みいただき、Color MultiWriter 9250Cを十分にご活用ください。（各オンラインマニュアルの詳細については、トップページをご覧ください。）

- Color MultiWriter 9250C　ユーザーズマニュアル
- オンラインマニュアル　プリンターの設定と技術情報
- オンラインマニュアル　ネットワークセットアップガイド（本書）

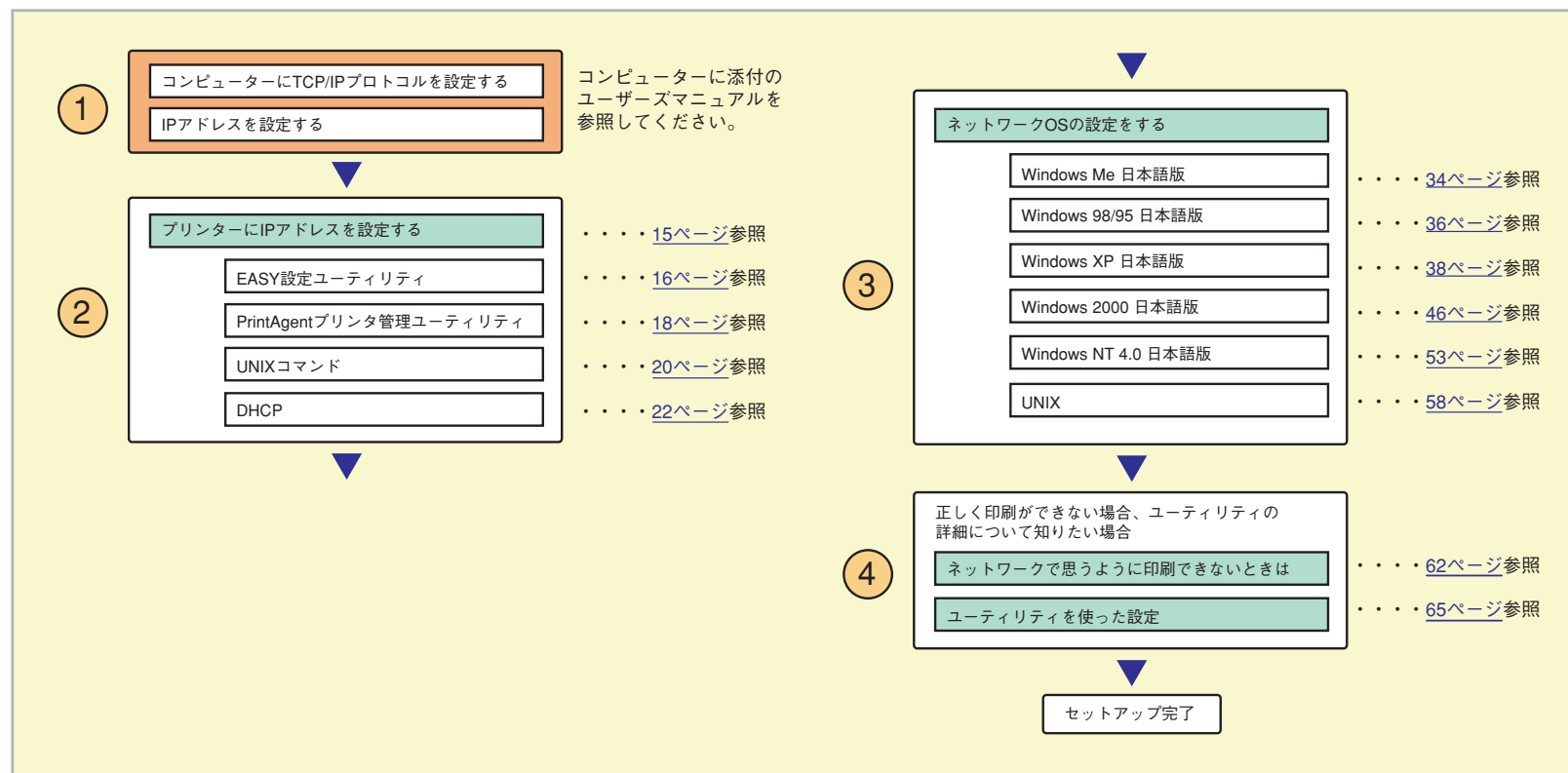
本文中で使用の記号について

このマニュアルでは、本文中で次の3種類の記号を使用しています。それぞれの記号の意味を次に示します。

記　号	内　容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターを含むコンピューターシステムに影響を与える障害が発生するおそれがあることを示しています。
チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しない場合があることを示しています。
ヒント	プリンターを使用する際に知っておくと便利なことや参考になることを記載しています。

本書について

このマニュアルでは、LANボードを装備しているプリンターをネットワーク環境で利用する際に必要な設定、およびユーティリティの詳細について説明しています。ネットワークシステム管理者(アドミニストレーター)を対象として書かれていますので、このマニュアルを参照してプリンターをネットワークに接続する場合は、ネットワーク環境やネットワークOSなどについての予備知識が必要です。もし、管理者以外の方がインストールをするときはご利用になるネットワークの管理者とご相談の上、インストールを行ってください。また、OSは特に指示のないかぎりWindows Me 日本語版の環境で説明しています。

以下にColor MultiWriter 9250Cをネットワークで使うためのセットアップ手順を示します。次ページのイラストを参照してお使いの環境に合わせた手順を行ってください。

以下にネットワークプリンターへの印刷データの流れを示します。

目次

オンラインマニュアルの使い方 8
目的のページを表示する 8
オンラインマニュアルを印刷する 12

1 IPアドレスの設定 15

EASY設定ユーティリティ 16
PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ 18
UNIXコマンド 20
DHCP 22
DHCPの設定 22
DHCPサーバーの設定 23
Windows 2000 Serverの場合 23
Windows NT Server 4.0の場合 26
DHCPの動作について 28
ネットワーク設定の初期化 29
コンフィグレーションページの印刷 30

2 OSの設定 ～ネットワーク印刷のために～ 33

Windows Me 日本語版 34
NEC TCP/IP Printing System 34
印刷先の変更 34
ドメインネームについて 35
Windows 98/95 日本語版 36
NEC TCP/IP Printing System 36
印刷先の変更 36
ドメインネームについて 37
Windows XP 日本語版 38
NEC Network Port 38
印刷先の変更 38
ドメインネームについて 40
UNIX用印刷サービス（LPR） 40
UNIX用印刷サービスのインストール 40
プリンターの追加 42
Standard TCP/IP Port（LPR） 43
Windows 2000 日本語版 46
NEC Network Port 46
印刷先の変更 46
ドメインネームについて 47
UNIX用印刷サービス（LPR） 48
UNIX用印刷サービスのインストール 48
プリンターの追加 49
Standard TCP/IP Port（LPR） 50
LPRバイトカウント機能 51
Windows NT 4.0 日本語版 53
NEC Network Port 53
印刷先の変更 53
ドメインネームについて 54
Microsoft TCP/IP印刷（LPR） 55
Microsoft TCP/IP印刷サービスのインストール 55
プリンターの追加 56
UNIX 58
IPアドレスの設定 58
ホストコンピューター側のセットアップ 59
lprコマンドを使用する場合 59
印刷方法 60
ftpコマンドによる転送 60
lprコマンドによる転送 61
ネットワークで思うように印刷できないときは 62
すべてのOS共通 62
Windows Me/98/95をご使用の場合 63
Windows XP/2000をご使用の場合 63
Windows NTをご使用の場合 64
UNIXシステム環境でご使用の場合 64

3　ユーティリティの詳細 65
WWWブラウザー 65
画面の構成 66
WWWブラウザー起動画面 67
各メニューの詳細 68
プリンタのステータス 68
プリンタの情報 69
印刷履歴 69
LANボードの設定情報 70
LANボードの管理者設定画面 70
Telnet 77
Telnet起動画面 77
各メニューの詳細 78
IPアドレス 78
サブネットマスク 79
ゲートウェイアドレス 79
SNMP 80
パスワード 81
LANボード管理情報 81
PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ 83
ユーティリティの特長 83
対象プリンター 83
使用上のご注意 84
ご利用までの手順 84
プリンターの登録 85
LANポートの設定 89
PrintAgentプリンタ管理ユーティリティのメニュー 89
[プロパティ]ダイアログボックス 96
ダイアログボックスの開き方 96
[LANボード]シート 96
[TCP/IP]シート 97
[TCP/IP詳細]シート 97
[SNMP]シート 98
[リモート電源制御]シート 99
[印刷履歴]シート 99
[通信設定]シート 100
[情報]シート 102
[NetWare]シート 102
[AppleTalk]シート 104
[メール通知]シート 105
SNMP 106
Get Request、Set Requestによる管理 106
SNMP MIB-II(RFC1213)オブジェクト一覧 106
SNMP ホストリソースMIB(RFC1514) オブジェクト一覧 107
プリンターMIB(RFC1759) オブジェクト一覧 107
Trapによる管理 108
Trapの設定 108
Trapの送信 109
索引 110

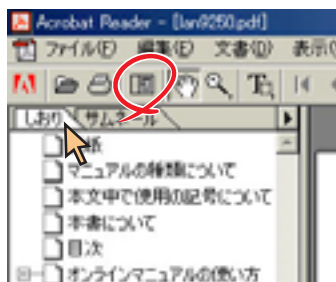
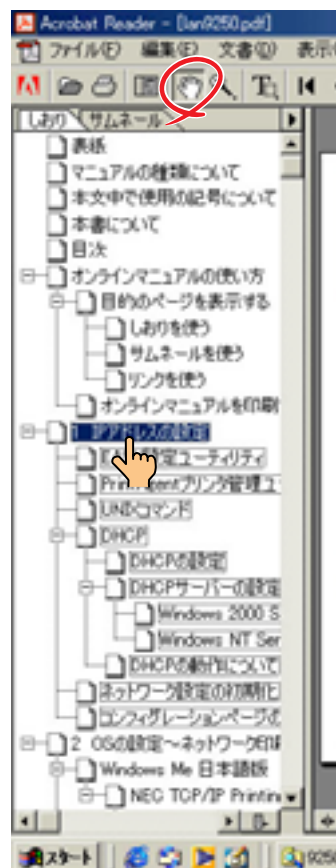
オンラインマニュアルの使い方

このオンラインマニュアルは、コンピューターの画面上で目的のページを検索しやすいように、しおりやサムネール、リンクを設定しています。ここでは、しおりやサムネール、リンクの使い方、印刷方法などをAcrobat Reader 4.0Jを使用して簡単に説明します。Acrobat Readerの詳しい説明についてはヘルプメニューの[Readerのヘルプ]をご覧ください。

目的のページを表示する

[しおり]、[サムネール]のナビゲーション機能やリンク機能を使って目的のページを表示します。

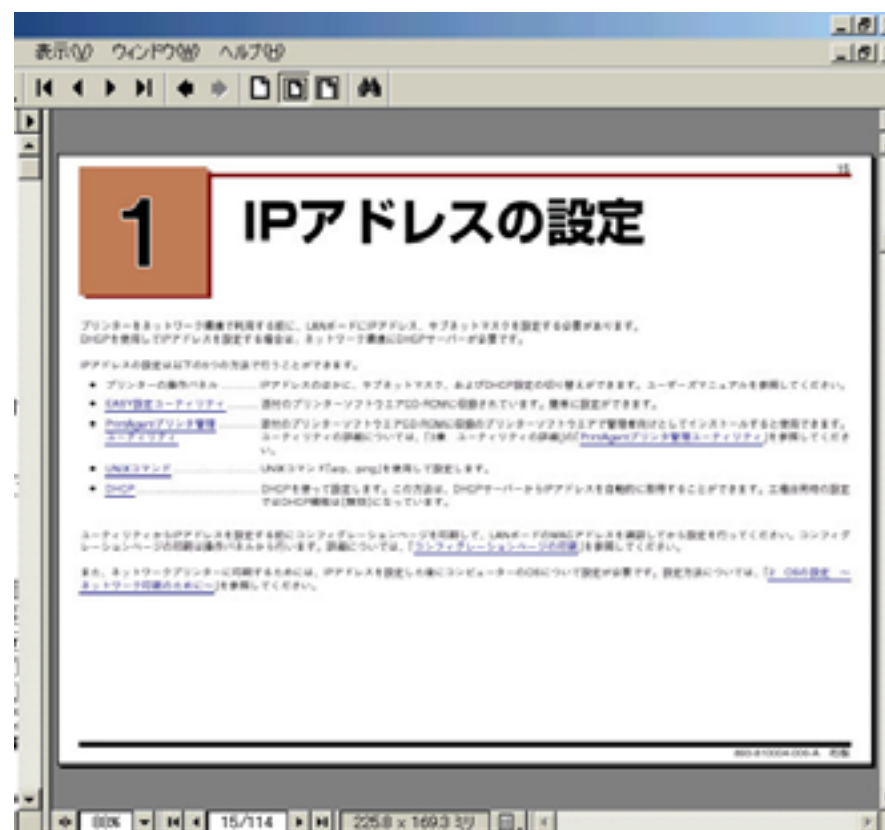
しおりを使う

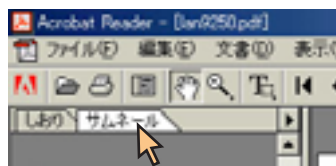
しおりは目次のようなものです。しおりを表示させると全体の内容が一覧でき、そこから見たいページを選ぶこともできます。

1. [パレット表示]ボタンをクリックし、パレットを表示する。
2. [しおり]タブをクリックし、しおりパレットを表示する。

3. [手のひら]ツールをクリックする。

4. 表示させたいしおりを選び、クリックする。

しおりの上へ[手のひら]ツールを移動すると「指さし」の形に変わるので、その場所をクリックしてください。

選んだしおりのページが表示されます。

階層化された項目は、項目名の左側に[+]、[—]の記号が表示されます。その下の階層は[+]を押すと表示し、[—]を押すと非表示になります。

サムネールを使う

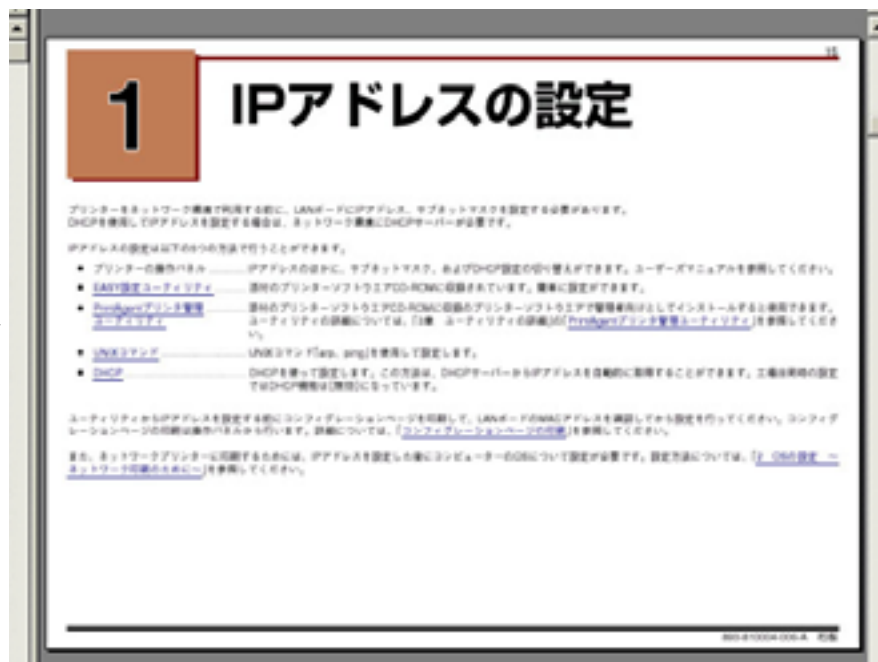
サムネールはそのページの全体のイメージを小さく表示したものです。表示したいページを見つけ、ダブルクリックすることで目的のページを表示することができます。

1. [パレット表示]ボタンをクリックし、パレットを表示する。

2. [サムネール]タブをクリックし、サムネールパレットを表示する。

3. [手のひら]ツールをクリックする。

4. 表示させたいページのサムネールをダブルクリックする。

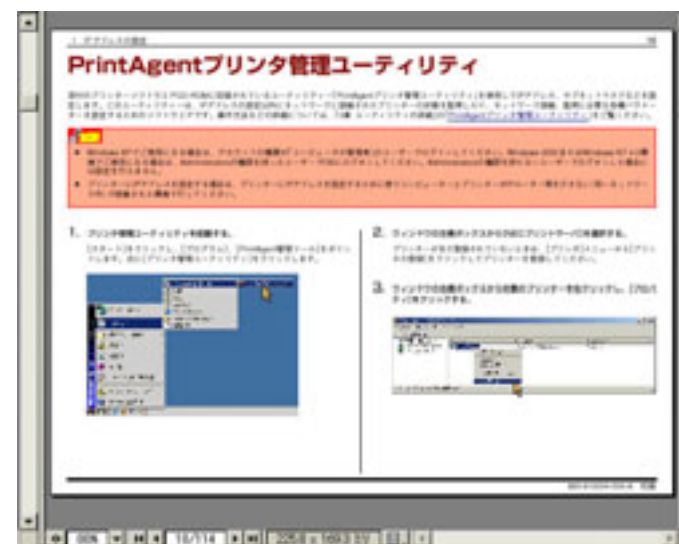
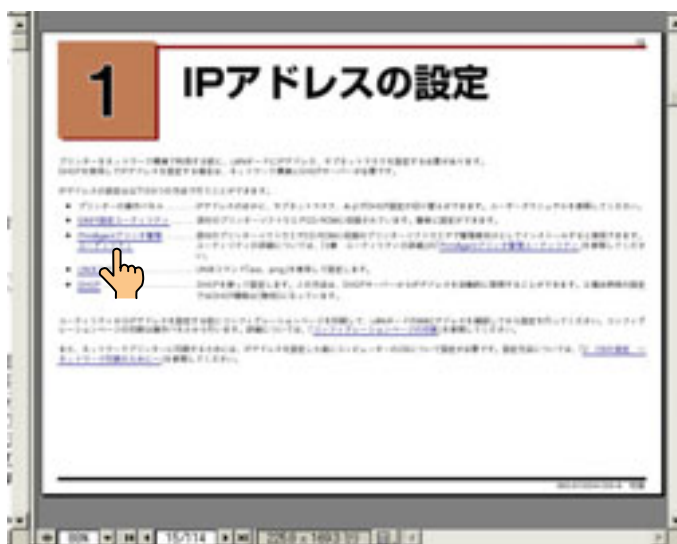
   サムネールの上へ[手のひら]ツールを移動すると「矢印」の形に変わるので、その場所をダブルクリックしてください。

   選んだページが表示されます。

リンクを使う

リンクは目的のページへジャンプする機能です。本マニュアルでは、目次ページや文章内の青の下線文字はリンクが設定されています。[手のひら]ツールを使ってリンクの設定先にジャンプすることができます。

1. [手のひら]ツールをクリックする。

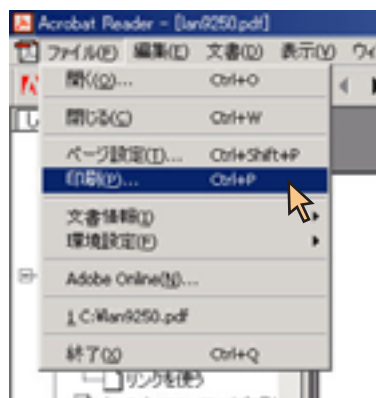
2. リンクのある場所をクリックする。

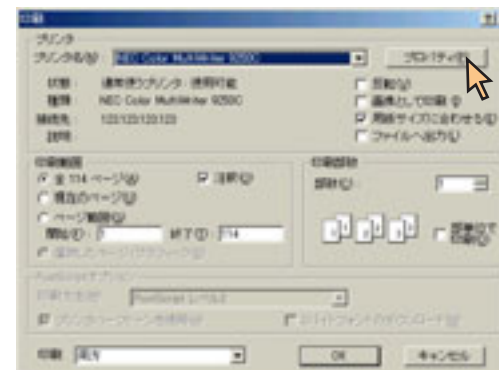
   リンクのある場所へ[手のひら]を移動すると「指さし」の形に変わるので、その場所をクリックしてください。

オンラインマニュアルを印刷する

このオンラインマニュアルは、ディスプレイ上で閲覧しやすいサイズで作成されています。印刷する場合は以下の手順のとおり、両面印刷で複数ページ印刷機能を使ってA4用紙に2ページずつ印刷すると用紙を節約でき、経済的です。

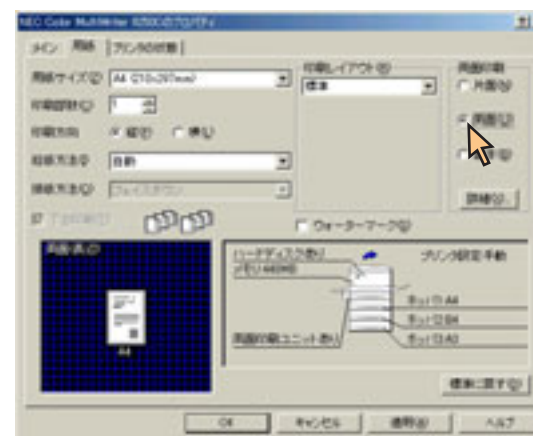
ここでは、Windows Me 日本語版の環境でColor MultiWriter 9250Cを使ってオンラインマニュアルを印刷する手順について説明します。他のOSをお使いの方は多少画面表示は異なりますが、手順は同じです。

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

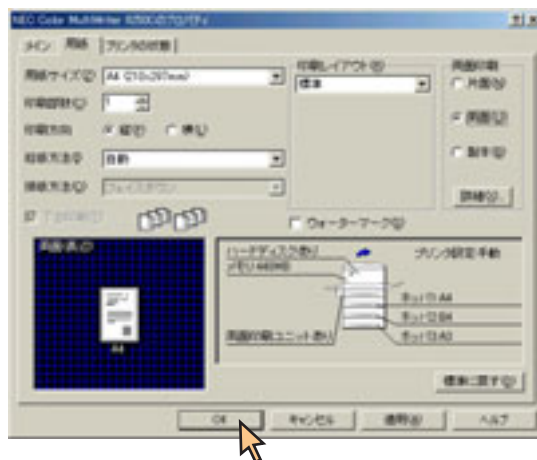
   [印刷]ダイアログボックスが表示されます。

2. [プロパティ]をクリックする。

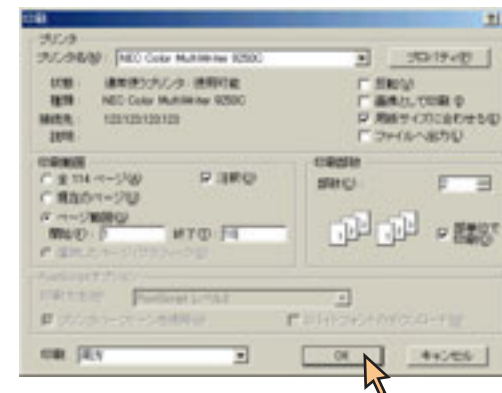
   プリンターのプロパティダイアログボックスが表示されます。

3. [印刷レイアウト]ボックスから[複数ページレイアウト]をクリックする。

4. 1ページにレイアウトするページ数を[2ページ]に指定する。

5. [両面]をクリックする。

6. [用紙サイズ]から[A4]を選択する。

7. [OK]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスに戻ります。

8. ページ範囲を設定し、[OK]をクリックする。

印刷を開始します。

1 IPアドレスの設定

プリンターをネットワーク環境で利用する前に、LANボードにIPアドレス、サブネットマスクを設定する必要があります。
DHCPを使用してIPアドレスを設定する場合は、ネットワーク環境にDHCPサーバーが必要です。

IPアドレスの設定は以下の5つの方法で行うことができます。

- プリンターの操作パネル .... IPアドレスのほかに、サブネットマスク、およびDHCP設定の切り替えができます。ユーザーズマニュアルを参照してください。
- EASY設定ユーティリティ .... 添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されています。簡単に設定ができます。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ .... 添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録のプリンターソフトウエアで管理者向けとしてインストールすると使用できます。ユーティリティの詳細については、「3章　ユーティリティの詳細」の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」を参照してください。
- UNIXコマンド .... UNIXコマンド「arp、ping」を使用して設定します。
- DHCP .... DHCPを使って設定します。この方法は、DHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得することができます。工場出荷時の設定ではDHCP機能は[無効]になっています。

ユーティリティからIPアドレスを設定する前にコンフィグレーションページを印刷して、LANボードのMACアドレスを確認してから設定を行ってください。コンフィグレーションページの印刷は操作パネルから行います。詳細については、「コンフィグレーションページの印刷」を参照してください。

また、ネットワークプリンターに印刷するためには、IPアドレスを設定した後にコンピューターのOSについて設定が必要です。設定方法については、「2　OSの設定　～ネットワーク印刷のために～」を参照してください。

EASY設定ユーティリティ

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「EASY設定ユーティリティ」を使用してIPアドレス、サブネットマスクなどを設定します。このユーティリティーはWindows Me/98/95、Windows XP/2000またはWindows NT 4.0で使用できます。詳細については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの[EASY]フォルダー内に収録されている「README.TXT」をご覧ください。

重要

- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類が「コンピュータの管理者」のユーザーで、Windows 2000またはWindows NT 4.0でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、プリンターにIPアドレスを設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーター等を介さない(同一ネットワーク内)で接続された環境で行ってください。

Windows Me上での手順を例にとって説明します。

1. **Windows Meを起動する。**

2. **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

[プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー]ダイアログボックスが表示されます。

ヒント

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

3. **[ユーティリティ]をクリックする。**

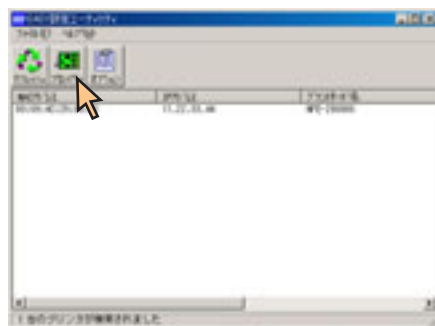
4. [EASY設定ユーティリティ]を選択し、[フォルダを開く]をクリックする。

プリンターソフトウエアCD-ROM内の[EASY]フォルダーが開きます。

5. [NICSET.EXE]アイコンをダブルクリックする。

[EASY設定ユーティリティ]ウィンドウが表示されます。

6. 一覧からプリンターのMACアドレスを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする。

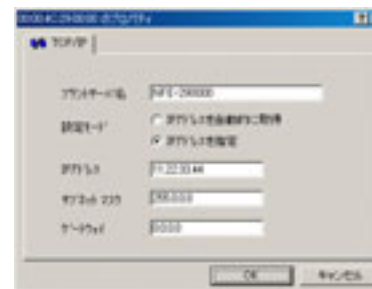
[TCP/IP]タブが表示されます。

ヒント

一覧にプリンターが表示されない場合は、[リフレッシュ]ボタンをクリックし、再検索を行ってください。

7. プリントサーバー名を確認する。

ネットワーク上から見たプリンターの名前が[プリントサーバー名]ボックスに表示されます。プリントサーバー名の変更もできます。

8. [設定モード]で[IPアドレスを指定]を選択する。

9. IPアドレス、サブネットマスクを入力する。

10. ゲートウェイアドレスを設定する。

ゲートウェイ(ルーター)を使用しないネットワーク環境では、設定の必要はありません。

ヒント

e-mail通知、SNMPトラップを送信するときに参照されます。

11. [OK]をクリックして、EASY設定ユーティリティを終了する。

以上で設定は完了です。

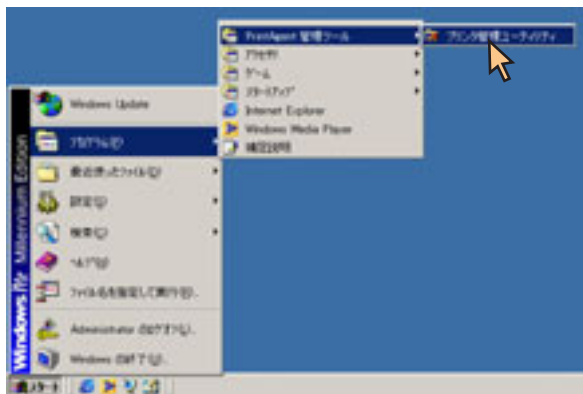
PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」を使用してIPアドレス、サブネットマスクなどを設定します。このユーティリティーは、IPアドレスの設定以外にネットワークに接続されたプリンターの状態を監視したり、ネットワーク接続、監視に必要な各種パラメーターを設定するためのソフトウエアです。操作方法などの詳細については、「3章 ユーティリティの詳細」の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」をご覧ください。

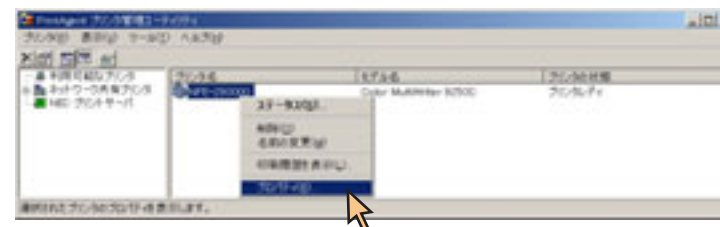
重要

- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類が「コンピュータの管理者」のユーザーでログインしてください。Windows 2000またはWindows NT 4.0環境でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定を行えません。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、プリンターにIPアドレスを設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーター等を介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。

1. プリンタ管理ユーティリティを起動する。

［スタート］をクリックし、［プログラム］、［PrintAgent管理ツール］をポイントします。次に［プリンタ管理ユーティリティ］をクリックします。

2. ウィンドウの左側ボックスから［NECプリントサーバ］を選択する。

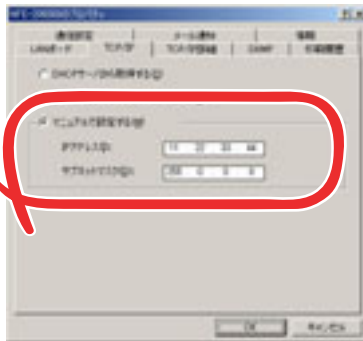
プリンターがまだ登録されていないときは、［プリンタ］メニューから［プリンタの登録］をクリックしてプリンターを登録してください。

3. ウィンドウの右側ボックスから対象のプリンターを右クリックし、［プロパティ］をクリックする。

4. [TCP/IP]タブをクリックする。

5. [マニュアルで設定する]を選択する。

重要

[マニュアルで設定する]を選択するとUNIXコマンドによる設定ができなくなります。UNIXコマンドでIPアドレスを再設定する場合は、[UNIXコマンドで設定する]を選んでください。

6. IPアドレスとサブネットマスクを入力する。

7. [OK]をクリックして終了する。

以上で設定は完了です。

UNIXコマンド

IPアドレスをUNIXコマンドを使って設定する方法を説明します。

重要

- ここで示す方法でIPアドレスを一度設定すると、LANボードの設定を初期化するまで再度同じ方法では設定できません(「ネットワーク設定の初期化」参照)。
  LANボードの設定を初期化すると他のOSの設定もクリアされ、工場出荷時の設定に戻ります。初期化を行う前に、コンフィグレーションページを印刷して設定を控えておいてください(「コンフィグレーションページの印刷」参照)。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、プリンターにIPアドレスを設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーター等を介さないで接続された環境で行ってください。

ここでは、設定例としてコンピューターのIPアドレスを「123.123.123.1」、プリンターに設定するIPアドレスを「123.123.123.123」とします。

1. **プリンターの電源をOFFにし、再度電源をONにする。**

2. **コマンドプロンプトを開き、routeコマンドを実行する。**

```
>route add 11.22.33.44 ＜コンピューターのIPアドレス＞
（実行例）
>B:￥users￥default￥route add 11.22.33.44 123.123.123.1
```

3. **pingコマンドを実行する。**

```
>ping 11.22.33.44
```

次のような画面が表示されます。

（画面表示例）

```
Pinging 11.22.33.44 with 32bytes of data:


Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time =10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time＜10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time＜10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time＜10ms TTL=32
```

4. **arpコマンドを実行する。**

```
>arp -a 11.22.33.44
```

次ページのような画面が表示されます。

（画面表示例）

```
Interface: 123.123.123.1
    Internet Address    Physical Address       Type
    11.22.33.44         00-00-4C-29-00-00      dynamic
```

Physical Addressには、ネットワークに接続されているプリンターのMACアドレスが表示されます。複数のプリンターが接続されている場合には、その中の1つが表示されます。IPアドレスを設定するプリンターの電源のみをONにして設定することをお勧めします。

5. IPアドレスをコンピューターへ登録する。

以下のarpコマンドを実行します。

```
>arp -s ＜プリンターに設定するIPアドレス＞
        ＜設定するプリンターのMACアドレス＞
（実行例）
>B:￥users￥default￥arp -s 123.123.123.123 00-00-4C-29-00-00
```

6. pingコマンドを実行する。

```
>ping　＜プリンターに設定するIPアドレス＞
（実行例）
>B:￥users￥default￥ping 123.123.123.123
```

以上でIPアドレスの設定は終了です。

コンフィグレーションページを印刷して、IPアドレスが正しく設定されたことを確認してください（「コンフィグレーションページの印刷」参照）。

続いて他のプリンターのIPアドレスを変更する場合は、

```
>arp -d 11.22.33.44
```

を実行後、手順3から設定を行ってください。

DHCP

DHCPを使用すると、DHCPサーバー(Windows 2000 Server、Windows NT Server、またはUNIX Server)からIPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスを自動的に取得することができます。これによりDHCPサーバーにIPアドレスの登録を行うだけで個々のLANボードに対するIPアドレスの設定が不要となります。

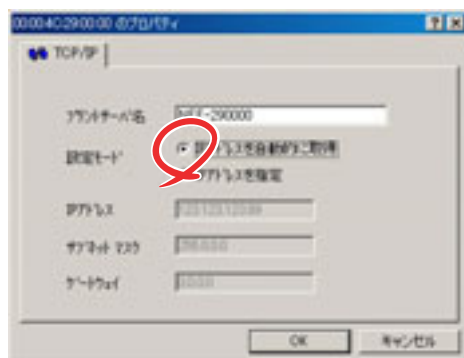
重要

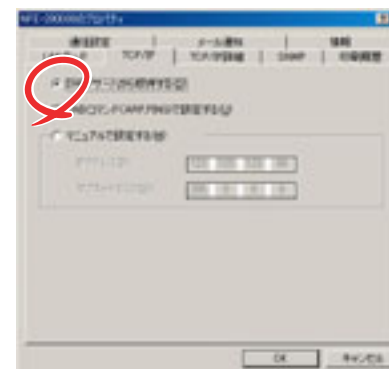
- 工場出荷時の設定では、[DHCPを使用しない]に設定されています。次に説明する方法で設定を変更してから使用してください。
- LANボードに割り当てるIPアドレスは固定です。毎回、IPアドレスが変わると印刷データの送信先が不明となり、プリンターに印刷データが送信されなくなります。これを避けるために必ずDHCPサーバーでIPアドレスの予約をしてください(「DHCPサーバーの設定」参照)。すでにIPアドレスが設定されている環境では、WWWブラウザーまたはTelnetを使用してDHCPをオンにすることができます。

DHCPの設定

LANボードのDHCP設定には次の2つの方法があります。

- EASY設定ユーティリティ

  添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「EASY設定ユーティリティ」を使用して設定します。プリンターのMACアドレスを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックすると表示される[TCP/IP]シート上で[IPアドレスを自動的に取得]を選択してください。

- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

  添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」を使用して設定します。プリンターを選択して[プロパティ]ダイアログボックスを開き、[TCP/IP]シート上で、[DHCPサーバから取得する]を選択してください。詳しくは、「3　ユーティリティの詳細」の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」をご覧ください。

DHCPサーバーの設定

LANボードのDHCP機能を使用するためには、DHCPサーバーとしてWindows 2000 Server/Windows NT Server、またはUNIX Serverが必要です。ここではWindows 2000 ServerとWindows NT Server 4.0によるDHCPサーバーの設定について説明します。

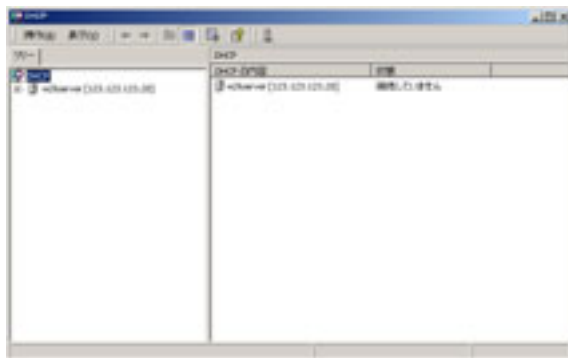
チェック

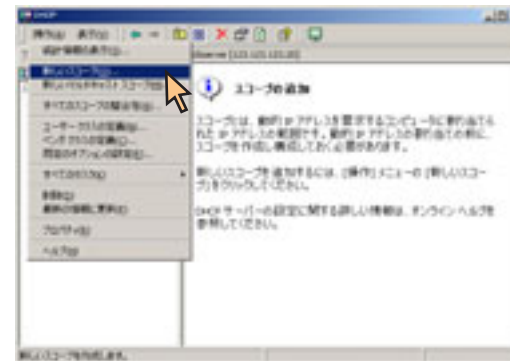
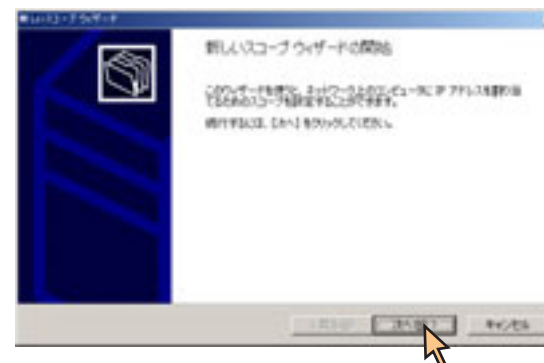
- Windows 2000 Professional/Windows NT WorkstationはDHCPサーバー機能をサポートしていません。
- UNIXサーバーについては、OSのマニュアルを参照してください。

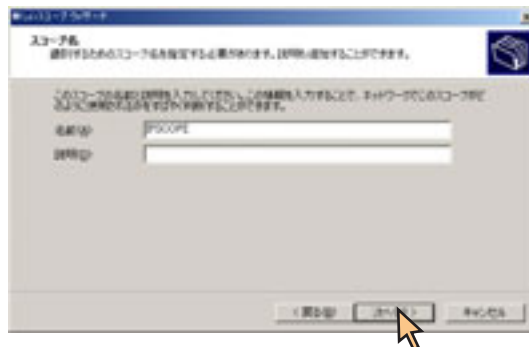
Windows 2000 Serverの場合

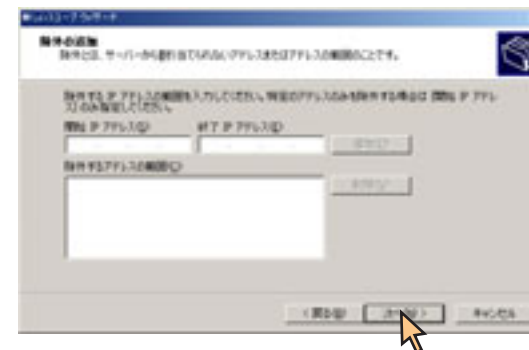
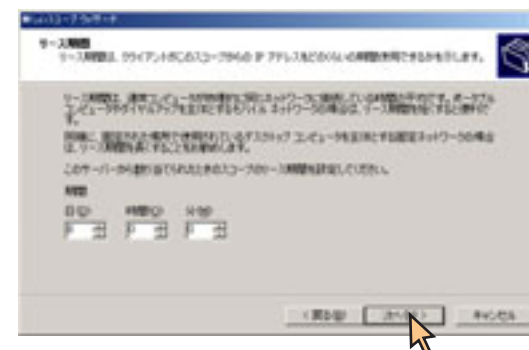
DHCPサーバーの設定を行うためには、Windows 2000 Serverに「DHCPサーバー」がインストールされている必要があります。「DHCPサーバー」のインストールについては、Windows 2000 Serverのヘルプを参照してください。

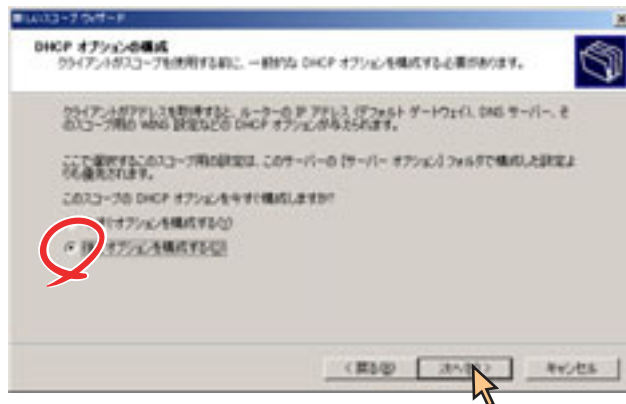
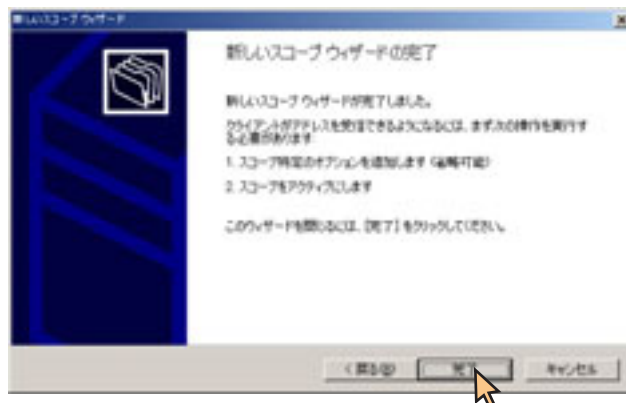
1. **DHCPを起動する。**

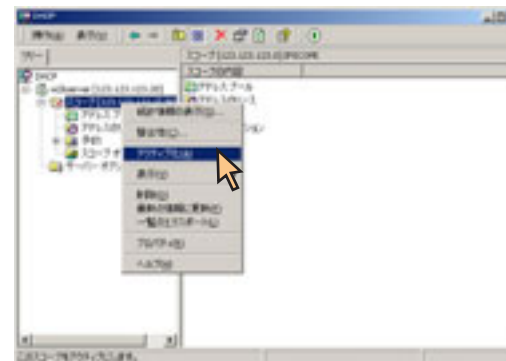
   ［スタート］をクリックし、［プログラム］、［管理ツール］をポイントします。次に［DHCP］をクリックします。

2. **DHCPサーバー(ここでは「w2kserver」)を選択し、［操作］メニューから［新しいスコープ］をクリックする。**

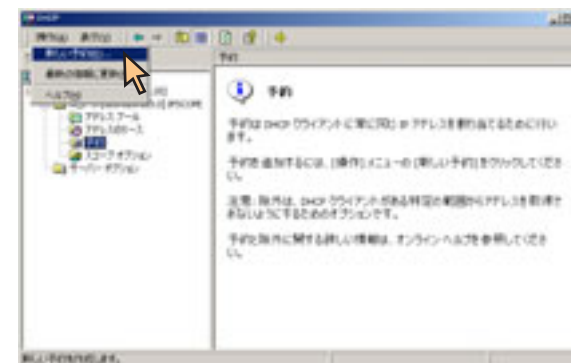
   新しいスコープウィザードが起動します。

3. **［次へ］をクリックする。**

4. 任意のスコープ名を入力し、[次へ]をクリックする。

ここでは、例として「IPSCOPE」と入力します。

5. DHCPサーバーが割り当てるIPアドレスの範囲とサブネットマスクを入力し、[次へ]をクリックする。

6. 手順5で入力したIPアドレスの範囲で、割り当てに使用したくないIPアドレスがあれば入力し、[次へ]をクリックする。

7. LANボードが割り当てられたIPアドレスが使用できる期間を設定し、[次へ]をクリックする。

8. [後でオプションを構成する]を選択し、[次へ]をクリックする。

ここで、オプション設定を行う場合は、[今すぐオプションを構成する]を選択し、ウィザードの指示に従ってください。

9. [完了]をクリックして、ウィザードを終了する。

10. [スコープ](ここでは「スコープ[123.123.123.0]IPSCOPE」)上で右クリックし、[アクティブ化]をクリックする。

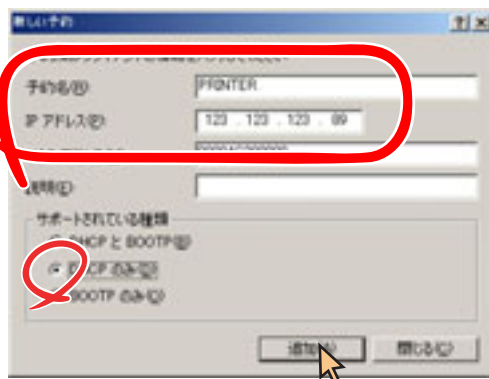
手順9までの手順で作成したスコープ「IPSCOPE」をアクティブにするために必要な設定です。

11. 手順9までの手順で作成したスコープ「IPSCOPE」の[スコープ]－[予約]を選択し、[操作]メニューから[新しい予約]をクリックする。

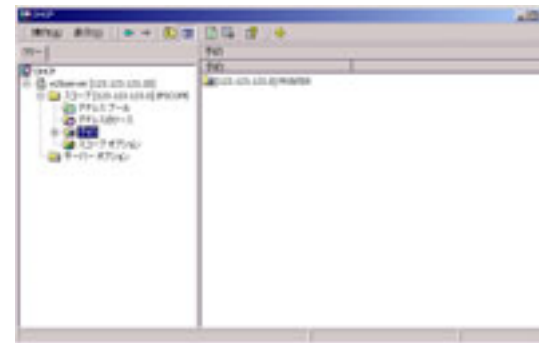
LANボードに常時、同じIPアドレスが割り当てられるようにするために必要な設定です。

12. LANボードに割り当てたいIPアドレスを入力し、[予約名]に任意の名前を入力する。

ここでは、例として「PRINTER」と入力します。

重要

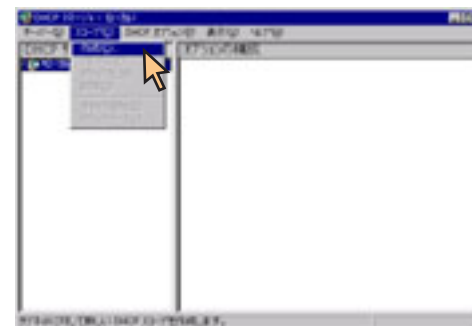
[サポートされている種類]は、必ず[DHCPのみ]を選択してください。

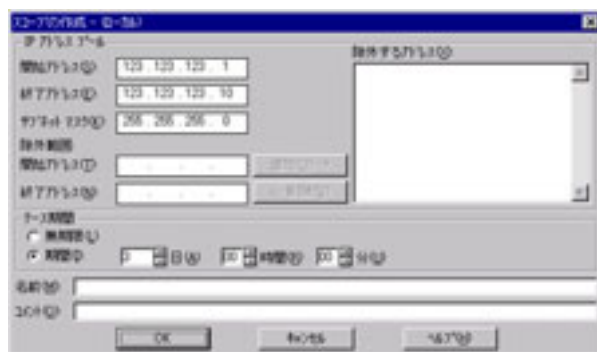
13. [追加]をクリックする。

14. [閉じる]をクリックする。

以上で設定は完了です。以下のような画面が表示されます。

Windows NT Server 4.0の場合

DHCPサーバーの設定を行うためには、Windows NT Server 4.0に「DHCPサーバー」がインストールされている必要があります。DHCPサーバーのインストールについては、Windows NT Server 4.0のヘルプを参照してください。

1. [ネットワーク管理]グループのDHCPマネージャを起動する。

2. メニューバーの[スコープ]メニューから[作成]を選択し、スコープを作成する。

3. [スコープの作成]ダイアログボックスで以下の設定を入力する。

- IPアドレスプールの開始アドレス(必須)
- IPアドレスプールの終了アドレス(必須)
- サブネットマスク(必須)
- 除外範囲の開始アドレス(必要時)
- 除外範囲の終了アドレス(必要時)
- ソース期間の設定(必要時)

4. [OK]をクリックし、[スコープの作成]ダイアログボックスを閉じる。

5. [DHCPマネージャ]ダイアログボックスのメニューバーの[スコープ]メニューから[予約の追加]を選択する。

[予約クライアントの追加]ダイアログボックスが開きます。

DHCPによるIPアドレス自動取得で、LANボードには毎回同じIPアドレスが割り当てられなければなりません。この[予約の追加]では、LANボードの固有情報であるMACアドレスをIPアドレスと関連付けることで、毎回同じIPアドレスをLANボードに割り当てることができるようになります。

6. 以下の情報を入力する。

- IPアドレス:LANボードのIPアドレス(必須)
- 一意のID:LANボードのMACアドレス(必須)
- クライアント名:任意の名前(必須)
- クライアントコメント:任意のコメント(必要時)

チェック

IPアドレスはスコープ作成時に設定したIPアドレスプールの範囲内で設定してください。

7. [追加]をクリックし、[予約クライアントの追加]ダイアログボックスを閉じる。

以上で設定は完了です。

DHCPの動作について

LANボードのDHCP設定を有効にした場合の動作について説明します。
DHCP機能を使用するためには、ネットワーク上にDHCPサーバーが必要です。
LANボードに電源が供給されると、DHCPサーバーを自動的に検索します。ネットワーク上に複数のDHCPサーバーが存在する場合は、最初に応答を受け取ったDHCPサーバーと通信し、IPアドレスのリース（貸し出し）を受けます。LANボード用にIPアドレスの予約を行ったDHCPサーバーのみのネットワーク環境で使用してください。

チェック

- IPアドレスの予約を行っていないDHCPサーバーからIPアドレスがリースされるとLANボードは誤って登録されたIPアドレスで動作します。一度受信したIPアドレスを解放するには以下のどちらかを行ってください。
  - ◇　DHCP設定を1度無効にする。
  - ◇　LANボードの設定を初期化する（「ネットワーク設定の初期化」参照）。
- DHCPはルーターを越えたネットワーク上のDHCPサーバーと通信することができます。ルーターを使用している場合は、ルーターのリレーエージェントの設定を確認してください。

LANボードのDHCP機能を有効にし、起動時にDHCPサーバーが検索されなかった場合、LANボードは1分周期でDHCPサーバーの検索を継続します。

一度DHCP機能を有効にしたLANボードの設定を無効にする場合は、メニューモードを使ってLANボードの設定を初期化（「ネットワーク設定の初期化」参照）してください。

ネットワーク設定の初期化

Color MultiWriter 9250Cに標準実装されているLANポートのIPアドレスなどネットワーク設定情報を初期化する方法について説明します。

Color MultiWriter 9250Cに標準実装されているLANポートの初期化は、プリンターの操作パネルから行います。以下のLANアダプターの初期化については、それぞれのマニュアルを参照してください。

- 無線LANプリンタアダプタ（PR-WL-01）
- LANアダプタ（PR-NP-03TR2）
- マルチプロトコルLANアダプタ（PR-NPX-05）

1. [印刷可]スイッチを押す。

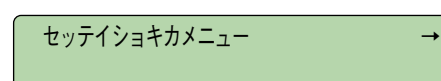
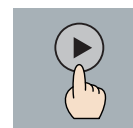
印刷可ランプが消灯します。

2. [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー→”を表示します。

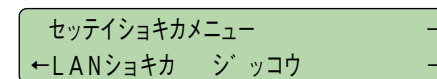
テストメニュー　→

3. ディスプレイに“セッテイショキカメニュー”と表示されるまで[▼]スイッチを数回押す。

セッテイショキカメニュー　→

4. [▶]スイッチを1回押す。

5. [▼]スイッチを1回押す。

ディスプレイ下段には“←LANショキカ　ジッコウ→”と表示されます。

セッテイショキカメニュー　→
←LANショキカ　ジ゛ッコウ　→

6. [▶]スイッチを1回押す。

ネットワークの設定が初期値に戻ります。

コンフィグレーションページの印刷

コンフィグレーションページとは、LANボードのIPアドレスやサブネットマスク、MACアドレス等のネットワークの設定情報が一覧できるLANステータス印刷です。ネットワークケーブルを接続したとき、ネットワークに関する変更を行った前後などにコンフィグレーションページ印刷を行い、設定内容の確認をしてください。コンフィグレーションページの印刷方法について説明します。

チェック

Color MultiWriter 9250Cに標準実装されているLANポートのコンフィグレーションページの印刷は、プリンターの操作パネルから行います。以下のLANボード／LANアダプターのコンフィグレーションページの印刷の手順については、それぞれのマニュアルを参照してください。

- 無線LANプリンタアダプタ（PR-WL-01）
- LANアダプタ（PR-NP-03TR2）
- マルチプロトコルLANアダプタ（PR-NPX-05）

1. **プリンターの電源スイッチをONにする。**

電源ON後、プリンターが印刷可能な状態（印刷可ランプ点灯）になったことを確認します。

2. **［印刷可］スイッチを押す。**

印刷可ランプが消灯します。

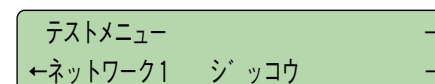
3. **［メニュー］スイッチを押す。**

ディスプレイには“テストメニュー　→”と表示されます。

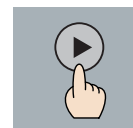
テストメニュー　→

4. **［▶］スイッチを1回、［▼］スイッチを4回押す。**

ディスプレイ下段には“←ネットワーク1　ジッコウ→”と表示されます。

テストメニュー　→
←ネットワーク1　ジ゛ッコウ　→

5. **［▶］スイッチを押す。**

データランプが点灯し、プリンターは標準装備されたLANボードの設定情報を印刷します。

インサツチュウ

6. コンフィグレーションページを参照してLANボードの設定内容を確認する。

以下の印刷例を参考にしてください。印刷例は工場出荷時における印刷例です。

```
NEC Network Interface Configuration Page

  <Network Information>

    F/W Version            :    02.01
*1  ID Number              :    NFE-290000
    Printer Name           :    NFE-290000
    MAC Address            :    00:00:4C:29:00:00
    H/W Description        :    NEC NetworkPrinter700080
    10Base/100Base         :    "Auto (100Base)"
    Half/Full Duplex       :    "Auto (Full Duplex)"
    Printing Log           :    "Off"

  <Self-Diagnosis>

    Link Test              :    "OK"
    Network Status         :    "OK"

    <TCP/IP>

*2  IP Address             :    11. 22. 33. 44
    Subnet Mask            :    255.  0.  0.  0
    Gateway Address        :    0.  0.  0.  0
    Auto IP Address        :    "On"
    Max. Number of Session :    64
    Session Timeout [sec]  :    120
    Keep Alive             :    "On"
    FTP Timeout [min]      :    10
    DHCP                   :    "Off"
    e-Mail Service         :    "Off"
    Current Active Session :    0
```

＊1 ID Number、Printer Name、およびMAC AddressはLANボード個々の情報を示します。

＊2 IPアドレス、サブネットマスクの工場出荷時の値です。

ヒント

ネットワークへ接続した後やプリンターの設定を変更した後は、必ずコンフィグレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。

各項目の意味は以下のとおりです。

- F/W Version：LANボードのファームウエアバージョンです。
- Printer Name：ネットワーク上から見たプリンターの名前です。半角大文字の英数字、ハイフン「-」、アンダーバー「_」が使用可能です。
- MAC Address：プリンターに接続しているネットワークオプション固有のネットワークアドレスです。
- H/W Description：プリンターに接続しているネットワークオプションの種別です。
- 10Base/100Base：「Auto」では10BASE-T、または100BASE-TXを自動判別し、通信速度を決定します。
- Half/Full Duplex：「Auto」では通信方式を自動判別し、全二重（Full Duplex）、半二重（Half Duplex）のどちらかに決定します。
- Link Test：Link状態を表します。
- NetWork Status：ハードウエアテストの状態を表します。
- IP Address：IPアドレスを表します。
- SubnetMask：サブネットマスクを表します。
- Gateway Address：ゲートウェイアドレスを表します。
- Auto IP Address：UNIXコマンド（Arp、Ping）を用いた設定の許可を表します。
- Max. Number Of Session：TCP/IPの最大接続数を表します。この設定は、すべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象になります。設定範囲は「1～64」、初期値は「64」になっています。
- Session Timeout：TCP/IP接続時にホストコンピューターから応答が無い場合の通信タイムアウトの設定を表します。
- keep Alive：通信タイムアウトで設定した時間が経過した場合に、ホストコンピューターにKeepAliveパケットを送信するか、しないかの設定を表します。
- FTP Timeout：FTP接続時のタイムアウト時間を表します。
- DHCP：DHCPを用いてアドレスを取得するかどうかの設定を表します。
- e-mail Service：トナー残少時のメール通知設定を表します。
- Current Active Session：現在のTCP接続数を表します。

2 OSの設定 ～ネットワーク印刷のために～

この章では、各OSへの設定について説明しています。印刷方法にはLPR、PrintAgentがあります。設定方法はOSごとに異なりますので、ご使用のOSのページを参照してください。

PrintAgentは、LPRプロトコルに対応しておりません。プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にする必要があります。詳しくは、ユーザーズマニュアルを参照してください。

- Windows Me 日本語版
- Windows 98/95 日本語版
- Windows XP 日本語版
- Windows 2000 日本語版
- Windows NT 4.0 日本語版
- UNIX

OSの設定を行った後に、ネットワークを介しての印刷がうまくいかなかったときは「ネットワークで思うように印刷できないときは」を参照してください。

Windows Me 日本語版

Windows Meからプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows Meから印刷するためには、NEC TCP/IP Printing System（PrintAgent）を使う方法があります。これは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMからプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「IPアドレスの設定」を参照してIPアドレスを設定してください。プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC TCP/IP Printing System

NEC TCP/IP Printing System（NEC TCP/IP Port）を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC TCP/IP Printing Systemは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについてはユーザーズマニュアル「プリンターソフトウエアのインストール」を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

1. [Color MultiWriter 9250Cのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。

   [プリンタ]フォルダーの[NEC Color MultiWriter 9250C]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。

2. [詳細]タブをクリックする。

3. [ポートの追加]をクリックする。

4. **[その他]、[追加するポートの種類]で[NEC TCP/IP Printing System]を選び、[OK]をクリックする。**

5. **[インターネットアドレス入力]ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。**

6. **[OK]をクリックする。**

[Color MultiWriter 9250Cのプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC TCP/IP Printing SystemではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC TCP/IP Printing Systemをインストールしたクライアントコンピューターの[TCP/IPのプロパティ]設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

チェック

ドメインネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

Windows 98/95 日本語版

Windows 98/95からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows 98/95から印刷するためにはNEC TCP/IP Printing System（PrintAgent）を使います。これは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMからプリンターソフトウエアをインストールして印刷するものです。

このソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「IPアドレスの設定」を参照してIPアドレスを設定してください。プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC TCP/IP Printing System

NEC TCP/IP Printing System（NEC TCP/IP Port）を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC TCP/IP Printing Systemは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについてはユーザーズマニュアル「プリンターソフトウエアのインストール」を参照してください。以下の手順はWindows 98 日本語版で説明しています。Windows 95 日本語版の場合も同じ手順です。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

1. [Color MultiWriter 9250Cのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。

   [プリンタ]フォルダーの[NEC Color MultiWriter 9250C]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。

2. [詳細]タブをクリックする。

3. [ポートの追加]をクリックする。

4. **[その他]、[追加するポートの種類]で[NEC TCP/IP Printing System]を選び、[OK]をクリックする。**

5. **[インターネットアドレス入力]ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。**

6. **[OK]をクリックする。**

[Color MultiWriter 9250Cのプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC TCP/IP Printing SystemではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC TCP/IP Printing Systemをインストールしたクライアントコンピューターの[TCP/IPのプロパティ]設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

チェック

ドメインネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

Windows XP 日本語版

Windows XPからプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows XPから印刷するためには、以下の3つの方法があります。

- NEC Network Port（PrintAgent）.................添付のプリンターソフトウエアCD-ROMからプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- UNIX用印刷サービス（LPR）.....................Windows XPに標準で収録されているUNIX用印刷サービス（LPR）を使用して印刷します。
- Standard TCP/IP Port（LPR）.....................Windows XPに標準で実装されているStandard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「IPアドレスの設定」を参照してIPアドレスを設定してください。プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC Network Port

NEC Network Port（NEC TCP/IP Port）を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC Network Portは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについてはユーザーズマニュアルの「プリンターソフトウエアのインストール」を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

1. **[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。**

   [プリンタとFAX]フォルダーの[NEC Color MultiWriter 9250C]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。

2. **[ポート]タブをクリックする。**

3. ［ポートの追加］をクリックする。

4. ［利用可能なポートの種類］で［NEC Network Port］を選び、［新しいポート］をクリックする。

5. ［インターネットアドレス入力］ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。

6. ［OK］をクリックする。

7. ［閉じる］をクリックする。

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC Network PortではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC Network Portをインストールしたクライアントコンピューターの[TCP/IPのプロパティ]設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

ドメインネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

UNIX用印刷サービス（LPR）

LPRには、UNIX用印刷サービスによる印刷方法とStandard TCP/IP Portによる印刷方法の2種類あります。はじめに、UNIX用印刷サービス（LPR）を使用した印刷を行うための設定方法を説明します。

重要

UNIX用印刷サービス（LPR）を使用する場合、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]のチェックを外して、無効にしてください。

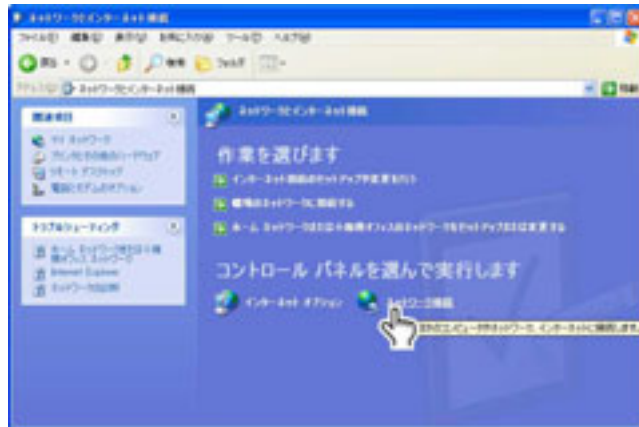
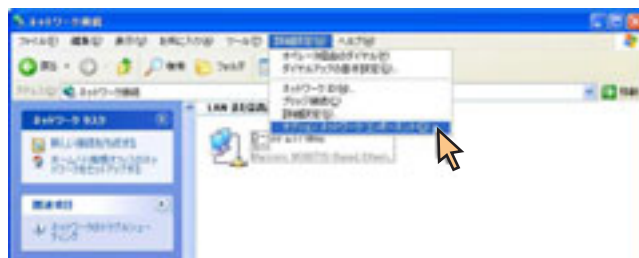
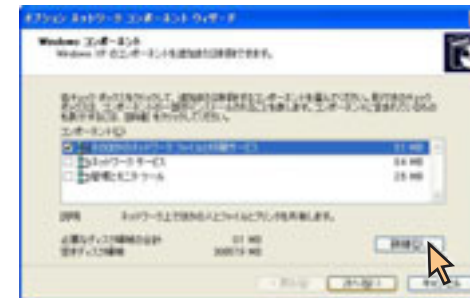
使用するコンピューターにUNIX用印刷サービスをインストールします。インストールされている場合は、「プリンターの追加」へ進んでください。

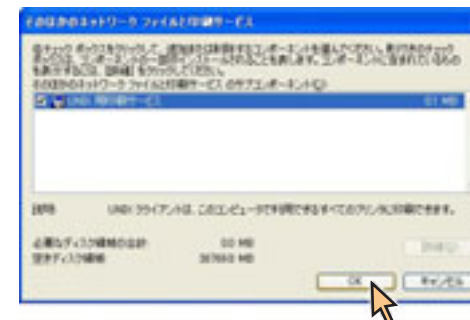
UNIX用印刷サービスのインストール

UNIX用印刷サービスを使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows XPのヘルプ「TCP/IPプロトコルをインストールするには」を参照してください。UNIX用印刷サービスのインストール方法について説明します。

1. Windows XPのCD-ROMをセットする。

2. コントロールパネルの[ネットワークとインターネット接続]をクリックする。

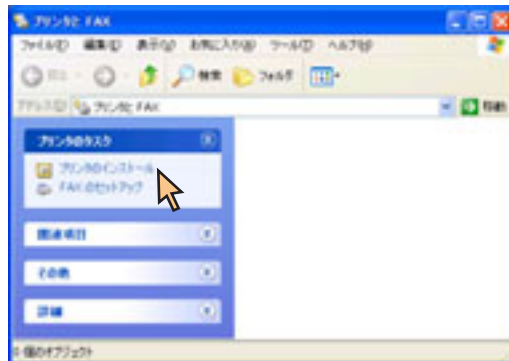
3. [ネットワーク接続]をクリックする。

4. [詳細設定]メニューの[オプション ネットワーク コンポーネント]をクリックする。

5. [そのほかのネットワーク ファイルと印刷サービス]を選択し、[詳細]をクリックする。

6. [UNIX用印刷サービス]をチェックして、[OK]をクリックする。

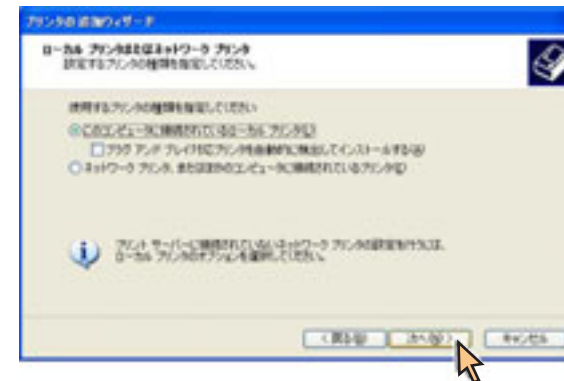
[オプション ネットワーク コンポーネントウィザード]ダイアログボックスに戻ります。

7. [次へ]をクリックする。

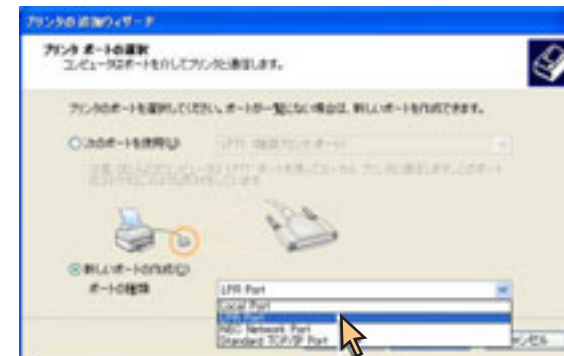
次に「プリンターの追加」へ進んでください。

プリンターの追加

1. [プリンタとFAX]フォルダーを開く。

2. [プリンタのインストール]をクリックする。

3. [次へ]をクリックする。

4. [このコンピュータに接続されているローカル プリンタ]を選択し、[プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックを外して[次へ]をクリックする。

5. [新しいポートの作成]をクリックし、[LPR Port]を選択する。

[LPR Port]が表示されない場合は、[UNIX用印刷サービス]をインストールしてください。

6. ［次へ］をクリックする。

7. ［LPDを提供しているサーバーの名前またはアドレス］ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力し、［OK］をクリックする。

8. 画面に表示される指示に従って、プリンターのインストールを完了する。

表示されるダイアログで選択するプリンター一覧に［NEC Color MultiWriter 9250C］が見つからない場合には、［ディスクを使用］をクリックして［製造元のファイルのコピー元］に、添付プリンターソフトウエアCD-ROM内の［¥CMW9250C¥DISK4］を指定し、追加してください。

以上で設定は完了です。

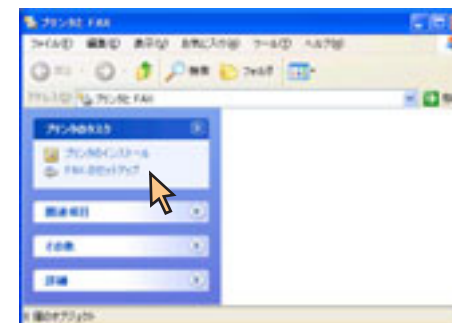
Standard TCP/IP Port(LPR)

Windows XPの環境でLPRを使用して印刷するまでの設定方法について説明します。

重要

Standard TCP/IP Port（LPR）を使用する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、無効にしてください。

1. ［プリンタとFAX］フォルダーを開く。

2. ［プリンタのインストール］をクリックする。

3. [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ]を選択し、[プラグアンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックを外して、[次へ]をクリックする。

4. [新しいポートの作成]、[Standard TCP/IP Port]を選び、[次へ]をクリックする。

[標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

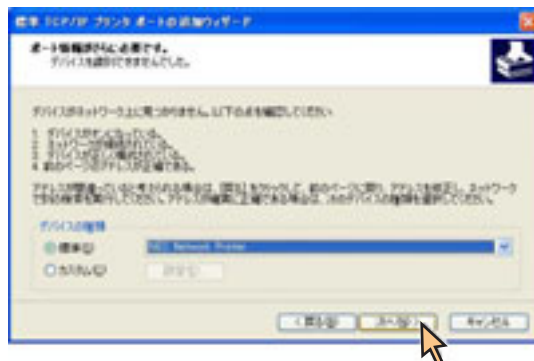
5. [次へ]をクリックする。

6. [プリンタ名またはIPアドレス]ボックスに追加するプリンターのIPアドレスを入力し、[次へ]をクリックする。

チェック

DNSサーバーが存在し、プリンターが登録されている場合には、DNS名を指定することもできます。

ネットワーク上にネットワークプリンターが存在する場合は、ネットワークプリンターが検出され、自動的に設定が完了します。手順8.へ進んでください。ネットワーク上にネットワークプリンターが存在しない場合は、手順7.へ進んでください。

7. ［デバイスの種類］の［標準］をクリックし、［NEC Network Printer］を選び、［次へ］をクリックする。

8. 内容を確認し、［完了］をクリックする。

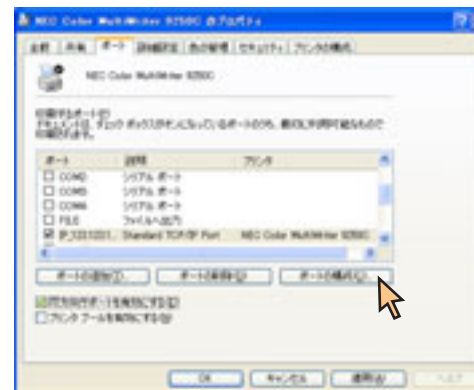
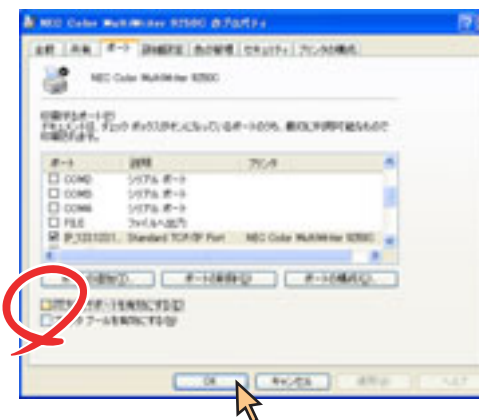
9. 画面に表示される指示に従って、プリンターのインストールを完了する。

表示されるダイアログで選択するプリンター一覧に［NEC Color MultiWriter 9250C］が見つからない場合には、［ディスクを使用］をクリックして［製造元のファイルのコピー元］に、添付プリンターソフトウエアCD-ROM内の［¥CMW9250C¥DISK4］を指定し、追加してください。

次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

1. ［プリンタとFAX］フォルダー内に作成されたプリンターの［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

2. ［ポート］タブをクリックする。

3. ［Standard TCP/IP Port］を選択して、［ポートの構成］をクリックする。

4. ［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［閉じる］をクリックする。

以上で設定は完了です。

Windows 2000 日本語版

Windows 2000からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows 2000から印刷するためには、以下の3つの方法があります。

- NEC Network Port（PrintAgent）.......................... 添付のプリンターソフトウエアCD-ROMからプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- UNIX用印刷サービス（LPR）................................ Windows 2000に標準で収録されているUNIX用印刷サービス（LPR）を使用して印刷します。
- Standard TCP/IP Port（LPR）............................... Windows 2000に標準で収録されているStandard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「IPアドレスの設定」を参照してIPアドレスを設定してください。プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC Network Port

NEC Network Port（NEC TCP/IP Port）を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC Network Portは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについてはユーザーズマニュアル「プリンターソフトウエアのインストール」を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

1. **[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。**

   [プリンタ]フォルダーの[NEC Color MultiWriter 9250C]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。

2. **[ポート]タブをクリックする。**

3. **[ポートの追加]をクリックする。**

4. **[利用可能なポートの種類]で[NEC Network Port]を選び、[新しいポート]をクリックする。**

5. **[インターネットアドレス入力]ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。**

6. **[OK]をクリックする。**

7. **[閉じる]をクリックする。**

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC Network PortではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC Network Portをインストールしたクライアントコンピューターの[TCP/IPのプロパティ]設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

✔チェック

ドメインネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

UNIX用印刷サービス(LPR)

LPRには、UNIX用印刷サービスによる印刷方法とStandard TCP/IP Portによる印刷方法の2種類あります。はじめに、UNIX用印刷サービス(LPR)を使用した印刷を行うための方法を説明します。

重要

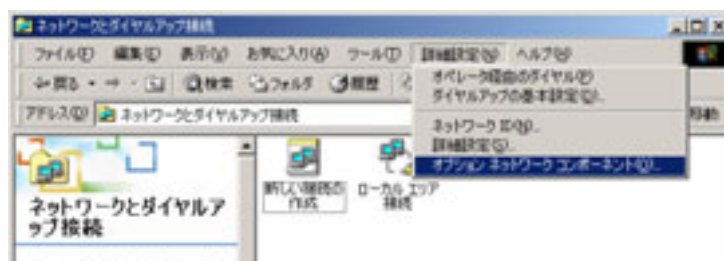
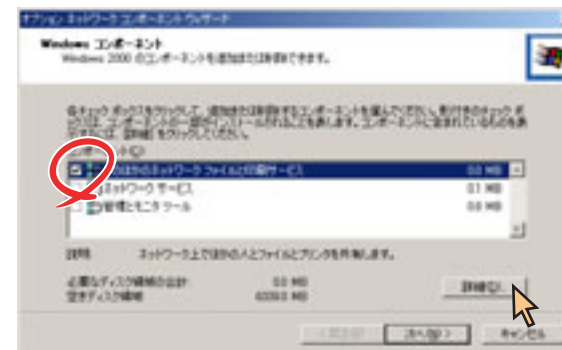
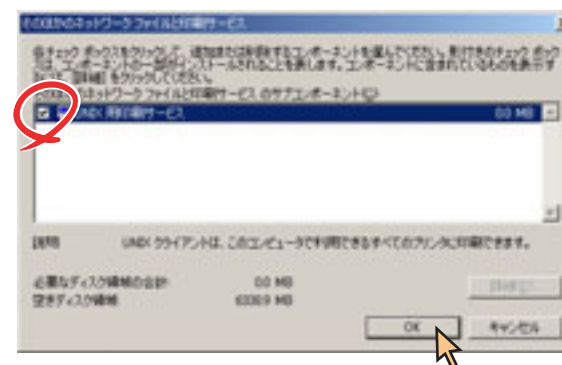
UNIX用印刷サービス(LPR)を使用する場合、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]のチェックを外して、無効にしてください。

まず、使用するコンピューターにUNIX用印刷サービスをインストールします。インストールされている場合は、「プリンターの追加」へ進んでください。

UNIX用印刷サービスのインストール

UNIX用印刷サービスを使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows 2000のヘルプ「TCP/IPプロトコルをインストールするには」を参照してください。UNIX用印刷サービスのインストール方法について説明します。

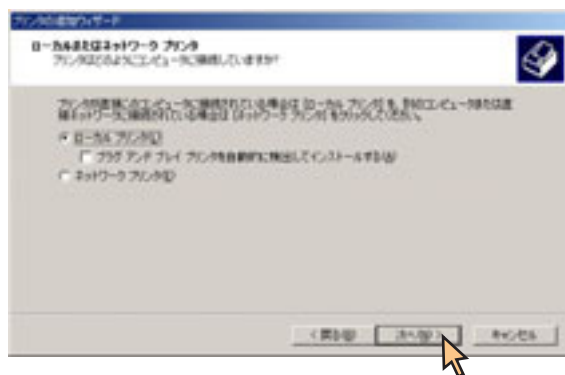
1. **コントロールパネルの[ネットワークとダイアルアップ接続]ダイアログボックスを開く。**

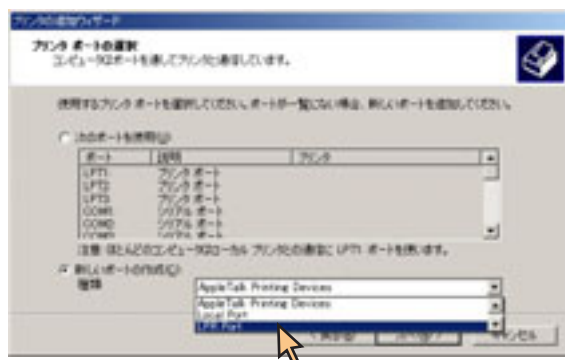
2. **[詳細設定]メニューの[オプション ネットワーク コンポーネント]をクリックする。**

3. **[そのほかのネットワーク ファイルと印刷サービス]を選択し、[詳細]をクリックする。**

4. **[UNIX用印刷サービス]をチェックして、[OK]をクリックする。**

次に「プリンターの追加」へ進んでください。

プリンターの追加

1. [プリンタ]フォルダーを開く。

2. [プリンタの追加]アイコンをダブルクリックし、[次へ]をクリックする。

3. [ローカル プリンタ]を選択し、[プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックを外して[次へ]をクリックする。

4. [新しいポートの作成]をクリックし、[LPR Port]を選択する。

   [LPR Port]が表示されない場合は、[UNIX用印刷サービス]をインストールしてください。

5. [次へ]をクリックする。

6. [LPDを提供しているサーバーの名前またはアドレス]ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力し、[OK]をクリックする。

7. 画面に表示される指示に従って、プリンターのインストールを完了する。

   表示されるダイアログで選択するプリンター一覧に[NEC Color MultiWriter 9250C]が見つからない場合には、[ディスクを使用]をクリックして[製造元のファイルのコピー元]に、添付プリンターソフトウエアCD-ROM内の[¥CMW9250C¥DISK4]を指定し、追加してください。

以上で設定は完了です。

Standard TCP/IP Port（LPR）

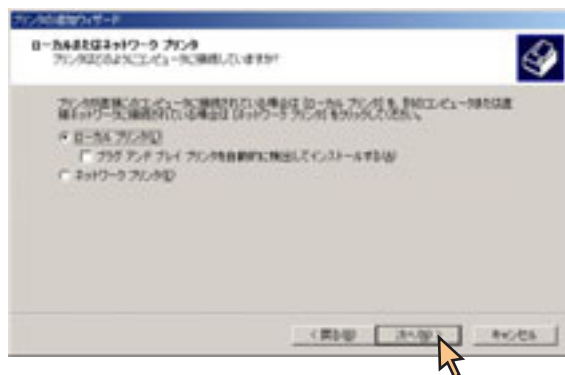
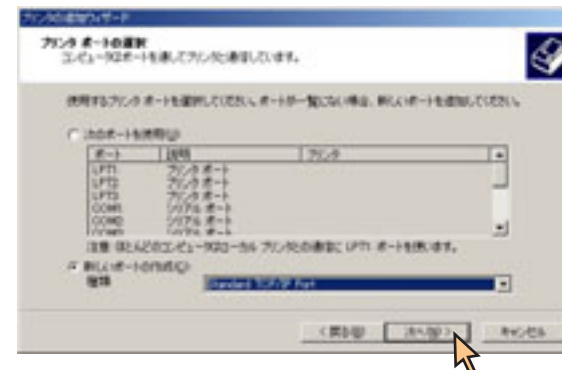
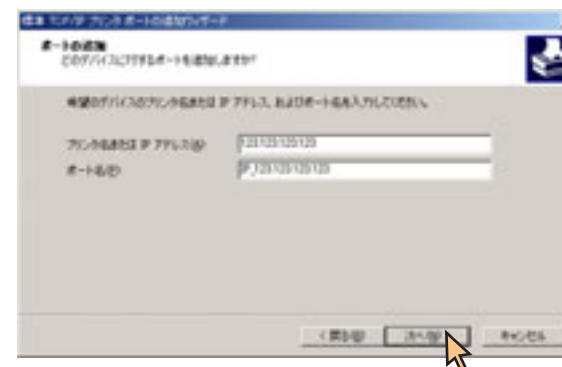
Windows 2000の環境でLPRを使用して印刷するまでの設定方法について説明します。

重要

Standard TCP/IP Port（LPR）を使用する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、無効にしてください。

1. ［プリンタ］フォルダーを開く。

2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。

3. ［ローカルプリンタ］を選択し、［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］をクリックする。

4. ［新しいポートの作成］、［Standard TCP/IP Port］を選び、［次へ］をクリックする。

5. ［プリンタ名またはIPアドレス］ボックスに追加するプリンターのIPアドレスを入力し、［次へ］をクリックする。

チェック

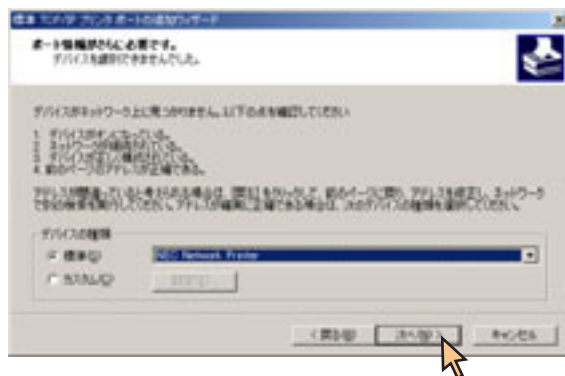
DNSサーバーが存在し、プリンターが登録されている場合には、DNS名を指定することもできます。

ネットワーク上にネットワークプリンターが存在する場合は、ネットワークプリンターが検出され、自動的に設定が完了します。手順6へ進んでください。

ネットワーク上にネットワークプリンターが存在しない場合は、手順7へ進んでください。

6. **内容を確認し、[完了]をクリックする。**

画面に表示される指示に従って、プリンターのインストールを完了してください。次に「LPRバイトカウント機能」へ進んでください。

7. **[デバイスの種類]の[標準]をクリックし、[NEC Network Printer]を選び、[次へ]をクリックする。**

8. **画面に表示される指示に従って、プリンターのインストールを完了する。**

表示されるダイアログで選択するプリンター一覧に[NEC Color MultiWriter 9250C]が見つからない場合には、[ディスクを使用]をクリックして[製造元のファイルのコピー元]に、添付プリンターソフトウエアCD-ROM内の[¥CMW9250C¥DISK4]を指定し、追加してください。

次に「LPRバイトカウント機能」へ進んでください。

LPRバイトカウント機能

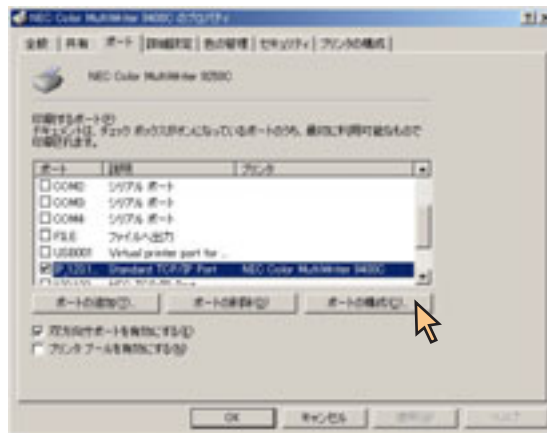
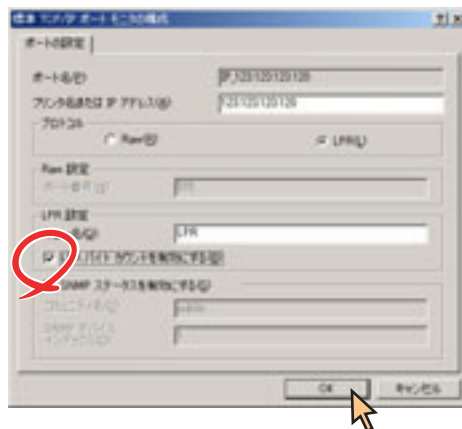
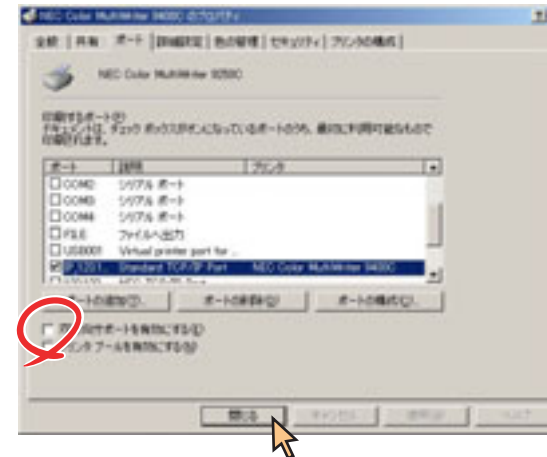
LPRプロトコルには、印刷データを送信する前に印刷データの容量を測定し、プリンターに送信する機能があります。これを「LPRバイトカウント機能」といいます。

この「LPRバイトカウント機能」を有効にすると、印刷が途中で中断されたときに、プリンターは処理されずに残っている印刷データを消去します。この機能を使用することで次の印刷データが送られてきたときにプリンター内に残っているデータと混在することを防ぐことができます。

LPRバイトカウント機能を有効にするには、次の手順で設定してください。

1. **[プリンタ]フォルダー内に作成されたプリンターの[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。**

2. **[ポート]タブをクリックする。**

3. ［ポートの構成］をクリックする。

4. ［LPRバイトカウントを有効にする］をチェックして、［OK］をクリックする。

5. ［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［閉じる］をクリックする。

以上で設定は完了です。

Windows NT 4.0 日本語版

Windows NT 4.0からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows NT 4.0から印刷するためには、以下の2つの方法があります。

- NEC Network Port（PrintAgent） .... 添付のプリンターソフトウエアCD-ROMからプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- Microsoft TCP/IP印刷（LPR） .... Windows NT 4.0に標準で収録されているTCP/IP印刷サービスのLPRプロトコルを使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「IPアドレスの設定」を参照してIPアドレスを設定してください。プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

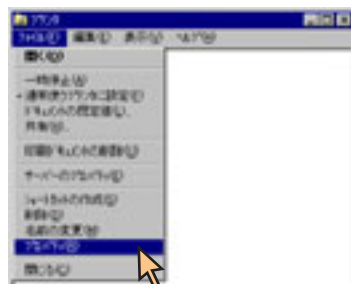
NEC Network Port

NEC Network Port（NEC TCP/IP Port）を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC Network Portは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについてはユーザーズマニュアル「プリンターソフトウエアのインストール」を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

1. [プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。

   [プリンタ]フォルダーの[NEC Color MultiWriter 9250C]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。

2. [ポート]タブをクリックする。
3. [ポートの追加]をクリックする。

4. **[利用可能なプリンタポート]で[NEC Network Port]を選び、[新しいポート]をクリックする。**

5. **[インターネットアドレス入力]ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。**

6. **[OK]をクリックする。**

7. **[閉じる]をクリックする。**

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC Network PortではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC Network Portをインストールしたクライアントコンピューターの[TCP/IPのプロパティ]設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

チェック

ドメインネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

Microsoft TCP/IP印刷(LPR)

Microsoft TCP/IP印刷(LPR)を使用した印刷を行うための方法を説明します。

重要

- Microsoft TCP/IP印刷(LPR)を使用した印刷を行うためには、プリンターに印刷データを送るWindows NT 4.0にLPR(OS添付のMicrosoft TCP/IP印刷サービス)をインストールする必要があります。
- LPRで印刷する場合、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]のチェックを外して、無効にしてください。

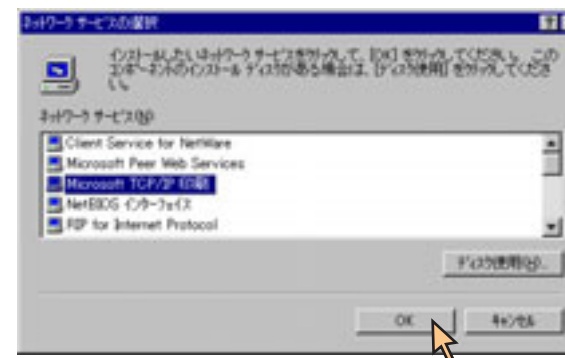
使用するコンピューターにMicrosoft TCP/IP印刷をインストールします。インストールされている場合は「プリンターの追加」へ進んでください。

Microsoft TCP/IP印刷サービスのインストール

Microsoft TCP/IP印刷を使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows NT 4.0のヘルプ「ネットワークプロトコルをインストールするには」を参照してください。Microsoft TCP/IP印刷サービスのインストール方法について説明します。

1. コントロールパネルの[ネットワーク]ダイアログボックスを開く。

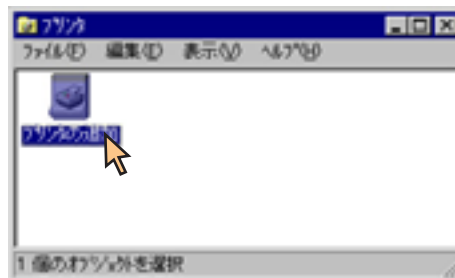
2. [サービス]シートを選択し、[追加]をクリックする。

3. [ネットワークサービス]の一覧から[Microsoft TCP/IP 印刷]を選択し、[OK]をクリックする。

4. 画面に表示される指示に従ってインストールを完了する。

次に「プリンターの追加」へ進んでください。

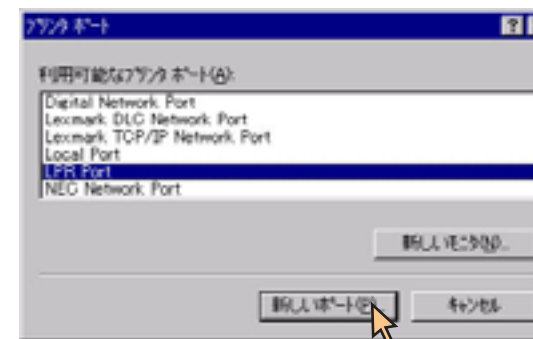
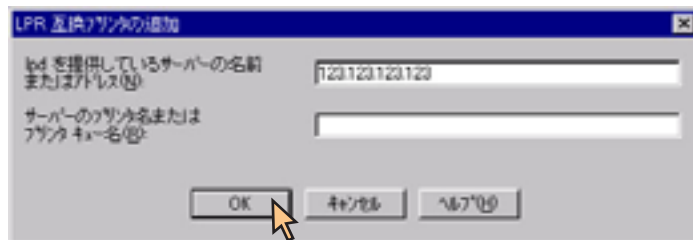
プリンターの追加

1. [プリンタ]フォルダーを開く。

2. [プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。

3. [このコンピュータ]を選択し、[次へ]をクリックする。

4. [ポートの追加]をクリックする。

5. [LPR Port]を選択し、[新しいポート]をクリックする。

[LPR Port]が表示されない場合は、[Microsoft TCP/IP 印刷]サービスをインストールしてください。

6. [lpdを提供しているサーバの名前またはアドレス]ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力し、[次へ]をクリックする。

7. [次へ]をクリックする。

8. 画面に表示される指示に従ってプリンターのインストールを完了する。

表示されるダイアログで選択するプリンター一覧に[NEC Color MultiWriter 9250C]が見つからない場合には、[ディスクを使用]をクリックして[製造元のファイルのコピー元]に、添付プリンターソフトウエアCD-ROM内の[¥CMW9250C¥DISK3]を指定し、追加してください。

以上で設定は完了です。

UNIX

UNIX環境で設定および印刷する方法について説明します。

IPアドレスの設定

UNIXマシンからIPアドレスを設定する方法には、「ping」コマンドを使って接続して設定する方法とTelnetの2つがあります。
Telnetを使ったIPアドレスの設定方法については「3 ユーティリティの詳細」の「Telnet」の「IPアドレス」を参照してください。

ここでは、「ping」コマンドを使った設定方法について説明します。あらかじめ、ホストマシン側のARPアドレス変換テーブルにプリンターのARPエントリーを作っておくことにより、IPアドレスを変更できます。

以下の手順に従ってください。

チェック

- ここで示す方法でIPアドレスを一度設定すると、LANボードを初期化しないと再度同じ方法では設定できません(「ネットワーク設定の初期化」参照)。
- LANボードの設定を初期化すると他のOSの設定もクリアされ、工場出荷時の設定に戻ります。クリアする前に、コンフィグレーションページを印刷して設定を控えておいてください(「コンフィグレーションページの印刷」参照)。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、プリンターにIPアドレスを設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーター等を介さないで接続された環境で行ってください。

1. エディタを使用して、ホストコンピューターの「/etc/hosts」ファイルにプリンターのIPアドレスとホスト名を追加する。

```
ddd.ddd.ddd.ddd <ホスト名>
```

「ddd.ddd.ddd.ddd」はプリンターの変更したいIPアドレスです。<ホスト名>はプリンター名を入力してください。

重要

設定されるプリンターのIPアドレスは設定するために使うホストと同一のネットワークアドレスでなくてはなりません。
プリンターのIPアドレスがホストと異なるネットワークアドレスの場合は、ホストのサブネットマスクを一時的に変更して、同一ネットワークにあるかのように設定し直す必要があります。

次にUNIXの/etc/hostsファイルの表示例を示します。

```
:              :           :
192.9.200.20   pr9250c     #ColorMultiWriter9250C
:              :           :
:              :           :
```

「192.9.200.20」はプリンターのIPアドレスです。

「pr9250c」はプリンターのホスト名です。

「#ColorMultiWriter9250C」はコメント文です。

2. **ホストコンピューターのアドレス変換テーブルにプリンターのエントリーを追加する。**

```
arp -s <ホスト名> <Ethernetアドレス>
```

<ホスト名>は手順1で指定したプリンターのホスト名です。<Ethernetアドレス>には、コンフィグレーションページのMAC Addressの値を入力してください。

＜実行例＞

```
arp -s pr9250c 00:00:4C:29:00:00
```

arpコマンドの詳細については、各システムのコマンドマニュアルを参照してください。

3. **pingコマンドを実行する。**

新しいIPアドレスに変更されます。

＜実行例＞

```
ping pr9250c
```

4. **コンフィグレーションページを印刷してIPアドレスが変更されたことを確認する。**

手順については、「コンフィグレーションページの印刷」を参照してください。

以上で設定は完了です。

ホストコンピューター側のセットアップ

「lprコマンド」、「ftpコマンド」のどちらを使用する場合も、プリンターのIPアドレスとホスト名のhostsファイルに登録する必要があります。

hostsファイルにIPアドレスを登録すると、ftpコマンドが使用可能になります。lprコマンドを使用する場合は、IPアドレスの登録の他に次に示す設定を行う必要があります。

lprコマンドを使用する場合

lprコマンドを使用する場合、通常ホストコンピューター側のprintcapファイルでリモートプリンターとなるプリンターを定義する必要があります。また、プリンターが持つフィルターを使う場合は、その定義も同時に行います。フィルターは以下のフィルター名の中からprintcapファイル内でコマンドオプションのrpで定義してください。

フィルター名	機　　能	
lpb	フィルターなし：	バイナリーファイルの転送に使います。
lpa	LF→CR+LF：	改行コードLF(0A)をCR+LF(0D0A)に変換します。
lpbf	lpb+FF：	ファイルの最後にFFコード(0C)を付加します。
lpaf	lpa+FF：	LFをCR+LF(0B0A)に変換しファイルの最後にFFコード(0C)を付加します。
euc	EUC→JIS：	EUCコードをプリンターJISコードに変換します。
EUC	EUC→JIS： LF→CR+LF +FF	EUCコードのプリンターJISコード変換に加えてLFコード(0A)変換とFFコード(0C)付加を行います。
sjis	Shift-JIS→JIS：	Shift-JISコードをプリンターJISコードに変換します。
SJIS	Shift-JIS→JIS： LF→CR+LF +FF	Shift-JISコードのプリンターJISコード変換に加えてLFコード(0A)変換とFFコード(0C)付加を行います。

その他未登録のフィルター名はlpbとみなされます。

（BSD系UNIXのprintcapファイルの設定例）

```
pt0¦no convert:¥
    :lp=:rm=<ホスト名>:¥
        :sd=/usr/spool/lpd0:
pt1¦ascii file:¥
    :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpa:¥
    :sd=/usr/spool/lpd1:
pt2¦binary with FF:¥
    :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpbf:¥
    :sd=/usr/spool/lpd2:
pt3¦ascii with FF:¥
    :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpaf:¥
    :sd=/usr/spool/lpd3:
```

printcapの詳細についてはホストコンピューターの取扱説明書を参照してください。

印刷方法

ホストコンピューターからプリンターへのファイルの転送には、以下の2つの方法があります。

- ftpコマンドによる転送
- lprコマンドによる転送

ftpコマンドによる転送

ftp（file transfer protocol）コマンドとは、通常UNIX上でコンピューター間のデータ転送に使用されるプロトコルで、TCP/IPの上位層に位置します。
プリンターは、このftpコマンドプロトコルで、クライアント側から転送されたファイルを受け取ることができるサーバー機能をサポートしています。
印刷ファイルは、ftpコマンドを使いプリンターに転送することで印刷されます。
サポートしているコマンドは次の3つです。

コマンド名	機　　能
binary	転送されたファイルはそのままプリンターへ送られます。
ascii	プリンターでLF（0A）をCR+LF（0D0A）に変換します。デフォルトはこのモードです。
put（send）	ファイルの転送に使用します。宛先ファイルとして「FEED」あるいは「feed」と入力すると、ファイルの最後にフォームフィードを付加します。

ファイルの転送は、次の例のようにクライアント側でftpコマンドプロトコルのコマンドを実行することにより行われます。

（ftpコマンドによるファイル転送例）

```
olive%ftp pr9250c .........（[Enter]キーを押してftpコマンドを起動します。）
Connected to pr9250c
220 ready
Name(pr9250c:) ............（[Enter]キーを押します。）
230 User logged in proceed
ftp>binary .....................（[Enter]キーを押してファイルの形式を指定します。）
200 Command okay
ftp>put data.plt ..............（[Enter]キーを押してdata.pltファイルを転送します。）
200 Command okay
250 Requested file Action okay,completed
13083 bytes sent in 0 seconds(12.78 kbytes/s)
ftp>quit..........................（ftpコマンドを終了します。）
221 Services closing control connection
olive%
```

転送方法は、ワークステーションまたはパーソナルコンピューター用ソフトウエアによって多少異なります。詳しくは、それぞれのコマンド説明書を参照してください。

lprコマンドによる転送

BSD系UNIXで標準的なリモートプリント機能（lprコマンド）を使ってプリンターにデータを出力することができます。

また、あらかじめprintcapファイルでプリンターにフィルターを登録しておくと、そのプリンターを指定するだけでプリンターに登録されたフィルターを使用してデータの出力を行うことができます。

フィルターを指定しない場合は、ホストコンピューターから受信したデータを無変換のままプリンターに出力するので、あらかじめホスト側で出力するデータの形式をプリンターに合わせておく必要があります。

プリンター名は、ホストコンピューターの/etc/printcapファイルにプリンターを登録するときに指定します。printcapの設定については、「lprコマンドを使用する場合」を参照してください。また、printcapの詳細については、ホストコンピューターのコマンド説明書を参照してください。

ホストコンピューターからは、次のようなコマンドを入力し、「Enter」キーを押してファイルを転送します。

＜表示例＞

```
lpr -Ppt0 <ファイル名>
```

チェック

ファイルの転送方法は、ソフトウエアまたはコンピューターによって多少異なります。詳しくは、それぞれのコマンド説明書を参照してください。

ネットワークで思うように印刷できないときは

ネットワーク接続上の疑問およびネットワークを介しての印刷がうまくできないときは、プリンターの故障を疑う前にこのページを参照して確認してください。

すべてのOS共通

プリンターに印刷できない。
プリンターがネットワーク上のホストコンピューターから見えない。

1. コンフィグレーションページを印刷して以下の項目を確認してください。
   → ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？
   「Link Test」の結果が「OK」であることを確認してください。
   → プリンターおよびHUBのリンクランプは点灯していますか？
   ネットワークケーブルが抜けていないか、ハブの電源がONになっているか確認してください。
   → リンクランプ（緑色）は点灯していますか？
   → ネットワーク通信速度は正しく設定されていますか？
   「10BASE/100BASE」の設定が、接続されているハブの通信速度と一致しているか確認してください。「？」と表示されているときは、HUBの通信設定を固定にするか、WWWブラウザーまたはPrintAgentプリンタ管理ユーティリティを用いてプリンターの通信設定を固定してください。
   → IPアドレス、サブネットマスクが正しく設定されていますか？
   IPアドレス、サブネットマスクを確認してください。ルータを超えた環境では、ゲートウェイアドレスを設定してください。
2. コンピューターからPingコマンドを実行し、コンピューターとプリンターが通信できるか、以下の手順に従って確認してください。
   → ＜Windows Meの場合＞
   ① ［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［MS-DOSプロンプト］を選択する。
   ② ping 123.123.123.123（「123.123.123.123」はプリンターのIPアドレス）

（例）

```
C:¥WINDOWS> ping 123.123.123.123   [return]
Pinging 123.123.123.123 with 32 bytes of data:

Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255

Ping statistics for 123.123.123.123:
     Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
     Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms
```

応答がある場合は、コンピューターの上プリンターのプロパティを開いて［印刷先］を再度、確認してください。

またプリンターの電源をOFFにして応答がないことを確認してください。プリンターの電源を入れた状態で応答がない場合は、プリンター以外の機器（コンピューター）と通信できるか確認してください。また、コンピューターおよびプリンターのIPアドレスが適切な値かどうか確認してください。

IPアドレスは、コンピューターのIPアドレスが「192.168.0.1」のとき、プリンターのIPアドレスは「192.168.0.2」のようにネットワークの番号帯が一致している必要があります。プリンターのIPアドレスが「11.22.33.44」のように番号帯が異なる場合は、一致させるようにしてください。

コンフィグレーションページが印刷されない。

→　LANボードは動作していますか？
LANボードステータスランプが点灯または点滅している場合は、再度プリンターの電源を入れ直してください。

丁合い印刷、多部数印刷ができない。
ジョブセパレートができない。

→　プリンターと双方向通信が有効でない。
PrintAgentは、IPP印刷、LPR印刷に対応していません。プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にしてください。詳しくは、ユーザーズマニュアルを参照してください。

→　丁合い印刷には、ハードディスク増設による電子ソート機能を利用することをお勧めします。詳しくは、ユーザーズマニュアルを参照してください。

→　丁合い印刷または部数印刷は、アプリケーションの設定を行ってください。

SNMP Trapがホストコンピューターに送信されない。

→　ルーターを越えた環境にSNMPマネージャのコンピューターが存在する場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要になります。

SNMPに応答がない。

→　ホストコンピューターに設定されたコミュニティ名と同じコミュニティ名をLANボードに設定してください。

Windows Me/98/95をご使用の場合

プリンターに印刷はできるが、正しく印刷されない。
印刷の途中で操作パネルに「データが残っています」と表示される。
データの最後の部分が欠けて印刷される。

→　IPアドレスが他の機器と重なっていないか確認してください。

→　プリンターのWWWブラウザー画面を開き、[印刷履歴]を設定し、不具合発生時にログにエラーが無いか確認してください。

→　プリンターのプロパティを開いてスプールの設定を「全ページ分のデータをスプールしてから印刷データをプリンタに送る」に設定してください。

→　パラレルインターフェースから正しく印刷できるか確認してください。

Windows XP/2000をご使用の場合

プリンターに印刷はできるが、正しく印刷されない。
印刷の途中で操作パネルに「データが残っています」と表示される。
データの最後の部分が欠けて印刷される。
白紙が印刷される。

→　IPアドレスが他の機器と重なっていないか確認してください。

→　プリンターのWWWブラウザー画面を開き、[印刷履歴]を設定し、不具合発生時にログにエラーが無いか確認してください。また「LPRバイカウントを有効にする」設定を有効にしてください。

→　プリンターのプロパティを開いて、スプールの設定を「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」に設定してください。

→　Standard TCP/IP Portの設定を確認してRAW（9100）になっている場合は、LPRに変更してください。

→　Standard TCP/IP PortのLPRを用いて印刷している方は、「LPRバイトカウントを有効にする」の設定を確認してください。

→　パラレルインターフェースから正しく印刷できるか確認してください。

Windows NTをご使用の場合

LPR印刷で、しばらくしてプリントマネージャに「プリンタビジーまたはエラー」と表示される。

→ 他のジョブを印刷している場合に起こることがあります。プリンターが使用中であれば、しばらく待ってからデータを送り直してください。

LPRで印刷中に、ジョブがキャンセルされる。
「エラー」と表示した状態で停止する。

→ 印刷するページを少なくしてもう一度印刷してみてください。印刷できた場合は、Windows NTのSystemディレクトリーの空き容量が少ないことが考えられます。十分な空き容量を確保してください。

LPRで大量の印刷を行うと途中で印刷が止まる場合がある。

→ 12ジョブ以上の印刷で止まる場合は、Windows NTシステムの設定による可能性があります。マイクロソフト社から提供されている「サポート技術情報」を参考にして設定を確認してください。

UNIXシステム環境でご使用の場合

lprコマンドでデータを転送したが、文字が正しくプリントされない。

→ プリンター側のエミュレーションの設定が誤っている場合があります。エミュレーションの設定を確認してください。

→ プリンターのコードに変換されていない場合があります。eucコードのフィルター設定を確認してください。フィルターの機能については、「UNIX」を参照してください。

putコマンドでデータを転送したが、最後のページが排出されない。

→ テキストファイル等の転送の場合、FFコードが付いていないことがあります。プリンター側で自動排出を設定してください。

3 ユーティリティの詳細

この章では、LANポートの設定項目を確認、変更するユーティリティー「WWWブラウザー」、「Telnet」、「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」の詳細について説明します。なお本章では、標準装備のLANポートを「LANボード」と称しています。

WWWブラウザー

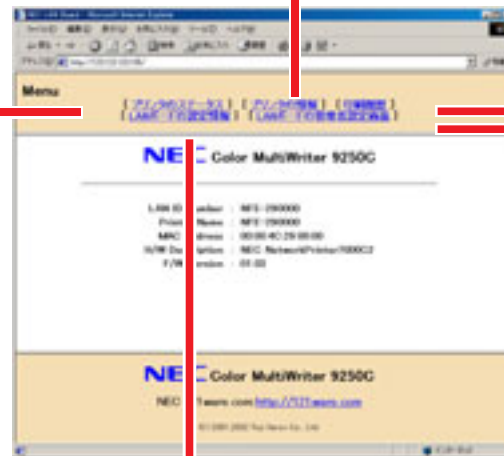
プリンターをネットワーク環境で利用するための設定を汎用のWWWブラウザーで実行する方法について説明します。WWWブラウザーでは以下の情報を設定または参照することができます。

- プリンタのステータス
- プリンタの情報
- 印刷履歴
- LANボードの設定情報
- LANボードの管理者設定画面

LANボードの管理者設定画面ではフレーム表示対応のWWWブラウザーを使用する必要があります。Microsoft® Internet Explorer 3.X以降またはNetscape Navigator 3.X以降等のフレーム対応ブラウザーをご使用ください。

次ページ以降にそれぞれの画面表示を説明します。

画面の構成

起動画面

[プリンタの情報]

[印刷履歴]

[LANボードの管理者設定画面]

[プリンタのステータス]

[LANボードの設定情報]

ヒント

画面表示は一部製品と異なる場合があります。

WWWブラウザー起動画面

LANボードに設定されたIPアドレスをWWWブラウザーのURL入力欄に入力することでLANボードのページを開くことができます。

http://ddd.ddd.ddd.ddd/

「ddd.ddd.ddd.ddd」はLANボードのIPアドレスです。

（実行例）　http://11.22.33.44/

重要

工場出荷状態または異なるネットワークアドレスのIPアドレスを設定する場合は以下のことにご注意ください。

- ホストコンピューターのルーティングテーブルにルートパスを一時的に設定する必要があります。
- 接続時はプロキシーサーバーを使用しない設定にしてください。
- プリンターとホストコンピューターがルーター等を介さないで接続された環境で行ってください。

ホストコンピューターの設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

チェック

LANボードの管理者設定画面ではフレーム表示対応のWWWブラウザーを使用する必要があります。Internet Explorer 3.X以降または、Netscape Navigator 3.X以降等のフレーム対応ブラウザーをご使用ください。

LANボードとの接続に成功すると次の画面が開きます。

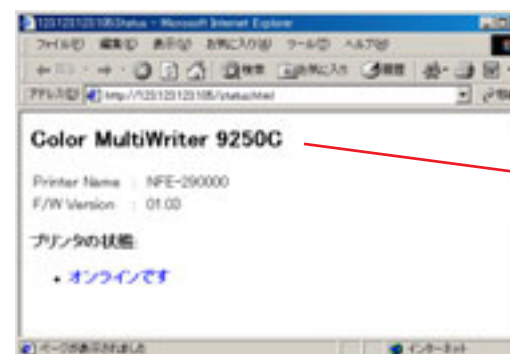
- プリンタのステータス
  プリンタのステータス画面を別画面（新規ブラウザー画面）として開きます。プリンタのステータス画面では、30秒周期にプリンターの状態を監視し、自動的に表示更新されます。
- プリンタの情報
  プリンタの情報画面を開きます。プリンターの状態、プリンターの給紙ユニット情報、および用紙情報を参照することができます。
- 印刷履歴
  プリンタの印刷履歴画面を開きます。LANボード経由で印刷した印刷履歴を画面上で見ることができます。
- LANボードの設定情報
  LANボードの設定一覧画面を開きます。LANボード背面のコンフィグレーションページ印刷ボタンを押すと得られる情報を画面上で参照することができます。
- LANボードの管理者設定画面
  管理者設定画面を開きます。LANボードの設定確認、変更を行う画面です。

- LAN ID Number
  LANボードの固有の名称です。
- Printer Name
  ネットワーク上から見たプリンターの名前です。半角大文字の英数字、ハイフン「ー」、アンダーバー「__」が使用可能です。
- MAC Address
  プリンターに接続しているネットワークオプション固有のネットワークアドレスです。
- H/W Description
  プリンターに接続しているネットワークオプションの種別です。
- FW Version
  LANボードのファームウエアバージョンです。

各メニューの詳細

起動画面から選択するメニューの詳細について説明します。

プリンタのステータス

プリンタのステータス画面では、プリンターの状態が表示されます。
この画面は起動画面とは別の新規ブラウザーとして起動されます。

LANボードが接続されたプリンターのモデル名を示します。

- プリンター名
  LANボードに登録されたプリンター名を示します。
- ステータス
  30秒周期にプリンターの状態を監視し、状態が自動的に更新されます。

チェック

- 状態表示の周期は変更できません。
- プリンター名はLANボードの管理者設定画面で変更することができます。

プリンタの情報

プリンタの情報画面では、プリンターの状態、構成情報が表示されます。

- プリンタ言語一覧
  プリンターがサポートしている処理言語を一覧表示します。
- プリンタ状態
  プリンターの情報画面を開いたときのプリンターの状態が表示されます。

> チェック
> ステータスはWWWブラウザー表示の更新が行われるまで表示変更されません。

- プリンタ構成
  プリンターの給紙ユニット情報、用紙サイズ、および用紙の有無が表示されます。

印刷履歴

印刷履歴画面では、LANボード経由で印刷した印刷履歴が表示されます。

- Protocol：　印刷アプリケーションプロトコルを示します。
- Source Host：　ホストコンピューターのアドレスです。
- Size [byte]：　プリンターが受信したデータサイズを示します。
- Result：　通信結果を示します。
- Jobs：　印刷時に受信した印刷ジョブの待ち行列を示します。

> チェック
> - プリンターの印刷履歴を表示する場合は、印刷履歴を記録するための設定変更が必要です。工場出荷時の設定では[記録しない]になっています。
> - 印刷履歴を記録するための設定変更は、LANボードの管理者設定画面で行います。

LANボードの設定情報

LANボードの設定情報画面では、LANボードに設定されている登録情報一覧を参照することができます。

この画面は、コンフィグレーションページより得られる印刷出力情報を画面に表示したものです。

LANボードの管理者設定画面

LANボードの管理者設定画面では、LANボードの設定確認、設定変更を行うことができます。

- LAN
- TCP/IP
- SNMP
- SMTP
- Password

チェック

- パスワードの変更に関してはPassword設定画面を参照してください。
- LANボード出荷時のパスワードは、「NECPRADMIN」です。
- パスワードを忘れた場合は、LANボードの設定を初期化し、工場出荷時の設定に戻してください。その場合は、他の設定も工場設定値に戻るため、再設定が必要です。LANボードの初期化については、「ネットワーク設定の初期化」を参照してください。

設定項目は大きく次の6つに分かれています。

- LAN

  [LANボードの基本設定画面]が表示され、LANボード固有の基本設定を行います。

- TCP/IP

  [TCP/IP設定画面]が表示され、IPアドレス設定等、ネットワーク接続に必要な設定を行います。

- SNMP

  [SNMP設定画面]が表示され、SNMP管理プロトコルを使用する場合に、必要な設定を行います。

- SMTP

  [SMTP設定画面]が表示され、レーザープリンターのトナー残量が少なくなった場合に電子メールを送信する設定を行います。

- 利用情報

  [利用情報 設定画面]が表示され、利用情報の設定を行います。

- Password

  [Password設定画面]が表示され、設定を変更するときに入力するパスワードの変更が行えます。

チェック

設定の登録は大きく分かれた個々のブロック単位で行います。設定変更後に[設定]を押して登録を行ってください。

LANボードの基本設定画面

- プリンタ名
- デュプレックスモード
- 通信速度
- 印刷ログ設定
- Password

プリンタ名

LANボード固有の名前を登録することができます。
登録可能な文字列は半角大文字の英字、数字、ハイフン「-」、およびアンダーバー「_」です。

デュプレックスモード

スイッチングハブ接続時のパケットの送受信設定を行います。

- Full Duplex(全二重通信)

  パケットの送受信を同時に行うことができます。

- Half Duplex(半二重通信)

  パケットの送受信をそれぞれ別々に実行します。

チェック

「通信速度」で「自動選択」が選ばれているときはデュプレックスモードの設定は無効となり自動選択になります。

通信速度

LANボードの通信速度の設定を行います。

- 自動選択

  10BASE-Tまたは100BASE-TXを自動判別し、通信速度を決定します。本設定選択時は、デュプレックスモードも自動判別し、決定します。

- 10BASE-T

  10BASE-T固定の接続設定になります。

- 100BASE-TX

  100BASE-TX固定の接続設定になります。

10BASE-Tまたは100BASE-TX選択時は、デュプレックスモードの設定が有効になります。

印刷ログ設定

LANボード経由の印刷履歴を記録するための設定を行います。

- 記録する（自動排出）

  印刷履歴を記録するとともに、最大登録ジョブ数を超えて印刷すると、自動的に印刷履歴を印刷出力します。

  最大登録ジョブ数：50

- 記録する（上書き）

  印刷履歴を記録するとともに最大登録ジョブ数を超えて印刷すると、一番古いジョブから削除（上書き）されます。

- 記録しない

  印刷履歴は記録されません。

チェック

- 印刷履歴はLANボードの電源切断時またはリセット時にすべてクリアされ、内部に保持されません。
- IPアドレス等の設定を変更した場合もクリアされます。
- 設定を［記録する］から［記録しない］に変更した場合、LANボードが保持している印刷履歴を印刷してから設定が変更されます。

Password

パスワードを入力します。

TCP/IP設定画面

TCP/IPに関する設定を行います。

- DHCP
- IPアドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイ
- FTPタイムアウト
- 最大セッション数
- 通信タイムアウト
- AutoIp設定（PING）
- KeepAlive
- Password

DHCP

LANボードのIPアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得する機能を使用するかしないかを設定します。［使用する］選択時にDHCPが有効となります。DHCPの詳細については「DHCPによる設定」を参照してください。

IPアドレス

LANボードのIPアドレスを設定します。

重要

工場出荷状態または異なるネットワークアドレスのIPアドレスを設定する場合は、次のことに注意してください。

- ホストコンピューターのルーティングテーブルにルートパスを一時的に設定する必要があります。
- 接続時はプロキシーサーバーを使用しない設定にしてください。
- プリンターとホストコンピューターがルーター等を介さないで接続された環境で行ってください。
- 異なるIPアドレスを設定すると応答が返らなくなります。一度、WWWブラウザーを閉じて正しいIPアドレスをURLに指定してください。

サブネットマスク

LANボードのサブネットマスクを設定します。

ゲートウェイ

ゲートウェイアドレスを設定します。

チェック

- ゲートウェイアドレスの設定はSNMPのTrap機能および電子メール配信機能を使用する場合に必要です。
- 使用しないときは｢0.0.0.0｣を登録してください。

FTPタイムアウト

FTPログイン時のタイムアウト時間を設定します。

設定範囲　：5〜60（分）
初期値　：10（分）

最大セッション数

TCP/IPの最大接続数を設定します。
この設定はすべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象となります。

設定範囲　：1〜64
初期値　：64

通信タイムアウト

TCP/IP接続時にホストコンピューターから応答がない場合のタイムアウト時間を設定します。

設定範囲　：30〜7200（秒）
初期値　：120（秒）

AutoIp設定（PING）

UNIXコマンドによるIPアドレス設定時にPINGによるIPアドレス設定を許可するかしないかを設定します。

[設定する]選択時にPINGによる設定変更が可能です。

KeepAlive

[通信タイムアウト]で設定した時間が経過した場合に、ホストコンピューターにキープアライブパケットを送信するかしないかを設定します。

キープアライブパケット送信時にホストコンピューターから対応がある場合は、TCP/IP接続が維持されます。[使用する]選択時にキープアライブパケットが送信されます。

Password

パスワードを入力します。

SNMP設定画面

- 認証されたコミュニティ名
- Trapの設定

認証されたコミュニティ名

Get Request、Set Requestコマンド通信に必要なコミュニティ名を設定します。
コミュニティ名には異なる名称を最大4つまで登録できます。

Trapの設定

Trap送信先のTrapマネージャの登録を最大4つまで行うことができます。
それぞれのTrapマネージャに対し、以下の設定が必要です。
[使用する]選択時に有効となります。

- IPアドレス
  Trap送信するホストコンピューターのIPアドレスを設定します。
- コミュニティ名
  ホストコンピューターがTrapを受け付けるコミュニティ名を設定します。

チェック

Trap送信先ホストコンピューターのIPアドレスのネットワークアドレスがLANボードのネットワークアドレスと異なる場合はゲートウェイアドレスの設定が必要です。
TCP/IP設定の[ゲートウェイアドレス]欄でゲートウェイアドレスを設定してください。

SMTP設定画面

プリンターのトナー残量が少なくなると、電子メールを送信して通知します。

- トナーの残量が少ないとき、メールで通知
- メールサーバーのIPアドレス
- To:のメールアドレス
- Cc:のメールアドレス
- From:のメールアドレス
- メール本文
- Password

トナーの残量が少ないとき、メールで通知

プリンターのトナーの残量が少ない場合に電子メールを送信するかしないかを設定します。[する]を選択している場合に、有効となります。

チェック

- トナーの残量が少なくなった初期の状態において、プリンター側のセンサーの状況により、数回電子メールが送信される可能性があります。
- 電子メール送信後、トナーの補給またはカートリッジの交換が行われる前に送信先メールアドレスなどのパラメーターが変更されると、再度、電子メールが送信されます。
- メールは4種類のトナーのうちいずれかのトナーが少なくなると通知されます。また、あるトナーが少ない状態で別のトナーが少なくなったときは通知されません。

メールサーバーのIPアドレス

メールサーバーのIPアドレスを設定します。

メールサーバーのIPアドレスのネットワークアドレスがLANボードのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。TCP/IP設定画面の[ゲートウェイアドレス]ボックスでゲートウェイアドレスを設定してください。

To:のメールアドレス

電子メール送信先のメールアドレスを入力します。

メールのSubjectは以下で固定です。

Subject: [NECNIC Report] Printer low-toner

Cc:のメールアドレス

電子メール送信先の写しが必要な場合にメールアドレスを入力します。

From:のメールアドレス

電子メール送信元のメールアドレスを変更します。初期値として「PRN@domain-name」が設定されています。必要に応じて、送信元アドレスの変更を行ってください。

チェック

From：送信元アドレスを入力する場合
「ユーザー名@ドメイン名」の形式で必ず入力してください。
「@」がない場合や「@」の前後に文字列がない場合は入力エラーとなり、設定変更されません。

メール本文

電子メールの本文に記載するコメントを入力します。3行まで入力できます。各行ともに最大80文字(80バイト)、計240文字の入力可能です。

チェック

本文として使用可能な文字列は、ASCIIコード：0020h～0007Eh(16進)の範囲に限ります。ただし、以下の文字コードは使用することができません。

- “ (0022h)
- & (0026h)
- ; (003Bh)
- < (003Ch)
- > (003Eh)

Password

パスワードを入力します。

Password設定画面

設定変更するときに入力するパスワードの変更方法を説明します。

- 現在のパスワード入力
- 新しいパスワード入力
- 新しいパスワード再入力

画面の指示に従い、以下の3つのパスワードをすべて入力して新しいパスワードの登録を行ってください。

- 現在のパスワード入力
- 新しいパスワード入力
- 新しいパスワード再入力

ヒント

LANボード出荷時のパスワードは、「NECPRADMIN」です。

チェック

- パスワードとして使用可能な文字列は半角英字、数字、ハイフン「-」、およびアンダーバー「_」です。
- 英字の大文字と小文字は区別されます。
- WWWブラウザーからのパスワード変更によりTelnetのログインに必要なパスワードも同時に変更されます。

  Telnetによるパスワード設定に関しては「Telnet」を参照してください。
- 新しいパスワードは、次回のログイン時から有効になります。
- パスワードを忘れた場合は、LANボードの設定を初期化し、工場出荷時の設定に戻してください。その場合は、他の設定も工場設定値に戻るので、再設定が必要です。LANボードの初期化に関しては「ネットワーク設定の初期化」を参照してください。

Telnet

ネットワーク環境で利用するための設定をTelnetで変更する方法について説明します。Telnetで接続(ログイン)すると以下の情報を設定または参照することができます。

- IPアドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイアドレス
- SNMP
- パスワード
- LANボード管理情報

チェック

- Telnetでログインする際はパスワードの入力が必要です。
- パスワードの設定に関しては「パスワード」を参照してください。
- Telnetでログインできるユーザーは1人です。2人以上で同時にログインすると最初にログインしたユーザーのみ受け付けます。

Telnet起動画面

Telnetを使用して設定を変更することができます。

1. **ログインを希望するLANボードのIPアドレスを指定して、「Enter」キーを押す。**

```
Telnet ddd.ddd.ddd.ddd
```

「ddd.ddd.ddd.ddd」はLANボードのIPアドレスです。

```
(実行例)
Telnet 11.22.33.44
```

チェック

LANボードのIPアドレスがホストコンピューターと異なるネットワークアドレスの場合、ホストコンピューターのルーティングテーブルにルート・パスを一時的に設定する必要があります。
設定に関しては、ホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

2. **パスワードを入力する。**

```
Connected to:11.22.33.44
Password:
```

チェック

- パスワードに関しては「パスワード」を参照してください。
- パスワード入力を間違うと、Telnetからログアウトされます。
- LANボード出荷時のパスワードは「NECPRADMIN」です。

セットアップのメインメニューが表示されます。

```
Main Menu
---------
1.      IP Address
2.      Subnet Mask
3.      Gateway Address
---------
4.      SNMP setting
---------
5.      Password
6.      Management
---------
S.      Save (Disconnect and Save parameters)
Q.      Quit
Type Any No.>
```

3. 各メニューにはサブメニューがあります。設定変更を行いたい項目の番号を[Type Any No.>]の後に入力する。

各メニューの設定については、それぞれのページを参照してください。

すべての内容の変更または内容の確認が終わったら、Telnetをログアウトします。

4. [Type Any No.>]の後に「S」か「Q」を入力し、「Enter」キーを押してログアウトする。

「S」入力：　設定変更した内容をLANボードに登録してTelnetをログアウトします。

「Q」入力：　設定変更した内容をLANボードに登録せずにTelnetをログアウトします。この場合、Telnetログイン前の設定が保持されます。

チェック

- 印刷データ受信中に「S」入力により設定変更を行うと、受信済みのすべての印刷処理終了後に設定変更が行われます。
- 設定変更時はLANボードのリセットが実行されます。リセット処理中はTelnetによるログインはできません。

各メニューの詳細

起動画面から選択するメニューの詳細について説明します。

IPアドレス

LANボードのIPアドレスを設定します。

1. メインメニューで「1」を入力し、「Enter」キーを押す。

以下のように表示されます。

```
Current IP Address: 11.22.33.44
DHCP: OFF
1.  Change IP Address
2.  DHCP On/Off
3.  Exit
Type Any No.>
```

2. 直接IPアドレスを設定変更する場合は「1」を、DHCP設定を変更する場合は「2」を入力し、「Enter」キーを押す。

DHCPの詳細については「1 IPアドレスの設定」の「DHCP」を参照してください。

3. 設定内容を保存してログアウトする。

サブネットマスク

LANボードのサブネットマスクを設定します。

1. メインメニューで「2」を入力し、「Enter」キーを押す。

   以下のように表示されます。

```
Current Subnet Mask: 255.0.0.0
1.  Change
2.  Exit
Type Any No.>
```

2. 「1」を入力し、「Enter」キーを押す。

3. 変更するサブネットマスクを入力する。

4. 設定内容を保存してログアウトする。

ゲートウェイアドレス

ゲートウェイアドレスを設定します。

1. メインメニューで「3」を入力し、「Enter」キーを押す。

   以下のように表示されます。

```
Current Gateway Address: 0.0.0.0
1.  Change
2.  Exit
Type Any No.>
```

2. 「1」を入力し、「Enter」キーを押す。

3. 変更するゲートウェイアドレスを入力する。

4. 設定内容を保存してログアウトする。

ゲートウェイアドレスの設定はSNMPのTrap機能および電子メール配信機能を使用する場合に必要です。
使用しないときは「0.0.0.0」を登録してください。

SNMP

SNMPの通信には、次の設定が必要です。以下の手順に従ってSNMPを設定してください。

- SNMP Trapの設定
  SNMP Trapマネージャーの登録を最大4つまで行えます。
- コミュニティ名の設定
  GetRequest、SetRequestコマンド通信に必要なコミュニティ名を設定します。コミュニティ名には最大4つまで異なる名称を登録できます。

1. **メインメニューで「4」を入力し、「Enter」キーを押す。**

以下のように表示されます。

```
SNMP Setting
1.  1st SNMP Trap Manager
2  2nd SNMP Trap Manager
3.  3rd SNMP Trap Manager
4.  4th SNMP Trap Manager
5.  Authentic Community
6.  Exit
Type Any No.>
```

2. **SNMP Trapの設定の場合は、「1」～「4」を、コミュニティ名の設定の場合は「5」を入力し、「Enter」キーを押す。**

設定についてはそれぞれのページを参照してください。

3. **設定内容を保存してログアウトする。**

SNMP Trapの設定

[1. 1st SNMP Trap Manager]～[4. 4th SNMP Trap Manager]を選択した場合は、以下のように表示されます。

```
1.  1st SNMP Trap Manager
Trap                      :  Off
Currenet IP Address       :  0.0.0.0
Current Community Name    :  public
1.  Trap On/Off
2  Change IP Address
3.  Change Community Name
4.  Exit
Type Any No.>
```

上段に現在の設定が表示されます。

1. **SNMP Trapを使用する場合、[1. Trap On/Off]の設定を[On]にする。**

2. **Trap送信先ホストのIPアドレスを設定する。**

「2」、「Enter」キーを押して、IPアドレスを入力してください。

3. **Trap送信のコミュニティ名を設定する。**

「3」、「Enter」キーを押して、コミュニティ名を入力してください。

Trap送信先ホストのIPアドレスのネットワークアドレスがLANボードのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。「ゲートウェイアドレス」を参照してゲートウェイアドレスを設定してください。

コミュニティ名の設定

[5. Authentic Community]を選択した場合は、以下のように表示されます。

```
Authentic Community
1.   Authentic Community1: public
2.   Authentic Community2: public
3.   Authentic Community3: public
4.   Authentic Community4: public
5.   Exit
Type Any No.>
```

現在登録されているコミュニティ名が右側に表示されます。
変更したいコミュニティ名の番号を選択して新しいコミュニティ名を入力してください。

パスワード

Telnetでログインする際に入力するパスワードの変更方法について説明します。
LANボード出荷時のパスワードは、「NECPRADMIN」です。

チェック

- パスワードとして使用可能な文字列は、半角英字、数字、ハイフン「-」、およびアンダーバー「_」です。
- 英語の大文字と小文字は区別されます。
- Telnetのパスワードを変更すると、WWWブラウザーから設定する場合に必要なパスワードも同時に変更されます。WWWブラウザーからの設定に関しては、「WWWブラウザー」を参照してください。

1. **メインメニューで[Type Any No.>]の後に「5」を入力し、「Enter」キーを押す。**

2. **パスワードを入力する。**

パスワードの変更時は入力ミスを防ぐために2回同じパスワードを入力します。画面の指示に従って新しいパスワードを入力してください。

チェック

- 新しいパスワードは、次回のログイン時から有効になります。
- パスワードを忘れた場合は、LANボードの設定を初期化し、工場出荷時の設定に戻してください。その場合は、他の設定も工場設定値に戻るため、再設定が必要です。LANボードの初期化に関しては「ネットワーク設定の初期化」を参照してください。

LANボード管理情報

Telnetにより、LANボードが管理する次の情報を参照または変更することができます。

- LANボード設定情報一覧
  テストページの「LANステータス」で得られる情報を画面上で参照することができます。
- 印刷履歴の確認
  LANボード経由で印刷した印刷履歴を画面上で参照することができます。

チェック

- 印刷履歴の確認を行う場合は、印刷履歴を記録するための設定変更が必要です。工場出荷時は[記録しない]に設定されています。
- 印刷履歴の設定変更はWWWブラウザー(「WWWブラウザー」参照)または付属のPrintAgentプリンタ管理ユーティリティ(「3 ユーティリティの詳細」の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」参照)から行います。

- 画面表示ライン数の変更
  LANボード設定情報一覧、印刷履歴を参照する場合の画面表示ライン数を変更することができます。

メインメニューで[Type Any No.>]の後に「6」を入力し、「Enter」キーを押すと以下のように表示されます。

```
Management Menu
1.  Display Configuration Data
2.  Display Printing Log Data
3.  Change Display Line Number
4.  Exit
Type Any No.>
```

以下の場合は、それぞれのページを参照してください。

LANボード設定情報一覧を参照する場合 ....「LANボード設定情報一覧」
印刷履歴を参照する場合 ....「印刷履歴の確認」
Telnet画面表示ライン数を変更する場合 ....「画面表示ライン数の変更」

LANボード設定情報一覧

[1. Display Configuration Data]を選択すると、コンフィグレーションページの情報が画面に表示されます。
表示内容は「コンフィグレーションページの印刷」を参照してください。

印刷履歴の確認

[2. Display Printing Log Data]を選択すると、LANボード経由で印刷した印刷履歴を画面に表示します。

印刷履歴がない、印刷履歴の記録設定がされていない場合は以下のように表示されます。

```
There is no log data.
```

印刷履歴が存在する場合は以下のように表示されます。

```
NEC Printing History

Protocol   Source Host      Size [byte]    Result     Jobs
-------------+------------------+-----------------+-------------+------------
9100       123.123.123.1             12   OK            1
ftp        123.123.123.2            123   Timeout       1
lpr        123.123.123.3           1234   OK            1
http       123.123.123.4          12345   Error         1
```

- Protocol ：印刷アプリケーションプロトコルを示します。
- Source Host ：ホストコンピューターのアドレスです。
- Size [byte] ：プリンターが受信したデータサイズを示します。
- Result ：通信結果を示します。
- Jobs ：印刷時に受信した印刷ジョブの待ち行列を示します。

チェック

- 印刷履歴はLANボードの電源切断時またはリセット時にすべてクリアされ、内部に保持されません。
- IPアドレス等の設定を変更した場合もクリアされます。

画面表示ライン数の変更

[3. Change Display Line Number]を選択すると、LANボード設定情報一覧、印刷履歴を参照する場合の画面表示ライン数を変更することができます。工場出荷時の表示ライン数は[20]です。画面に現在の表示ライン数が表示されますので、新しい表示ライン数を入力してください。

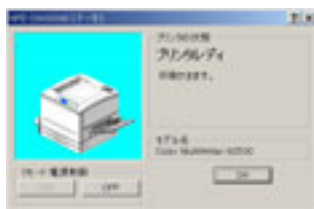
PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

ここではPrintAgentプリンタ管理ユーティリティで画面左のツリービューで[NECプリントサーバ]を選択している場合の特長や使用できる環境について説明します。また、ここで説明している環境はWindows Me 日本語版です。

ユーティリティの特長

LANボードを標準実装したプリンターやオプションのLANボード・LANアダプターを接続しているプリンターのネットワーク設定や状態の確認をネットワーク上のコンピューターから行うユーティリティーです。
このユーティリティーは、プリンター管理者向けのツールとして以下のような設定やプリンター運用時の監視機能を提供しています。ただし、ご使用のLANボード・LANアダプターにより、その内容は異なります。

- ネットワークプリンターの一覧の確認

- プリンターの状態の確認

- IPアドレスの設定
- プリンターの構成
- リモート電源制御(PR-NP-03TR2装着時)

対象プリンター

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティの対象となるプリンターはイーサネットコネクターを標準で装備したプリンターです(Color MultiWriter 9400CやColor MultiWriter 9250Cなど)。ただし、本ユーティリティに対応していないプリンターもあります。その場合はプリンターに添付のユーティリティを使用してください。

また、以下に示すネットワークオプションが使用できるプリンターも対象となります。

- PR-WL-12 無線LANボード(TCP/IP)
- PR-WL-11 無線LANプリンタボード(TCP/IP)
- PR-WL-01 無線LANプリンタアダプタ(TCP/IP)
- PR-NP-01T2 LANボード(TCP/IP)(PR-NP-01T後継品)
- PR-NP-02T2 LANアダプタ(TCP/IP)(PR-NP-02T後継品)
- PR-NP-03TR2 LANアダプタ(TCP/IP)(PR-NP-03TR後継品)
- PC-PR-L01 マルチプロトコルLANボード(PR2200NW2-08後継品)
- PC-PR-L02 マルチプロトコルLANボード
- PC-PR-L03 マルチプロトコルLANボード(PR2000/6W-08後継品)
- PC-PR-L04 マルチプロトコルLANアダプタ(PR1000EW-01後継品)

使用上のご注意

プリンタ管理ユーティリティをご使用になるときは、以下の点に注意してください。

- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティをインストールする前にコンピューターのネットワーク設定(IPアドレスなど)がすでに行われていることを確認してください。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティとLANボード、LANアダプターに添付のWindows 3.1用ネットワークプリンタユーティリティを同時に実行しないでください。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを起動していることにより、メモリー不足で他のアプリケーションソフトウエアが実行できない場合は、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを終了してください。
- Windows XPでご使用になる場合、アカウントの種類を[コンピュータの管理者]のユーザーでログインしてください。
- Windows 2000またはWindows NT 4.0でご使用になる場合、Administratorsの権限を持ったユーザーでログインしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログインした場合には設定を行えません。
- LANポートへの設定は、LANポートと同一ネットワークに接続されたコンピューターを使用してください。
- Windows 2000で、IPX/SPX互換トランスポートを使用する場合、ネットワーク上にNetWareサーバーが起動している必要があります。NovellのNetWareクライアントソフトウエアをインストールすることで一部の機能が有効になります([NetWare]シート参照)。
- オプションのLANアダプターに添付のPrintAgentプリンタ管理ユーティリティをすでにご使用の場合は、これを削除(アンインストール)した後、プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているPrintAgentプリンタ管理ユーティリティをインストールしてください。アンインストール方法については、オプションのLANアダプターに添付の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ取扱説明書」をご覧ください。

ご利用までの手順

プリンタ管理ユーティリティがネットワークで使用できるようになるまでの手順は以下のとおりです。

1. **使用環境を確認する。**

   プリンターとPrintAgentプリンタ管理ユーティリティをインストールするコンピューターが使用環境に合っていることを確認してください。

2. **イーサネットコネクター標準装備のプリンターを接続する。**

   ケーブルの接続方法などは、プリンターに添付のユーザーズマニュアルをご覧ください。

3. **プリンタ管理ユーティリティをインストールする。**

   PrintAgentプリンタ管理ユーティリティをコンピューターにインストールします。インストールは、PrintAgentのインストール時に[管理者向けカスタムインストール]を選択し、[プリンタ管理ユーティリティ]にチェックを付けることで行います。

   プリンターソフトウエアのインストールプログラムで後から追加インストールを行ったり、削除することができます。詳細については、ユーザーズマニュアルをご覧ください。

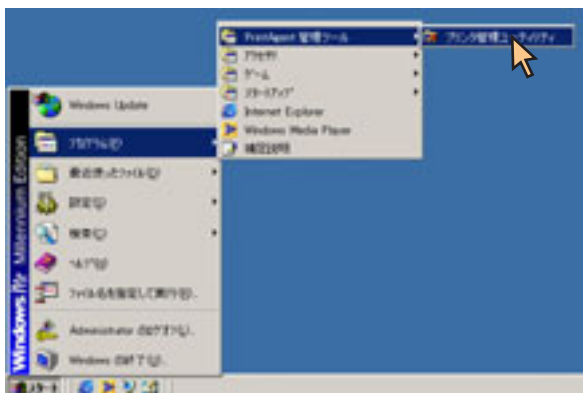
4. **プリンターを登録する。**

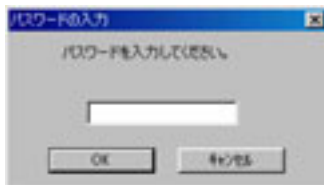
   PrintAgentプリンタ管理ユーティリティにプリンターを登録します。

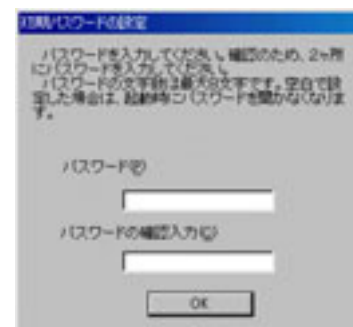
プリンターの登録

プリンタ管理ユーティリティを使ってLANポートの設定を行うためにプリンターの登録を行います。新規にLANポートをネットワークに接続した場合は、このプリンターのコンフィグレーションページの印刷結果にあるMACアドレス等も参照してください。コンフィグレーションページの印刷方法については、「コンフィグレーションページの印刷」を参照してください。

1. プリンタ管理ユーティリティを起動する。

［スタート］をクリックし、［プログラム］、［PrintAgent管理ツール］をポイントします。次に［プリンタ管理ユーティリティ］をクリックします。

2. パスワードの入力、設定をする。

パスワードを既に設定している場合は、パスワードを入力するダイアログボックスが表示されますので、パスワードを入力してください。

パスワードの設定をたずねるダイアログボックスが表示されます。

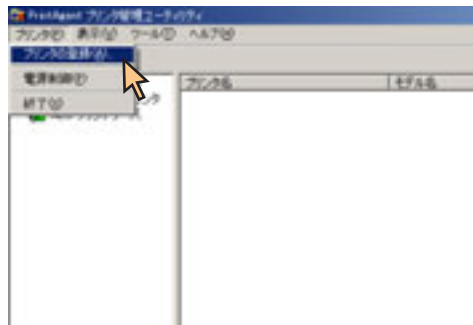
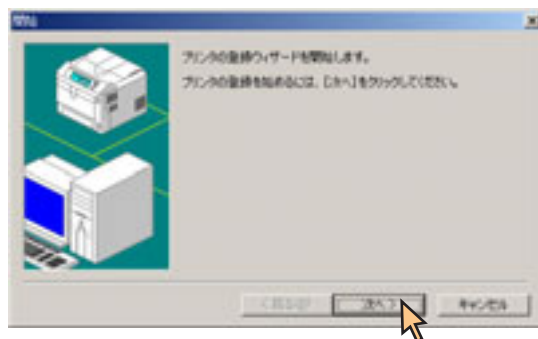
［はい］をクリックするとパスワードの設定ウインドウが表示されます。パスワードは、半角の英数文字で8文字まで入力できます。

パスワードが不要の場合は、［いいえ］をクリックしてください。後から［ツール］メニューの［パスワードの変更］で設定できます。

3. 左側のツリーメニューで[NEC プリントサーバー]をクリックする。

プリンターを登録していない場合、プリンターを登録するかどうかの［確認］ダイアログボックスが表示されるので、どちらかをクリックしてください。

［はい］をクリックして手順5に進んでください。すでにプリンタが登録されている場合には、本ダイアログボックスは表示されません。手順4に進んでください。

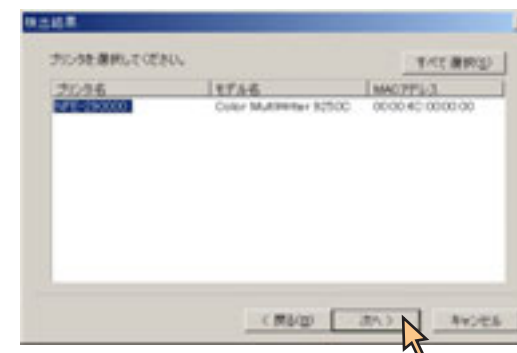
4. [プリンタ]メニューから[プリンタの登録]をクリックする。

[プリンタの登録]ウィザードが開始されます。

5. [次へ]をクリックする。

6. 設定するプリンターを自動で検索するか、マニュアルで検索するかを選び、[次へ]をクリックする。

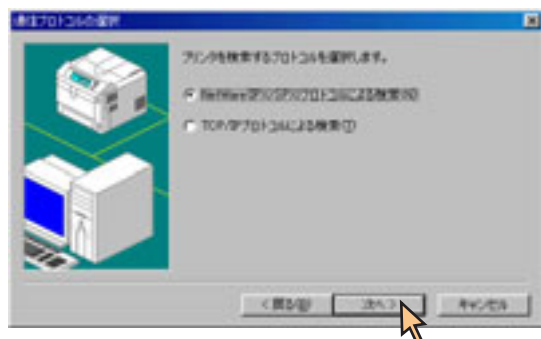
[はい]を選ぶと、ネットワーク内で登録されていないプリンターを自動的に検索します。手順7に進んでください。

[いいえ]を選ぶと、プロトコル、MACアドレスなどを入力して検索します。手順8に進んでください。

7. 登録したいプリンターを選び、[次へ]をクリックする。

手順17に進んでください。

8. LANポートと通信するプロトコルを選び、[次へ]をクリックする。

「NetWare（IPX/SPX）プロトコルによる検索」を選んだ場合は、手順9に進んでください。

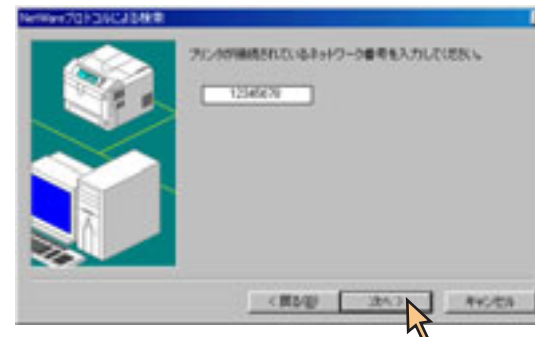
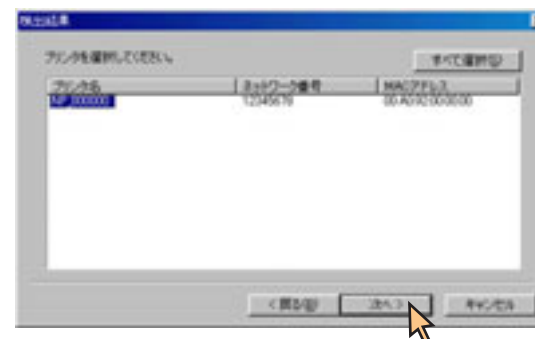
「TCP/IPプロトコルによる検索」を選んだ場合は、手順13に進んでください。

9. プリンターの検索方法を選び、[次へ]をクリックする。

「ネットワークに接続されているプリンタを検索」を選んだ場合は、手順10に進んでください。

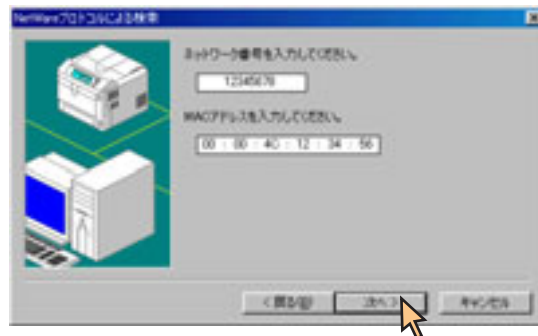
「ネットワーク番号とMACアドレスを指定して登録」を選んだ場合は、手順12に進んでください。

10. ネットワーク番号を入力して、[次へ]をクリックする。

✔チェック

存在しないネットワーク番号を入力しないでください。入力すると動作が遅くなることがあります。

11. 登録したいプリンターを選び、[次へ]をクリックする。

手順17に進んでください。

12. ネットワーク番号とMACアドレスを入力して、[次へ]をクリックする。

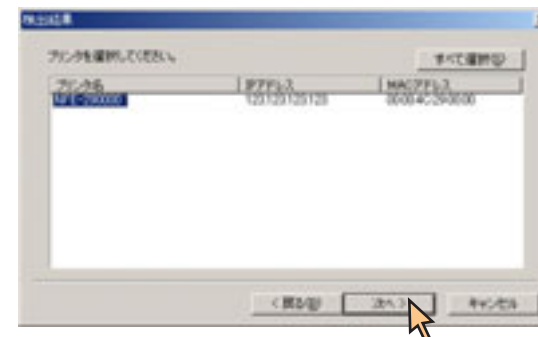
手順17に進んでください。

13. プリンターの検索方法を選び、[次へ]をクリックする。

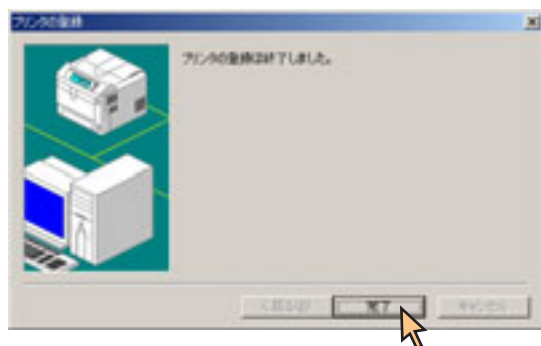
「ネットワークに接続されているプリンタを検索」を選んだ場合は、手順14に進んでください。

「IPアドレスとMACアドレスを指定して登録」を選んだ場合は、手順16に進んでください。

14. ブロードキャストアドレス、またはIPアドレスを入力して[次へ]をクリックする。

15. 登録したいプリンターを選び、[次へ]をクリックする。

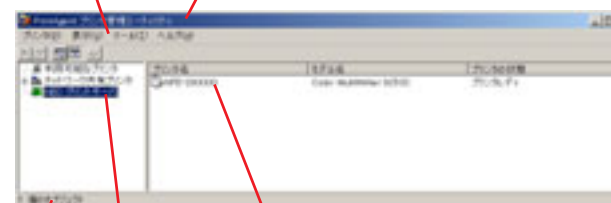
手順17に進んでください。

16. IPアドレスとMACアドレスを入力し、[次へ]をクリックする。

17. [完了]をクリックする。

以上でプリンターの登録は完了です。

LANポートの設定

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティのメニュー

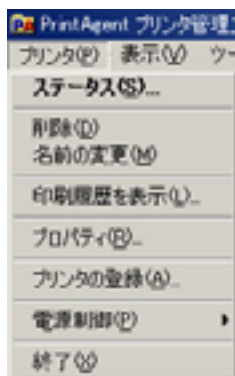
PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを起動すると以下のウィンドウが表示されます。

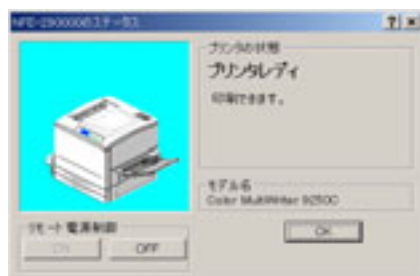
ツールバー
メニューの項目をアイコン化したものです。選んだプリンター、接続形態によって表示は異なります。

ツリービュー：　ネットワーク内のプリンターがどのように接続されているかをツリー形式で表示します。
利用可能なプリンタ：　ネットワークに接続されているプリンターのうち実際にコンピューターにプリンタードライバーがインストールされているプリンターです。
ネットワーク共有プリンタ：　ネットワーク内で共有に出されているすべてのプリンターです。
NECプリントサーバ：　イーサネットコネクターを標準装備したNEC製プリンター、またはNEC製のLANボード、LANアダプターを使ってネットワーク接続されているプリンターです。

ヒント

各メニューのコマンドをポイントするとステータスバーに簡単な説明が表示されます。詳細な説明が必要な場合はヘルプをご覧ください。

[プリンタ]メニュー

リストビューでプリンターを選んでいるときに実行できる機能は次のとおりです。

- ステータス

  以下のようなプリンターのステータス画面を表示します。プリンターのステータス画面ではプリンターの状態、モデル名、プリンターの構成が表示されます。この画面は、ツールバーの[ステータス]ボタンをクリックしても表示することができます。

- 削除

  選択したプリンターを削除します。ツールバーの[削除]ボタンをクリックしても同じ機能を実行することができます。

- 名前の変更

  選択したプリンターの[プリンタ名]ボックスがハイライトし、名前を変更することができます。デフォルトでは[LANボード]シートのプリンター名と同じ名前が表示されますが、任意の名前に変更できます。また、ここでの変更は[LANボード]シートのプリンター名には影響しません。

- 印刷履歴を表示

  ネットワーク経由で印刷した履歴を表示します。

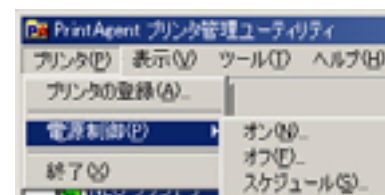
- プロパティ

  選択したプリンターの設定(LANボードまたはLANアダプター接続時は、これらの設定)を変更することができます。プロパティの内容については「[プロパティ]ダイアログボックス」をご覧ください。

- プリンタの登録

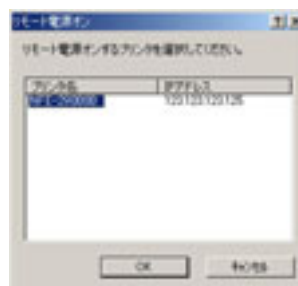
  プリンターを登録するための[プリンタの登録]ウィザードが起動します。

- 電源制御

  リモート電源制御機能を持つLANアダプター(PR-NP-03TR2)を使って接続されたプリンターの電源をオン・オフできます。オン・オフは[リモート電源制御]シートの設定に従います。NECプリントサーバーのリストビューにリモート電源制御機能を持つプリンターを登録し、以下のサブメニューを実行します。詳しくは、次の「電源制御」を参照してください。

電源制御

- [電源制御]のサブメニューの[オン]または[オフ]を選択している場合

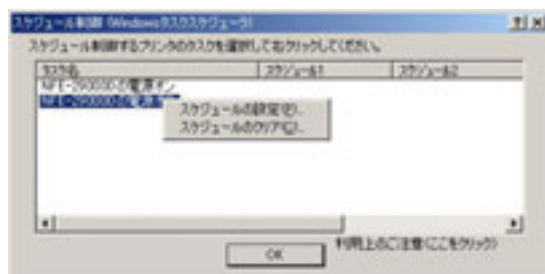
  [電源制御]のサブメニュー[オン]または[オフ]をクリックすると、それぞれ電源制御可能なプリンターを選ぶダイアログボックスが表示されます。プリンターを選択し、[OK]をクリックすることで[リモート電源制御]シートの設定に従ってオン・オフします。

リモート電源オフ

リモート電源オン

- [電源制御]のサブメニューの[スケジュール]を選択している場合

  [電源制御]のサブメニュー[スケジュール]をクリックすると、スケジュール可能なプリンターをオン・オフするためのタスク名の一覧が表示されます。

  この一覧では、電源オン、電源オフのペアで20台までスケジュール管理ができます。また、スケジュールの設定状況は、各タスク名に4つまでその概要を一覧に表示します。

  各タスク名の上で右クリックすると、以下の画面のようなサブメニューが表示されます。ここでプリンターをオン・オフするスケジュールを設定します。プリンターのオン・オフは[リモート電源制御]シートの設定に従います。

[電源制御]のサブメニュー[スケジュールの設定]を選ぶと、プリンターの電源をオン・オフする日時の設定を行うダイアログボックスが表示されます。それぞれのページを参照してください。

- [タスク]シート
- [スケジュール]シート
- [設定]シート

これらのダイアログボックスは、Windowsのタスクスケジュール機能を使用しています。設定の詳細については、このダイアログボックスのポップアップヘルプも参照してください。

[電源制御]のサブメニュー[スケジュールのクリア]を選ぶと、選択したタスク名に設定した複数のスケジュールをすべて削除します。

重要　スケジュール機能使用上のご注意

- [スケジュールの設定]で表示されるダイアログボックスは、Windowsのタスクスケジューラーを使用しています。タスクスケジューラーの一時停止をしている場合は、タスクスケジューラーの続行を行ってください。[コントロールパネル]または、[マイコンピュータ]ー[タスク]または、[Scheduled Tasks]の[詳細設定]から設定できます。Windows XPでは[コントロールパネル]で[クラシックに切り替える]を行うと表示されます。
- NECプリントサーバのリストビューに表示されている[プリンタ名]を変更した場合、既に設定しているスケジュールは、変更前の状態のままになっています。

  [スケジュールのクリア]でスケジュールを削除し、新たに表示されているタスク名にスケジュールを設定し直してください。
- プリンターのIPアドレスを変更した場合、既に設定しているスケジュールは、変更前の状態のままになっています。次の手順に従ってIPアドレスを修正してください。

  ① [スケジュールの設定]から[タスク]を開く。

  ② [実行するファイル名]ボックスに表示されているIPアドレスの「IP/:」以降を修正する。

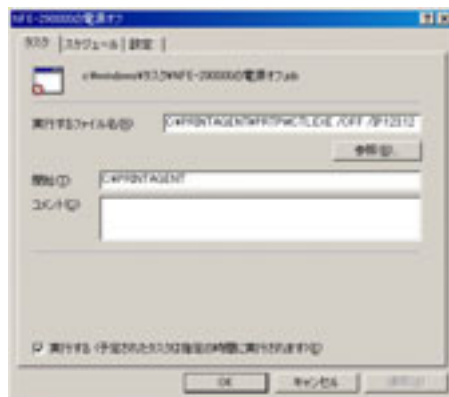
  （例）

  IPアドレス「111.222.123.123」を「100.200.123.123」に変更する場合

  「/IP:111.222.123.123」を「/IP:100.200.123.123」と修正します。
- NECプリントサーバに登録したプリンターを削除しても、このプリンターに対するスケジュールは削除されません。

- プリンタ管理ユーティリティをアンインストールすると、電源制御に必要なファイルもアンインストールされてしまい、設定時刻になってもプリンターのオン・オフができなくなります。
  [コントロールパネル]または、[マイコンピュータ]ー[タスク]あるいは[Scheduled Tasks]からタスク名を表示し、タスク名を右クリックして削除してください。Windows XPでは[コントロールパネル]で[クラシックに切り替える]を行うと表示されます。
- [電源制御]はTCP/IPプロトコルを使用していますので、ご使用のコンピューターにTCP/IPプロトコルが組み込まれていることを確認してください。

[タスク]シート

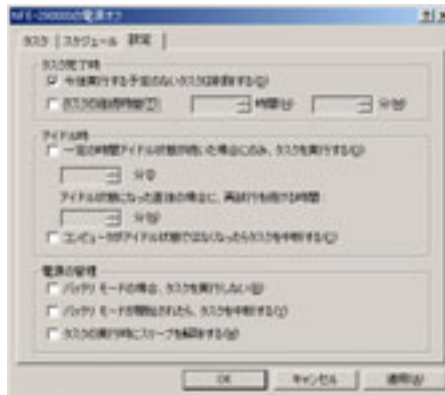
次のような設定ができます。

- 実行するファイル名
  プリンターの電源をオン・オフする実行ファイル名です。
- 開始
  プリンターの電源をオン・オフする実行ファイルへのパスです。変更しないでください。
- 実行する
  [スケジュール]シートで設定した日時にオン、オフする実行ファイルを実行するためにチェックを付けてください。

[スケジュール]シート

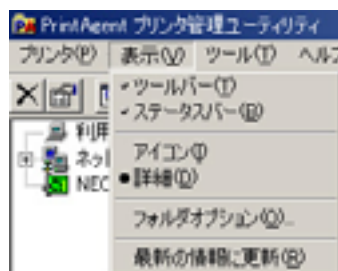
次のような設定ができます。

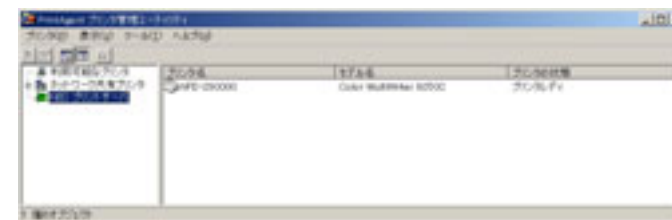
- 新規
  プリンターをオン(またはオフ)する日時の設定を行います。[タスクのスケジュール]で日単位、週単位等の選択ができます。
  [新規]を数回クリックすると、複数の日時の設定を行うことができます。複数の設定を行った場合、[スケジュール制御]の一覧には、最初の4つの設定の概要が表示されます。
- 削除
  [新規]で設定したスケジュールを1つずつ削除します。
- 詳細設定
  [詳細設定]をクリックすると、次の設定項目が表示されます。
  ◇ 開始日
  　プリンターのオン、オフを開始する日付を設定します。
  ◇ 終了日
  　プリンターのオン、オフを終了する日付を設定します。
  ◇ タスクを繰り返し実行
  　チェックを外してください。
- 複数のスケジュールを表示する
  チェックを付けてください。

［設定］シート

次のような設定ができます。

- タスク完了時
  ［今後実行する予定のないタスクは削除する］をチェックしてください。
- アイドル時
  チェックを外してください。
- 電源の管理
  チェックを外してください。

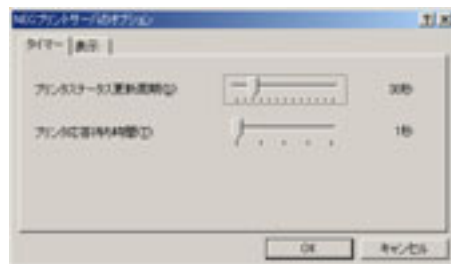
［表示メニュー］

次のような機能が実行できます。

- ツールバー
  ツールバーを表示するかしないかを切り替えます。メニュー上のチェックマークは表示している状態を示しています。
- ステータスバー
  ステータスバーを表示するかしないかを切り替えます。メニュー上のチェックマークは表示している状態を示しています。
- アイコン
  プリンターの一覧をアイコンで表示します。

- 詳細
  プリンタの一覧をリストで表示します。

- フォルダオプション
  NECプリントサーバの設定を行います。詳しくは、次ページの「フォルダオプション」をご覧ください。
- 最新の情報に更新
  登録されているプリンターと通信を行い、情報を更新します。

フォルダオプション

以下のようなダイアログボックスを表示します。次の設定を行います。

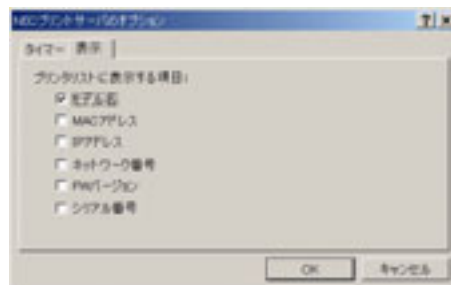
[タイマー]シート

- プリンタステータス更新周期

  登録されたプリンターの状態を確認しリストを更新する周期を設定します。10秒から120秒まで10秒刻みで設定できます。初期値は30秒です。

- プリンタ応答待ち時間

  プリンターと通信時、本ユーティリティーがプリンターからの応答を待つ時間です。プリンターからの応答が遅い場合、待ち時間をより長くしてください。初期値は1秒です。

[表示]シート

詳細リスト表示のとき列見出しの項目を選択します。[プリンタ名]と[プリンタの状態]は、はじめから表示されています。プリンタ名はデフォルトで[LANボード]シートのプリンター名と同じ名前が表示されますが、プリンター名を2回クリックすると、任意の名前に変更することができます。ここでの変更は、[LANボード]シートのプリンター名には影響しません。

- モデル名

  LANボードのモデル名を表示します。

- MACアドレス

  LANボードの固有のネットワークアドレスを示します。

- IPアドレス

  LANボードのIPアドレスを表示します。

- ネットワーク番号

  NetWareプロトコルで通信しているとき、NetWareネットワーク番号を表示します。

- IPアドレス

  LANボードのIPアドレスを表示します。

- シリアル番号

  プリンターのシリアル番号を表示します。本機能に対応していない機種ではシリアル番号を表示しません。

[ツール]メニュー

パスワードの変更

本PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを使用するためのパスワードの設定・変更を行います。

ポップアップメニュー

リストビュー内の任意の場所を右クリックすると表示されるメニューです。以下のような機能が実行できます。

- 表示

  リストビューをアイコン形式で表示するか、リスト形式で表示するかを切り替えます。[表示]メニューの[アイコン]、[詳細]と同じ機能です。

- 最新の情報に更新

  登録されているプリンターと通信を行い情報を更新します。[表示]メニューの[最新の情報に更新]と同じ機能です。

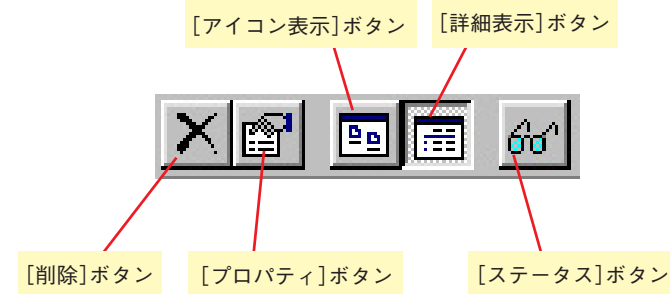
- プリンタの登録

  プリンターを登録します。[プリンタの登録]ウィザードが起動します。[プリンタ]メニューの[プリンタの登録]と同じ機能です。

- 電源制御

  [プリンタ]メニューの電源制御と同じです。

ツールバー

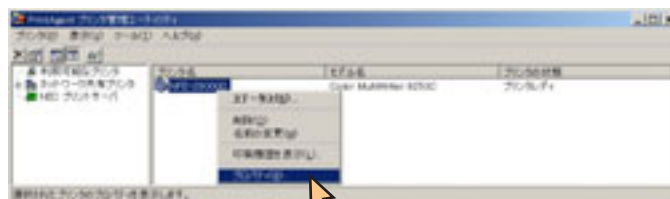
以下のようにメニューの項目をボタンにしたものがツールバーに用意されています。

[プロパティ]ダイアログボックス

LANボードの設定は、[プロパティ]ダイアログボックスで行います。
表示される内容は、LANボードによって異なります。また、設定できない項目は、グレーアウトされます。

ダイアログボックスの開き方

[プロパティ]ダイアログボックスは、次の方法で開くことができます。

- [プリンタ]メニューを使う方法
  [プリンタ]アイコンを選択してから、[プリンタ]メニューの[プロパティ]を選択します。

- [プリンタ]アイコンを右クリックする方法
  [プリンタ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]を選択します。

- [ツール]ボタンをクリックする方法
  [プリンタ]アイコンを選択してからツールバーのアイコンをクリックします。

[LANボード]シート

LANボードの固有情報を表示設定します。

- MACアドレス
- ハードウエアタイプ
- FWバージョン
- プリンタ名
- プリンタアクセス周期

以下の固有情報を表示します。

- MACアドレス
  プリンターに接続しているネットワークオプション固有のネットワークアドレスです。
- ハードウエアタイプ
  プリンターに接続しているネットワークオプションの種別です。

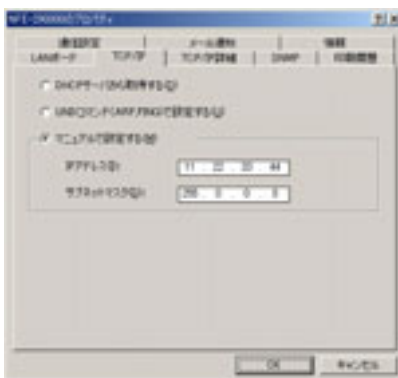
● FWバージョン
　LANボードのファームウエアバージョンです。

以下の固有情報が設定できます。

● プリンタ名
　ネットワーク上から見たプリンターの名前です。半角大文字の英数字、ハイフン「-」、アンダーバー「_」が使用可能です。

● プリンタアクセス周期
　プリンターの状態を更新する周期です。初期値は5秒になっています。一部変更できない機種があります。

［TCP/IP］シート

TCP/IPプロトコルを使ったときのIPアドレスとサブネットマスクを設定できます。

● DHCPを用いてIPアドレスを設定する
● UNIXコマンド（arp、ping）で設定する
● マニュアルで設定する

● DHCPを用いてIPアドレスを設定する
　LANボードのIPアドレスとサブネットマスクをDHCPサーバーから取得して設定します。

● UNIXコマンド（arp、ping）で設定する
　LANボードのIPアドレスをUNIXコマンドで設定できるようにします。

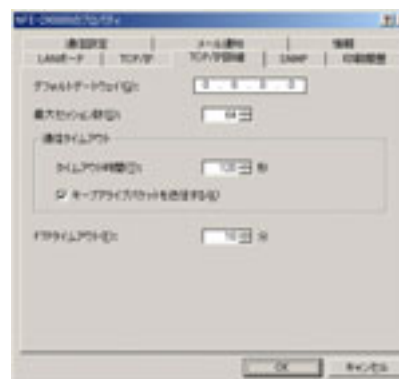
● マニュアルで設定する
　LANボードのIPアドレスとサブネットマスクをマニュアルで設定します。

重要

［DHCPを用いてIPアドレスを設定する］を選択した場合は、DHCPサーバーへLANボードに設定するIPアドレスを事前に登録しておくことで、不用意なIPアドレスの変化を防止することができます。DHCPサーバーによりIPアドレスが変更された後は登録されたプリンターとしての通信ができなくなります。プリンターを再度、選んで登録し直してください。

［マニュアルで設定する］を選択するとUNIXコマンドによる設定ができなくなります。UNIXコマンドでIPアドレスを再設定する場合は、［UNIXコマンドで設定する］を選んでください。

［TCP/IP詳細］シート

TCP/IP詳細パラメータを設定します。以下の機能を持たないLANボードでは、このシートは表示されません。

● デフォルトゲートウェイ
● 最大セッション数
● 通信タイムアウト
● FTPタイムアウト

● デフォルトゲートウェイ
　ゲートウェイアドレスを示します。

チェック

ゲートウェイアドレスの設定はSNMPのTrap機能および電子メール配信機能を使用する場合に必要です。使用しないときは［0.0.0.0］を登録してください。

- 最大セッション数

  TCP/IPの最大接続数を設定します。この設定はすべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象となります。設定範囲は「1～64」、初期値は「64」になっています。

- 通信タイムアウト

  TCP/IP接続時にホストコンピュータから応答がない場合のタイムアウト時間を設定します。

  ◇ タイムアウト時間

  タイムアウトまでの時間を示します。設定範囲は「30～7200秒」、初期値は「120秒」になっています。

  ◇ キープアライブパケットを送信する

  通信タイムアウトで設定した時間が経過した場合に、ホストコンピューターにKeep Aliveパケットを送信するか、しないかを設定します。Keep Aliveパケット送信時にホストコンピューターから応答がある場合には、TCP/IP接続が維持されます。

- FTPタイムアウト

  FTP接続時のタイムアウト時間を設定します。設定範囲は「5～60分」、初期値は「10分」になっています。

［SNMP］シート

SNMPプロトコルに必要な設定を行います。SNMP機能を持たないLANボードでは、このシートは表示されません。

- 認証するコミュニティ名
- Trap通知先

- 認証するコミュニティ名

  ホストコンピューターからのSNMP通信の中で、LANボードが受け付けるコミュニティ名を設定します。コミュニティ名には異なる名称を最大4つまで登録できます。

- Trap通知先

  Trap通知先のSNMPマネージャの登録を最大4つまで行うことができます。以下でTrap通知先を設定します。

  ◇ IPアドレス

  LANボードがホストコンピューターにTrapを通知する時のホストコンピューターのIPアドレスを設定します。

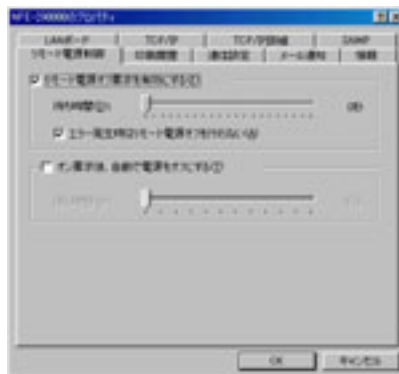
  ◇ コミュニティ名

  LANボードがホストコンピューターにTrapを通知する時のホストコンピューターのコミュニティ名を設定します。

重要

Trap通知先ホストコンピューターのIPアドレスのネットワークアドレスがLANボードのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。
［TCP/IP詳細］シートの［デフォルトゲートウェイ］ボックスにゲートウェイアドレスを設定してください。

[リモート電源制御]シート

リモート電源制御に関する設定を行います。プリンターの電源のオン、オフ要求は[プリンタ]メニューの[電源制御]から行います。リモート電源制御機能を持つLANアダプターでのみ、このシートは表示されます。

- リモート電源オフ要求を有効にする
- エラー発生時はリモート電源オフを行わない
- オン要求後、自動で電源をオフする

- リモート電源オフ要求を有効にする

  オフ要求から[待ち時間]で設定した時間後、プリンターの電源をオフにします。[待ち時間]を「0」に設定した場合は、直ちにオフにします。ただし、プリンターによっては、電源をオフできる状態(印刷中ではないなどの、待機状態)になってからオフする場合があります。

- エラー発生時はリモート電源オフを行わない

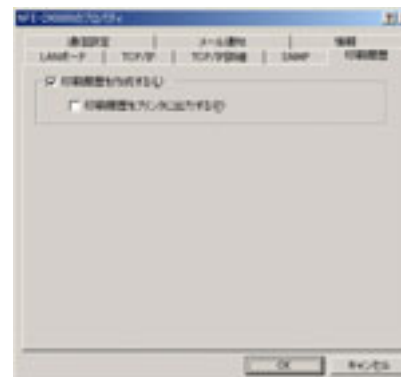
  プリンターでエラー発生時は、電源のオフを行いません。

- オン要求後、自動で電源をオフする

  電源のオンを要求した後、[待ち時間]に設定された時間が経過すると、プリンターの電源をオフにします。

電源制御機能の詳細については、PR-NP-03TR2 LANアダプタの取扱説明書も参照してください。

[印刷履歴]シート

印刷履歴に関する設定を行います。印刷履歴機能を持たないLANボードではこのシートは表示されません。

- 印刷履歴を作成する
- 印刷履歴をプリンタに出力する

- 印刷履歴を作成する

  チェックすると最大50までのジョブの情報を記録します。

- 印刷履歴をプリンタに出力する

  チェックすると印刷履歴の記録ジョブ数が50になると印刷履歴を印刷します。チェックを外すと印刷を行わず古いジョブの記録から上書きされます。

チェック

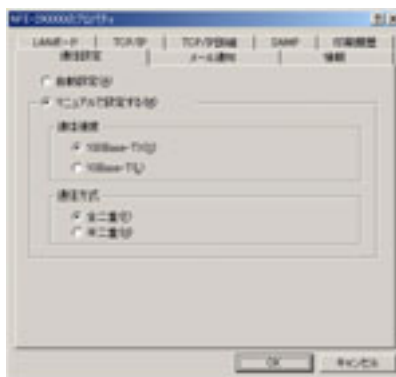
印刷履歴はLANボードの電源切断時、またはリセット時(LANボード、またはLANアダプターご使用の場合はこれらの電源切断時)にすべてクリアされ、内部に保持されません。

IPアドレス等の設定を変更した場合もクリアされます。設定を[記録]から[記録しない]に変更した場合、LANボードが保持している印刷履歴を印刷してから設定が変更されます。

［通信設定］シート

通信に関する設定を行います。LANボードがイーサネットで接続されている場合と無線で接続されている場合では表示内容が異なります。

イーサネットで接続されている場合

通信速度、通信方式の設定を行います。通信速度の指定ができないLANボードでは、このシートは表示されません。

- 自動設定
- マニュアルで設定する

- 自動設定

  10BASE-T、または100BASE-TXを自動判別し、通信速度を決定します。また、通信方式も自動で選択されます。

- マニュアルで設定する

  以下の項目をマニュアルで設定できます。

  ◇ 通信速度

  100BASE-TX：　100BASE-TX固定の接続設定になります。

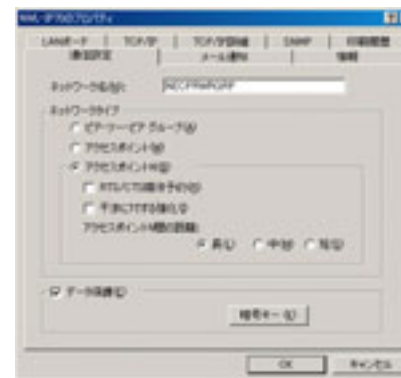
  10BASE-T：　10BASE-T固定の接続設定になります。

  ◇ 通信方式

  全二重（Full Duplex）：　パケットの送受信を同時に行うことができます。

  半二重（Half Duplex）：　パケットの送受信をそれぞれ別々に行うことができます。

無線で接続されている場合

ネットワークに関する設定を行います。

- ネットワーク名
- ネットワークタイプ
- RTS/CTS媒体予約
- 干渉に関する強化
- アクセスポイントN間の距離
- データ保護

■ ネットワーク名

接続したいアクセスポイントやネットワークにつけられているネットワーク名と同じ名前を設定します。半角英数文字が使用可能です。

■ ネットワークタイプ

以下のネットワークタイプから選択します。

- ピア・ツー・ピアグループ

  NEC無線LANカードを取り付けたコンピューターとLANボードを無線接続します。

- アクセスポイント

  NEC無線LANアクセスポイント PK-WL002H（主にSOHO向けネットワークに使用）経由でネットワークに無線接続します。

- アクセスポイントN

  NEC無線LANアクセスポイント経由でネットワークに無線接続します。以下の項目は、NEC無線LANアクセスポイントN（PK-WL003）、無線LANアクセスポイントE（PK-WL005）、無線LANアクセスポイントS（PK-WL007）と無線LANプリンターを接続する場合に、アクセスポイントの設定に合わせた設定を行います。その他のアクセスポイントと接続する場合は変更の必要はありませんので、初期設定のままご使用ください。

◇ RTS/CTS媒体予約

チェックを付けることでRTS/CTS媒体予約を使用します。

－ 使用しない

CSMA/CA機構で無線メッセージの衝突検出と再送を行います。

－ 使用する

送信メッセージが長い場合、アクセスポイントがRTSを受信するとCTSを無線端末に送信し、RTSを送信した無線LANプリンターボード／アダプターが転送を完了するまで他の無線端末を待たせます。

◇ 干渉に関する強化

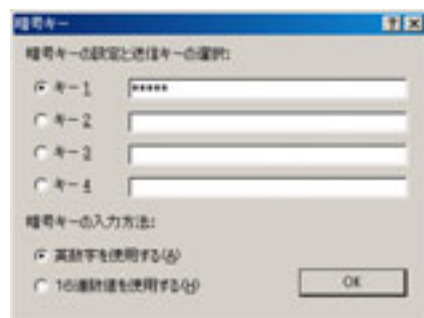
ネットワーク内で使用している電子レンジなどとの干渉により、無線ネットワークの性能が落ちている場合にチェックします。

◇ アクセスポイントN間の距離

無線LANプリンターボード／アダプターのローミング感度を設定します。「長」から「短」になるほどローミングしやすくなります。

無線ネットワーク環境では、通常、複数のアクセスポイントNの設置が密集してくると「長」から「短」の設定になります。無線ネットワーク環境で一致しない値を使うと無線通信性能に著しく影響するおそれがあります。

■ データ保護

チェックすると、WEP（Wired Equivalent Privacy）データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。暗号キーは次のように使用します。

- キー1から4の暗号キーは、LANボードが受信する無線メッセージを複合します。
- キー1から4の中から選択された1つの暗号キーは、LANボードが送信する無線メッセージを暗号化します。選択された暗号キーは、必ず設定する必要があります。

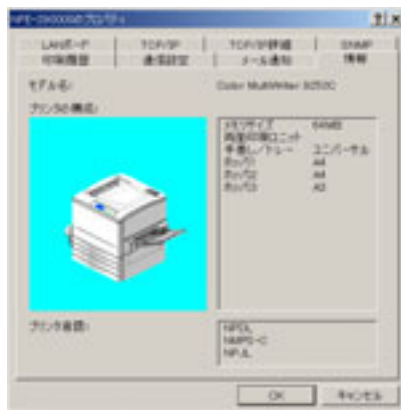
[暗号キー]は、アクセスポイントやコンピューターの無線端末が、LANボードにデータを送信するときに使用する暗号キーと同じものを設定します。

使用できる文字は、[英数字を使用]を選択時は、半角英数字「a〜z」、「A〜Z」、「0〜9」です。

[16進数を使用]を選択時は、「0〜9」、「A〜F」です。

暗号キーの文字数は、5文字（16進数で10桁）または13文字（16進数で26桁）のどちらかの文字数でのみ設定することができます。

[情報]シート

プリンターの構成情報を以下の項目で文字とイラストを使って表示します。プリンターと双方向通信ができず、プリンターの情報が取得できないときはこのシートは表示されません。

- モデル名
- プリンタの構成
- プリンタ言語

- モデル名
  プリンターのモデル名です。
- プリンタの構成
  プリンターに装着されているオプションなどの情報です。
- プリンタ言語
  プリンターで使用可能なプリンターの言語を一覧します。

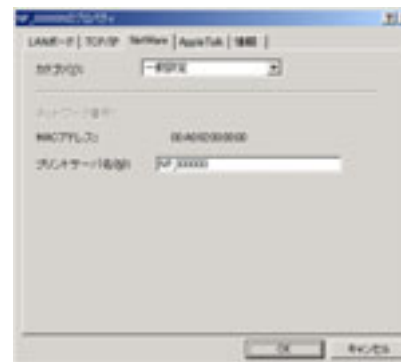
[NetWare]シート

NetWareネットワーク環境で印刷する場合の設定をします。NetWareプロトコルを持たないLANボードではこのシートは表示されません。

以下のカテゴリーによってシートの表示が切り替わります。

- 一般設定
- ファイルサーバ設定
- 動作モード設定

一般設定

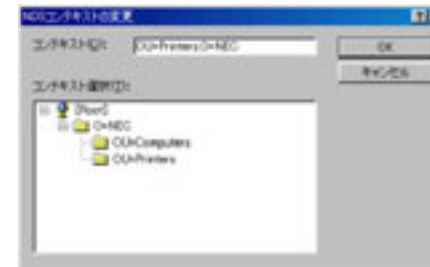
[一般設定]を選ぶと、以下のような表示や設定ができます。

- ネットワーク番号
- MACアドレス
- プリントサーバ名

- ネットワーク番号
  NetWareネットワーク番号を示します。
- MACアドレス
  LANボードのMACアドレスを示します。
- プリントサーバ名
  NetWareで使用するプリントサーバー名を設定します。

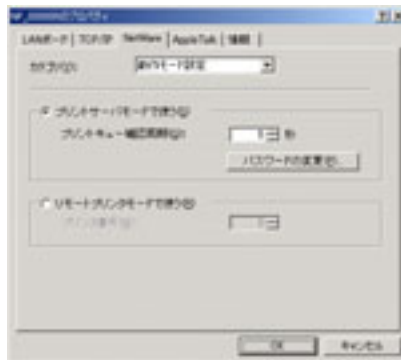
ファイルサーバ設定

［ファイルサーバ設定］を選択すると、以下のような設定ができます。

- 接続モード
- ファイルサーバ名
- NDSコンテキスト
- 参照
- コンテキスト
- コンテキスト選択
- ログイン周期
- NDSツリー

- 接続モード
  NetWareサーバーへの接続モードを指定します。
  ◇ NetWare環境で使用しない
  　NetWareプリントサービスを使用しないとき選択します。
  ◇ NOVELLディレクトリサービスで使用する
  　NetWare 4.1以降のNDSモードで接続するときに使用します。
  ◇ バインダリモードで使用する
  　NetWare 3.1以降で使用できるモードです。
- ファイルサーバ名
  プリントサーバーが定義されているファイルサーバー名を指定します。
- NDSコンテキスト
  NDSモードで接続するときプリントサーバーが定義されているコンテキストを入力します。
- ［参照］
  NDSコンテキスト情報を入力するときに利用します。クリックすると以下のダイアログボックスが表示されます。

  このボタンは、ご使用のコンピューターにNovellのNetWareクライアントソフトウエアがインストールされていることで有効になります。また、NetWareサーバーにログインしていることが必要です。
- コンテキスト
  現在選択されているコンテキストを表示します。
- コンテキスト選択
  ディレクトリツリーを表示しコンテキストを選択します。
- ログイン周期
  ファイルサーバーとの接続が切れたときに再ログインする周期を設定します。
- NDSツリー
  NDSツリー名を設定します。NDSコンテキストを［参照］で設定した場合、参照したツリーの名前が［NDSツリー］に設定されます。

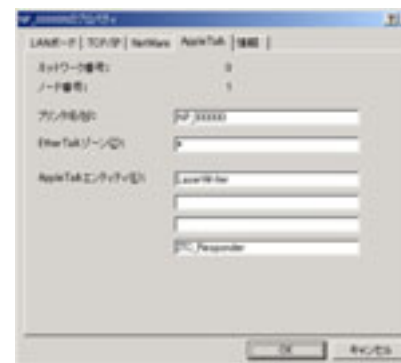
動作モード設定

NetWareプリントサービスのモードを指定します。

- プリントサーバモードで使う
- リモートプリンタモードで使う

- プリントサーバモードで使う
  プリントキューの印刷ジョブを確認する周期を設定できます。また、[パスワードの変更]をクリックすると以下のダイアログボックスが表示され、NetWareのファイルサーバーにログインするためのパスワードの設定ができます。

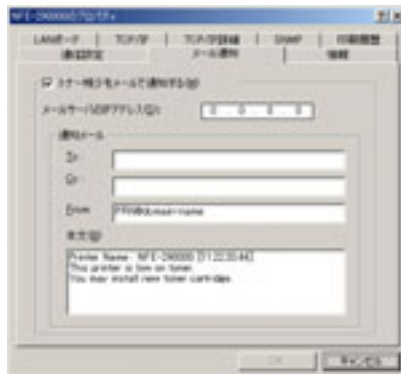
- リモートプリンタモードで使う
  リモートプリンターの番号を選択できます。

[AppleTalk]シート

Macintoshから印刷するときに使用するAppleTalkプロトコルの設定を行います。AppleTalkを持たないLANボードでは、このシートは表示されません。

- ネットワーク番号
- ノード番号
- プリンタ名
- EtherTalkゾーン
- AppleTalkエンティティ

- ネットワーク番号
  LANボードが接続しているAppleTalkネットワーク番号を示します。
- ノード番号
  AppleTalkネットワークでのノード番号を示します
- プリンタ名
  AppleTalkでのプリンター名を指定します。
- EtherTalkゾーン
  EthernetでAppleTalkネットワークに接続するときのゾーンを指定します。
- AppleTalkエンティティ
  AppleTalkでデバイスの検索や通信をするときのキーを指定します。

[メール通知]シート

トナー残少をメールで通知する設定を行います。

- トナー残少をメールで通知する
- メールサーバのIPアドレス
- To：
- Cc：
- From：
- 本文

この項目にチェックするとプリンターが「トナー残少」となった場合、設定されたアドレスへメールが送信されます。

チェック

- トナーの残量が少なくなった初期の状態において、プリンター側のセンサーの状況により、数回電子メールが送信される可能性があります。
- 電子メール送信後、トナーの補給またはカートリッジの交換が行われる前に送信先メールアドレスなどのパラメーターが変更されると、再度、電子メールが送信されます。
- メールは4種類のトナーのうちいずれかのトナーが少なくなると通知されます。また、あるトナーが少ない状態で別のトナーが少なくなったときは通知されません。

- メールサーバのIPアドレス

  メールサーバーのIPアドレスを設定します。

- To：

  メールの送信先アドレスを設定します。

メールのSubjectは以下で固定です。
Subject: [NECNIC Report] Printer low-toner

- Cc：

  メールの配付先アドレスを設定します。

- From：

  メールの送信元アドレスを設定します。仮のアドレスが使用できますが、必ず「@（アットマーク）」付きの形式で入力してください。

- 本文

  メールの本文を記述します。使用可能な文字は半角文字のうち、「；（セミコロン）」を除いたものです。

SNMP

SNMP（Simple Network Management Protocol）を使用することで、汎用のSNMPマネージャソフトウエアからプリンターの情報を取得することができます。

Get Request、Set Requestによる管理

通信に必要なコミュニティ名を4つまで登録できます。コミュニティ名の変更方法は、以下の3つです。

- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
  設定の詳細については、「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」の「SNMPシート」を参照してください。
- WWWブラウザー
  設定の詳細については、「WWWブラウザー」の「SNMP設定画面」を参照してください。
- Telnet
  設定の詳細については、「Telnet」の「SNMP」を参照してください。

チェック
工場出荷時のコミュニティ名にはすべて「public」が登録されています。必要に応じて設定変更を行ってください。

サポートしているMIBは、MIB-II（RFC1213）、ホストリソースMIB（RFC1514）、およびプリンターMIB（RFC1759）です。

SNMP MIB-II（RFC1213）オブジェクト一覧

[system] グループ

sysDescr
sysObjectID
sysUpTime
sysContact
sysName
sysLocation
sysServices

[interface] グループ
ipReasmTimeout
ifNumber
ifIndex
ifDescr
ifType
ifMtu
ifSpeed
ifPhysAddress
ifAdminStatus
ifOperStatus
ifLastChange
ifInOctets
ifInUcastPkts
ifInNUcastPkts
ifInDiscards
ifInErrors
ifInUnknownProtos
ifOutOctets
ifOutUcastPkts
ifOutNUcastPkts
ifOutDiscards
（次ページへ続く）

[ip] グループ

ipForwarding
ipDefaultTTL
ipInReceives
ipInHdrErrors
ipForwDatagrams
ipInDiscards
ipInDelivers
ipOutRequests
ipOutDiscards
icmpInTimestamps
ipReasmReqds
ipReasmOKs
ipFragOKs
ipFragFails
ipFragCreates
ipAdEntAddr
ipAdEntIfIndex
ipAdEntNetMask
ipAdEntBcastAddr
ipRouteDest
ipRouteIfIndex
ipRouteMetric1
ipRouteMetric2
ipRouteMetric3
ipRouteMetric4
ipRouteNextHop
ipRouteMask
ipRouteMetric5

[icmp] グループ

icmpInMsgs
icmpInErrors
icmpInDestUnreachs
icmpInTimeExcds
icmpInParmProbs
icmpInSrcQuenchs
icmpInRedirects
icmpInEchos
icmpInEchoReps

icmpInTimestampReps
icmpInAddrMasks
icmpInAddrMaskReps
icmpOutMsgs
icmpOutDestUnreachs
icmpOutTimeExcds
icmpOutParmProbs
icmpOutSrcQuenchs
icmpOutRedirects
icmpOutEchos
icmpOutEchoReps
icmpOutTimestamps
icmpOutTimestampReps
icmpOutAddrMasks
icmpOutAddrMaskReps

ifOutErrors
ifOutQLen
ifSpecific

[tcp] グループ

tcpRtoAlgorithm
tcpRtoMin
tcpRtoMax
tcpMaxConn
tcpCurrEstab
tcpInSegs
tcpOutSegs
tcpRetransSegs
tcpConnState
tcpConnLocalAddress
tcpConnLocalPort
tcpConnRemAddress
tcpConnRemPort
udpOutDatagrams
tcpInErrs

[udp] グループ

udpInDatagrams
udpNoPorts
udpInErrors
udpOutDatagrams
udpLocalAddress
udpLocalPort

[snmp] グループ

snmpInPkts
snmpOutPkts
snmpInBadVersions
snmpInBadCommunityNames
snmpInBadCommunityUses
snmpInASNParseErrs
snmpInTotalReqVars
snmpInTotalSetVars
snmpInGetRequests
snmpInGetNexts
snmpInSetRequests
snmpInGetResponses
snmpInTraps
snmpOutTooBigs
snmpOutNoSuchNames
snmpOutBadValues
snmpOutGenErrs
snmpOutGetRequests
snmpOutGetNexts
snmpOutSetRequests
snmpOutGetResponses
snmpOutTraps
snmpEnableAuthenTraps

SNMP ホストリソースMIB（RFC1514）オブジェクト一覧

[Device] グループ

hrDeviceIndex
hrDeviceType
hrDeviceDescr
hrDeviceStatus
hrPrinterStatus
hrPrinterDetectedErrorState

プリンターMIB（RFC1759）オブジェクト一覧

[General Printer] グループ
prtGeneralConfigChanges
prtGeneralCurrentLocalization
prtGeneralReset
prtInputDefaultIndex
prtOutputDefaultIndex
prtMarkerDefaultIndex
prtMediaPathDefaultIndex
prtConsoleLocalization
prtConsoleNumberOfDisplayLines
prtConsoleNumberOfDisplayChars
prtConsoleDisable
prtDeviceRefIndex
prtCoverDescription
prtCoverStatus
prtLocalizationLanguage
prtLocalizationCountry
prtLocalizationCharacterSet

[Input]グループ
prtInputType
prtInputDimUnit
prtInputMediaDimFeedDirDeclared
prtInputMediaDimXFeedDirDeclared
prtInputMediaDimFeedDirChosen
prtInputMediaDimXFeedDirChosen
prtInputCapacityUnit
prtInputMaxCapacity
prtInputCurrentLevel
prtInputStatus
prtInputMediaName

[Extended Input]グループ
prtInputName
prtInputVendorName
prtInputModel
prtInputVersion
prtInputSerialNumber
prtInputDescription
prtInputSecurity

[Output] グループ
prtOutputType
prtOutputCapacityUnit
prtOutputMaxCapacity
prtOutputRemainingCapacity
prtOutputStatus

[Extended Output]グループ
prtOutputName
prtOutputVendorName
prtOutputModel
prtOutputVersion
prtOutputSerialNumber
prtOutputDescription
prtOutputSecurity

[Output Dimensions]グループ
prtOutputDimUnit
prtOutputMaxDimFeedDir
prtOutputMaxDimXFeedDir
prtOutputMinDimFeedDir
prtOutputMinDimXFeedDir

[Output Features]グループ
prtOutputStackingOrder
prtOutputPageDeliveryOrientation
prtOutputBursting
prtOutputDecollating
prtOutputPageCollated
prtOutputOffsetStacking

[Marker]グループ
prtMarkerMarkTech
prtMarkerCounterUnit
prtMarkerLifeCount
prtMarkerPowerOnCount
prtMarkerProcessColorants
prtMarkerSpotColorants
prtMarkerAddressabilityUnit
prtMarkerAddressabilityFeedDir
prtMarkerAddressabilityXFeedDir

（次ページへ続く）

prtMarkerNorthMargin
prtMarkerSouthMargin
prtMarkerWestMargin
prtMarkerEastMargin
prtMarkerStatus

[Marker Supplies]グループ
prtMarkerSuppliesMarkerIndex
prtMarkerSuppliesColorantIndex
prtMarkerSuppliesClass
prtMarkerSuppliesType
prtMarkerSuppliesDescription
prtMarkerSuppliesSupplyUnit
prtMarkerSuppliesMaxCapacity
prtMarkerSuppliesLevel

[Marker Colorant]グループ
prtMarkerColorantMarkerIndex
prtMarkerColorantRole
prtMarkerColorantValue
prtMarkerColorantTonality

[Media Path]グループ
prtMediaPathMaxSpeedPrintUnit
prtMediaPathMediaSizeUnit
prtMediaPathMaxSpeed
prtMediaPathMaxMediaFeedDir
prtMediaPathMaxMediaXFeedDir
prtMediaPathMinMediaFeedDir
prtMediaPathMinMediaXFeedDir
prtMediaPathType
prtMediaPathDescription
prtMediaPathDescription
prtMediaPathDescription.3
prtMediaPathStatus
prtMediaPathStatus
prtMediaPathStatus.3

[Channel]グループ
prtChannelType
prtChannelProtocolVersion
prtChannelCurrentJobCntlLangIndex
prtChannelDefaultPageDescLangIndex
prtChannelState
prtChannelIfIndex
prtChannelStatus

[Interpreter]グループ
prtInterpreterLangFamily
prtInterpreterLangLevel
prtInterpreterLangVersion
prtInterpreterDescription
prtInterpreterVersion
prtInterpreterDefaultOrientation
prtInterpreterFeedAddressability
prtInterpreterXFeedAddressability
prtInterpreterDefaultCharSetIn
prtInterpreterDefaultCharSetOut
prtInterpreterTwoWay

[Console]グループ
prtConsoleDisplayBufferText
prtConsoleOnTime
prtConsoleOffTime
prtConsoleColor
prtConsoleDescription

[Alerts]グループ
prtAlertSeverityLevel
prtAlertTrainingLevel
prtAlertGroup
prtAlertGroupIndex
prtAlertLocation
prtAlertCode
prtAlertDescription

Trapによる管理

プリンターのエラーまたは状態変化が発生した場合に指定されたホストコンピューターにTrapを発信することができます。最大4台のホストコンピューターにTrapを送信することができます。

Trapの設定

Trapによる管理を行うためには以下の設定が必要です。

- Trap使用の要否設定
- 送信先ホストコンピューターのIPアドレス
- Trap通信のコミュニティ名
- ゲートウェイアドレスの設定

Trapの設定方法は、以下の3つです。

- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
  設定の詳細については、「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」の「SNMPシート」を参照してください。
- WWWブラウザー
  設定の詳細については、「WWWブラウザー」の「SNMP設定画面」を参照してください。
- Telnet
  設定の詳細については、「Telnet」の「SNMP」を参照してください。

- ゲートウェイアドレスの設定について
  - ◇ 4つのホストコンピューターのIPアドレス設定の中で、LANボードのネットワークアドレスと異なるものが含まれている場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。
  - ◇ 同じネットワークアドレスのホストコンピューターにTrap送信する場合は、ゲートウェイアドレスの設定は不要ですので、「0.0.0.0」（工場出荷設定）のままでご使用ください。
- SNMP MIB IIの[SNMP]グループで「snmpEnableAuthenTraps」の設定が[Disabled（2）]になっている場合は、すべてのTrap設定が無効となります。Trapをご使用の場合は、[Enabled（1）]に設定してください。なお、工場出荷時は[Enabled（1）]に設定されています。
- 「SnmpEnableAuthenTraps」の設定に関わらず、LANボードに登録されたIPアドレス等の情報は保持されます。

Trapの送信

プリンターのエラーまたは状態変化が発生すると登録されたすべてのホストコンピューターにTrapが送信されます。Trapはプリンターのエラーが取り除かれるまで10分おきに送信されます。Trap-PDUで通知される情報は次のとおりです。

- プリンターCold Start発生情報
- プリンターWarm Start発生情報
- プリンターエラー発生情報

  Variable-bindings

  hrPrinter Detected Error State

  prtAlert Index

  prtAlert Severity Level

  prtAlert Group

  prtAlert Group Index

  prtAlert Location

  prtAlert Code

索引

A

AppleTalk 104
AutoIp 73

D

DHCP 22
　DHCP サーバーの設定 23
　DHCP の設定 22
　動作 28
DHCP サーバー
　Windows 2000 Server 23
　Windows NT Server 4.0 26

E

EASY 設定ユーティリティ 16

F

ftp コマンド 60

G

Get Request 106

I

IP アドレスの設定 15
　DHCP 22
　EASY 設定ユーティリティ 16
　PrintAgent プリンタ管理ユーティリティ 18
　UNIX 58
　UNIX コマンド 20

K

KeepAlive 73

L

LAN ボードの管理者設定 70
LAN ボードの基本設定画面 71
LAN ボードの設定 89
LAN ボードの設定情報 70
LPR
　Windows 2000 日本語版 48, 50
　Windows NT 4.0 日本語版 55
LPR Port 49
lpr コマンド 59, 61
LPR バイトカウント機能 51

M

Microsoft TCP/IP 印刷（LPR）
　Windows NT 4.0 日本語版 55
Microsoft TCP/IP 印刷サービス 55

N

NEC Network Port
　Windows 2000 日本語版 46
　Windows NT 4.0 日本語版 53
NEC TCP/IP Port 34, 36, 38
NEC TCP/IP Printing System（NEC TCP/IP Port）
　Windows 98/95 日本語版 36
　Windows Me 日本語版 34
NetWare 102

O

OS の設定 33
　UNIX 58
　Windows 2000 日本語版 46
　Windows 98/95 日本語版 36
　Windows Me 日本語版 34
　Windows NT 4.0 日本語版 53

P

Password 設定 76
PING 73
ping 58
PrintAgent プリンタ管理ユーティリティ 18, 83
　LAN ボードの設定 89
　ご利用までの手順 84
　使用上のご注意 84
　対象プリンター 83
　特長 83
　プリンターの登録 85
　［プロパティ］ダイアログボックス 96
　メニュー 89

S

Set Request 106
SMTP 設定 74
SNMP 106
SNMP MIB-II（RFC1213） 106
SNMP ホストリソース MIB（RFC1514） 107
SNMP 設定 74
Standard TCP/IP Port（LPR） 50

T

TCP/IP 設定 72
Telnet 77
　各メニューの詳細 78
　起動画面 77
Trap 74, 108

U

UNIX 48, 58
印刷方法 60
ホストコンピューター 59
UNIX コマンド 20
UNIX 用印刷サービス（LPR） 48

W

Windows 2000 Server 23
Windows 2000 日本語版 46
Standard TCP/IP Port（LPR） 50
NEC Network Port 46
UNIX 用印刷サービス（LPR） 48
Windows 98/95 日本語版 36
Windows Me 日本語版 34
NEC TCP/IP Printing System（NEC TCP/IP Port） 34
Windows NT Server 4.0 26
Windows NT 4.0 日本語版 53
Microsoft TCP/IP 印刷（LPR） 55
NEC Network Port 53
Windows XP 日本語版 38
NEC Network Port 38
Standard TCP/IP Port（LPR） 43
UNIX 用印刷サービス（LPR） 40
WWW ブラウザー 65
各メニューの詳細 68
画面の構成 66
起動画面 67

イ

イーサネット 100
印刷方法
ftp コマンド 60
lpr コマンド 61
印刷履歴 69

オ

オンラインマニュアル 4, 8
印刷 12
サムネール 10
しおり 8
リンク 11

ケ

ゲートウェイアドレス 109

コ

コミュニティ名 74
コンフィグレーションページ 30

サ

サーバー
DHCP サーバー 23
プリントサーバー 17
メールサーバー 75

シ

初期化 29

テ

電源制御 91

ト

ドメインネーム 47, 35, 37, 40, 54

ネ

ネットワーク印刷 33, 62
ネットワーク設定の初期化 29
ネットワークで思うように印刷できないときは .. 62
ネットワークプリンター 5

フ

プリンター MIB（RFC1759） 107
プリンターの状態 68
プリンターの登録 85
プリントサーバー 17
プロトコル
AppleTalk 104
ftp 60
LPR 48, 50, 51, 55, 61
NetWare 102
TCP/IP 97
［プロパティ］ダイアログボックス 96

ホ

ホストコンピューター 59

ム

無線 100

メ

メール 74
メールサーバー 75

ユ

ユーティリティ 65
EASY 設定ユーティリティ 16
PrintAgent プリンタ管理ユーティリティ 83